

# 年報

平成28年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



## 中小企業の大きな夢を実現するために

平成 28 年度は、第三期中期計画（平成 28 年度～平成 32 年度）の初年度として、「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」を重点研究分野として東京の新しい成長産業の支援を開始しました。また中小企業の海外市場への積極的な挑戦を支援するために、さまざまな新規事業に取り組み、多くの中小企業にご利用いただくことができました。

ロボット産業活性化事業（平成 27 年度開始）では、「東京ロボット産業支援プラザ」を全面オープン（4 月）し、公募型共同研究開発 12 テーマを採択しました。また、開発型中小企業の支援を強化するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発サイト」を開設（7 月）しました。バンコク支所では、日系企業へのセミナーや在タイ試験所ツアーに加え、連携機関のご協力もいただきながら「ものづくり企業交流会」を開催し、現地日系企業のビジネス交流を促進するとともに技術支援を充実しました。

さらに、これまで都産技研の技術シーズや研究成果を発表してきた「研究成果発表会」を「TIRI クロスミーティング」とし、活発な議論を通して中小企業との技術の出会いの場へと発展させて 6 月に開催しました。2 月には都産技研初のビジネスマッチング交流会となる「東京イノベーション発信交流会」を開催し、約 70 社の出展と約 300 名のご来場者を得て、技術面でのサポートを通して商談を促進することができました。総合支援窓口には、新たに 8 名の専門相談員を配置し、中小企業の製品化に向けての幅広い対応を可能にしました。

平成 28 年度は、主要事業である依頼試験は約 14 万 3 千件、機器利用は約 13 万 4 千件、技術相談は約 13 万 8 千件と、昨年度同様の高い実績となりました。

我が国の経済は、経営環境の改善傾向にあるといわれる一方、海外情勢の不透明感が増すなど、中小企業にとっては依然として厳しい状況が続いております。こうした状況を打開していくため、平成 29 年度は、主に以下の取り組みに努めてまいります。

ロボット産業活性化事業では 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会を視野に入れたロボット技術の実用化、事業化支援をさらに推進します。また、中小企業の IoT 化支援事業、航空機産業への参入支援、障害者スポーツ研究開発推進事業、医療機器等の海外展開支援など新たな取り組みを開始します。城東支所では、地域に密着した付加価値の高いものづくり技術支援をより強化するために、リニューアルを図ります。

海外展開支援事業では、「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）」の海外講師を招聘した講演会の開催、バンコク支所の現地ニーズに沿った技術セミナーの充実など、より一層活用いただける事業の強化に取り組めます。

「中小企業こそがイノベーションを起こす」との強い信念のもとに、都産技研は、中小企業の大きな夢を実現するために、より一層支援を強化してまいります。中小企業の皆さま、関係機関の皆さまには、一層のご利用・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成 29 年 6 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
理事長 奥村 次徳

# 平成 28 年度 東京都立産業技術研究センター年報 目 次

1. 概要	
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 研究開発の推進	
2.1 基盤研究	3
2.2 共同研究	9
2.3 外部資金導入研究・調査	11
2.3.1 提案公募型研究	11
2.3.2 受託研究	13
2.4 ロボット産業活性化事業	13
2.5 生活関連産業支援	17
2.6 外部発表	18
2.7 職員の受賞	40
2.8 研究評価制度	41
2.8.1 評価方法	41
2.8.2 評価結果	41
2.8.3 平成 28 年度評価員	43
3. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援	
3.1 技術相談	44
3.1.1 技術相談	44
3.1.2 総合支援窓口	45
3.1.3 専門相談員	46
3.1.4 実地技術支援事業	46
3.2 依頼試験	48
3.2.1 依頼試験	48
3.2.2 オーダーメイド試験	51
3.2.3 校正事業者および試験所認定制度への取り組み	52
3.2.4 環境計量証明事業の登録	53
3.3 機器整備	54
3.3.1 機器整備一覧	54
3.3.2 経済産業省平成 28 年度補正予算事業による機器整備	55
3.4 機器利用	56
3.4.1 機器利用ライセンス制度	57
3.4.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での 予約申し込み受け付けの提供	57
3.5 災害復興支援	58

3.5.1	都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免	58
3.5.2	工業製品等の放射線量測定試験	58
3.5.3	東京都との協定に基づく放射線量測定試験	59
3.5.4	節電・省エネ技術支援の実施	59
3.5.5	公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業	59
3.6	高付加価値開発支援	60
3.6.1	3Dものづくりセクター	60
3.6.2	先端材料開発セクター	61
3.6.3	複合素材開発セクター	62
3.6.4	オーダーメイド開発支援	63
3.6.5	製品開発支援ラボ	64
3.6.6	共同研究開発室	65
3.7	品質評価支援（実証試験セクター）	66
3.8	技術経営支援	67
3.8.1	知的財産権の取得	67
3.8.2	技術審査	94
3.8.3	海外展開技術支援	95
4.	多様な主体による連携	
4.1	産学公金連携	101
4.1.1	東京イノベーションハブの活用	101
4.1.2	マッチングの場の提供	103
4.1.3	異業種交流事業	103
4.1.4	業種別交流会	105
4.1.5	技術研究会	105
4.2	行政等支援機関連携	107
4.2.1	協定・覚書締結一覧	107
4.2.2	区市町村などとの連携	109
4.2.3	金融機関との連携	111
4.2.4	大学・研究機関等との連携	112
4.2.5	首都圏公設試験研究機関との連携	114
4.2.6	公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携	116
4.2.7	産業技術連携推進会議	117
4.2.8	学協会連携事業	121
5.	東京の産業を支える産業人材の育成	
5.1	技術セミナー・講習会	122
5.2	オーダーメイドセミナー	131
5.3	講師・委員等の派遣	132
5.3.1	委員等の派遣	132
5.3.2	講師等の派遣	132

5.4	インターンシップなどの受け入れ	133
5.4.1	インターンシップ	133
5.4.2	研修学生の受け入れ	134
6.	情報発信・情報提供の推進	
6.1	イベント開催	135
6.1.1	TIRI クロスミーティング	135
6.1.2	施設公開	140
6.1.3	産業交流展	142
6.1.4	その他イベント	142
6.2	見学	143
6.3	展示会出展およびセミナーの開催	143
6.3.1	展示会出展	143
6.3.2	ものづくりセミナー	145
6.4	刊行物	147
6.4.1	刊行物	147
6.4.2	年報	148
6.4.3	研究報告	148
6.4.4	TIRI News	149
6.5	都産技研ウェブサイト	149
6.6	都産技研メールニュース	150
6.7	マスコミ報道	151
6.8	図書室	172
7.	業務運営	
7.1	組織運営	173
7.1.1	都産技研戦略ロードマップ	173
7.1.2	業務改革	173
7.1.3	人材育成	174
7.2	都産技研情報システム	174
7.2.1	概要	174
7.2.2	業務運営	174
7.3	業務実績報告書と業務実績評価	175
7.3.1	業務実績報告書の提出	175
7.3.2	業務実績評価	175
7.4	施設整備	178
7.4.1	本部	178
7.4.2	城東支所	178
7.4.3	墨田支所 生活技術開発セクター	179
7.4.4	城南支所	179
7.4.5	多摩テクノプラザ	179

7.5 安全衛生管理	180
7.5.1 放射線安全管理	180
7.5.2 安全衛生管理	183
7.5.3 リスクマネジメント	184
7.6 情報開示	184

## 資料

1 沿革	185
2 施設	186
3 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	193
4 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章	194
5 環境方針	195
6 リスクマネジメントに関する基本方針	196
7 第三期中期計画	197
8 平成 28 年度計画	210
9 職員名簿	222

# 1. 概 要

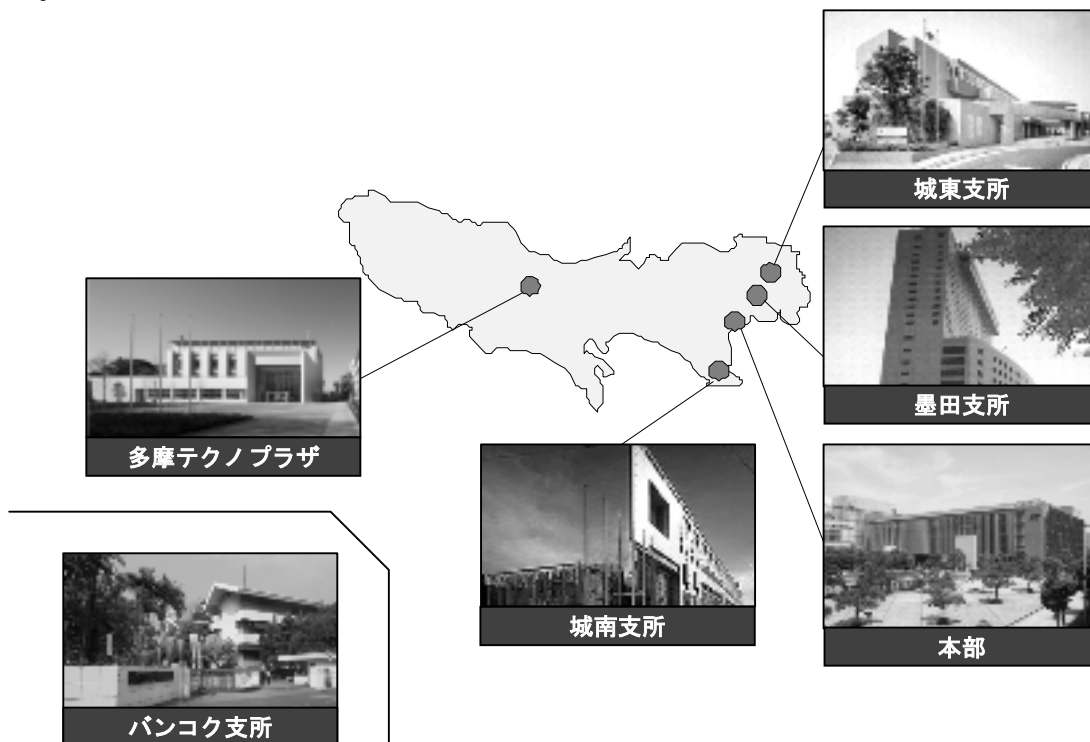
## 1.1 概要

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は平成 18 年 4 月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行した公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）である。平成 27 年度で第二期中期計画期間の 5 年が終了し、平成 28 年度から第三期中期計画期間を開始した。第三期では、第二期で得られた事業成果を有効活用しつつ、研究開発活動によって東京の成長産業支援を図るとともに、開発型中小企業支援をより充実させる。この第三期においては、従来以上に都内中小企業の技術支援を強化すべく、5 つの方針に基づき活動している。

- (1) 研究開発活動による東京の成長産業支援
- (2) プロダクトイノベーションの推進による開発型中小企業の支援
- (3) 中小企業の海外展開を支える技術支援
- (4) 多様な機関との交流連携の推進
- (5) 高度な産業人材の育成

平成 28 年度は、ロボットの試作開発から安全・信頼性評価まで行う「東京ロボット産業支援プラザ」を 4 月に全面オープンした。また、新製品開発などに取り組む中小企業に対する技術支援を強化するため、「3D ものづくりセクター」、「先端材料開発セクター」、「複合素材開発セクター」を新設した。さらに、複合素材分野に参入する中小企業を素材開発から評価まで総合的に支援するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発サイト」を 7 月に開設した。

都産技研は都民の期待に応えつつ、中小企業に対する事業化支援、研究開発、技術移転、人材育成などの総合的な技術支援によって、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



## 1.2 組織



注1：( )内の数字は職員数。ワイドキャリア (12日型、時間型)を含む。(平成29年3月31日現在)

注2：理事\*1は開発本部長を兼務。理事\*2は事業化支援本部長および地域技術支援本部長を兼務。経営企画部長は経営企画室長および経営情報室長、技術経営支援部長は国際化推進室長、開発第一部長は機械技術グループ長、開発第二部長は表面・化学技術グループ長、開発第三部長はデザイン技術グループ長、開発第三部主席研究員は生活技術開発セクター長および墨田支所長、技術開発支援部長は実証試験セクター長、多摩テクノプラザ所長は電子・機械グループ長をそれぞれ兼務。



## 2. 研究開発の推進

平成 28 年度から始まった第三期中期計画では、東京の将来の活力を支える成長産業分野である「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の4つの技術分野を重点として、研究開発活動によって都内中小企業の新事業への展開などを促進する。

平成 28 年度は、基盤研究 108 テーマ、共同研究 37 テーマ、競争的資金導入研究 42 テーマ、受託研究 12 件を実施した。これらの研究成果については、国内外の学協会などにおいて公表と普及に努めた。

### 2.1 基盤研究……………108 テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

平成 28 年度開始分

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
	① 環境・エネルギー分野			
1	小容量BLDCモータドライバの開発	電気電子技術G	西澤裕輔、重松宏志	H28. 10～H29. 9
2	軽量な建材の小試料による音響透過損失予測手法の確立	光音技術G	西沢啓子、渡辺茂幸、 神田浩一	H28. 10～H29. 9
3	熱処理木材の表層劣化とその防止	表面・化学技術G	村井まどか、石田祐也、 佐熊範和、木下健司	H28. 10～H29. 9
4	電子部品用バレルクエン酸ニッケルめっき浴における金属不純物の影響	表面・化学技術G	桑原聡士、竹村昌太、 浦崎香織里、土井 正	H28. 10～H29. 9
5	製品化に向けた低温VOC処理触媒の最適化	環境技術G 先端材料開発S	井上研一郎 染川正一	H28. 10～H29. 9
6	RoHS指令に対応したフタル酸エステル類分析法の適用範囲拡大	環境技術G 表面・化学技術G	池田紗織、中澤亮二、 亀崎 悠 木下健司	H28. 10～H29. 9
7	第一原理計算による2次元原子層デバイスのデザイン	電気電子技術G	太田優一	H28. 4～H29. 3
8	実用性を有する簡易型球形光束計の開発	光音技術G	澁谷孝幸、横田浩之、 秋葉拓也、岩永敏秀	H28. 4～H29. 3
9	角度選択性を有する微細光吸収構造の設計	光音技術G 先端材料開発S	磯田和貴 海老澤瑞枝	H28. 4～H29. 3
10	塗装工場の環境負荷低減及び廃棄物再利用可能性の検討	環境技術G 表面・化学技術G 城東支所	田熊保彦、小坂幸夫、 森久保 諭 村井まどか 安藤恵理	H28. 4～H29. 3
11	排水規制に対応する垂鉛めっき排水処理技術の開発	環境技術G	森久保 諭、小坂幸夫、 田熊保彦、吉野 徹	H28. 4～H29. 3
12	高効率な有機薄膜太陽電池を目指したフラーレン材料のチューニング	先端材料開発S	小汲佳祐	H28. 4～H29. 3
13	炭素繊維強化プラスチック-金属-水相相互作用における化学的現象の解析	複合素材開発S	杉森博和、小野澤明良、 棚木敏幸	H28. 4～H29. 3
14	CFRPへのめっき前処理技術の開発	複合素材開発S 表面・化学技術G	水元和成 桑原聡士	H28. 4～H29. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
② 生活技術・ヘルスケア分野				
15	蛋白質凝集疾患および固形がんにおける画期的早期確定診断システムの開発	バイオ応用技術G	八谷如美、紋川 亮	H28. 10～H29. 9
16	観察工学を用いた生活製品に対する外国人の潜在ニーズ抽出研究	デザイン技術G 生活技術開発S	橋本みゆき、薬師寺千尋、 中田恵子、小池真生 大島浩幸	H28. 10～H29. 9
17	循環案内羽根を用いた回転ポラス体 型曝気技術の開発	機械技術G 城南支所	小西 毅 平野康之	H28. 4～H29. 3
18	体液中グルコースを利用した電気化学 バイオセンサの基盤構築	バイオ応用技術G	月精智子、瀧本悠貴、 紋川 亮	H28. 4～H29. 3
19	ナノインプリントによる深紫外LSPR用 アルミニウムナノパターンの開発	バイオ応用技術G 電気電子技術G	瀧本悠貴、月精智子、 紋川 亮 永田晃基	H28. 4～H29. 3
20	範囲線質に対応した診断用X線防護具 の減容設計	バイオ応用技術G 生活技術開発S	河原大吾、片岡憲昭 飛澤泰樹	H28. 4～H29. 3
21	In situ架橋性スポンジという新たな 医療機器コンセプトの創出およびゼラ チンを基材に用いた血管塞栓材の開発	バイオ応用技術G	成田武文、柚木俊二、 大藪淑美	H28. 4～H29. 3
22	再生医療における生細胞の保存基材開 発に向けたTIRIゼラチンを用いた細胞 休眠化の実証	バイオ応用技術G	大藪淑美、藤井恭子	H28. 4～H29. 3
23	タンパク質高透過性ゲル膜を有した隔 離培養容器の開発	バイオ応用技術G	藤井恭子、大藪淑美、 柚木俊二	H28. 4～H29. 3
24	導電性テキスタイルを活用したウェア 型生体情報モニタリングの提案	生活技術開発S デザイン技術G	添田 心、古田博一 平山明浩	H28. 4～H29. 3
25	におい識別装置を使った感覚的消臭効 果の評価方法の確立	生活技術開発S	佐々木直里、岩崎謙次	H28. 4～H29. 3
26	偏光応答による線維組織の配向評価法 の開発	先端材料開発S バイオ応用技術G 光音技術G	海老澤瑞枝 柚木俊二 磯田和貴	H28. 4～H29. 3
27	軽車両向けワイヤレス給電アンテナの 開発	電子・機械G	秋山美郷、佐野宏靖、 大森 学	H28. 4～H29. 3
③ 機能的材料分野				
28	陽極酸化処理を施したチタン及びチタ ン合金の深絞り加工	機械技術G	奥出裕亮、中村健太、 中村 勲	H28. 10～H29. 9
29	ほうろう用釉薬の改良	環境技術G 表面・化学技術G 情報技術G 城南支所	吉野 徹、宮宅ゆみ子 村井まどか、浦崎香織里 富山真一 湯川泰之	H28. 10～H29. 9
30	木粉を用いた複合材のバインダーが及 ぼす影響	デザイン技術G 実証試験S 先端材料開発S 交流連携室	酒井日出子 松原独歩 藤巻康人 島田勝廣	H28. 10～H29. 9
31	貴金属フリー酸素発生触媒の開発	先端材料開発S 城南支所	立花直樹、小林宏輝、 森河和雄、染川正一 湯川泰之	H28. 10～H29. 9
32	ナノグラフェン系新規発光物質の開発	先端材料開発S 3DものづくりS	藤巻康人、林 孝星 小金井誠司	H28. 10～H29. 9
33	摩擦攪拌プロセスを用いた粒子分散に よるハイブリッド軽金属材料の創製	機械技術G 先端材料開発S	青沼昌幸、岩岡 拓、 中村 勲、西村信司 森河和雄	H28. 4～H29. 3
34	アトマイズ法による軽元素添加Mg基合 金の強度特性	機械技術G	岩岡 拓、青沼昌幸	H28. 4～H29. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
35	環境低負荷型Ni/SiCナノ粒子複合めっきの開発	表面・化学技術G	浦崎香織里、竹村昌太、寺西義一、土井 正、桑原聡士	H28. 4～H29. 3
36	防災救護用品への応用に向けた新規造形材料の性能評価	生活技術開発S	飛澤泰樹	H28. 4～H29. 3
37	複合酸化物質量子ドット可視光応答光触媒の開発	先端材料開発S	染川正一	H28. 4～H29. 3
38	酸化チタン系インジウムフリー透明導電膜の開発	先端材料開発S	小川大輔、森河和雄	H28. 4～H29. 3
39	曲げ剛性強化サンドイッチコアの開発	電子・機械G	高橋俊也、西川康博	H28. 4～H29. 3
40	誘電体材料装荷によるホーンアンテナの指向性制御	電子・機械G 技術経営支援室	福田純子、大森 学、上野武司 伊東洋一	H28. 4～H29. 3
41	産業用繊維による高速回転体に最適な円盤形織物技術の開発	複合材料開発S 電子・機械G	水元和成、唐木由佑、窪寺健吾、谷口昌平 高橋俊也	H28. 4～H29. 3
42	CFRPと軽金属の接合強化に向けたコンポジットコーティング剤の開発	複合材料開発S 電子・機械G	小野澤明良、杉森博和 西川康博	H28. 4～H29. 3
④ 安全・安心分野				
43	放電評価装置の開発と評価	電気電子技術G	武内陽子、黒澤大樹	H28. 10～H29. 9
44	マイクロレンズデバイスの開発	電気電子技術G	宮下惟人、山岡英彦、永田晃基	H28. 10～H29. 9
45	フェイズドアレイアンテナに向けた要素技術の開発	電気電子技術G	近藤 崇、藤原康平、小林丈士	H28. 10～H29. 9
46	放射線センサーの実用化要素技術の開発	電気電子技術G	小宮一毅、藤原康平	H28. 10～H29. 9
47	超音波疲労試験の最適試験片形状の提案	実証試験S	新垣 翔、松原独歩、小船諭史	H28. 10～H29. 9
48	90GHz帯超広帯域送受信機の開発	電気電子技術G	藤原康平、山岡英彦、小林丈士	H28. 4～H29. 3
49	テラヘルツ連続波イメージングシステムの開発	電気電子技術G	時田幸一	H28. 4～H29. 3
50	LTCC技術を用いたガスセンサの要素技術開発	電気電子技術G	山岡英彦、小宮一毅	H28. 4～H29. 3
51	ESR-熱分解法による一重項酸素消去能の評価	バイオ応用技術G	中川清子、関口正之	H28. 4～H29. 3
52	ソフトウェア欠陥の自動検出に向けた基礎的検討	情報技術G	大原 衛	H28. 4～H29. 3
53	画像の歪曲に頑健なヒト骨格認識アルゴリズムの開発	情報技術G	三木大輔、阿部真也	H28. 4～H29. 3
54	FPGAの内部リソースを使った高性能A/D変換器の開発	情報技術G	岡部 忠	H28. 4～H29. 3
55	施工性に着目したスクリー接合具のねじ込み条件の確立	実証試験S 交流連携室 表面・化学技術G	松原独歩、新垣 翔、小船諭史 島田勝廣 樋口智寛	H28. 4～H29. 3
56	医療用モデル制作の積層造形品の接合による効率化	城南支所	石堂 均、豊島克久	H28. 4～H29. 3
57	複数クロックノイズに対応したノイズ源識別システムの開発	電子・機械G 情報技術G	佐野宏靖、佐々木秀勝 金田泰昌	H28. 4～H29. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
	⑤ ものづくり要素技術			
58	レーザー焼結技術の省エネルギー化および低コスト化に向けた新手法の確立	3DものづくりS 表面・化学技術G 環境技術G 城東支所	山内友貴、小金井誠司 安田 健 吉野 徹 木暮尊志	H28. 10～H29. 9
59	種々の造形条件で作製した金属AM材への熱処理最適化	3DものづくりS	大久保 智、千葉浩行、 藤巻研吾	H28. 10～H29. 9
60	VCMMにおける不確かさ推定の検証	3DものづくりS 城南支所	中西正一、三浦由佳 樋口英一	H28. 10～H29. 9
61	キセノンフラッシュアナライザーを用いた比熱容量測定方法の確立	実証試験S	佐々木正史、沼尻治彦、 倉持幸佑	H28. 10～H29. 9
62	遮断電流測定手法の確立	実証試験S	倉持幸佑、佐々木正史、 沼尻治彦	H28. 10～H29. 9
63	非接触三次元測定機の精度チェック用ゲージの開発	城南支所 3DものづくりS 電子・機械G	樋口英一 中西正一、三浦由佳 村上祐一	H28. 10～H29. 9
64	難加工材用ダイヤモンド工具の急速共擦り研磨法の開発	城南支所 機械技術G 3DものづくりS	平野康之 中村健太 藤巻研吾	H28. 10～H29. 9
65	現場環境における三次元測定機のレーザー干渉測長器を用いた温度補正の評価	電子・機械G	大西 徹、村上祐一	H28. 10～H29. 9
66	低周波ノイズを測定可能とする広帯域EMI簡易測定用アンテナの開発	電子・機械G	高橋文緒、大森 学、 佐野宏靖、村上祐一	H28. 10～H29. 9
67	レーザー焼結による造形物の電氣的絶縁性能評価	電気電子技術G 3DものづくりS	新井宏章 山内友貴	H28. 10～H29. 9
68	超音波探傷法を応用した金属材料の加工変質層検出法の確立	機械技術G	西村信司、伊藤 清、 青沼昌幸	H28. 10～H29. 9
69	コンピュータ合成ホログラム(CGH)を用いた平面精度の測定方法および精度評価方法の検討	3DものづくりS	中村弘史	H28. 10～H29. 9
70	LA-ICP-MSによる元素イメージング分析	城南支所	林 英男、湯川泰之	H28. 10～H29. 9
71	ナットを用いないねじ締付け時の座面摩擦係数測定方法の検討	城東支所	櫻庭健一郎	H28. 10～H29. 9
72	鉄鋼材料の磁粉探傷と反磁界係数	機械技術G	伊藤 清、西村信司	H28. 4～H29. 3
73	高強度材料の成形性試験におけるデータベース構築	機械技術G	奥出裕亮、中村健太	H28. 4～H29. 3
74	セルフセンシングアクチュエータによる電動工具の振動低減	機械技術G	福田良司	H28. 4～H29. 3
75	樹脂粉末AMにおける積層後工程の高速化	3DものづくりS	小林隆一、小金井誠司、 山内友貴	H28. 4～H29. 3
76	X線CTにおける校正治具の開発	3DものづくりS バイオ応用技術G 城南支所	中西正一 紋川 亮 竹澤 勉	H28. 4～H29. 3
77	X線CT装置を用いた内部寸法・肉厚測定によるリバースエンジニアリング技術の高度化	城南支所	竹澤 勉、樋口英一	H28. 4～H29. 3
78	レーザーアブレーションICP質量分析法による樹脂材料中の有害元素濃度の定量	城南支所	湯川泰之、林 英男、 上本道久	H28. 4～H29. 3
79	繊維製品評価のための標準白布の仕上げ条件の適正化	複合素材開発S  開発企画室	小柴多佳子、中島 茂、 小林研吾、岡田明子、 渡辺世利子 朝倉 守	H28. 4～H29. 3

平成 27 年度開始分（継続課題）

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
① ナノテクノロジー分野				
80	プラズモン共鳴デバイスの開発	電気電子技術G	永田晃基	H27. 10～H28. 9
② エレクトロニクス分野				
81	高電圧試験時における労働安全衛生に関する検討	電気電子技術G	黒澤大樹	H27. 10～H28. 9
③ システムデザイン分野				
82	金属粉末積層造形におけるレーザー入熱制御による造形品質および機械的性質の向上	3DものづくりS	千葉浩行、横山幸雄、 藤巻研吾、大久保 智	H27. 10～H28. 9
83	木粉を用いた材料開発	デザイン技術G 実証試験S 交流連携室	酒井日出子 松原独歩 島田勝廣	H27. 10～H28. 9
84	輸送梱包における振動低減	電子・機械G 3DものづくりS 機械技術G	岩田雄介、西川康博 阿保友二郎 福田良司	H27. 10～H28. 9
④ 環境・省エネルギー分野				
85	クロムめっき製品の止り穴形状に対する残留六価クロムの汚染リスク評価	城東支所 環境技術G  先端材料開発S 表面・化学技術G	安藤恵理 中澤亮二、田熊保彦、 小坂幸夫、森久保 諭 小林宏輝 浦崎香織里、桑原聡士	H27. 10～H28. 9
86	複層ガラス再資源化技術の開発（2）	環境技術G 先端材料開発S 実証試験S	中澤亮二、上部隆男、 井上研一郎 小林宏輝 田中真美	H27. 10～H28. 9
87	低温VOC処理触媒の調製とキャラクターリゼーション	環境技術G 先端材料開発S	井上研一郎 染川正一	H27. 10～H28. 9
88	GD-MS分析を用いたレアメタル金属中の微量成分の定量と循環利用に向けた材料評価	城南支所	山田健太郎、湯川泰之、 上本道久	H27. 10～H28. 9
⑤ バイオ応用分野				
89	【プロジェクト型研究】 Collagen-Fiber-Reinforced Collagen (CFRC) 技術の開発：医療機器 開発における都産技研モデルの確立 にむけて	バイオ応用技術G 先端材料開発S 城南支所	柚木俊二、成田武文、 大藪淑美 海老澤瑞枝 豊島克久、玉置賢次、 上本道久	H27. 10～H29. 9
90	【プロジェクト型研究】 高感度かつ高精度なバイオマーカー 探索技術の開発	バイオ応用技術G 3DものづくりS 城南支所	紋川亮、月精智子、 瀧本悠貴 中西正一 梶山哲人、樋口英一	H27. 10～H30. 9
⑥ EMC半導体分野				
91	EFT/Bに対する耐性を向上させる設計 手法の検証	電子・機械G	佐々木秀勝、大森 学、 佐野宏靖	H27. 10～H28. 9
⑦ 品質強化分野				
92	商品展示用ディスプレイ向け静電 植毛加工技術と評価方法の検討	城東支所	長谷川 孝、宇井 剛、 殿谷保雄	H27. 10～H28. 9
93	生活環境を考慮したサポーターの実 用性評価技術の確立	生活技術開発S	菅谷紘子、岩崎謙次	H27. 10～H28. 9
94	産業用繊維資材の汚染ガスと光によ る複合試験	複合素材開発S	岡田明子、小柴多佳子、 堀江 暁	H27. 10～H28. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
⑧ ものづくり基盤技術分野				
95	アークアシストグロー放電を利用した非鉄金属材料のプラズマ窒化に関する研究	機械技術G	中村 勲	H27.10～H28. 9
96	チタンの深絞り加工におけるドライ・セミドライ加工条件の最適化	機械技術G 城南支所	奥出裕亮、中村健太 玉置賢次、平野康之	H27.10～H28. 9
97	17-4PH粉末積層造形材の機械的性質に及ぼす熱処理の影響：造形形状と最適熱処理条件	3DものづくりS 城東支所	大久保 智、横山幸雄、 藤巻研吾、千葉浩行 櫻庭健一郎	H27.10～H28. 9
98	分光応答度測定装置に最適な試料照射系の構築	光音技術G	中田 修、岩永敏秀	H27.10～H28. 9
99	背景騒音下で発生する異音の心理音響評価手法の開発	光音技術G	宮入 徹、神田浩一、 服部 遊、西沢啓子、 渡辺茂幸	H27.10～H28. 9
100	表面改質によるセラミック材の反射率の制御	表面・化学技術G 先端材料開発S	寺西義一 海老澤瑞枝	H27.10～H28. 9
101	光硬化性樹脂AM基材へのめっき技術の確立	表面・化学技術G 電子・機械G	竹村昌太、浦崎香織里、 土井 正、桑原聡士 高橋俊也	H27.10～H28. 9
102	非結晶領域の構造制御によるPET/PTTフィルムの開発	表面・化学技術G 先端材料開発S 交流連携室 経営企画室	安田 健、佐野 森 清水研一 許 琛 山中寿行	H27.10～H28. 9
103	ほうろう用釉薬の開発	環境技術G 開発企画室 表面・化学技術G	吉野 徹、宮宅ゆみ子 大久保一宏 村井まどか	H27.10～H28. 9
104	化学強化薄板ガラスの破壊挙動の解析	環境技術G	宮宅ゆみ子、上部隆男、 吉野 徹	H27.10～H28. 9
105	マグネシウム合金の切削片を用いた板状固化成形技術の開発	実証試験S	小船諭史、新垣 翔	H27.10～H28. 9
106	研削加工の効率向上	電子・機械G	鈴木悠矢	H27.10～H28. 9
107	炭素繊維強化プラスチックによるロボット部品の成形技術の構築	複合素材開発S 電子・機械G ロボット開発S 生活技術開発S 環境技術G	谷口昌平、水元和成、 小柴多佳子、榎本一郎、 堀江 暁、窪寺健吾、 小野澤明良、岡田明子、 神谷嘉美、唐木由佑、 杉森博和、武田浩司、 中島 茂 西川康博、久慈俊夫 坂下和広 飛澤泰樹 池田紗織	H27.10～H28. 9
108	プリント技術を用いた耐衝撃性CFRPの開発	複合素材開発S 電子・機械G	武田浩司 西川康博	H27.10～H28. 9

## 2.2 共同研究……………37 テーマ

企業や業界団体、大学、他の試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、応用研究や一步進んだ技術の事業化・製品化に向けた実用研究を共同で推進することにより、効果的かつ効率的な研究成果の実現を図る研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
1	表面改質用添加剤の耐焼付き性向上メカニズムの解明	機械技術G	中村健太	H28. 11～H29. 9
2	船用高遮音性防火扉の開発	光音技術G	渡辺茂幸、宮入 徹	H28. 11～H29. 9
3	分光型耐光性試験機の開発	環境技術G 表面・化学技術G 光音技術G	濱野智子 村井まどか、石田祐也 澁谷孝幸	H28. 11～H29. 9
4	導電性ダイヤモンド電極の開発	表面・化学技術G	長坂浩志、寺西義一、 川口雅弘	H28. 11～H29. 9
5	リングASSYにおける一体成型技術の開発	表面・化学技術G	安田 健、木下健司、 佐野 森、西田 葵	H28. 11～H29. 9
6	セラミックAM技術における基礎技術の確立と商用運用時の運用条件、製造工程の最適化	3DものづくりS 電子・機械G	小林隆一、山内友貴、 横山幸雄、古杉美幸 西川康博、鈴木悠矢、 高橋俊也、村上祐一	H28. 11～H29. 9
7	多角的偏光撮像システム	先端材料開発S 光音技術G	海老澤瑞枝 磯田和貴	H28. 11～H29. 9
8	新規成膜プロセスを用いた高機能CVD-DLC膜の開発	城東支所 表面・化学技術G	徳田祐樹 川口雅弘	H28. 11～H29. 9
9	広帯域小型・軽量アンテナの開発	電子・機械G 電気電子技術G	高橋文緒、福田純子、 大森 学 渡部雄太	H28. 11～H29. 9
10	色彩に優れるポリオレフィン釣糸の開発(2)	複合素材開発S	榎本一郎、池田善光	H28. 11～H29. 9
11	IEEE802. 11ad評価システム用アップコンバータの製品化を目指したプロトタイプ化	電気電子技術G	藤原康平、山岡英彦、 小林丈士	H28. 5～H29. 3
12	ハンディタイプの拡散反射透過材測定器の開発	光音技術G	横田浩之、澁谷孝幸、 秋葉拓也、岩永敏秀	H28. 5～H29. 3
13	回転機械用メカニカルシール製品への応用を目的とした多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発	表面・化学技術G	長坂浩志、寺西義一、 川口雅弘	H28. 5～H29. 3
14	架橋ポリマーの吸水・膨潤現象を利用したゲルス Tent の創出とその医学的検証	バイオ応用技術G	永川栄泰、柚木俊二、 中川清子	H28. 5～H29. 3
15	乳がん検診で使用可能な乳腺専用X線CT装置開発に関する研究	バイオ応用技術G	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴	H28. 5～H29. 3
16	長寿命かつ高効率な酵素燃料電池開発における基盤技術の確立	バイオ応用技術G 複合素材開発S	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴 杉森博和	H28. 5～H29. 3
17	魚鱗の爆砕による高収率なコラーゲン・ゼラチン製造方法の開発	バイオ応用技術G	成田武文、藤井恭子、 畑山博哉、柚木俊二	H28. 5～H29. 3
18	リーク気泡の検知の自動化	情報技術G	阿部真也、三木大輔、 大原 衛、富山真一	H28. 5～H29. 3
19	里山探索における携行型残存汚染箇所検出システムの開発	情報技術G	中川善継、村上知里	H28. 5～H29. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
20	リハビリテーション患者のための動作支援ロボティックウェアの開発	デザイン技術G	加藤貴司、平山明浩、大泉幸乃	H28. 5～H29. 3
21	人体計測に関する研究	生活技術開発S	後濱龍太、島田茂伸	H28. 5～H29. 3
22	遅延膨張性エトリンタイトによるコンクリート劣化メカニズムの解明	先端材料開発S 環境技術G	渡邊禎之 吉野 徹	H28. 5～H29. 3
23	φ0.1mmシース熱電対による多点式温度センサの開発	実証試験S バイオ応用技術G	沼尻治彦、佐々木正史、 倉持幸佑 河原大吾	H28. 5～H29. 3
24	外観デザインにトポロジー最適化を活用したマイクロEVキッチンカーの開発	城東支所 デザイン技術G	上野明也 橋本みゆき	H28. 5～H29. 3
25	金属テキスタイルで強化した高温用ダイヤフラムの開発	複合素材開発S 生活技術開発S	唐木由佑、窪寺健吾 飛澤泰樹	H28. 5～H29. 3
26	eテキスタイルを用いたき裂検知センサの開発	複合素材開発S 電子・機械G 技術経営支援室	窪寺健吾、峯 英一 佐野宏靖、高橋俊也 伊東洋一	H28. 5～H29. 3
27	省エネ小型軟X線管球の開発	先端材料開発S	柳 捷凡、染川正一	H27. 11～H28. 9
28	外国人向け観光情報推薦システムの開発	情報技術G	阿部真也、三木大輔	H27. 11～H28. 9
29	施設園芸向け無線式モニタリングシステムの開発	電子・機械G	仲村将司、佐野宏靖、 秋山美郷	H27. 11～H28. 9
30	ガラスカレット工場から排出される汚泥の減量技術の開発	実証試験S 環境技術G 先端技術開発S	田中真美 中澤亮二 小林宏輝	H27. 11～H28. 9
31	ホウ素含有量を削減した穴あき電極の開発	電気電子技術G	小宮一毅、藤原康平、 小林丈士	H27. 11～H28. 9
32	船舶用遮音性防火扉の開発	光音技術G	渡辺茂幸、西沢啓子、 宮入 徹、服部 遊、 神田浩一	H27. 11～H28. 9
33	現場環境における三次元測定機の寸法の違いを用いた温度補正の確立	電子・機械G	大西 徹、村上祐一	H27. 11～H28. 9
34	固体潤滑皮膜と潤滑剤の組合せ効果の解明	機械技術G	中村健太	H27. 11～H28. 9
35	高温域における熱電対校正技術の開発	実証試験S	沼尻治彦、佐々木正史、 倉持幸佑	H27. 11～H28. 9
36	新規成膜プロセスを用いた高機能CVD-DLC膜の開発	城東支所 表面・化学技術G	徳田祐樹 川口雅弘	H27. 11～H28. 9
37	色彩に優れるポリオレフィン釣糸の開発	複合素材開発S	榎本一郎	H27. 11～H28. 9

所属は平成 28 年 5 月 1 日現在



## 2.3 外部資金導入研究・調査

### 2.3.1 提案公募型研究……………42 テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においてはその積極的な獲得に努めている。

平成 28 年度に獲得・実施した研究は、文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」をはじめ、以下のとおりである。

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
1	H26	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	実証試験 S 城東支所 開発第一部 機械技術 G	松原独歩 木暮尊志 三尾 淳 中村 勲
2	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	情報技術 G バイオ応用技術 G 3D ものづくり S	富山真一 紋川 亮 中西正一
3	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	光音技術 G	服部 遊 渡辺茂幸 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一
4	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	先端材料開発 S	森河和雄
5	H25	環境研究総合推進費	環境省	城南支所	梶山哲人
6	H27	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	農林水産省	実証試験 S	松原独歩
7	H26	SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)/革新的設計生産技術	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	3D ものづくり S 城東支所	横山幸雄 山内友貴 木暮尊志
8	H24	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(A)	(独)日本学術振興会	機械技術 G	島田茂伸
9	H25	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)	(独)日本学術振興会	複合素材開発 S	神谷嘉美
10	H25	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
11	H25	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(S)〔分担〕	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	川口雅弘
12	H26	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
13	H26	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	川口雅弘
14	H26	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	電気電子技術 G	渡部雄太
15	H26	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	複合素材開発 S	神谷嘉美
16	H26	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二 大藪淑美
17	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	城東支所	徳田祐樹
18	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦の萌芽研究	(独)日本学術振興会	先端材料開発 S	林 孝星 渡辺洋人 染川正一 藤巻康人

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
19	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究	(独)日本学術振興会	複合素材開発 S 電子・機械 G	榎本一郎 唐木由祐 武田浩司 高橋俊也
20	H27	学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	城南支所	林 英男
21	H27	学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	城南支所	林 英男
22	H27	学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	永川栄泰 櫻井 昇
23	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	樋口智寛
24	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	環境技術 G	小沼ルミ
25	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究	(独)日本学術振興会	機械技術 G	奥出裕亮
26	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	大藪淑美
27	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	紋川 亮
28	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	情報技術 G	村上知里
29	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	情報技術 G	金田泰昌
30	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	生活技術開発 S	大島浩幸
31	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	環境技術 G	吉野 徹
32	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	八谷如美
33	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二 成田武文
34	H28	学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	先端技術開発 S	森河和雄
35	H28	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 S	川口雅弘
36	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	八谷如美
37	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	八谷如美
38	H28	研究助成	(公財)スガウエザリング技術振興財団	複合素材開発 S 技術経営支援室	窪寺健吾 峯 英一 武田浩司 小野澤明良 伊東洋一
39	H28	精密測定技術向上のための調査・研究事業	(公財)精密測定技術振興財団	電子・機械 G	大西 徹
40	H28	研究成果最適展開支援プログラム A-STEP ステージII:シーズ育成タイプ	(独)科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	大藪淑美 柚木俊二 藤井恭子
41	H28	難治性疾患実用化研究事業	(国研)日本医療研究開発機構	バイオ応用技術 G	八谷如美
42	H28	奨励研究助成	(公財)天田財団	実証試験 S	小船諭史

### 2.3.2 受託研究……………12件

受託研究は企業からの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、企業の緊急な技術課題に対して即応できるという特長がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いこともこの研究の特長の一つである。

平成28年度は、12件の研究・調査を実施し、5,000,750円の受託研究費を受け入れた。

## 2.4 ロボット産業活性化事業

中小企業のロボット産業への参入を支援するため、平成27年4月より、「ロボット産業活性化事業」を開始した（事業推進根拠：東京都長期ビジョン）。

本事業では、案内支援、産業支援、点検支援、介護支援の4分野におけるロボットの実用化を推進するための支援を行うとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて東京のロボット技術を発信する契機とし、中小企業のロボット産業への参入を後押しする。

### (1) 東京ロボット産業支援プラザ

ロボットの試作開発から安全性の評価までに対応する新しいロボット支援拠点「東京ロボット産業支援プラザ」をテレコムセンター内に開設した。

各階の用途と主な導入機器・施設

階数	用途および導入機器・設備
1階	試作開発エリア、走行性試験エリア、強度試験エリアに分け、ロボットの試作開発から各種評価に対応。超大型樹脂溶融AM、複合環境振動試験機、傾斜路走行試験装置、ドラム型走行耐久試験機等を導入
2階	住宅（リビング、和室、キッチン、浴室・トイレ）やコンビニエンスストアを模擬した疑似実証実験スペース、職員執務室を配置
3階	電気的安全性の試験（EMC試験室）、共同研究開発室（3室）、セミナーやデモンストレーション実施のためのスペースを配置

平成28年4月20日に「東京ロボット産業支援プラザ」の開所式を開催した。式典には関係機関や工業団体、中小企業等を招待し、都産技研の保有技術や試験設備・機器等を紹介する講演会や施設見学会を実施した。参加者数は開所式典109名、講演会149名、施設見学会147名であった。

### (2) 技術開発

#### 1) 基盤研究および実証研究

ロボット開発に関する基盤的で汎用性の高い技術開発や実証環境を求めてロボットを試作開発するための研究開発に取り組んだ。

平成 28 年度開始 基盤研究および実証研究テーマ一覧

種別	テーマ名	主担当者名	期間
実証	JIS B 8446-1 に適合した自律移動案内ロボットとその試験方法の開発	村上真之	H28. 10～H29. 9
実証	安全認証に対応した本質安全ベース自律移動案内ロボットの軽量化及び量産化方法の検討	小林祐介	H28. 10～H29. 9
基盤	バッテリー内蔵型ロボットの充電方式の調査・検討・試作	佐藤 研	H28. 10～H29. 9
実証	事業化向け音声処理フロントエンドの開発と自己位置推定の強化	武田有志	H28. 10～H29. 9
基盤	移動ロボットに搭載可能なマニピュレータの自律制御システムの開発	佐々木智典	H28. 10～H29. 9

2) 共同研究

企業や業界団体などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、ロボットの実用化や事業化に向けた研究開発に取り組んだ。

平成 28 年度開始 共同研究テーマ一覧

テーマ名	主担当者名	期間
マスコット型案内ロボットの百貨店内の案内活用に向けた実証検証	大泉 悟	H28. 6～H29. 5
先導型案内ロボットの低消費電力化と顔認識によるユーザビリティの向上	武田有志	H29. 2～H29. 9

3) 公募型共同研究開発事業

日本国内からロボットを開発・活用して事業化を目指す中小企業を公募し、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究開発事業」を実施した。

平成 28 年度開始 事業テーマ一覧

短期展開型（事業期間：1 年 委託上限額：1,000 万円）

分野	事業者名（所在地）	事業テーマ名
案内支援	iPresence(同) 〈兵庫県神戸市東灘区〉	テレプレゼンスロボット(分身ロボット)を活用したバーチャル観光システムの開発
産業支援	(株)Doog 〈茨城県つくば市〉	追従運搬ロボットの牽引機能の開発
産業支援	(株)プリンシプル 〈三重県津市〉	施設内の自動搬送ロボットシステムの開発
介護支援	(株)レイトロン 〈大阪府大阪市中央区〉	失語症者向けリハビリテーションロボットの開発

新市場創出型（事業期間：3年 委託上限額：3,000万円）

分野	事業者名〈所在地〉	事業テーマ名
案内支援	(株)日本ビジネスソフト 〈長崎県佐世保市〉	ホテルでの自律型走行可能な案内ロボットの開発
産業支援	プロアクシアコンサルティング(株) 〈大阪府大阪市北区〉	ロボット向け会話機能の高機能化と事業化
点検支援	(有)アストロン 〈茨城県鹿嶋市〉	係留型ロボット飛行船による安全な法面検査
点検支援	ブルーイノベーション(株) 〈東京都千代田区〉	送電線・鉄塔点検用 ドローンナビゲーションシステム
点検支援	(株)メルティンMMI 〈東京都渋谷区〉	既設大型風力発電機のブレードに対する 点検/塗装の自動化
介護支援	(有)デザインスタジオライフフォーム 〈東京都中野区〉	同調制御を用いた歩行支援ロボティックウェア curaraの実用化研究

テーマ設定型（事業期間：1年 委託上限額：3,000万円）

分野	事業者名〈所在地〉 〔実証実験場所〕 【共同体メンバー】	事業テーマ名
案内支援	08 ワークス(株)〈東京都品川区〉 〔(株)バルコ〕 【日本ユニシス(株)】	商業施設における案内業務と店舗業務効率化
案内支援	(株)プラネックス〈東京都墨田区〉 〔すみだ北斎美術館〕 【墨田区、(有)ソリューションゲート】	美術館来館者向け施設案内ロボットの開発

(3) 事業化支援

都産技研の研究開発成果や試作開発ロボットを広く周知し、事業への参画を促すとともに、共同開発企業の拡販を支援するために「Japan Robot Week 2016」に出展した。

また、ロボットユーザー企業を発掘し日本各地でロボットの活用・導入を促進するため、地方創生加速化交付金を活用した東京都補助事業「ロボット実用化プロモーション」に取り組んだ。都外で開催される展示会6件、自治体等の支援機関が主催する発表会など12件に参加した。

ロボット実用化プロモーションで出展した展示会・発表会等一覧

	展示会・発表会等名称	会期	開催場所
展示会	サービスロボット開発技術展 2016	5月26日・27日	インテックス大阪
	第19回 国際福祉健康産業展 ウェルフェア 2016	6月2日～4日	ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)
	国際フロンティア産業メッセ 2016	9月8日・9日	神戸ポートアイランド (神戸国際展示場)
	2016 中部ロジスティックスソリューションフェア	10月6日～8日	ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)
	第18回 図書館総合展	11月8日～10日	パシフィコ横浜
	[九州]外食ビジネスウィーク 2016	11月15日～17日	マリンメッセ福岡
発表会など	第9回 生活を豊かにするロボットビジネス研究会	5月25日	京都市サーチパーク
	ロボットフォーラム 2016	9月2日	東葛テクノプラザ
	埼玉県産業技術センターオープンラボ	9月27日	埼玉県産業技術総合センター
	いさいき健康・福祉フェア 2016	10月14日～16日	アクセスサッポロ
	北陸技術交流テクノフェア 2016	10月20日・21日	福井県産業会館
	神奈川 R&D 「かながわロボットミーティング」 神奈川版オープンイノベーション『ロボット研究会フォーラム』	10月26日	神奈川県産業技術センター
	産業フェア in 善光寺平 2016	10月28日・29日	長野市ビックハット
	けいはんな情報通信フェア 2016	11月10日～12日	けいはんなプラザ
	ロボットフェスタふくしま 2016	11月19日	ビッグパレットふくしま
	みやぎ高度電子機械産業振興協議会 平成28年度第2回ロボットセミナー	11月29日	仙台国際センター
	産学官連携フェア 2016 みやぎ_ビジネスマッチング展示会	11月29日	仙台国際センター
	広島県産業用ロボット活用高度化研究会 第8回研究会	12月12日	ホテルセンチュリー21 広島

(4) ロボット産業人材育成

ロボット開発や導入への興味喚起、ロボットに関する最新の技術情報を提供するため、「ロボット産業活性化事業セミナー」を3回開催した(5.1 技術セミナー・講習会参照)。

(5) 外部機関との連携

1) 自治体・産業支援機関等

ロボット産業における情報共有や実用化に向けた課題解決を図るため、日本ロボット工業会ロボットビジネス推進協議会、バイエリアおもてなしロボット研究会等の活動に参加し、意見交換を行った。また、自治体等が主催する見学会やセミナー等に協力し、本事業や東京ロボット産業支援プラザの紹介を行った。

ふちゅうテクノフェア(10月)、江東区施設見学会・セミナー・交流会(11月)、荒川区連携セミナー(11月)、八王子市先端技術セミナー(11月)

2) オリンピック・パラリンピック関連

多言語対応・ICT化推進フォーラム in 多摩(7月)、多言語対応・ICT化推進フォーラム(12月)に参加し、多言語対応に取り組む区市町村、道府県の職員を対象に案内ロボットの实演を通じ、観光やインバウンドでの利用提案を行った。

## 2.5 生活関連産業支援

デザイン技術・人間特性（行動特性・健康・感性）・情報技術を融合し、生活の質（QOL）を高める人間中心の製品やサービス創出のための研究開発・技術支援の取り組みを開始した。

これにより、東京に集積している健康・医療・福祉機器産業の支援を充実させた。また、クールジャパン製品に代表されるような生活関連製品の付加価値を向上させ、新たな市場開拓を図った。今後、製造業だけでなく小売業、サービス業の方の利用拡充につなげていく。

### (1) 技術開発

従来の情報、デザイン、品質評価分野に加えて、人間の動きや体型、感覚等に着目した製品開発、評価技術に取り組んだ。人間中心設計に関連する代表的な研究テーマは以下のとおりである。

#### （基盤研究）

監視カメラ映像からの異常検知を目的とした画像の歪曲に頑強なヒト骨格認識アルゴリズム

生活製品に対する外国人の潜在ニーズ抽出手法の検討

におい識別装置を使った感覚的消臭効果の評価方法の確立

導電性テキスタイルを活用したウェア型生体情報モニタリングの提案

#### （共同研究）

外国人向け観光情報推薦システムの開発

リハビリテーション患者のための動作支援ロボティックウェアの開発

人体のデータを利用した記録コンテンツの作成方法および視聴システムの開発

### (2) 技術支援

平成 28 年度新設の開発第三部を中心に取り組みを進めている。

#### 1) 情報技術グループ

産業用から家電製品までさまざまな分野で USB や HDMI 等の高速通信規格が採用されている。情報技術グループではこれらの規格に準拠した機器やケーブルに対し、電気的適合試験をブランド試験として実施している。

#### 2) デザイン技術グループ

生活技術開発セクターからアパレルデザイン部門を移設し、マーケティングデザイン、ユーザビリティデザインの 2 担当で商品企画から試作、販売促進まで幅広く支援をしている。

#### 3) 生活技術開発セクター

生活空間計測スタジオでは、製品使用時の人間の動きや特性を計測し、客観的なデータ収集・解析が可能である。人体への圧迫力を測定するシート型圧力測定器、筋電計や心拍計等生理計測装置、無線式の動作分析装置等の機器利用を実施している。生活製品開発ラボ（インクジェット式カラー三次元造形装置、レーザー加工機等）と連携して利用することにより、使用感の評価を反映した試作も可能である。その他、製品全体の温熱、太陽光に対する耐久性を評価する日射環境試験装置、消臭や香りつき製品等においてに関する評価も実施している。

また、人間工学系公設試との連携を強化し、全国の公設試が所有する人間生活工学関連機器を横断的に検索可能なウェブサイト、人間生活工学機器データベース DHuLE（平成 28 年 4 月公開、14 機関 132 機器登録）を運営している。

## 2.6 外部発表……………355 件

基盤研究などの成果普及は、各種学協会などの外部機関への論文投稿、口頭発表などを通じて行っている。また、依頼原稿や依頼講演を通じて成果普及を行い、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

平成 28 年度の外部発表実績は以下のとおりである。なお、執筆者、発表者には共同執筆者および共同発表者の場合も掲載している。

### 論文発表 44 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
1	ヒドロキシエチル基導入型ポリラウリルアクリレート添加油のトライボロジー特性	中村健太 他 4 名	(一社)日本トライボロジー学会	トライボロジスト Vol. 59, No. 8, pp. 507-514 (2014)
2	Detection of short range order in SiO <sub>2</sub> thin-film by grazing-incidence wide and small-angle X-ray scattering	永田晃基 他 5 名	AIP Publishing	Journal of Applied Physics Vol. 119, No. 15, p. 154103 (2016)
3	An Efficient FPGA Implementations of the PRINTCIPHER	岡部 忠	International Journal of Emerging Technologies and Innovative Research	International Journal of Emerging Technologies and Innovative Research Vol. 3, No. 4, pp. 76-85 (2016)
4	Effect of surface texture for improve the friction properties of hydrogenated amorphous carbon films	徳田祐樹 川口雅弘 他 1 名	(一社)日本トライボロジー学会	Tribology Online Vol. 11, No. 2, pp. 203-208 (2016)
5	公設試験研究機関向け技術検索エンジン	阿部真也 富山真一 大平倫宏	(一社)電子情報通信学会	電子情報通信学会論文誌 Vol. J99-D, No. 5, pp. 549-558 (2016)
6	A low-cost W-band frequency converter with a broad band waveguide-to-microstrip transducer	藤原康平 小林丈士	The European Microwave Association, IEEE MTT-S	The 9th Global Symposium on Millimeter-Waves/ IEEE DOI: 10.1109/GSMM.2016.7500319
7	Effect of the mean size of fine intermetallic compounds on the strength property of sintered magnesium alloy by gas atomization	岩岡 拓 青沼昌幸 他 1 名	(一社)粉体粉末冶金協会(JSPM), 日本粉末冶金工業会(JPMA)	粉体および粉末冶金 Vol. 63, No. 7, pp. 657-662 (2016)
8	LASSO の逐次型アルゴリズム	金田泰昌 入月康晴	(一社)電気学会	電気学会論文誌 C 編 Vol. 136, No. 7, pp. 915-922 (2016)
9	Enhancement of Fill Factor in Air-processed Inverted Organic Solar Cells using Self-Assembled Monolayer of Fullerene Catechol	小汲佳祐 他 3 名	The Japan Society of Applied Physics	Japanese Journal of Applied Physics Vol. 55, No. 8, pp. 082301-1_082301-4 (2016)
10	木材-ボルト接合における座金のめり込み挙動解析(第 1 報) 弾性床上の梁理論および木材のめり込み理論を適用した場合	松原独歩 島田勝廣 他 3 名	(一社)日本木材学会	木材学会誌 Vol. 62, No. 4, pp. 119-132 (2016)
11	HIGH DAMPING SHEAR WALLS USING WOOD FRICTION JOINTS	松原独歩 他 5 名	ウィーン工科大学	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE2016)
12	Tribological properties of polycrystalline diamond films prepared by hot-filament chemical vapor deposition methods	長坂浩志 他 4 名	IEEE Nanotechnology Council	Proceedings of the 16th International Conference on Nanotechnology pp. 616-619 (2016)
13	Synthesis of a Metal Ion Adsorbent from Banana Fibers and Its Adsorption Properties for Rare Metal Ions	梶山哲人 井上 潤 吉野 徹 他 4 名	日本イオン交換学会	Journal of Ion Exchange Vol. 27, No. 3, pp. 57-62 (2016)



No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
14	Thermal Properties of Hemp Fiber Reinforced Plant-Derived Polyamide Biomass Composites and their Dynamic Viscoelastic Properties in Molten State	山中寿行 梶山哲人 他2名	INTECH	Viscoelastic and Viscoplastic Materials pp.53-79 (2016)
15	Preparation of LiNbO <sub>3</sub> precursor solution by tetramethylammonium hydroxide dissolution method	紋川 亮 藤井恭子 中川朋恵 月精智子 瀧本悠基	日本イオン交換学会	Journal of Ion Exchange Vol. 27, No. 3, pp. 53-56 (2016)
16	Pressure dependence of (Ti, Al)N film growth on inner walls of small holes in high-power impulse magnetron sputtering	寺西義一 森河和雄 長坂浩志 他3名	Elsevier	Thin Solid Films Vol. 624, No. 28, pp. 189-196 (2017)
17	熱電対基準接点の信頼性評価	倉持幸佑 沼尻治彦 佐々木正史	(一社)電気学会	電気学会論文誌A Vol. 136, No. 10, pp. 635-640 (2016)
18	Weatherability of Polypropylene by Accelerated-Weathering Tests and Outdoor Exposure Tests in Japan	清水研一 徳田祐樹 他3名	Hindawi	Journal of Polymers Article ID 6539567 (2016)
19	DEF 膨張と水和生成物に関する研究	渡邊禎之 他4名	(公社)日本材料学会	コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム論文報告集 Vol. 16, pp. 91-96 (2016)
20	耐腐食性・低コスト・低消費電力の特長を有するフローセンサデバイスの開発	山岡英彦 永田晃基	(一社)電気学会 センサ・マイクロマシ部門	第33回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 25pm4-LN-202
21	Effect of Processing Sequence on the Dynamic Viscoelastic Properties of Ternary Biomass Composites (Hemp Fiber/ PA1010/ PA11E) in the Molten State	山中寿行 梶山哲人 他3名	AIP Publishing	AIP Conference Proceedings Vol. 1779, p. 060004 (2016)
22	Influence of types of alkali treatment on the mechanical properties of hemp fiber reinforced polyamide 1010 composites	山中寿行 梶山哲人 他3名	AIP Publishing	AIP Conference Proceedings Vol. 1779, p. 060005 (2016)
23	偏心車軸を特徴とした車輪機構の段差乗り越え性能	西川康博 鈴木悠矢	(公社)日本設計工学会	日本設計工学誌 DOI:10.14953/jjsde.2016.2694
24	Effect of Carbon Diffusion on Friction and Wear Properties of Diamond-Like Carbon in Boundary Base Oil Lubrication	川口雅弘 他7名	Elsevier	Tribology International DOI:10.1016/j.triboint.2016.10.047
25	Low temperature laser sintering of PA powder using fiber laser	山内友貴 木暮尊志 他1名	The University of Texas, The Minerals, Metals & Materials Society	Proceedings of the 26th Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium Vol. 27, pp. 2204-2216 (2016)
26	小型共晶点セルによる熱電対の高温校正	佐々木正史 沼尻治彦	(一社)電気学会	電気学会論文誌A Vol. 136, No. 12, pp. 772-777 (2016)
27	Topotactic fluorination of perovskite strontium ruthenate thin films using polyvinylidene fluoride	小川大輔 森河和雄 他8名	Royal Society of Chemistry	CrystEngComm Vol. 19, pp. 313-317 (2017)
28	阿賀野川水系における湖沼中の福島第一原発事故由来の放射性Csの経年挙動	片岡憲昭 他4名	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター 日本放射化学会 α放射体・環境放射能分科会	Proceedings of the 17th Workshop on Environmental Radioactivity KEKProceedings2016-8, October2016, pp. 43-48 (2016)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
29	In situ gelation properties of a collagen-genipin sol with a potential for the treatment of gastrointestinal ulcers	成田武文 柚木俊二 大藪淑美 他2名	Dovepress	Medical Devices: Evidence and Research Vol. 9, pp. 429-439 (2016)
30	Fullerene Cation-mediated Demethylation/Cyclization to 5- and 7-Membered Cyclo[60]fullerene Derivatives	小汲佳祐 他7名	Royal Society of Chemistry	Journal of Materials Chemistry A pp. 10. 1039 (2016)
31	Quantifying the Total Amounts of Tramp Elements Associated with Carbon Steel Production in Japan	林 英男 他6名	(一社)日本鉄鋼協会	ISIJ International Vol. 57, No. 2, pp. 388-393 (2017)
32	Shape Optimization of Chipless RFID Tags Composed of Fractal Structure	渡部雄太 他1名	IOS Press	International Journal of Applied Electromagnetics and Mechanics Vol. 52, No. 1-2, pp. 609-616 (2016)
33	反射板を有する赤外放射体の変角放射強度測定による効率性評価	磯田和貴 海老澤瑞枝 澁谷孝幸 横田浩之	(一社)電気学会	電気学会論文誌(A 基礎・材料・共通論文誌) Vol. 137, No. 1, pp. 86-87 (2017)
34	レーザ焼結したポリアミド表面の平滑化	山内友貴 木暮専志 小野澤明良	(公社)精密工学会	精密工学会誌 Vol. 83, No. 1, pp. 83-88 (2017)
35	XPS によるペロブスカイト型酸化物超微粒子触媒の酸化状態の解析	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	(公社)日本分析化学会	分析化学 Vol. 66, No. 1, pp. 11-17 (2017)
36	Highly porous nitrogen-doped carbon nanoparticles synthesized via simple thermal treatment and their electrocatalytic activity for oxygen reduction reaction	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	American Carbon Society / Elsevier	Carbon Vol. 115, pp. 515-525 (2017)
37	吹付ガン式植毛装置を用いた種々の吹付条件における植毛評価	長谷川 孝 宇井 剛 殿谷保雄	(一社)色材協会	J. Jpn. Soc. Colour Mater. (色材) Vol. 90, No. 1, pp. 11-14 (2017)
38	FPGA Implementation and Evaluation of lightweight block cipher - BORON	岡部 忠	International Journal of Engineering Development and Research	International Journal of Engineering Development and Research Vol. 5, No. 1, pp. 207-216 (2017)
39	圧粉体の抜出における金型壁面摩擦に及ぼす粉末特性の影響	岩岡 拓 他2名	(一社)粉体粉末冶金協会	粉体および粉末冶金 Vol. 64, No. 2, pp. 73-79 (2017)
40	Effect of micromorphology on transport properties of Nb-doped anatase TiO <sub>2</sub> Films: A transmission electron microscopy study	小川大輔 森河和雄 海老澤瑞枝 他3名	Wiley	Physica Status Solidi A DOI: 10.1002/pssa.201600606 (2017)
41	The New Molecular Entity Evolocumab, One Kind of PCSK9 Inhibitor, Reduce Plasma Small Size LDL-Cholesterol Levels by Using a New Standardized Method of Measuring LDL Size	柳 捷凡 他7名	Scientific Research Publishing Inc.	Open Journal of Molecular and Integrative Physiology No. 7, pp. 1-23 (2017)
42	DEVELOPMENT OF A NEW SAMPLING METHOD BY CARBON-NANOTUBE-BASED GECKO TAPE FOR PYROLYSIS-GAS CHROMATOGRAPHY/MASS SPECTROMETRY	神谷嘉美 他2名	Elsevier	JOURNAL OF ANALYTICAL AND APPLIED PYROLYSIS Vol. 122, pp. 422-428 (2016)
43	麻繊維強化植物由来ポリアミド 1010 バイオマス複合材料のトライボロジー的性質	梶山哲人 山中寿行 他4名	材料技術研究協会	材料技術 Vol. 35, No. 1, pp. 9-17 (2017)
44	The contribution of hydrothermally altered ocean crust to the mantle halogen and noble gas cycles	清水 綾 他6名	Elsevier	Geochimica et Cosmochimica Acta Vol. 183, pp. 106-124 (2016)

※論文発表は、『平成27年度年報』未掲載分を含む。

口頭発表（学協会など） 114 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	980MPa 級高張力鋼板の高精度穴あけ加工に用いる工具のコーティングと潤滑油の組合せ効果	中村健太	平成 27 年 5 月 29 日	慶應義塾大学 矢上キャンパス	(公財)天田財団 第 13 回 研究助成研究成果発表会
2	工業用純チタンと工具鋼との摩擦攪拌点接合による接合性と組織	青沼昌幸 肥澤拓也 岩岡 拓 中村 勲 森河和雄	平成 28 年 4 月 13 日	アジア太平洋トレードセンター	(一社)溶接学会 平成 28 年度春季全国大会
3	In situ で急速にゲル化する生体吸収性マテリアルのニーズと材料設計について	柚木俊二 成田武文 大藪淑美	平成 28 年 4 月 26 日	富山国際会議場・富山市 民プラザ	(一社)日本生体医工学会 第 55 回大会
4	タイムワープシミュレーションのソフトウェア若化に関する基礎的検討	大原 衛 他 1 名	平成 28 年 5 月 10 日	宇奈月杉乃井ホテル	(一社)電子情報通信学会 ディペンダブルコンピューティング研究会
5	合成 C-(A-)S-H へのアルカリ金属(Na)の収着に関する検討	渡邊禎之 他 3 名	平成 28 年 5 月 10 日	ホテルメトロポリタン	(一社)セメント協会 第 70 回セメント技術大会
6	ペン型インスリンデバイス用の安全針外し用具(仮称ノーキャップニードルリムーバー)の評価 第 2 報 看護師による臨床評価	石堂 均 他 11 名	平成 28 年 5 月 21 日	国立京都国際会館	(一社)日本糖尿病学会 第 59 回年次学術集会
7	PBIT&D 法により成膜した塩素含有 DLC 膜の摺動特性	徳田祐樹 川口雅弘 他 2 名	平成 28 年 5 月 23 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春東京
8	アルコール蒸気を添加した水素雰囲気中の摩擦フェイドアウトの長時間発現	川口雅弘 他 4 名	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春東京
9	アニール処理した ZrO <sub>2</sub> ピンによる DLC 複合膜の摩擦フェイドアウトの安定性	川口雅弘 他 4 名	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春東京
10	水素雰囲気中で摩擦フェイドアウトを発現するトライボフィルム形成の評価	川口雅弘 他 4 名	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春東京
11	フッ化 DLC 膜の撥水性・耐久性の向上に関する研究	川口雅弘 他 5 名	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春東京
12	ボロンドープ CVD ダイヤモンド膜の摩擦・摩耗特性に関する研究	長坂浩志 他 3 名	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念青 少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会 トライボロジー 会議 2016 春 東京
13	逐次型 LASSO とその設計手法	金田泰昌 入月康晴	平成 28 年 5 月 26 日	京都テルサ	(一社)システム制御情報 学会 第 60 回研究発表講 演会
14	金属材料引張試験の JNLA 登録と不確かさ評価	櫻庭健一郎	平成 28 年 6 月 3 日	ホテルグランドヒル市ヶ 谷	日本試験機工業会 第 18 回力学量標準トレーサビ リティ・ワークショップ
15	高位合成ツールを使った軽量ブロック暗号規格の性能評価	岡部 忠	平成 28 年 6 月 3 日	東京ビッグサイト	(一社)エレクトロニクス 実装学会 JPCAShow2016 アカデミックプラザ
16	A low-cost W-band frequency converter with a broad band waveguide-to-microstrip transducer	藤原康平 小林丈士	平成 28 年 6 月 7 日	フィンランド共和国 エスボー市	The European Microwave Association, IEEE MTT-S The 9th Global Symposium on Millimeter-Waves
17	3 成分系バイオマス複合材料(麻繊維/PA1010/PA11E)の機械的性質に及ぼす初期繊維長の影響	山中寿行 梶山哲人 他 4 名	平成 28 年 6 月 14 日	タワーホール船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会 第 27 回年次大 会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
18	ブラウン管パネルガラス粉末および貝殻粉末を原料とした造粒焼結体を用いたリン再循環利用システム	中澤亮二 佐々木直里 田中真美 小山秀美 平井和彦 他7名	平成28年 6月18日	東京都市大学 横浜キャンパス	(一財)日本環境学会 第42回大会
19	視線入力による雲台のパン・チルト制御手法の開発	大島浩幸 後濱龍太 武田有志 島田茂伸	平成28年 6月25日	三重県立看護大学	(一社)日本人間工学会 第57回大会
20	Performance improvement of a robot photographer using a multiple human detection system to activate the community	村上真之 坂下和広 他3名	平成28年 7月8日	中国 上海市	IEEE Workshop on Advanced Robotics and its Social Impacts
21	振動により製品から発生する異常音評価方法について	宮入 徹 神田浩一 服部 遊 福田良司	平成28年 7月14日	日本教育会館	(一財)日本科学技術連盟 第46回信頼性・保全性シンポジウム
22	木製摩擦ダンパーにおけるめり込みと摩擦に関する研究	松原独歩 他5名	平成28年 7月24日	福井大学	(一社)日本建築学会 2016年度北陸支部大会
23	Low temperature laser sintering of PA powder using fiber laser	山内友貴 木暮尊志 他1名	平成28年 8月10日	テキサス大学 オースティン校	Metals & Materials Society 2016 Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
24	木製摩擦ダンパーを有する高減衰耐力壁の振動台試験に基づく弾塑性地震応答解析	松原独歩 他5名	平成28年 8月25日	福岡大学	(一社)日本建築学会 2016年度大会(九州)
25	クラスタアクチュエーションを用いた振動試験用垂直加振台の基礎的検討	福田良司	平成28年 8月26日	山口大学 常盤キャンパス	(一社)日本機械学会 機械力学・計測制御部門 Dynamics and Design Conference 2016
26	放射線照射-ESR法を用いたコーヒー酸のOHラジカル消去能評価	中川清子 関口正之	平成28年 8月27日	名城大学	(公社)日本食品科学工学会 第63回大会
27	Pd-C 共晶点を用いた熱電対校正技術の開発	沼尻治彦 佐々木正史 倉持幸佑 他1名	平成28年 9月1日	近畿大学 和歌山キャンパス	(公社)計測自動制御学会 第33回センシングフォーラム計測部門大会
28	小型化された共晶点セルの実現とその評価	佐々木正史 沼尻治彦	平成28年 9月1日	近畿大学 和歌山キャンパス	(公社)計測自動制御学会 第33回センシングフォーラム計測部門大会
29	自動測定システムを用いた炉の温度分布評価	倉持幸佑 沼尻治彦 佐々木正史	平成28年 9月1日	近畿大学 和歌山キャンパス	(公社)計測自動制御学会 第33回センシングフォーラム計測部門大会
30	実荷重式トルク基準機のアーム長さ測定における不確かさ推定	中西正一 他1名	平成28年 9月2日	近畿大学 和歌山キャンパス	(公社)計測自動制御学会 第33回センシングフォーラム計測部門大会
31	Virtual CMMによる不確かさの検証 -CMMによるステップゲージ測定-	三浦由佳 中西正一 樋口英一 他3名	平成28年 9月2日	近畿大学 和歌山キャンパス	(公社)計測自動制御学会 第33回センシングフォーラム計測部門大会
32	Py-GC/MSを対象としたヤモリテープによる微量粉末試料の新規サンプリング手法の開発	神谷嘉美 他2名	平成28年 9月5日	明治大学 紫紺館	(公社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 第384回例会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
33	ファイバーレーザーによるレーザー焼結での低温造形時に生ずる密度の形状依存性	山内友貴 木暮尊志 他1名	平成28年 9月6日	茨城大学 水戸キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度秋季大会学術講演会
34	現場環境におけるパラレルメカニズムを用いた三次元測定機の高度化—温度ドリフトの評価および補正—	大西徹 他1名	平成28年 9月6日	茨城大学 水戸キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度秋季大会学術講演会
35	レーザー焼結低温造形における材料劣化のMFRと造形物密度による評価	木暮尊志 山内友貴 他1名	平成28年 9月6日	茨城大学 水戸キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度秋季大会学術講演会
36	Impurity Contamination in Steel by Repeated Recycling	林 英男 他4名	平成28年 9月6日	ホテルメトロポリタン仙 台	The 14th Japan - China Symposium on Science and Technology of Iron and Steel
37	セメント系材料の硫酸塩劣化(DEF)に関する検討	渡邊禎之 他3名	平成28年 9月7日	久留米シティプラザ	(一社)日本原子力学会 2016年秋の大会
38	セメント系材料へのアルカリイオンの収着に関する検討	渡邊禎之 他4名	平成28年 9月7日	久留米シティプラザ	(一社)日本原子力学会 2016年秋の大会
39	Tribological properties of chlorine-containing amorphous carbon films deposited by PBII&D	徳田祐樹 川口雅弘 他3名	平成28年 9月7日	イギリス リーズ大学	43rd Leeds-Lyon Symposium on Tribology 2016
40	Friction fade-out in DLC films sliding against ZrO <sub>2</sub> pins in an H <sub>2</sub> and N <sub>2</sub> gas environment	川口雅弘 他4名	平成28年 9月7日	イギリス リーズ大学	43rd Leeds-Lyon Symposium on Tribology 2016
41	Effect of carbon diffusion on friction and wear properties of diamond-like carbon in boundary oil lubrication	川口雅弘 他6名	平成28年 9月8日	イギリス リーズ大学	43rd Leeds-Lyon Symposium on Tribology 2016
42	回転多孔質体による低比速度ポンプへの応用	小西 毅 平野康之	平成28年 9月12日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)日本機械学会 2016年度年次大会
43	スポーツ用義足の力学的特性評価法の検討	西川康博 村上祐一 小船論史 他1名	平成28年 9月14日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)日本機械学会 2016年度年次大会
44	二重収束型 ICP-MS による医療用金属材料からの溶出元素の定量	湯川泰之 上本道久	平成28年 9月14日	北海道大学	(公社)日本分析化学会 第65年会
45	直流パルス GD-MS による加圧成型したアルミナ粉末中の微量不純物元素の定量	山田健太郎 上本道久 他2名	平成28年 9月15日	北海道大学	(公社)日本分析化学会 第65年会
46	グラフェンライク III 族窒化物半導体のバンドアライメント	太田優一	平成28年 9月15日	朱鷺メッセ	(公社)応用物理学会 第77回秋季学術講演会
47	Ta:SnO <sub>2</sub> エピタキシャル薄膜の輸送特性	小川大輔 森河和雄 他5名	平成28年 9月15日	朱鷺メッセ	(公社)応用物理学会 第77回秋季学術講演会
48	金属ナノ粒子に働くローレンツ力の FDFD 解析	山口隆志 海老澤瑞枝 他1名	平成28年 9月21日	北海道大学	(一社)電子情報通信学会 2016年ソサイエティ大会
49	φ0.1mm 極細シース熱電対の開発	倉持幸佑 沼尻治彦 佐々木正史 他1名	平成28年 9月28日	東京ビッグサイト	(一社)日本計量機器工業 連合会 INTERMEASURE2016
50	Impurities in EAF steel bars contaminated by non-functional recycling	林 英男 他5名	平成28年 9月28日	名古屋大学	The international Society for Industrial Ecology (ISIE) SEM-AP 2016 Conference

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
51	セルロース分解微生物を利用したガラスカレット汚泥の減量	田中真美 中澤亮二 佐々木直里 小林宏輝	平成 28 年 9 月 29 日	和歌山大学	(一社) 廃棄物資源循環学会 第 27 回研究発表会
52	都産技研における FPGA を活用した製品開発支援	岡部 忠	平成 28 年 10 月 6 日	幕張メッセ	CEATEC2016 半導体/プログラマブルデバイスプラザ オープンセミナー
53	X 線 CT 装置による寸法測定値の信頼性評価 - その 2	竹澤 勉 樋口英一 中西正一 紋川 亮 上本道久	平成 28 年 10 月 7 日	ハーネル仙台	(一社) 日本非破壊検査協会 平成 28 年度秋季講演大会
54	高精度な X 線 CT の開発	紋川 亮 他 2 名	平成 28 年 10 月 7 日	ハーネル仙台	(一社) 日本非破壊検査協会 平成 28 年度秋季講演大会
55	麻繊維およびガラス繊維ハイブリッド型植物由来ポリアミド 11 バイオマス複合材料の摩耗挙動	梶山哲人 山中寿行 他 5 名	平成 28 年 10 月 12 日	朱鷺メッセ	(一社) 日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2016 秋新潟
56	SAPS フリーポリマー型極圧剤のステンレス鋼板の絞り加工における性能	中村健太 他 1 名	平成 28 年 10 月 12 日	朱鷺メッセ	(一社) 日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2016 秋新潟
57	塩素含有 DLC 膜の低摩擦化に及ぼす原料ガスの影響	徳田祐樹 川口雅弘 他 2 名	平成 28 年 10 月 13 日	朱鷺メッセ	(一社) 日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2016 秋新潟
58	摩擦フェイドアウトの安定性に及ぼす各種摩擦雰囲気の影響	川口雅弘 他 4 名	平成 28 年 10 月 13 日	朱鷺メッセ	(一社) 日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2016 秋新潟
59	各種摩擦雰囲気で摩擦フェイドアウトを発現するトライボフィルムの評価	川口雅弘 他 4 名	平成 28 年 10 月 13 日	朱鷺メッセ	(一社) 日本トライボロジー学会 トライボロジー会議 2016 秋新潟
60	DEF 膨張と水和生成物に関する研究	渡邊禎之 他 4 名	平成 28 年 10 月 13 日	京都テルサ	(公社) 日本材料学会 第 16 回コンクリート建造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム
61	コラーゲン/ゼラチンの改質技術による医療ニーズ志向型の医療機器シース開発	柚木俊二	平成 28 年 10 月 13 日	パシフィコ横浜	BioJapan 2016
62	MR を用いた非言語情報のナビゲーションシステムの構築	阿部真也 三木大輔 他 2 名	平成 28 年 10 月 16 日	立正大学 品川キャンパス	(一社) 地理情報システム学会 第 25 回学術研究発表大会
63	17-4PH 積層造形材の強度異方性と時効硬化挙動	大久保 智	平成 28 年 10 月 21 日	東京大学 本郷キャンパス	(公社) 日本金属学会関東支部 第 13 回ヤングメタラジスト研究交流会
64	An Experimental Implementation of Software Rejuvenation in Time Warp Simulation	大原 衛 他 1 名	平成 28 年 10 月 23 日	カナダ オタワ	IEEE 8th International Workshop on Software Aging and Rejuvenation
65	リサイクル麻繊維強化植物由来ポリアミド 1010 バイオマス複合材料の機械的性質	梶山哲人 山中寿行 他 5 名	平成 28 年 10 月 27 日	仙台国際センター	(一社) プラスチック成形加工学会 成形加工シンポジウム '16
66	バナナ繊維を用いたセシウムとストロンチウムイオンの吸着における共存金属イオンの影響	梶山哲人 他 1 名	平成 28 年 10 月 28 日	関西大学	日本イオン交換学会 第 32 回日本イオン交換研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
67	硝酸処理 VGCF-X 充填 3 成分系複合材料(VGCF-X/PA6/SEBS)のトライボロジ-的性質に及ぼす混練手順変更の影響	梶山哲人 山中寿行 他3名	平成28年 10月31日	名古屋市工業研究所	(一社)日本レオロジー学会 高分子加工技術研究会 第28回高分子加工技術 討議会
68	自走装置の複雑経路走行手法の検討	吉村僚太 佐藤 研 阿保友二郎	平成28年 11月11日	北九州国際会議場	(一社)日本機械学会 第 59回自動制御連合講演会
69	Development of chromium free corrosion resistance conversion coating on zinc plating	浦崎香織里 桑原聡士 土井 正 竹村昌太	平成28年 11月17日	韓国 慶州	Korea-Japan International Symposium on Material Science and Technology 2016
70	消化器内視鏡治療の偶発症対策にインジェクタブルゲルを用いるための要求物性	柚木俊二 成田武文 他2名	平成28年 11月21日	福岡国際会議場	日本バイオマテリアル学 会シンポジウム2016
71	吸水後に拡張および硬化するゼラチンゲルスポンジ	成田武文 柚木俊二	平成28年 11月22日	福岡国際会議場	日本バイオマテリアル学 会シンポジウム2016
72	MR Navigation System Using Non-Linguistic Information	阿部真也 三木大輔 他2名	平成28年 11月24日	京都リサーチパーク	Higher Education Forum 2016 The Annual Conference on Engineering and Applied Science
73	A Tourism Information System with Language-Barrier-Free Interfaces	阿部真也 三木大輔 他2名	平成28年 11月26日	福知山公立大学	日本観光学会 第110回全 国大会
74	窒素ドーパカーボンを触媒担体として用いた酸素還元触媒の開発	立花直樹 池田紗織 森河和雄 湯川泰之 川口雅弘	平成28年 11月29日	幕張メッセ	(公社)電気化学会電池技 術委員会 第57回電池討 論会
75	グラフェン・ナノプレートレット配合黒化剤によるフラッシュ法試料の黒化処理	柳 捷凡 他4名	平成28年 11月30日	岡山国際交流センター	日本熱物性学会 第37回 日本熱物性シンポジウム
76	ホットスポット探索法	中川善継 他3名	平成28年 11月30日	岡山大学	(一社)日本放射線安全管 理学会 第15回学術大会
77	A Tourism Information System with Language-Barrier-Free Interfaces	阿部真也 三木大輔 他2名	平成28年 12月3日	リクルート本社	第9回Web インテリジェン スとインタラクション研 究会
78	介護施設における夜間巡視のための自律移動型バイタルサイン測定ロボットの開発	益田俊樹 他4名	平成28年 12月3日	高崎経済大学	日本人間工学会関東支部 第46回大会
79	LA-ICPTOFMS を用いた鉄鋼材に含有する極低濃度元素の分析手法	林 英男 他2名	平成28年 12月7日	東京理科大学	エコデザイン・プロダクツ &サービス 2016 シンポジ ウム
80	日本における鉄鋼材に随伴するトランプエレメント量の推計	林 英男 他6名	平成28年 12月7日	東京理科大学	エコデザイン・プロダクツ &サービス 2016 シンポジ ウム
81	鉄鋼リサイクル材におけるトランプエレメントの極微量分析	林 英男 他3名	平成28年 12月7日	東京理科大学	エコデザイン・プロダクツ &サービス 2016 シンポジ ウム
82	鉄スクラップ中のトランプエレメント含有率の国間比較	林 英男 他6名	平成28年 12月7日	東京理科大学	エコデザイン・プロダクツ &サービス 2016 シンポジ ウム
83	TL 法及びPSL 法による照射食品の検知 「照射した原料由来のフライドオニオン及びフライドガーリックについて」	関口正之 中川清子	平成28年 12月7日	都産技研本部	日本食品照射研究協議会 第52回研究発表

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
84	窒素ドーピングカーボンナノ粒子の酸素還元活性	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	平成 28 年 12 月 8 日	千葉大学	炭素材料学会 第 43 回炭 素材料学会年会
85	調湿建材における吸放湿能力の迅速な測定	池田紗織 平井和彦 小山秀美	平成 28 年 12 月 16 日	産業技術総合研究所つく ば中央	(一社)室内環境学会 平成 28 年学術大会
86	人追従型運搬ロボットの安全性強化と開発	益田俊樹 佐々木智典 森田裕介 村上真之 坂下和広	平成 28 年 12 月 17 日	札幌コンベンションセン ター	(公財)計測自動制御学会 第 17 回システムインテグ レーション部門講演会
87	RT ミドルウェアによる先導案内ロボットシステムの開発	佐々木智典 武田有志 吉村僚太 中村佳雅 坂下和広 小林祐介	平成 28 年 12 月 17 日	札幌コンベンションセン ター	(公財)計測自動制御学会 第 17 回システムインテグ レーション部門講演会
88	非線形推定法を用いた放射線無線モニタリング向け簡易 走査型計測手法	中川善継 村上知里 他 2 名	平成 29 年 1 月 19 日	別府 花菱ホテル	(一社)電子情報通信学会 知的環境とセンサネット ワーク研究会
89	Development of Advanced Reflectivity Control Device	秋葉拓也 横田浩之 他 9 名	平成 29 年 1 月 19 日	京都市サーチパーク	Japan Space Forum The Fourth International Symposium on Solar Sailing
90	ノッチフィルタを用いたノイズ発生源探査手法の検討	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	平成 29 年 3 月 8 日	慶應義塾大学 矢上キャンパス	(一社)エレクトロニクス 実装学会 第 31 回 エレク トロニクス実装学会春季 講演大会
91	安全かつ簡易なゼラチンゲル包埋細胞輸送を実現する輸 送プロトコルの最適化	大藪淑美 藤井恭子 柚木俊二 他 3 名	平成 29 年 3 月 9 日	仙台国際センター 会議棟・展示棟	東北大学大学院医学系研 究科 細胞組織学分野 第 16 回日本再生医療学会 総会
92	ライフサイクルアセスメントによるニッケルめっきプロ セスの環境負荷評価	田熊保彦 杉森博和 安藤恵理 水元和成 他 5 名	平成 29 年 3 月 9 日	東洋大学 川越キャンパス	(一社)表面技術協会 第 135 回講演大会
93	アークアシストグロー放電プラズマ室化によるガス流量 比制御に対する金属組織への影響	中村 勲 寺西義一	平成 29 年 3 月 10 日	東洋大学 川越キャンパス	(一社)表面技術協会 第 135 回講演大会
94	亜鉛めっき排水中のアンモニア成分分解	森久保諭 小坂幸夫 田熊保彦 榎本大佑	平成 29 年 3 月 10 日	東洋大学 川越キャンパス	(一社)表面技術協会 第 135 回講演大会
95	めっきによるナイロン樹脂 AM (3D プリンター) モデルへ の意匠性付与	竹村昌太 浦崎香織里 土井 正 桑原聡士 小野澤明良 山内友貴 木暮尊志	平成 29 年 3 月 10 日	東洋大学 川越キャンパス	(一社)表面技術協会 第 135 回講演大会



No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
96	生体用4自由度力/変位センサの多次元出力推定問題に関する回帰モデルの比較検討	村上知里 金田泰昌 他1名	平成29年 3月13日	機械振興会館	(一社)電子情報通信学会 電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会
97	低温造形でレーザー焼結された部品の密度に与える1層あたりの造形時間の影響	山内友貴 木暮尊志 他1名	平成29年 3月15日	慶應義塾大学 矢上キャンパス	(公社)精密工学会 2017 年度春季大会学術講演会
98	低温造形されたレーザー焼結部品の機械的強度と微細構造に関する研究	木暮尊志 山内友貴 他1名	平成29年 3月15日	慶應義塾大学 矢上キャンパス	(公社)精密工学会 2017 年度春季大会学術講演会
99	電源に結合したEFT/Bに対する耐性向上の検討	佐々木秀勝 佐野宏靖 大森 学	平成29年 3月15日	富山大学 五福キャンパス	(一社)電気学会 平成29年全国大会
100	17-4PH ステンレス鋼のレーザー積層造形における内部欠陥および機械的性質に及ぼす造形入熱条件の影響	千葉浩行 藤巻研吾 大久保智 横山幸雄	平成29年 3月15日	首都大学東京 南大沢キャンパス	(公社)日本金属学会 2017年春期(第160回)講演大会
101	アルミ材との摩擦における塩素含有DLC膜の低摩擦化メカニズム	徳田祐樹 川口雅弘 他2名	平成29年 3月17日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(一社)日本機械学会 関東支部 第23期総会・講演会
102	光誘起凝集による散乱光の発色制御	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	平成29年 3月17日	富山大学 五福キャンパス	(一社)電気学会 平成29年全国大会
103	非線形モデル推定を用いた乱雑性ノイズを含む時系列データの逐次推定法への適用	中川善継 村上知里 他2名	平成29年 3月17日	富山大学 五福キャンパス	(一社)電気学会 平成29年全国大会
104	金属空気電池および燃料電池のための多孔性窒素ドーパカーボンナノ粒子を触媒担体として用いた高活性酸素還元白金触媒	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 染川正一 川口雅弘	平成29年 3月17日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	(公社)日本化学会 第97春季年会
105	木材の摩擦を用いた耐力壁の開発 その5 複数の耐力壁を組合わせた振動試験	松原独歩 他5名	平成29年 3月17日	九州大学	(一社)日本木材学会 第67回日本木材学会大会 (福岡大会)
106	熱処理木材の光変色における波長依存性	村井まどか 他3名	平成29年 3月17日	九州大学	(一社)日本木材学会 第67回日本木材学会大会
107	糖尿病合併症の評価を目的としたNADH 蛍光検出システムを用いたソルビトール用バイオセンサ	月精智子 瀧本悠貴 紋川 亮 他2名	平成29年 3月17日	パシフィコ横浜	(公社)応用物理学会 第64回春季学術講演会
108	ステンレス鋼板の絞り加工時の摩擦特性に与える工具コーティングの影響	中村健太	平成29年 3月17日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(一社)日本機械学会 関東支部 第23期総会・講演会
109	13C-DLC 膜の摩擦摩耗評価	川口雅弘 徳田祐樹	平成29年 3月17日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(一社)日本機械学会 関東支部 第23期総会・講演会
110	軽量ブロック暗号 BORON の FPGA 実装	岡部 忠	平成29年 3月22日	名城大学	(一社)電子情報通信学会 2017年総合大会
111	導波管マイクロストリップ変換器を用いた90GHz帯送信機の開発	藤原康平 山岡英彦 小林文士	平成29年 3月22日	名城大学	(一社)電子情報通信学会 2017年総合大会
112	フラクタル構造を有するスリット型チップレススタグの解析	渡部雄太	平成29年 3月22日	名城大学	(一社)電子情報通信学会 2017年総合大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
113	94GHz rectifier fabricated by MEMS techniques for high power wireless power with finline	藤原康平 山岡英彦 他6名	平成29年 3月22日	名城大学	(一社)電子情報通信学会 2017年総合大会
114	狭所環境における追従ロボットのための人物領域判別手法の検討	中村佳雅 松本正雄 他2名	平成29年 3月24日	名城大学	(一社)電子情報通信学会 2017年総合大会

## ポスター発表(学協会など) 58件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	Development of a New Sampling Method by Carbon Nanotube Based Gecko Tape for Py-GC/MS	神谷嘉美 他2名	平成28年 5月11日	フランス ナンシー	21st International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis
2	Gelation of collagen in shear flow to create a thick gel composed of uniaxially aligned fibrils	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝 他2名	平成28年 5月20日	カナダ モントリオール	Canadian Biomaterials Society 10th World Biomaterial Congress
3	褐色腐朽菌によるスギ材腐朽時に放散される揮発性有機化合物の測定	小沼ルミ 瓦田研介 他1名	平成28年 5月24日	メルパルク東京	(公社)木材保存協会 第32回年次大会
4	塗装した熱処理木材の表面分析	村井まどか 木下稔夫 小野澤明良 他2名	平成28年 5月24日	メルパルク東京	(公社)木材保存協会 第32回年次大会
5	HSP70によるTRIM32封入体の形成促進	八谷如美 他2名	平成28年 6月11日	自治医科大学	日本生化学会関東支部会 平成28年度日本生化学会 関東支部例会-生命科学 に基づく診断と治療-
6	ヤモリテープを用いた極微量分析の可能性-段階的分解手法の試み-	神谷嘉美	平成28年 6月25日	東海大学 湘南キャンパス	(一社)文化財保存修復学 会第38回大会
7	Microstructural Analysis of Nb-doped Anatase TiO <sub>2</sub> Transparent Conductive Films by Transmission Electron Microscopy	小川大輔 森河和雄 他3名	平成28年 6月27日	富山国際会議場	The Institute of Electrical and Electronics Engineers The 43rd International Symposium on Compound Semiconductors
8	Structural and Optical Properties of Boron-doped AlN grown by Metal-Organic Vapor Phase Epitaxy	太田優一 他3名	平成28年 7月7日	ラフォーレ琵琶湖	第35回電子材料シンポジウム
9	ADSORPTION OF INDIUM AND GALLIUM ON BANANA FIBRE	梶山哲人 他2名	平成28年 7月7日	イギリス ケンブリッジ	Society of Chemical Industry IEX 2016
10	Influence of Initial Fiber Length on the Mechanical and Tribological Properties of Hemp Fiber Reinforced Plants-Derived Polyamide 1010 Biomass Composites	山中寿行 梶山哲人 他3名	平成28年 7月26日	フランス リヨン	The 32nd International Conference of the Polymer Processing Society
11	HIGH DAMPING SHEAR WALLS USING WOOD FRICTION JOINTS	松原直歩 他5名	平成28年 8月24日	オーストリア ウィーン	World Conference on Timber Engineering 2016
12	Tribological properties of polycrystalline diamond films prepared by hot-filament chemical vapor deposition methods	長坂浩志 他4名	平成28年 8月24日	仙台国際センター	Nanotechnology Council 16th IEEE nano 2016
13	単臭および模擬臭を使った繊維製品の消臭性試験の検証	佐々木直里 岩崎謙次	平成28年 8月30日	東京家政大学 板橋キャンパス	(公社)におい・かおり環境協会 平成28年度第29回におい・かおり環境学会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
14	Structural analysis of chlorine-containing amorphous carbon films deposited by PBII&D	徳田祐樹 川口雅弘 他2名	平成28年 9月6日	イギリス リーズ大学	43rd Leeds-Lyon Symposium on Tribology 2016
15	紫外フェムト秒レーザーアブレーションで生成する金属微粒子の粒径分布と元素組成に及ぼすキャリアガスの影響	林 英男 川口雅弘 渡邊禎之 湯川泰之 他2名	平成28年 9月14日	北海道大学	(公社)日本分析化学会 第65年会
16	LA-ICP-MSを用いた鉄鋼リサイクル材におけるトランプエレメントの分布状態	林 英男 他3名	平成28年 9月14日	北海道大学	(公社)日本分析化学会 第65年会
17	ニッケル鉱石、フェロニッケルスラグ等に含まれるNi及びCoの化学状態分析	林 英男 他3名	平成28年 9月16日	北海道大学	(公社)日本分析化学会 第65年会
18	広帯域 THz 波光源実現に向けた有機非線形結晶 HMQ 類緑体の評価	秋葉拓也 澁谷孝幸 他6名	平成28年 9月16日	朱鷺メッセ	(公社)応用物理学会 第77回秋季学術講演会
19	ランダム入射における小試料遮音材の性能評価—伝達関数を用いたコインシデンス周波数の把握	西沢啓子	平成28年 9月16日	富山大学	(一社)日本音響学会 2016年秋季研究発表会
20	電子線照射による CYPMP0-HO <sub>2</sub> 生成条件の検討	中川清子 他2名	平成28年 9月21日	(国研)量子科学技術研究開発機構 高崎量子 応用研究所	日本放射線化学会 第59 回放射線化学討論会
21	Temperature Sensing Based on the Hybridization of Passive and Chipless RFID Tags	渡部雄太	平成28年 9月21日	オーストリア グラーツ	The 17th International IGTE Symposium on Numerical Field Calculation in Electrical Engineering
22	鉄鋼リサイクル材におけるトランプエレメントの局所的濃度分布	林 英男 他3名	平成28年 9月22日	大阪大学 豊中キャンパス	(一社)日本鉄鋼協会 第172回秋季講演大会
23	鉄スクラップ中のトランプエレメント含有率の多国間比較	林 英男 他4名	平成28年 9月22日	大阪大学 豊中キャンパス	(一社)日本鉄鋼協会 第172回秋季講演大会
24	分子シャペロン HSP70 はアグリゲート形成を促進する	八谷如美 他2名	平成28年 9月25日	仙台国際センター	(公社)日本生化学会 第89回大会
25	熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析を用いた異物分析における菌類の確認手法の検討	木下健司 小沼ルミ	平成28年 9月26日	品川区立総合区民会館 きゅりあん	日本防菌防黴学会 第43回年次大会
26	絹織物への膨潤剤を用いたプリーツ加工	武田浩司 木村千明 小林研吾	平成28年 9月29日	コラッセふくしま	(一社)日本繊維機械学会 関東支部 講演会・見学会
27	燃料電池用集電材の開発	窪寺健吾 峯英一 樋口明久	平成28年 9月29日	コラッセふくしま	(一社)日本繊維機械学会 関東支部 講演会・見学会
28	ラミナに施したドリルインサイジングのマイクロX線による孔形状解析	松原独歩 他3名	平成28年 10月12日	宮崎市民プラザ	(公社)日本木材加工技術 協会 第34回年次大会
29	Gear Strength of Hemp Fiber Reinforced Plants-Derived Polyamide1010 Biomass Composites	山中寿行 梶山哲人 他4名	平成28年 10月13日	中国 成都	POLYMER PROCESSING SOCIETY PPS-2016
30	Dissimilar metal lap joining of nickel-based alloy to commercial pure titanium by friction stir welding	青沼昌幸 岩岡 拓 中村 勲 寺西義一 森河和雄	平成28年 10月18日	ホテル阪急エキスポ パーク	Joining and Welding Research Institute, Osaka University Visual-JW 2016
31	Py-GC/MS におけるヤモリテープおよびカーボンナノチューブが熱分解反応に与える影響とその応用	神谷嘉美 他2名	平成28年 10月20日	名古屋国際会議場	(公社)日本分析化学会高 分子分析研究懇談会 第21回高分子分析討論会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
32	主鎖の異なる高分子混合試料に対するヤモリテープ回収法を用いた Py-GC/MS の応用研究	神谷嘉美 他2名	平成 28 年 10 月 21 日	名古屋国際会議場	(公社)日本分析化学会高 分子分析研究懇談会 第 21 回高分子分析討論会
33	耐腐食性・低コスト・低消費電力の特長を有するフロー センサデバイスの開発	山岡英彦 永田晃基	平成 28 年 10 月 25 日	平戸文化センター	(一社)電気学会 セン サ・マイクロマシン部門 第 33 回「センサ・マイク ロマシンと応用システ ム」シンポジウム
34	Influence of wet silica on plastic deformation characteristics of non-crosslinked rubber.	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	平成 28 年 10 月 26 日	北九州国際会議場およ び西日本総合展示場	(一社)日本ゴム協会 International Rubber Conference 2016 Kitakyusyu
35	Effect of chlorine-containing on tribological properties of DLC films deposited by PBI&D	徳田祐樹 川口雅弘 他2名	平成 28 年 11 月 5 日	台湾 台北	Taiwan Society of Tribology 2016 International Conference on Engineering Tribology and Applied Technology
36	高吸水性と機械的強度を有するハイドロゲルの作成法及 び物性解析	永川栄泰 柚木俊二 関口正之	平成 28 年 11 月 8 日	東京大学 弥生講堂	(一財)放射線利用振興協 会 第 16 回放射線プロセ スシンポジウム
37	放射線照射-ESR 法を用いた OH ラジカル消去能評価シス テムの再構築と O <sub>2</sub> 生成条件の再検討	中川清子 関口正之	平成 28 年 11 月 11 日	大阪市立大学	(一社)電子スピンスイエ ンス学会 第 55 回年会
38	スーパーマイクロポーラスシリカのナノ細孔を用いた炭 素系蛍光体の合成と構造解析	林 孝星 渡辺洋人 他3名	平成 28 年 11 月 15 日	タワーホール船堀	(公社)日本化学会 第 6 回 CSJ 化学フェスタ 2016
39	優れた吸水性と機械的強度をあわせ持つハイドロゲルの 開発	柚木俊二 永川栄泰 中川清子 関口正之	平成 28 年 11 月 22 日	福岡国際会議場	日本バイオマテリアル学 会シンポジウム 2016
40	架橋剤の重合度を変えることによるポリマー水溶液のゲ ル化速度の制御	成田武文 柚木俊二 他2名	平成 28 年 11 月 22 日	福岡国際会議場	日本バイオマテリアル学 会シンポジウム 2016
41	H2bbpen を用いた Ga <sup>3+</sup> と In <sup>3+</sup> の抽出機構	梶山哲人 他6名	平成 28 年 11 月 29 日	産業技術総合研究所つ くば中央	日本溶媒抽出学会 第 35 回溶媒抽出討論会
42	Prediction of pore diameter of nano porous silica using Near Infrared Spectroscopy	藤巻康人 小金井誠司 林 孝星 染川正一 他1名	平成 28 年 12 月 1 日	鹿児島大学・城山観光 ホテル	The 5th Asian NIR Symposium
43	Distribution Analysis of Two Active Pharmaceutical Ingredients in Imported Anti-Malarial Drugs by Near-/Mid-IR Imaging	藤巻康人 他6名	平成 28 年 12 月 1 日	城山観光ホテル	The 5th Asian NIR Symposium
44	マレイン酸処理 VGCF-X 強化 PA6 複合材料の機械的性質	梶山哲人 他3名	平成 28 年 12 月 3 日	東京理科大学 野田キャンパス	材料技術研究協会 2016 年 討論会
45	麻繊維強化植物由来ポリアミドの熱的性質に及ぼす表面 処理効果	梶山哲人 他5名	平成 28 年 12 月 3 日	東京理科大学 野田キャンパス	材料技術研究協会 2016 年 討論会
46	Development of a high reliability ceramic gas electron multiplier	小宮一毅 藤原康平 小林丈士	平成 28 年 12 月 7 日	オーストラリア ブリスベン	The 13th Asian-Pacific Physics Conference
47	バレル法によるクエン酸ニッケルめっきの電子部品用下 地めっきへの適用	桑原聡士 浦崎香織里 竹村昌太 土井 正	平成 29 年 3 月 9 日	東洋大学 川越キャンパス	(一社)表面技術協会 表面技術協会第 135 回講 演大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
48	水生植物の放射性 Cs モニタリング及び非放射性 Cs との挙動の比較	永川栄泰 上本道久 櫻井 昇 他 4 名	平成 29 年 3 月 15 日	高エネルギー加速器研 究機構	日本放射化学会 α 放射 体・環境放射能分科会 第 18 回環境放射能研究会
49	フラーレンカチオンを利用した五員環フラーレン誘導体の合成とその有機薄膜太陽電池の作製	小汲佳祐 他 3 名	平成 29 年 3 月 16 日	パシフィコ横浜	(公社)応用物理学会 第 64 回春季学術講演会
50	イオン液体と担子菌を併用したリグノセルロースからのセルロース抽出法の開発	濱野智子 小沼ルミ 飯田孝彦 瓦田研介	平成 29 年 3 月 16 日	慶応義塾大学 日吉キャンパス	(公財)日本化学会 第 97 春季年会(2017)
51	Highly porous nitrogen-doped carbon nanospheres-supported Pt with high oxygen reduction activity for metal-air batteries and fuel cells	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 染川正一 川口雅弘	平成 29 年 3 月 16 日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	(公社)日本化学会 第 97 春季年会(2017)
52	InN の熱電特性	太田優一	平成 29 年 3 月 17 日	パシフィコ横浜	(公社)応用物理学会 第 64 回春季学術講演会
53	Fluorescence Enhancing Effect of Nanographene using nano porous silica	藤巻康人 渡辺洋人 林 孝星 染川正一	平成 29 年 3 月 18 日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	(公社)日本化学会 第 97 春季年会 (2017)
54	木材腐朽菌由来の揮発性有機化合物に対するイェシロアリの触角電位測定	小沼ルミ 瓦田研介 他 2 名	平成 29 年 3 月 18 日	九州大学 箱崎キャンパス	(一社)日本木材学会 第 67 回大会(福岡大会)
55	木材ラグスクリュー接合部の締付け軸力と引抜耐力の関係	松原独歩 他 5 名	平成 29 年 3 月 18 日	九州大学 箱崎キャンパス	(一社)日本木材学会 第 67 回大会(福岡大会)
56	ドリルインサイジング孔のラミナ表裏面におけるずれとマイクロ X 線による孔形状解析	松原独歩 他 3 名	平成 29 年 3 月 18 日	九州大学 箱崎キャンパス	(一社)日本木材学会 第 67 回大会(福岡大会)
57	多孔質シリカ細孔内における酸化タングステンと酸化チタンの複合及びその光触媒活性	染川正一 渡辺洋人 他 3 名	平成 29 年 3 月 22 日	首都大学東京 南大沢キャンパス	(一社)触媒学会 第 119 回触媒討論会
58	内部量子効率計測による医薬品主薬の状態解析	藤巻康人 小金井誠司 他 1 名	平成 29 年 3 月 27 日	仙台国際センター、東 北大学川内キャンパス (仙台)	(公社)日本薬学会 日本薬学会第 137 年会

## 座長 8 件

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
1	DC 研究会	大原 衛	平成 28 年 5 月 9 日	宇奈月温泉杉乃井ホテ ル	(一社)電子情報通信学会 DC 研究会
2	PRION 2016 TOKYO	八谷如美	平成 28 年 5 月 10 日	一ツ橋ホール	Prion2016・APPS2016 合同 国際学会
3	トライボロジー会議 2016 春	徳田祐樹	平成 28 年 5 月 25 日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	(一社)日本トライボロジ ー学会
4	平成 28 年度春季大会	岩岡 拓	平成 28 年 5 月 25 日	京都工芸繊維大学	(一社)粉末冶金協会
5	プラスチック成形加工学会第 27 回年次大会	山中寿行	平成 28 年 6 月 14 日	タワーホール船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会
6	第 89 回日本生化学会大会	八谷如美	平成 28 年 9 月 25 日	仙台国際センター	(公社)日本生化学会
7	トライボロジー会議 2016 秋新潟	川口雅弘	平成 28 年 10 月 14 日	朱鷺メッセ	(一社)日本トライボロジ ー学会

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
8	第 57 回電池討論会	立花直樹	平成 28 年 11 月 29 日	幕張メッセ	(公社)電気化学会

### 依頼講演－研究成果－ 17 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	DLC コーティングの評価技術	川口雅弘	平成 28 年 5 月 18 日	都産技研本部	(一社)表面技術協会 材料機能ドライプロセス 部会第 100 回例会
2	圧粉体の抜出における金型壁面摩擦に及ぼす粉末特性の影響	岩岡 拓 他 2 名	平成 28 年 5 月 25 日	京都工芸繊維大学	(一社)粉体粉末冶金協会 平成 28 年度春季大会
3	難剥離・高剛性サンドイッチコア材の開発	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	平成 28 年 7 月 15 日	東レ・カーボンマジック (株)(滋賀県)	(一社)強化プラスチック 協会 第 4 回炭素繊維成 形・利用研究会
4	添加剤処方異なるポリプロピレンの耐候性	清水研一	平成 28 年 8 月 5 日	北陸先端科学技術大学 院大学 (東京サテライト)	日本ポリオレフィン総合 研究会 第 11 回次世代 ポリオレフィン総合研究 会
5	木材腐朽菌と IPM を考慮した対策について	小沼ルミ	平成 28 年 9 月 2 日	慶應義塾大学 三田キャンパス	都市有害生物管理学会 第 31 回 IPM 基礎講座
6	改良型レーザーマイクロダイセクションによるタンパク質解析の新技术	八谷如美	平成 28 年 9 月 25 日	仙台国際センター	(公財)日本生化学会 第 89 回日本生化学会大会
7	CVD ダイヤモンド膜の回転機械用軸受・シール部材への応用	長坂浩志	平成 28 年 10 月 12 日	大阪市立工業研究所	(一社)表面技術協会関西 支部 平成 28 年度第 2 回表面物性研究会
8	多面体構造ポーラスサンドイッチコアの開発	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	平成 28 年 10 月 24 日	京都大学 東京オフィス	(一社)日本塑性加工学会 ポーラス材料分科会 第 6 回ポーラス材料研究 討論会
9	医療ニーズに応えるためのコラーゲン工学	柚木俊二	平成 28 年 11 月 11 日	港のホテル(福井県)	(公社)高分子学会北陸支 部 平成 28 年度北陸地区 高分子若手研究会
10	生命科学研究の新技术の開発とタンパク質凝集疾患への挑戦	八谷如美	平成 28 年 11 月 16 日	東京都医学総合研究所	東京都医学総合研究所 都医学研セミナー
11	現場環境における三次元測定機の高度化-温度の影響-	大西 徹	平成 28 年 11 月 21 日	東京ビッグサイト	日本精密測定機器工業会 三次元測定機部会 マイ クロメータ・ノギス部会 三次元座標測定機・測定 ツール活用セミナー
12	木材腐朽菌由来の揮発性有機化合物による腐朽診断に向けた研究	小沼ルミ	平成 28 年 11 月 24 日	東京大学 弥生講堂	(一社)日本木材学会生物 劣化研究会 2016 年秋 季研究会
13	安全規格に基づいた自律移動型サービスロボットの開発	村上真之	平成 28 年 12 月 8 日	都産技研本部	(一社)電気学会・東京都 立産業技術研究センター 連携セミナー
14	都産技研における FPGA を活用した研究開発事例	岡部 忠	平成 29 年 1 月 27 日	都産技研本部	FPGA カンファレンス 2017 with プログラマブル デバイスプラザ
15	都産技研の流体解析・産業用 X 線 CT 装置を活用した技術支援、技術動向について	富山真一	平成 29 年 2 月 24 日	トヨタ博物館	NPO 法人 VCAD システム研 究会 第 45 回 VCAD 研究 会
16	亜鉛めっき排水処理の課題と対策～巡回指導の結果から～	小坂幸夫	平成 29 年 2 月 16 日	東京ビッグサイト	(一社)表面技術協会 他 SURTECH2017

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
17	漆焼付け（熱硬化）と応用技術	木下稔夫	平成 29 年 2 月 24 日	石川県工業試験場	石川県工業試験場 モノづくり技術高度化開発指導講習会

### 依頼原稿－研究成果－ 20 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	摩擦抵抗を考慮した木質構造の可能性	松原独歩	(公社)日本木材加工技術協会	木材工業 Vol. 71, No. 6, pp. 222-227 (2016)
2	X線 CT 装置の運用事例	紋川 亮 千葉浩行 富山真一 谷口昌平	(公社)精密工学会	精密工学会誌 Vol. 82, No. 6, pp. 518-522 (2016)
3	誘電率、固体電気特性	時田幸一	(公社)日本分析化学会	ぶんせき No. 7, pp. 265-266 (2016)
4	直線部を有する CFRP 製環状ばねの特徴	西川康博	日本プラスチック工業連盟/日本工業出版(株)	プラスチックス Vol. 67, No. 7, pp. 35-39 (2016)
5	ミスフォールド蛋白解析技術の革新-改良型レーザーマイクロダイセクションシステム (ALMD)の開発-	紋川 亮 八谷如美	医歯薬出版(株)	医学のあゆみ Vol. 258, No. 6, pp. 748-749 (2016)
6	金属材料引張試験の JNLA 登録と不確かさ評価	櫻庭健一郎 小船論史 森口正夫 新垣 翔	(一社)日本計量振興協会	計測標準と計量管理 Vol. 66, No. 2, pp. 2-8 (2016)
7	プラズマイオン注入法による表面改質技術	川口雅弘	(株)シーエムシー出版	機能材料 Vol. 36, No. 10, pp. 21-27 (2016)
8	粉末焼結法による積層造形品へのレーザー表面改質技術の探索	山内友貴	(公財)天田財団	天田財団助成研究成果報告書 Vol. 29, p. 259 (2016)
9	ポリオレフィンの耐候性試験	清水研一 徳田祐樹 他 2 名	日本ポリオレフィン総合研究会	次世代ポリオレフィン総合研究 Vol. 10, pp. 119-127 (2016)
10	アモルファス炭素膜の開発と今後の動向	川口雅弘	(株)シーエムシー出版	先進無機高分子材料の開発 pp. 51-59 (2016)
11	クエン酸ニッケルめっきの概要と応用展開	浦崎香織里	(株)メカニカル・テック社	メカニカル・サーフェス・テック Vol. 2017, No. 2, p. 35 (2017)
12	ブラウン管ガラス発泡体によるリン酸リサイクルシステム	中澤亮二	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 61 (2017)
13	ガラスカレット工場から排出されるガラス含有汚泥の減量・処理技術	田中真美 中澤亮二 佐々木直里 小林宏輝	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 46 (2017)
14	室温から機能するナノクロム酸化物を用いた悪臭等の VOC 処理材料	染川正一	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 6 (2017)
15	アルミニウム切削屑の固相リサイクル手法	小船論史	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 42 (2017)
16	微生物を利用したレアメタルの回収方法	小沼ルミ	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 60 (2017)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
17	アルミニウム合金スクラップの迅速種別判定法	湯川泰之 山田健太郎 上本道久 竹澤 勉 伊藤 清	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 39 (2017)
18	環境低負荷型クエン酸ニッケルめっき	浦崎香織里 土井 正	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 19 (2017)
19	クエン酸ニッケルめっきの電子部品用めっき技術への適用	浦崎香織里	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 21 (2017)
20	防護服のリサイクル技術	榎本一郎	経済産業省関東経済産業局	中小企業の環境ビジネスに役立つ大学・公的研究機関の環境技術シーズ集 p. 63 (2017)

### 依頼講演－技術解説－ 7件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	劣化形態を知り、漆工品の修復手法を考える	神谷嘉美	平成 28 年 5 月 29 日	明治大学 駿河台校舎	日本漆アカデミー 日本漆アカデミー第1回講演会
2	木工塗装の欠陥と対策	村井まどか	平成 28 年 6 月 2 日	都産技研本部	木材塗装研究会 第28回木材塗装基礎講座
3	輸出規制セミナー ～CE マーキングって何だろう？	五十嵐美穂子	平成 28 年 11 月 1 日	東京ビッグサイト	ビジネスフロンティア・フェア
4	輸出規制セミナー ～CE マーキングって何だろう？	萩原利哉	平成 28 年 11 月 2 日	東京ビッグサイト	ビジネスフロンティア・フェア
5	専門講座「騒音の基礎と評価」	渡辺茂幸	平成 29 年 1 月 19 日	(一財)日本教育会館一ツ橋ホール	(公財)日本建築衛生管理教育センター 第44回建築物環境衛生管理全国大会
6	CIE S 025/E:2015 における不確かさ評価方法について	岩永敏秀	平成 29 年 3 月 9 日	東京ビッグサイト	(一社)日本照明委員会 第38回JCIEセミナー
7	亜鉛めっき排水処理の課題と対策	小坂幸夫	平成 29 年 3 月 16 日	京都市産業技術研究所	(地独)京都市産業技術研究所、京都府鍍金工業組合 環境技術講習会

### 依頼原稿－技術解説－ 18件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	プレス製品の表面品質を維持するための表面特性の測定/分析技術	玉置賢次 中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 6, p. 31 (2016)
2	寸法測定の基礎	中西正一	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 6, pp. 23-26 (2016)
3	現場環境における三次元座標測定機の高度化-温度の影響-	大西 徹	(一社)日本オプトメカトロニクス協会	光技術コンタクト Vol. 54, No. 5, p. 12 (2016)
4	寸法の計測(1)	中西正一	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 7, p. 60 (2016)
5	寸法の計測(2)	中西正一	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 8, pp. 54-59 (2016)



No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
6	寸法の計測(3)	中西正一	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 9, pp. 64-67 (2016)
7	熱分解GC/MSによる多成分混在異物の分析例、 熱分解GC/MSによる異物中に存在する菌類の確 認	木下健司	(株)技術情報協会	HPLC、GCの測定条件設定テクニックと 解析事例集 pp. 338-341 (2016)
8	UV硬化型ハイブリッド樹脂(1)	佐熊範和	(株)理工出版社	塗装技術 Vol. 55, No. 9, pp. 118-134 (2016)
9	UV硬化型ハイブリッド樹脂(2)	佐熊範和	(株)理工出版社	塗装技術 Vol. 55, No. 10, pp. 99-118 (2016)
10	無機-有機ハイブリッド樹脂の開発と用途展開 -ハイブリッド型光触媒の開発-	佐熊範和	(株)理工出版社	塗装技術 Vol. 55, No. 13, pp. 119-130 (2016)
11	表面特性の測定と分析(1) 顕微鏡による表面 観察/表面粗さと光沢度	玉置賢次 中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 13, pp. 104-107 (2016)
12	表面特性の測定と分析(2) プレス成形の評 価・解析に役立つ表面分析	玉置賢次 中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 55, No. 1, pp. 86-91 (2017)
13	かび相談 Q&A	小沼ルミ	NPO 法人カビ相談センター	かびと生活 Vol. 9, No. 2, pp. 41-44 (2016)
14	UV硬化型無機-有機ハイブリッド材料の用途 展開	佐熊範和	(株)シーエムシー出版	先進無機高分子材料の開発 pp. 237-256 (2016)
15	表面特性の測定と分析(3) プレス成形におけ る表面特性評価の活用例	玉置賢次 中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 55, No. 2, pp. 68-72 (2017)
16	表面特性の測定と分析(4) プレス成形におけ る表面特性評価の実例と留意点	玉置賢次 中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 55, No. 3, pp. 68-72 (2017)
17	大規模・複雑化した組込みシステムのための障 害診断手法 事後 V&V の体系と要素技術	大原 衛 他	(独)情報処理推進機構	ソフトウェア高信頼化推進委員会 システム安全性・信頼性分析手法 WG 障害原因診断手法 PT 提案書 (2017)
18	はじめての STAMP/STPA (実践編)	大原 衛 他	(独)情報処理推進機構	ソフトウェア高信頼化推進委員会 システム安全性・信頼性分析手法 WG システム安全性・信頼性分析手法 PT (2017)

### 依頼講演-事業紹介- 11件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	先端計測加工ラボの紹介	上本道久	平成 28 年 5 月 27 日	都産技研城南支所	(一社)日本塑性加工学会 日本塑性加工学会金型分 科会第 38 回セミナー
2	NPO 法人カビ相談センター 第 37 回セミナー	小沼ルミ	平成 28 年 6 月 8 日	品川区立総合区民会館 きゅりあん	NPO 法人カビ相談センタ ー 第 37 回セミナー
3	RoHS/REACH など実務支援の現状報告	萩原利哉	平成 28 年 9 月 8 日	幕張メッセ	JASIS 2016
4	ロボット産業支援の拠点開設と公募型共同研究開発によ る製品化への取組み	瓦田研介	平成 28 年 9 月 9 日	山形大学 小白川キャンパス	(一社)日本ロボット学会 第 34 回日本ロボット学 会学術講演会
5	Support for wastewater treatment in small and medium-sized enterprises, and R&D of wastewater treatment of TIRI	田熊保彦	平成 28 年 10 月 6 日	マレーシア クアラルンプール	Intercity Workshop 2016
6	ロボット開発の拠点開設と中小企業の製品化支援	瓦田研介	平成 28 年 10 月 20 日	東京ビックサイト	(一社)日本ロボット工業 会 Japan Robot Week 2016 ロボット開発拠点戦略フ ォーラム
7	ロボット産業支援の拠点開設と公募型共同研究開発によ る製品化への取組み	瓦田研介	平成 28 年 10 月 26 日	神奈川県産業技術セン ター	平成 28 年度神奈川県も のづくり技術交流会 ロ ボット研究会フォーラム

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
8	デザイナーを対象としたマーケティング技術実践教育	薬師寺千尋	平成 28 年 11 月 12 日	職業能力開発総合大学 校	職業能力開発総合大学校 職業大フォーラム 2016
9	一般消費者向けデザイン開発による事業化支援事例 「洗浄液パッケージラベルデザイン開発支援実践報告」	小池真生	平成 28 年 11 月 12 日	職業能力開発総合大学 校	職業能力開発総合大学校 職業大フォーラム 2016
10	都産技研の中小企業支援事業紹介	上野武司	平成 28 年 11 月 16 日	八王子先端技術センター	平成 28 年度第 4 回先端技 術セミナー『都産技研の 中小企業支援全貌を掴 む』
11	ロボットシーズ、開発拠点の紹介と中小企業の製品化支 援策	瓦田研介	平成 29 年 1 月 18 日	東京ビックサイト	第 1 回ロボデックス 産 学連携ロボットフォーラ ム

### ポスター発表－事業紹介－ 5 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	都産技研における金属材料引張試験の JNLA 認定登録	櫻庭健一郎	平成 28 年 9 月 5 日	香川大学	日本材料試験技術協会 創立 60 周年記念事業讃 岐シンポジウム
2	多摩テクノプラザの紹介	森 豊史	平成 28 年 9 月 9 日	日本女子大学 目白キャンパス	日本感性工学会 第 18 回大会
3	都産技研多摩テクノプラザ 複合素材開発セクター・サイ トの紹介	谷口昌平	平成 28 年 9 月 29 日	コラッセふくしま	(一社)日本繊維機械学会 関東支部 講演会・見学会
4	都産技研多摩テクノプラザ 複合素材開発セクター・サイ トの紹介	谷口昌平	平成 28 年 11 月 25 日	広島県情報プラザ	(一社)強化プラスチック 協会 61st FRP CON-EX2016
5	都産技研 製品強度実験室の紹介	小船諭史	平成 29 年 3 月 23 日	(株)総合車両製作所	超塑性研究会 第 161 回超塑性研究会

### 依頼原稿－事業紹介－ 7 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	材料開発・製品開発と分析器の活用技術	清水研一 渡邊禎之 小川大輔 柳 捷凡 染川正一	日刊工業新聞社	工業材料 Vol. 64, No. 9, pp. 31-35 (2016)
2	地方独立行政法人東京都立産業技術研究セン ター複合素材開発サイトの開設	谷口昌平	(一社)強化プラスチック協会	強化プラスチック Vol. 62, No. 9, pp. 47-50 (2016)
3	座談会「複合材料 3D プリンターは世界を変え るか?」	篠田 勉 他 6 名	(一社)強化プラスチック協会	強化プラスチック Vol. 62, No. 9, pp. 387-398 (2016)
4	(地独)東京都立産業技術研究センター 墨田 支所・生活技術開発セクターの紹介	大泉幸乃	(一社)日本繊維製品消費科学会	繊維製品消費科学 Vol. 57, No. 9, pp. 54-55 (2016)
5	(地独)東京都立産業技術研究センター 墨田 支所・生活技術開発セクターの紹介	大泉幸乃	バイオメカニズム学会	バイオメカニズム学会誌 Vol. 40, No. 4, pp. 261-262 (2016)
6	(地独)東京都立産業技術研究センター	大泉幸乃	(一社)繊維学会	繊維学会誌 Vol. 73, No. 2, pp. 78-80 (2017)
7	分析試験場の事例－地方独立行政法人東京都立 産業技術研究センター－	萩原利哉	日刊工業新聞社	“ケムシェルパ”を活かしたよくわか る規制化学物質のリスク管理 pp. 231-234 (2017)

規格策定・本執筆・書評等 46件

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
1	静電植毛加工技術の現状と展望	長谷川 孝 殿谷保雄	(一社)静電気学会	静電気学会誌 Vol. 40, No. 3, pp. 148-152 (2016)
2	Solvent extraction of rare earth metal ions using hexane-1, 6-diyl bis(4, 4, 4-trifluoro-3-oxobutanoate) into chloroform	梶山哲人 他4名	日本希土類学会	Rare Earths 2016 in Sapporo, JAPAN
3	VGCF-X強化PA6複合材料のトライボロジ-的性質に及ぼす酸処理の影響	山中寿行 梶山哲人 他3名	(一社)プラスチック成形加工学会	第27回年次大会
4	単純重ね合せ継手を用いたシアノアクリレート系接着剤の強度評価	古杉美幸 他5名	(一社)日本接着学会	第54回日本接着学会年次大会
5	改良型レーザーマイクロダイセクション(ALMD)によるアミロイド解析と新しい生命科学的研究手法への展開	八谷如美	山形大学医学部	山形大学医学部 生化学講座
6	細胞小器官の構造・機能および関連疾患	八谷如美	山形大学医学部	山形大学医学部 講演
7	ロボティックウェア curara 新パンツタイプ試作モデル発表会	加藤貴司 他1名	文部科学省	文部科学省情報広場 特別展示
8	BSE 対策の見直しに関する説明会	八谷如美	内閣府食品安全委員会・北海道庁	北海道庁・食品安全委員会リスクコミュニケーション
9	東京の地域資源と環境にやさしい材料を用いたガラス製品	大久保一宏	首都大学東京	第8回施策提案発表会
10	日本固有の漆文化を利用した COOL JAPAN 製品の提案～漆と植物繊維のみを成分とした100%バイオマス成形材料～	木下稔夫	首都大学東京	第8回施策提案発表会
11	情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発	加藤貴司	首都大学東京	第8回施策提案発表会
12	高齢者の音声聴取改善に適したスピーカシステム	服部 遊	首都大学東京	第8回施策提案発表会
13	木造建築物を対象とした安全性診断技術の開発～木材腐朽菌が放散する揮発性代謝産物分析による腐朽診断への応用～	小沼ルミ	首都大学東京	第8回施策提案発表会
14	Round-Robin Test for Specific Heat Capacity Measurement of Solid Materials by Differential Scanning Calorimeter	山中寿行 吉野 徹 宮宅ゆみ子 佐々木正史 沼尻治彦 倉持幸佑 他24名	International Confederation for Thermal Analysis and Calorimetry	2016 International Confederation for Thermal Analysis and Calorimetry
15	牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直しに係る食品健康影響評価書	八谷如美	内閣府食品安全委員会	内閣府食品安全委員会
16	ロボット自律移動技術のソフトウェアコンポーネント化	吉村僚太	(国研)産業技術総合研究所	地域産業活性化人材育成事業成果発表会
17	アルミニウム合金と樹脂のレーザー接合技術の開発	海老澤瑞枝 他3名	(公社)精密工学会	精密工学会 2016年度秋季大会
18	異業種交流・地域創生に役立つ共有知識を活用した課題発見法	森 豊史	日本感性工学会	第18回日本感性工学会大会
19	IEX2016 報告(2016年7月6日～8日 ケンブリッジ ロビンソンカレッジ)	梶山哲人	日本イオン交換学会	日本イオン交換学会会報 Vol. 27, No. 3, pp. 39-40 (2016)

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
20	DSC 法/レーザーフラッシュ法比熱容量測定 のラウンドロビンテスト	山中寿行 吉野 徹 宮宅ゆみ子 佐々木正史 沼尻治彦 倉持幸佑 他 24 名	日本熱測定学会	第 52 回熱測定討論会 p. 25 (2016)
21	Laser joining of engineering plastic polycarbonate and A5052 aluminum alloy using insert materials	海老澤澤枝 他 5 名	ISOT steering committee International Society for Optomechatronics	International Symposium on Optomechatronic Technology 2016
22	東京・南関東支部 第 6 回技術フォーラム「女 性の視点から見たこれからのものづくり現場」 実施報告	玉置賢次	(一社) 日本塑性加工学会	塑性と加工 Vol. 57, No. 670, pp. 1047-1048 (2016)
23	東京・南関東支部 第 8 回技術フォーラム「医 工連携分野における素形材技術の展開」 実施 報告	玉置賢次	(一社) 日本塑性加工学会	塑性と加工 Vol. 57, No. 670, pp. 1051-1052 (2016)
24	DSC 法/レーザーフラッシュ法比熱容量測定 のラウンドロビンテスト	山中寿行 吉野 徹 宮宅ゆみ子 佐々木正史 沼尻治彦 倉持幸佑 他 24 名	日本熱物性学会	第 37 回日本熱物性シンポジウム pp. 144-146 (2016)
25	セラミックスを用いたガス電子増幅器用電極 の開発	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他 1 名	神戸大学先端融合研究環、高エネ ルギー研究機構 測定器開発室	第 13 回 Micro Pattern Gas Detector 研究会
26	サーキュレーターによる暖房効果改善機構の 3 次元数値解析	石田祐也 他 3 名	日本産業技術教育学会	第 28 回日本産業技術教育学会関東支 部大会(埼玉)
27	Development of basic functions for a following robot in a human gathering environment	鈴木 薫 他 5 名	IEEE	2016 IEEE/SICE International Symposium on System Integration
28	有害物質を含まないあざやかな赤色ガラス「茜 硝子」の紹介	大久保一宏 増田優子 上部隆男 他 2 名	(一社) ザ・クリエイション・オブ・ ジャパン、オールジャパン工芸連 携京都/東京/金沢実行委員会、他	21 世紀鷹峯フォーラム 日本工芸を 海外に広めるために輸出のための障壁 を取り除く
29	吸水硬化型ゼラチンスポンジの開発	成田武文 柚木俊二	つくばバイオマテリアル医工研究 会	2017 つくば医工連携フォーラム
30	細胞隔離培養用のタンパク質透過性コラーゲ ンゲル膜	藤井恭子 大藪淑美 柚木俊二	つくばバイオマテリアル医工研究 会	2017 つくば医工連携フォーラム
31	ゲル化温度が高いゼラチンを保護材とした細 胞シートの輸送技術	大藪淑美 畑山博哉 柚木俊二 他 2 名	つくばバイオマテリアル医工研究 会	2017 つくば医工連携フォーラム
32	高強度及び速吸水性を併せ持つハイドロゲル の創製と物性評価	永川榮泰 柚木俊二 中川清子 関口正之	つくばバイオマテリアル医工研究 会	2017 つくば医工連携フォーラム
33	日本防菌防黴学会第 43 回年次大会に参加して	小沼ルミ	(公社) 日本木材保存協会	木材保存 Vol. 43, No. 1, pp. 36-39 (2017)
34	編集委員による座談会「協会誌は、どう変わっ ていくべきか」	篠田 勉 他 7 名	(一社) 強化プラスチック協会	強化プラスチック Vol. 63, No. 1, pp. 5-15 (2017)

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
35	樹脂 PBF の環境依存性	山内友貴 木暮尊志 他 1 名	東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室	第 7 回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム
36	Evaluation of mechanical stiffness for running-specific prostheses	西川康博 村上祐一 他 1 名	(国研)産業技術総合研究所	International Research Forum on Biomechanics of Running-specific Prostheses (IBRSP2017)
37	Design of the sport artificial leg for running by Additive Manufacturing	木暮尊志 横山幸雄 山内友貴 竹澤 勉 他 2 名	(国研)産業技術総合研究所	International Research Forum on Biomechanics of Running-specific Prostheses (IBRSP2017)
38	環境に優しい天然繊維の有効活用	梶山哲人	金沢工業大学生活環境研究所	第 63 回生活環境研究会
39	技能検定 2 級 電子機器組立て学科過去問題と解説	三上和正	科学図書出版(株)	書籍「技能検定 2 級：電子機器組立て学科 過去問題と解説 平成 29 年度版」
40	Solubilization of the aggregated-prion protein with the robust protein-unfolding activity of an oligomeric form of YDL178w/Unfoldin	八谷如美 他 2 名	Prion2016・APPS2016 合同国際学会	Prion2016・APPS2016 合同国際学会
41	スペイン国立装飾美術館所蔵「花鳥蒔絵螺鈿筆筒」の製作地をめぐる謎	神谷嘉美	日本漆アカデミー	第 8 回漆サミット (漆サミット 2016)
42	海の向こうの漆器が伝える東西の「技」-スペイン国立装飾美術館所蔵品の分析事例から-	神谷嘉美	日本漆アカデミー	第 8 回漆サミット (漆サミット 2016)
43	琉球漆器を科学する～マイクروسコープでみた貝の切断面～	神谷嘉美	浦添市美術館	琉球の漆文化と科学 2016～螺鈿と文化～
44	プリオン病における神経変性阻害効果を持つ医薬品の探索	八谷如美 紋川 亮 他 2 名	(国研)日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化事業	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班合同研究報告会
45	J17 をどう策定するか	岡部 忠	(一社)情報処理学会	情報処理学会 第 79 回全国大会
46	南蛮漆器を彩る金色線の形状と材質	神谷嘉美	(独)国立文化財機構東京文化財研究所	(独)国立文化財機構東京文化財研究所 東京文化財研究所公開研究会

※外部発表は、『平成 27 年度年報』未掲載分を含む。

## 2.7 職員の受賞

国内外の学協会等から、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して7件の賞を受けた。

### 平成28年度受賞実績

受賞名	一般社団法人日本トライボロジー学会 技術賞
件名	ポリマー型 SAPS フリー極圧剤の開発
受賞者	中村健太 (機械技術グループ)
受賞名	アカデミックプラザ賞
件名	高位合成ツールを使った軽量ブロック暗号規格の性能評価
受賞者	岡部 忠 (情報技術グループ)
受賞名	日本材料科学会 奨励賞 (未澤賞)
件名	環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの電子部品用下地めっきへの適用
受賞者	浦崎香織里 (表面・化学技術グループ)
受賞名	平成28年度工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰
受賞者	岡野 宏 (城東支所)
受賞名	第2回ロボットビジネス推進協議会 RTミドルウェア普及貢献賞
件名	「RTミドルウェア」、「RTミドルウェアを用いたロボットシステム」の普及
受賞者	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
受賞名	“2016 International Conference on Engineering Tribology and Applied Technology” Best poster award
件名	Effect of Chlorine-Containing on Tribological Properties of DLC Films Deposited by PBII&D
受賞者	徳田祐樹 (城東支所)
受賞名	材料技術研究協会 ゴールドポスター賞
件名	マレイン酸処理 VGCF-X 強化 PA6 複合材料の機械的性質
受賞者	梶山哲人 (城南支所)

## 2.8 研究評価制度

研究事業を産業界や社会のニーズに対応させ、都産技研資産を活用してより効果的・効率的に推進するため、学識経験者および産業界有識者らの評価で構成される研究課題外部評価制度を運用・実施した。

### 2.8.1 評価方法

研究課題の個別評価は、計画性、技術性、発展性の3項目について (A) 非常に良い、(B) 良い、(C) やや良い、(D) やや悪い、(E) 悪い の5段階評価とした。

研究課題の分野別評価は、公共性、技術性、戦略性の3項目および総合評価について (A) 非常に良い、(B) 良い、(C) やや良い、(D) やや悪い、(E) 悪い の5段階評価とした。

分野別評価について、2.8.2に示す。

### 2.8.2 評価結果

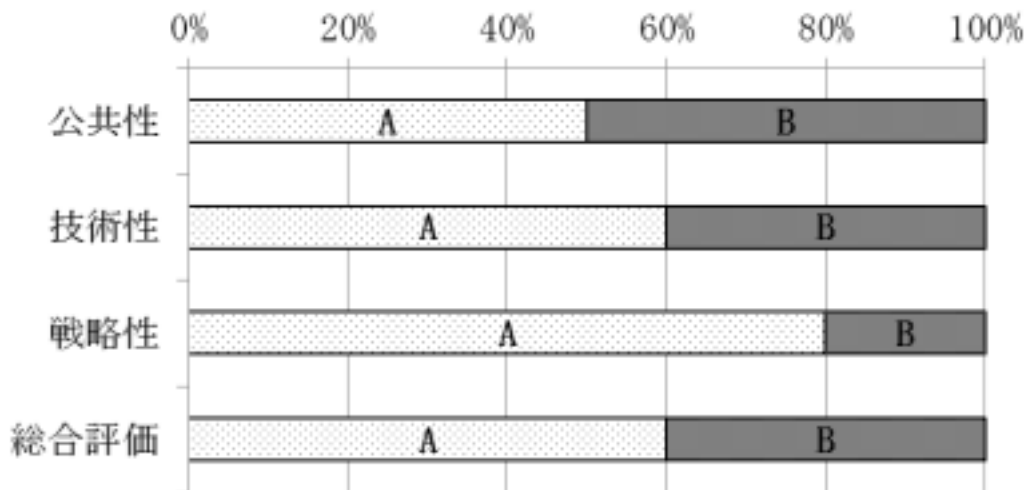
#### (1) EMC・半導体分野

評価員：10名 評価対象テーマ：2件

テーマ1：90GHz帯アプリケーション用周波数変換器の開発

テーマ2：封止型放射線検出器の実用化

#### 評価分布



(2) メカトロニクス分野

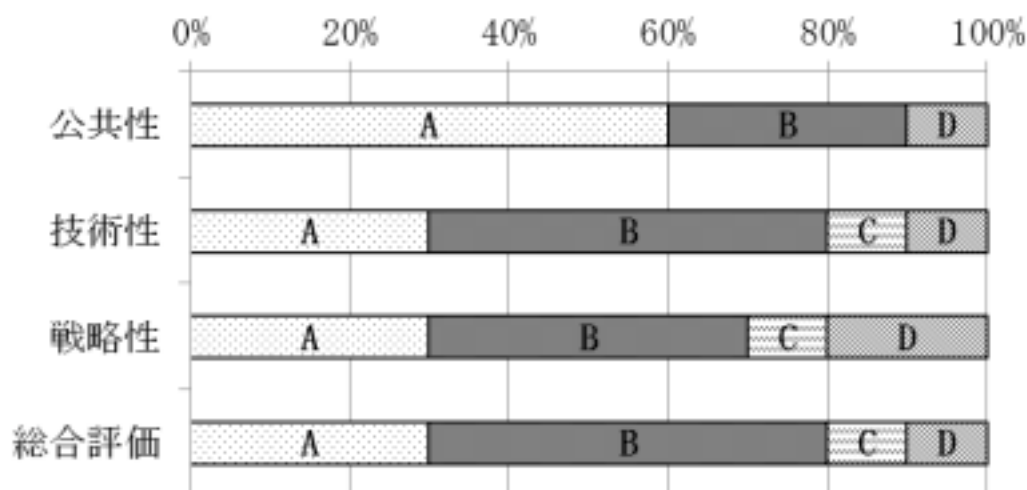
評価員：10名 評価対象テーマ：3件

テーマ1：運搬ロボットの安全性強化と開発

テーマ2：サービスロボットの緊急停止システムの開発

テーマ3：セルフセンシングアクチュエータを用いた歯科用タービンの振動制御

評価分布



(3) バイオ応用分野

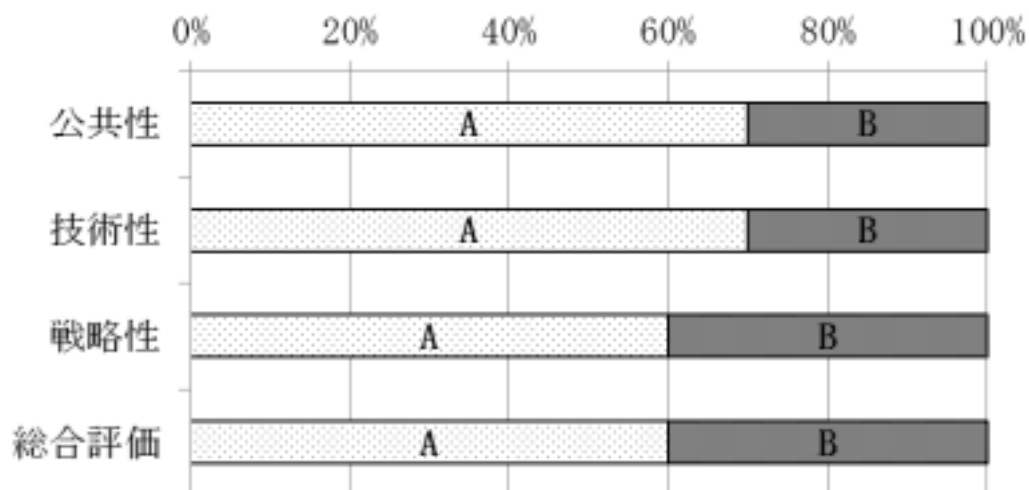
評価員：10名 評価対象テーマ：3件

テーマ1：汎用インフルエンザ検査チップの開発

テーマ2：ESR・放射線照射法を用いた抗酸化能評価システムの開発

テーマ3：局注による膨隆形成現象を模倣した瞬発的吸水性ゲル材料の開発

評価分布





(4) 環境・省エネルギー分野

評価員：10名 評価対象テーマ：7件

テーマ1：放射強度の角度分布測定による赤外放射応用器具の比較手法提案

テーマ2：船舶用扉のルーバーによる遮音性能低下の改善

テーマ3：亜鉛めっき用クロムフリー耐食性化成皮膜の開発

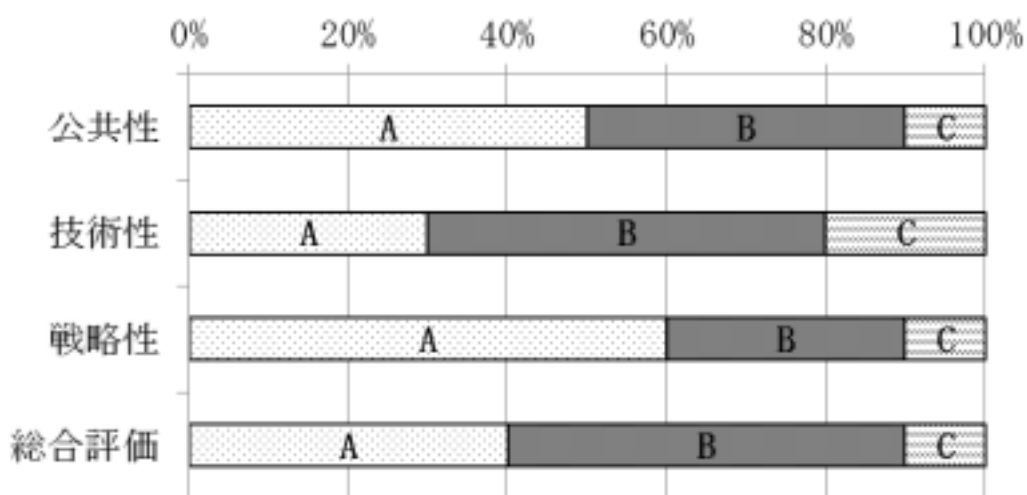
テーマ4：フラーレン誘導体の合成による新規機能性材料の開発と有機薄膜太陽電池への応用

テーマ5：レーザーによる複層ガラス切断技術の開発

テーマ6：クロムめっき製品における残留六価クロムの洗浄技術の開発

テーマ7：黒雲母を利用した成分徐放-局所沈殿による六価クロム排水処理法の開発

評価分布



2.8.3 平成28年度評価員（敬称略、五十音順）

	氏名	所属
1	板倉治男	パソコンサポート ITA 工房
2	小寺敏郎	明星大学
3	桜井政考	首都大学東京
4	佐竹真幸	東京大学
5	篠原俊朗	神奈川県産業技術センター
6	島田文生	(公財) コニカミノルタ科学技術振興財団
7	武井貴弘	山梨大学
8	松浦徹也	都産技研エンジニアリングアドバイザー
9	宮崎則幸	都産技研エンジニアリングアドバイザー
10	吉田政弘	東京都立産業技術高等専門学校

### 3. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

#### 3.1 技術相談

##### 3.1.1 技術相談

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。生産現場での支援が必要な場合は、職員や外部専門家を現地に派遣して利用者の要望に応えた。

相談件数は、来所 27,746 件(20.1%)、電話 53,930 件(39.0%)、メール 44,495 件(32.2%)、その他 11,994 件(8.7%)であり、総相談件数は 138,165 件であった。企業規模別では中小企業 106,939 件(77.4%)であり、技術分野別では材料、評価技術、エレクトロニクスが多かった。

企業規模別の技術相談件数（件）

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
一般	5,643	8,063	10,047	2,272	26,025	18.8
中小企業	21,741	44,357	32,049	8,792	106,939	77.4
中小企業団体	163	455	477	264	1,359	1.0
公益法人等	199	1,055	1,922	666	3,842	2.8
合 計	27,746	53,930	44,495	11,994	138,165	100

技術分野別の技術相談件数（件）

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
ナノテクノロジー	31	220	162	115	528	0.4
IT	557	1,865	3,173	15	5,610	4.1
エレクトロニクス	4,461	6,213	3,987	285	14,946	10.8
システムデザイン	1,955	3,280	2,463	1,441	9,139	6.6
環境	1,969	3,648	2,256	140	8,013	5.8
少子高齢・福祉	742	1,120	1,118	73	3,053	2.2
バイオテクノロジー	117	390	348	46	901	0.7
材料	5,148	9,711	8,801	1,629	25,289	18.3
精密加工	2,024	1,906	2,078	764	6,772	4.9
光音・照明	1,069	2,151	3,430	191	6,841	5.0
繊維	2,032	3,387	1,287	543	7,249	5.2
放射線	466	3,256	3,153	166	7,041	5.1
評価技術	6,195	11,023	4,408	1,108	22,734	16.5
技術連携	61	552	704	411	1,728	1.3
ロボット	24	751	1,040	319	2,134	1.5
その他	895	4,457	6,087	4,748	16,187	11.7
合 計	27,746	53,930	44,495	11,994	138,165	100

### 3.1.2 総合支援窓口

#### (1) ご利用カード発行状況

依頼試験・機器利用等の試験の受け付けをスピーディーに行うために、本部・支所のいずれかで登録すれば共通して使用できる「ご利用カード」を平成18年度から導入した。11年間で約4万8千枚のカードを発行し、お客さまへのサービス向上を実現した。

「ご利用カード」発行枚数（枚）

事業所	累計枚数	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成18～23年度
本部	35,003	2,406	3,294	3,200	4,242	4,515	17,346
城東支所	2,184	232	181	201	220	132	1,218
墨田支所	2,377	168	296	273	229	184	1,227
城南支所	1,935	64	98	77	105	117	1,474
旧駒沢支所	372	—	—	—	—	—	372
多摩テクノプラザ	6,203	753	732	694	700	754	2,570
合計	48,074	3,623	4,601	4,445	5,496	5,702	24,207

\*本部は旧西が丘本部分、多摩テクノプラザは旧多摩・八王子支所分を含む。

#### (2) 料金収納状況

料金収納方法について、お客さまの利便性を考慮して平成18年度より現金以外にコンビニ収納や銀行振込による取り扱いを開始した。平成20年度よりクレジットカードおよびデビットカードによる支払いも可能とした。

料金収納状況

支払い方法	現金	コンビニ	銀行振込	クレジットカード	デビットカード	合計
支払い件数（件）	16,877	2,286	9,128	4,034	0	32,325
支払い金額（千円）	173,043	16,148	358,247	83,283	0	630,721
金額比率（％）	27.4	2.6	56.8	13.2	0	100.0

### 3.1.3 専門相談員

本事業は、本部総合支援窓口に専門相談員を置き、中小企業の製品化実現に向けて幅広く対応し支援するものである。平成 28 年度の相談実績は 128 件であった。専門相談員 8 名の技術分野は次のとおりである。

専門相談員氏名	技術分野
朝比奈奎一	機械
安城泰雄	環境マネジメント
生島 博	知的財産専門
金田光範	通信、情報、機能安全
高村悦夫	技術経営（自動車）
田中敬三	計測分析システム
野口英明	工業デザイン
原島なほみ	マーケティング

#### <主な相談事例>

イメージする顧客の絞り込み、適切な価格設定などの戦略策定  
先行知財の調査や出願登録の計画立案  
意匠設計  
ソフトウェアを組み込む製品の安全性確保  
試作と評価の情報の設計へのフィードバック  
工場の安全確保や生産性向上のためのプロセスマネジメント

### 3.1.4 実地技術支援事業

都内中小企業の要請により、職員や外部専門家（エンジニアリングアドバイザー・技術指導員）が現地に出向き、現場が抱えている技術的諸問題について 3 種類の方法で技術支援を実施した。

平成 28 年度は、エンジニアリングアドバイザーによる支援（実地技術支援 A）40 社 178 日、技術指導員と職員による支援（実地技術支援 B）63 日、職員による支援（実地技術支援 C）927 日であった。技術分野別では、システムデザイン、環境、材料、エレクトロニクスが多かった。目的別では、製品開発、技術開発が多かった。

#### <実地技術支援 A の主な支援内容>

CE マーケティング・海外規格取得に関する支援  
デザイン開発・設計・販売促進に関する支援  
品質管理・品質評価に関する支援  
製造コスト削減と販路開拓  
システム設計・構築に関する支援

技術分野別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	0	0	9	9	0.8
IT	9	1	57	67	5.7
エレクトロニクス	12	4	110	126	10.8
システムデザイン	74	31	103	208	17.8
環境	11	4	131	146	12.5
少子高齢・福祉	0	0	19	19	1.6
バイオテクノロジー	1	2	26	29	2.5
材料	9	9	120	138	11.8
精密加工	0	1	82	83	7.1
光音・照明	34	3	52	89	7.6
繊維	3	1	37	41	3.5
放射線	0	0	1	1	0.1
評価技術	6	2	89	97	8.3
技術連携	0	2	17	19	1.6
ロボット	1	1	1	3	0.3
その他	18	2	73	93	8.0
合 計	178	63	927	1168	100

目的別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
品質証明	5	0	26	31	2.7
品質管理	11	9	89	109	9.3
性能評価	1	4	70	75	6.4
製品開発	117	30	448	595	50.9
技術開発	13	4	123	140	12.0
事故関連	1	2	41	44	3.8
その他	30	14	130	174	14.9
合 計	178	63	927	1168	100

## 3.2 依頼試験

### 3.2.1 依頼試験

中小企業の生産活動に必要な製品、部品、材料などについて、各種の試験、測定、分析、設計を実施し、成績証明書を発行した。製品開発に関わる工業デザインの依頼にも対応した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

平成 28 年度の依頼試験の実績を以下の表に、試験件数の目的別構成比および地域別構成比を図 1 および 2 に示す。

平成 28 年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	試験件数	金額（円）
一 材料試験		
(一) 強度試験 引張試験、製品の荷重試験、静的強度試験、硬さ試験ほか	16,959	42,555,365
(二) 特性試験 金属材料の疲れ試験、材料の熱膨張試験、耐熱試験ほか	577	8,637,912
(三) 組織試験 光学式顕微鏡によるもの、透過型電子顕微鏡によるもの	1,852	5,309,827
(四) 非破壊検査 エックス線透過試験、エックス CT スキャン試験、 透過写真判定、線量測定	25,340	30,838,619
(五) 塗料の物性試験 基盤目試験、鉛筆引っかき試験、テーバ式摩耗試験ほか	690	1,743,268
(六) 表面処理皮膜試験 皮膜厚さ測定、色彩測定、ボールディスク乾燥摩擦試験ほか	2,209	5,574,472
(七) 照射試験 イオン注入装置によるイオン注入、セシウム 137 によるガンマ線 照射	178	417,218
(八) 成形性試験 絞り試験、高温絞り試験、エリクセン試験、球頭張出し試験	20	25,264
小 計	47,825	95,101,945
二 精密測定		
(一) 機械・器具等の精密測定 長さ測定、表面粗さ・形状測定機による測定、歯車の測定、 走査型白色干渉測定器による測定ほか	4,468	9,115,549
(二) 核種等の測定 放射線計数装置、液体シンチレーション計数装置によるものほか	1,692	3,106,821
小 計	6,160	12,222,370
三 化学試験		
(一) 化学分析 容量法による試験、重量法による試験ほか	177	839,464

試験項目	試験件数	金額（円）
(二) 機器分析 赤外線分光光度計、スパーク放電発光分光分析装置、 エネルギー分散型エックス線分析装置、走査型電子顕微鏡、 イオンクロマトグラフによるものほか	7,543	69,153,345
(三) 窯業試験 ひずみ観察、表面応力測定、ガラスの破損事故解析ほか	461	1,007,257
(四) 化学製品等の性能試験 製品の防かび試験、耐薬品試験ほか	1,508	7,079,644
小 計	9,689	78,079,710
四 機械器具・装置等の性能試験		
(一) 性能試験 耐久試験、応力・ひずみ測定、振動測定・解析ほか	2,151	3,642,565
(二) メカトロニクス・ロボット性能試験 高速度撮影、落下試験ほか	1,494	203,052
(三) ロボットによる耐久性試験 低頻度、中頻度、高頻度	401	62,733
小 計	4,046	3,908,350
五 電気試験		
(一) 校正試験 電圧計、電流計、抵抗計、抵抗箱、標準電圧電流発生器、 デジタル計器ほか	1,519	1,122,313
(三) 測温素子の温度特性試験 熱電対、測温抵抗体	558	1,574,214
(五) 絶縁試験 絶縁抵抗試験、耐電圧試験、衝撃耐電圧試験、衝撃電流試験、 絶縁破壊試験、漏れ電流試験ほか	4,203	13,117,195
(六) 構造および性能試験 機能的強度試験、温度上昇試験、開閉試験、誘電率・誘電正接試 験、消費電力試験ほか	1,698	6,535,189
(七) 部品および材料の電気特性試験 動作特性試験、磁気特性試験ほか	55	775,912
(九) 電子機器・電子部品試験 電子機器特性試験、電子部品試験	2,752	4,599,885
(十) 静電気試験 帯電電荷量試験	10	43,360
(十一) 電波暗室試験 10m電波暗室、3m電波暗室、電波ノイズ試験室ほか	2,070	19,217,291
小 計	12,865	46,985,359
六 音響試験		
(一) 材料の音響特性試験 残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、制振性能測定、 垂直入射吸音率測定ほか	4,751	12,259,346

試験項目	試験件数	金額 (円)
(二) 材料および装置の音響特性試験 音圧・騒音・振動レベル測定、オクターブバンド分析ほか	1,833	10,052,209
小 計	6,584	22,311,555
七 照明試験		
(一) 材料試験 反射率・透過率測定、赤外分光放射測定ほか	1,438	15,084,002
(二) 機器および光源の試験 光度・光束測定、照度、輝度測定、配光測定、分光放射照度測定、 分光透過率・反射率測定ほか	1,005	11,550,023
小 計	2,443	26,634,025
八 環境試験		
(一) 振動試験 動電形振動試験機によるもの(加振、共振、伝達特性、衝撃試験)	2,598	17,827,449
(二) 腐食試験 塩水噴霧試験、ガス腐食試験	17,798	16,515,831
(三) 耐候性試験 促進耐候試験(サンシャインカーボンアーク灯式、キセノン アーク灯式)、促進耐光試験(紫外線カーボンアーク灯式)ほか	8,483	60,940,234
(四) 温湿度試験 恒温試験、恒温恒湿試験、冷熱衝撃試験、温湿度サイクル試験	4,176	9,523,388
小 計	33,055	104,806,902
九 材料および製品の加工		
(一) 機械加工 油圧プレス加工、フライス盤加工、旋盤加工ほか	335	1,762,363
(三) 金属粉末積層造形品の後加工 熱処理、ビルドプレート、サポート処理、バレル研磨	1,255	1,237,647
小 計	1,590	3,000,010
十 デザイン		
(一) 工業デザイン	1,759	338,969
(三) グラフィックデザイン	3	5,337
小 計	1,762	344,306
十一 繊維製品試験および試験的加工		
(一) 繊維工業用原料および材料・繊維製品等の試験 繊維製品等の物性試験(質量、密度、番手・繊度、引張強さ・伸 び率、寸法変化、防水性等)、染色仕上げ加工試験(染色堅ろう度 試験、浸染試験等)、ホルムアルデヒド試験、光学的試験、クレ ーム解析試験ほか	7,337	10,712,250
(二) 繊維製品のデザイン 繊維製品デザイン、織物・ニットの設計・分解ほか	27	36,930



試験項目	試験件数	金額（円）
(三) 繊維・編織物等の試験的加工 編織準備(ねん糸、繰り返し、整経等)、 編織(編成)コンピュータ制御編機、染色仕上げ加工	1,064	290,513
小 計	8,428	11,039,693
十二 成績証明書の交付		
成績証明書および成績証明書(副本)の交付ほか	5,267	1,017,270
成績証明書および成績証明書(副本)等の交付に当たって 郵送する場合の手数料等	3,752	1,896,070
小 計	9,019	2,913,340
端数処理に伴う減額		▲56,185
急速料金 依頼試験料金の100%増額	(394)	1,686,160
震災復興技術支援 依頼試験料金の50%減額	(3,360)	▲6,053,830
総 合 計	143,466	402,923,710

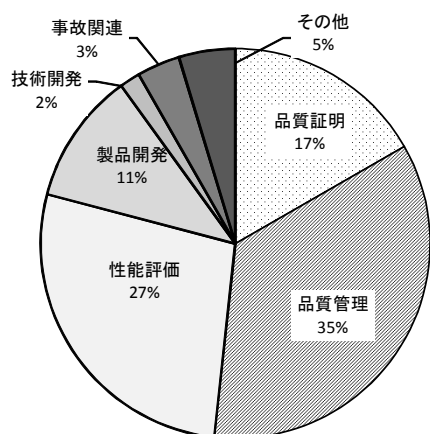


図1 依頼試験件数の目的別構成率

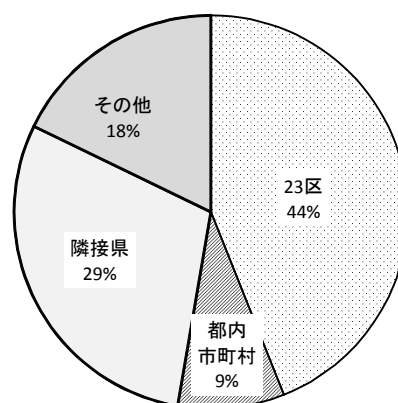


図2 依頼試験件数の地域別構成率

(※隣接県は、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県)

### 3.2.2 オーダーメイド試験

依頼試験の実施要綱に定められていない試験項目あるいはJISなどの規定にない試験に関してはオーダーメイド試験として対応し、利用者の多様な要望に対応した。

平成28年度には、211件、13,202,880円を実施した。

オーダーメイド試験の依頼目的は、品質証明24件、品質管理50件、性能評価65件、製品開発31件、技術開発23件、事故関連5件、その他13件であった。

### 3.2.3 校正事業者および試験所認定制度への取り組み

平成 18 年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、平成 20 年より英文の校正証明書の発行を開始した。都産技研の発行する校正証明書および試験報告書は世界 95 国・地域、91 機関（平成 29 年 3 月現在）で有効である。

平成 27 年度、JCSS（長さ）認定を取得し、登録分野が 6 分野に拡大した。国際的な試験品質保証体系である事業を推進することで、都内中小企業の海外における事業展開を積極的に支援している。

#### (1) 計量法校正事業者登録制度（JCSS）

都産技研本部は、電気（直流・低周波）、温度（熱電対）、および長さ（一次元寸法測定器）の区分で国際 MRA 対応の JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録認定を受けており、ILAC MRA 付き JCSS 認定シンボルの入った校正証明書を発行可能である。都産技研が発行する JCSS 校正証明書は、ILAC に加盟する世界中の国々で有効である。平成 28 年 8 月に長さの校正手法（一次元寸法測定器および形状測定器）の追加登録が認定された。



当センターは、認定基準として ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

当センターは、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0184 は、当センターの認定番号です。

#### (2) 多摩テクノプラザ EMC サイトの試験所認定制度（VLAC）

多摩テクノプラザ EMC サイトは、平成 24 年度に株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）より ISO/IEC 17025 試験所認定を受けた。現在の認定範囲は、VCCI、FCC Part15 SubPartB、CISPR22、ICES-003、J55022（4 章）の規格に基づいた 10 m 法電波暗室での放射妨害波試験、伝導妨害波試験（電源ポート）および伝導妨害波試験（通信ポート）の EMC 試験である。平成 25 年度から認定範囲における規格適合確認試験および英文の試験成績書の発行を開始した。平成 29 年 2 月には VLAC の試験所認定審査により試験適合評価を受け、認定登録を更新した。



### (3) 試験事業者登録制度（JNLA）登録

都産技研本部は、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より、JNLA 試験事業者として国際 MRA に対応した登録認定を受けており、照明器具電气的特性試験（全光束、消費電力）、光源色試験（色彩）および金属材料引張試験では、国際相互承認シンボルを付与した試験報告書の発行が可能である。また、平成 26 年より施行された、電球形 LED ランプのトップランナー制度適合性確認試験も可能であり、平成 28 年度は 33 件実施した。



当センターは、APLAC 及び ILAC の相互承認の署名者である IA Japan により認定された試験所であり、認定国際基準に対応しています。

JNLA 140361JP は当センターの認定番号です。

### 3.2.4 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、平成 20 年度に区分「濃度」、「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。平成 23 年 10 月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。計量証明用設備の管理を徹底し、担当者のスキル向上に取り組むことで、充実した受け入れ態勢を継続している。

### 3.3 機器整備

#### 3.3.1 機器整備一覧

平成 28 年度は、新たに発足した 3D ものづくりセクターおよび先端材料開発セクターの機器や、機器利用でのニーズが高い機器を中心に全 81 機種を整備した。平成 28 年度の主な機器整備は以下のとおりである。

平成 28 年度機器整備実績

	機 器 名	事業所	組織
1	メモリハイコーダ	本部	電気電子技術 G
2	ミリ波プローブステーション		電気電子技術 G
3	スピスコータ		電気電子技術 G
4	電流センタ		電気電子技術 G
5	ミックスドドメインオシロスコープ		電気電子技術 G
6	微小硬度計		機械技術 G
7	ロックウェル硬度計		機械技術 G
8	実稼動モード解析機能付 FFT アナライザ		機械技術 G
9	弓鋸盤		機械技術 G
10	熱間埋込機		機械技術 G
11	多機能型摩擦摩耗試験機 ※JKA 補助		機械技術 G
12	騒音計		光音技術 G
13	ハイパースペクトルカメラ		光音技術 G
14	高性能蛍光 X 線膜厚計		表面・化学技術 G
15	分光光度計		環境技術 G
16	保冷库		環境技術 G
17	椅子の耐久性試験機		環境技術 G
18	超低温槽		バイオ応用技術 G
19	水系ゲル濾過クロマトグラフィー		バイオ応用技術 G
20	動的粘弾性測定装置		バイオ応用技術 G
21	USB3.0 高速通信試験システム		情報技術 G
22	立体物印刷対応 UV プリンター		デザイン技術 G
23	可搬型 X 線応力測定装置		3D ものづくり S
24	弾性体ブラスト研磨機		3D ものづくり S
25	CMM 精度チェック用標準器		3D ものづくり S
26	卓上三次元測定機		3D ものづくり S
27	ゼータ電位・粒子径分布・個数カウント装置		先端材料開発 S
28	微粉碎分散用ビーズミル		先端材料開発 S
29	スクリーン印刷機器		先端材料開発 S
30	大気中光電子収量分光装置		先端材料開発 S
31	真空脱泡攪拌ミキサ		先端材料開発 S
32	融点測定装置		先端材料開発 S

	機 器 名	事業所	組織
33	卓上型ランプ加熱装置	本部	先端材料開発 S
34	静電気試験器		実証試験 S
35	直交流発生器		実証試験 S
36	高精度ブリッジ		実証試験 S
37	微小硬さ試験機		実証試験 S
38	恒温恒湿槽		実証試験 S
39	抵抗セル		実証試験 S
40	乾燥機	城東支所	城東支所
41	レーザー変位計	墨田支所	生活技術開発 S
42	生体信号収録・解析システム		生活技術開発 S
43	デジタルフラジール形通気度試験機		生活技術開発 S
44	X線 CT データ 3D 解析システム	城南支所	城南支所
45	プログラマブル AC/DC 電源	多摩 テクノ プラザ	電子・機械 G
46	電磁界シミュレータ		電子・機械 G
47	高電圧差動プローブ		電子・機械 G
48	フライス盤		電子・機械 G
49	生物顕微鏡システム		複合素材開発 S
50	恒温恒湿槽		複合素材開発 S

※組織名の表記について、「G」グループの略、「S」セクターの略

※（公財）JKA の公設工業試験研究所等における研究開発型機械設備拡充事業による。

※ロボット産業活性化事業の実施に伴う機器整備は、「2.4 ロボット産業活性化事業」を参照。

### 3.3.2 経済産業省平成 28 年度補正予算事業による機器整備

経済産業省平成 28 年度補正予算事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域未来投資の活性化のための基盤強化事業）」に応募し、「医療・福祉・介護機器用 IoT センサーモジュールの開発支援等事業」が平成 28 年 12 月 20 日付で採択された。

本事業は、関東圏で公設試連携体を構成している 5 公設試（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市）が連携し、印刷・同関連業の中小企業が保有する薄膜化技術を応用した医療・福祉・介護向け IoT センサーモジュールの開発支援を行い、将来的に医療・福祉・介護分野におけるものづくりの IoT 化を推進し、地域イノベーションを創出することを目的としている。

そのための機器整備として、平成 29 年度には 5 公設試に計 7 機種を導入予定である。うち都産技研では、粘度・動的粘弾性測定器とデバイスの電機特性測定器を先端材料開発セクターに導入する。

### 3.4 機器利用

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスを行った。平成28年度の機器利用の実績は以下のとおりである。

平成28年度機器利用（試験項目別）実績

No.	機器利用試験項目	件数	金額（円）
1	指示計器（絶縁抵抗計）	147	163,590
2	定数測定器・測定用素子（ミリオームメータ）	463	235,430
3	電圧・周波数測定器（デジタルマルチメータ）	539	197,496
4	信号発生器および発振器（高周波ノイズシミュレータ）	2,106	2,189,869
5	校正装置（計器用変成器）	292	71,052
6	波形測定器・記録装置（温度記録計）	3,175	4,195,200
7	電源装置その他（電圧調整器）	3,088	1,702,417
8	試験機械（万能試験機）	3,916	3,554,349
9	測定機器（三次元測定機）	9,554	16,311,053
10	環境試験機器（恒温恒湿槽）	40,841	44,077,898
11	試験機器（耐電圧試験器）	342	369,801
12	記録解析装置（デジタルシリアルアナライザ）	439	700,461
13	観察機器（マイクロフォーカスX線CT）	3,031	12,193,755
14	クリーンルームおよび関連機器（クリーンルーム）	521	335,848
15	加工機器（プリント配線板試作装置）	14	65,660
16	切削加工機（普通旋盤）	1,674	1,005,466
17	設計・生産支援装置（ナイロン粉末造形装置）	37,660	48,534,127
18	ナノテクノロジー加工装置（レーザーマーカ）	518	1,141,092
19	その他の加工機械（マイクロハイスコープ）	1,874	1,359,733
20	繊維計測・生産加工機器（インクジェットプリントシステム）	3,696	4,277,358
21	電波暗室・測定システム（シールドルーム）	2,897	5,621,700
22	メカトロニクス試験・ロボット開発支援機器・計測制御機器	2,820	378,836
23	生活科学計測機器	4,117	10,410,625
24	指導料（機器利用指導、放射線施設利用に伴う技術指導）	10,561	13,903,027
端数処理に伴う減額			▲59,253
震災復興技術支援 機器利用料金の50%減額			(1,813) ▲1,461,830
総合計		134,285	171,474,760

### 3.4.1 機器利用ライセンス制度

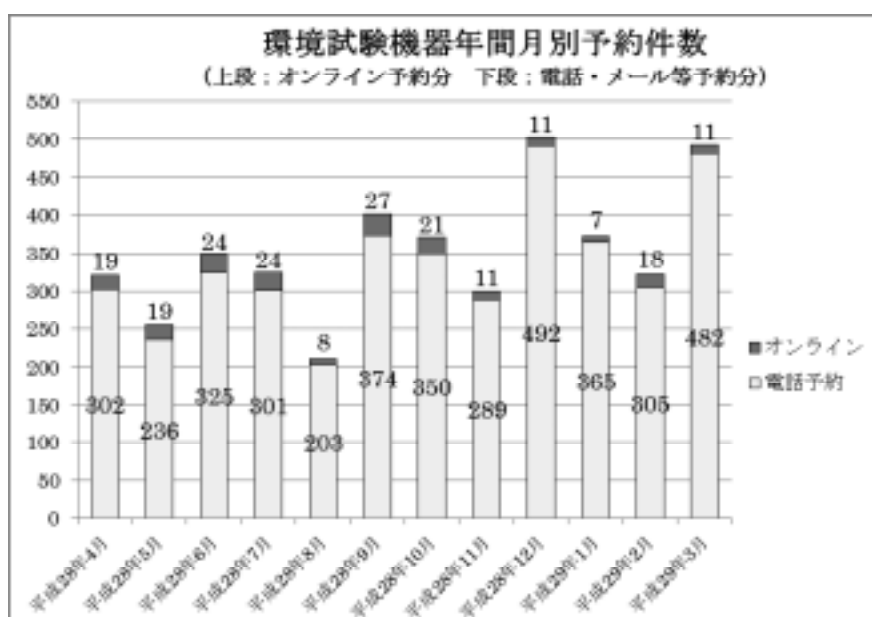
平成 24 年 2 月から機器利用ライセンス制度を導入し、今まで要望が多かった高性能で操作に習熟が必要な装置を対象機器とした。現在、対象機器は合計 16 機種である。利用希望者には利用方法習得セミナーの受講後「機器利用ライセンスカード」を交付した。平成 28 年度は 180 枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は 568 枚となった。

「機器利用ライセンスカード」発行枚数（累計）

ライセンス制度対象機器	発行枚数（枚）
分析機能付き走査電子顕微鏡	186
キセノンフラッシュアナライザー	70
スタジオ撮影システム	7
蛍光 X 線分析装置(波長分散型)	28
X 線回折装置	77
マグネトロンスパッタ	2
スクラッチ試験機	22
万能試験機（20kN）	40
万能試験機（100kN）	40
絶対 PL 量子収率測定装置	5
音響管	30
ハイパワーキセノンフラッシュアナライザー	9
フーリエ変換赤外分光光度計	1
分析機能付き走査電子顕微鏡（多摩テクノプラザ）	14
走査型白色干渉測定機（多摩テクノプラザ）	29
分析機能付き走査電子顕微鏡（城南支所）	8

### 3.4.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での予約申し込み受け付けの提供

平成 23 年度から、実証試験セクターの機器利用設備において、ウェブサイト上で機器利用可能情報、機器の仕様などの情報提供を開始した。平成 28 年度は多摩テクノプラザや全支所の機器利用設備を新たに加えて 442 機種（本部：214 機種、多摩テクノプラザ：94 機種、城東支所：44 機種、墨田支所：58 機種、城南支所：32 機種）の情報提供を開始した。実証試験セクターの予約可能 29 機種については、インターネット経由での予約申し込み受け付けを継続して行った。



### 3.5 災害復興支援

#### 3.5.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免

「災害復興技術支援に係る料金減額措置実施要綱」を策定するとともに、東日本大震災および平成 28 年熊本地震で直接的・間接的に大きな影響を受けた中小企業を支援するため、特定被災区域および都内の中小企業を対象として、依頼試験料金などの 50%減額を実施した。

<東日本大震災>

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、青森県、千葉県、新潟県、長野県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 5 号（ハ）」または「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

平成 28 年度利用実績：4,813 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

0 件（オーダーメイド試験）

3 件（オーダーメイド開発支援）

<平成 28 年熊本地震>

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、熊本県、大分県、鹿児島県、長崎県、宮崎県、佐賀県、福岡県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 4 号」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 28 年 8 月 1 日から平成 33 年 7 月 31 日まで

平成 28 年度利用実績：360 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

0 件（オーダーメイド試験）

1 件（オーダーメイド開発支援）

#### 3.5.2 工業製品等の放射線量測定試験

東京電力福島第一原子力発電所事故による都内工業製品の風評被害を防ぐために開始した放射線量測定と成績証明書の発行を継続実施した。また、都内中小企業の依頼試験手数料無料および大型試験品の出張測定についても継続した。平成 28 年度の試験実績は以下のとおりである。

平成 28 年度試験実績

	持ち込み試験		出張試験	
	実施件数	成績証明書 発行枚数	実施件数	成績証明書 発行枚数
都内中小企業	45	37	1	1
都内中小企業以外	1	1	0	0
都外企業	1	1	0	0
合計	47	39	1	1



### 3.5.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験

都産技研は平成 19 年 3 月に東京都産業労働局と締結した「放射線物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、空間線量率測定および大気浮遊塵の放射線量測定を平成 28 年度も継続実施した。

#### (1) 空間線量率測定

本部に設置したモニタリングポストによりデータ収集を継続実施した。平成 24 年 4 月 11 日から、測定結果は東京都健康安全研究センターのウェブサイトにも都内他地域の測定結果とともに公表している。

#### (2) 大気浮遊塵の放射能測定

都産技研では昭和 50 年から継続的に環境放射能の測定を旧駒沢支所（世田谷区深沢）で実施していた。本部移転後も平成 23 年 10 月 13 日から捕集を開始し、測定を継続実施した。I-131、I-132、Cs-134、Cs-137 の測定結果は、東京都産業労働局ウェブサイトでも毎日公表されている。なお、平成 28 年 1 月に発生した北朝鮮の地下核実験に対して、東京都との協定に基づき緊急測定体制を整備して測定結果を速やかに東京都に報告した。また、平成 28 年 9 月 9 日の北朝鮮の核実験の実施を受け、9 月 9 日 16 時から 9 月 16 日 16 時まで捕集時間を通常の 24 時間ごとから 8 時間ごと（1 日 3 回）に変更し、測定対応した。

### 3.5.4 節電・省エネ技術支援の実施

平成 23 年 6 月 27 日に開始した、工場などで使用する照明器具の照度・電力、エアコンの電力、温度分布などの現場での測定事業（省エネ巡回）を、平成 28 年度も無料で継続した。

・平成 28 年度節電・省エネ技術支援実施回数（省エネ巡回実施回数） 計 0 回

### 3.5.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業

都産技研は全国 68 機関で構成される全国公立鉦工業試験研究機関長協議会の会長機関として、放射線・放射能の正しい理解を促す目的で平成 23 年度に作成した企業向けの放射線対策ガイドを平成 28 年度も無料で配布した。

・技術冊子の配付

書名：「放射線・放射能の基礎と測定の実際」（平成 23 年 1 月 31 日発行）

配布部数： 152 部

### 3.6 高付加価値開発支援

#### 3.6.1 3Dものづくりセクター

「3Dものづくりセクター（平成28年4月新設）」では、3D技術やリバースエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。

##### (1) アディティブ・マニュファクチャリング（AM）設備による試作・製作支援

AM(3Dプリンター)ラボ1では、金属粉末積層造形装置およびワイヤー放電加工機など、AM(3Dプリンター)ラボ2では、主にナイロン粉末造形装置により、医療器具などの試作・製作支援を行った。平成28年度は、金属粉末積層造形品の品質向上のために、可搬型X線応力測定装置、弾性体ブラスト装置などを新たに導入した。

##### (2) 三次元CADデータ作成等のデジタルエンジニアリング支援

三次元CAD/CAEシステム、パターン投影式3Dデジタイザーなどによりさまざまな工業用製品の試作・製作支援を行った。平成28年度は、デジタルエンジニアリングの高度化を目指して構造最適設計ソフトウェアを新たに導入した。

##### (3) 製品の品質評価支援

長さ測定の試験（寸法測定器の校正）では、JCSS校正証明書の発行可能な測定器の種類について、座標測定機用校正ゲージなどの校正手法の追加登録が8月に認定された。

##### (4) 情報発信・情報提供の推進

1) パンフレット作成 2,600部

2) 展示会出展

産業交流展（10月）、METALEX 2016（11月）、3D Printing 2017展（2月）

3) 広報誌、新聞等掲載

日刊工業新聞（1月19日）、TIRI News（2月号特集）

4) 講演

① 「都産技研における3D技術を活用した支援事例について（神奈川県ものづくり技術交流会）」（10月）

② 「樹脂PBFの環境依存性（第7回AMシンポジウム）」（1月）

③ 「金属粉末AM(3Dプリンター)による3Dものづくり支援（都産技研循環型技術研究会産学公技術交流会）」（2月）

④ 「金属積層造形（金属3Dプリンター）の特徴とその活用方法（日系企業技術交流会2017 in バンコク）」（3月）

平成28年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 3Dものづくりセクター利用実績（件）

平成28年度利用実績	24,448
------------	--------

### 3.6.2 先端材料開発セクター

「先端材料開発セクター（平成 28 年 4 月新設）」では、機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。中でも以下を柱と位置付けている。

- ① 分析機器・特性解析装置を活用した技術支援
- ② 粉体プロセス機器を活用した微粒子応用材料の開発支援
- ③ 印刷機を活用した機能部材の開発支援

これらの支援を円滑に実施するため、平成 28 年度は、前年度まで高度分析開発セクターが所管し、本部 1 階に集中的に設置した先端的な機器分析装置を引き継いだほか、本部 4 階にビーズミルなどの粉体プロセス機器とスクリーン印刷関連機器を集中配置した。

#### (1) 研究開発成果の応用展開

- ・炭素系ナノ材料を液中で安定的に分散させる技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行ってきた「熱物性測定用試料の前処理剤」の製品化につなげた。
- ・微粉末触媒を担体に担持させる技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行ってきた「臭気処理能を向上させた VOC 処理触媒」の製品化につなげた。

#### (2) 先端材料製品の開発支援

- ・触媒反応に関する分析・特性解析技術の知見を用いて、中小企業による「耐酸性触媒」開発を支援した。
- ・ナノ粒子の粒径測定技術に関する知見を用いて、中小企業による「生体分子の粒径測定装置」開発を支援した。

#### (3) ライセンス制度による機器利用

先端的な機器分析装置のうち、操作に習熟が必要な以下の機器については、利用方法習得セミナー受講者に対してライセンスを発行し、機器利用に供している。

- ・分析機能付き走査電子顕微鏡
- ・X 線回折装置
- ・波長分散型蛍光 X 線分析装置

平成 28 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 先端材料開発セクター利用実績（件）

平成 28 年度利用実績	5,792
--------------	-------

### 3.6.3 複合素材開発セクター

高機能繊維材料や繊維強化材料による製品開発を支援するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発サイト」を7月27日に開設した。これまで実施してきた繊維技術や化学技術による支援を発展させ、自動車、ロボット、ウェアラブルなどの分野で期待されている炭素繊維強化プラスチック（CFRP）やe-テキスタイルの成形、加工、評価が可能となった。

#### (1) 利用促進に向けた活動

##### 1) 複合素材開発サイト開設式（参加者 45 名）

同時開催 複合素材開発サイト開設記念講演会・見学会開催（参加者 70 名）

講師：倪 慶清 氏（信州大学繊維学部教授）

「繊維素材の複合化 航空・自動車などへの応用展開」

##### 2) 開設記念セミナー

開設記念セミナー	題 目	所 属	発表者名	開催日	参加人数
第 1 回 複合材料の活用	CFRP・CFRTPの成形・加工技術の現状と課題	東京工業高等専門学校機械工学科教授	木村 南 氏	9 月 21 日	83 名
	航空エンジンへの適用に向けたセラミックス繊維複合材料の研究開発	(国研)宇宙航空研究開発機構航空技術部門主任研究員	青木卓哉 氏		
第 2 回 スマートテキスタイルの活用	e-テキスタイルについて	福井県工業技術センター主任研究員	増田敦士 氏	11 月 10 日	41 名
	ウェアラブル製品と布製伸縮ヒーター	(株)三機コンシス専務取締役 CTO	松本正秀 氏		
第 3 回 炭素繊維複合材料の活用	いしかわ炭素繊維クラスター	(公財)石川県産業創出支援機構	西原正浩 氏	2 月 20 日	89 名
	石川県の取り組み状況	統括コーディネーター			
	熱可塑性CFRPのプレス成形	金沢大学理工研究領域機械工学系教授	米山 猛 氏		

#### 3) 広報活動

##### ① 事業紹介

東京 TY フィナンシャルセミナー講演(8月23日)、(一社)繊維機械学会関東支部 PR ポスター展示(9月29日)、ふちゅうテクノフェア講演・展示(10月14～15日)、産業交流展展示(10月31日～11月2日)、八王子市セミナー講演(11月16日)、61st FRP CON-EX2016 講演・展示(11月24～25日)、車の軽量化展(1月18～20日)、強化プラスチック協会「合同研究会」開催[学協会連携事業](2月13日)

##### ② 記事掲載

強化プラスチック誌：複合素材開発サイト紹介、開所式紹介(Vol. 62, No. 9, p. 409-412, 2016)、繊維学会誌：広告掲載 (Vol. 73, No. 1, 2017)、繊維学会誌：事業紹介 (Vol. 73, No. 2, p. 78-80, 2017)

#### (2) 相談事例

X線CT装置によるCFRP内の炭素繊維・ボイドの状況観察、高強度テキスタイルのロボット部材への応用、アルミ材料部品のCFRP化による軽量化、など。

平成28年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 複合素材開発セクター利用実績（件）

平成28年度利用実績	15,854
------------	--------

#### **3.6.4 オーダーメイド開発支援**

中小企業の製品開発における上流工程・上流設計支援を目的に、オーダーメイド開発支援事業を平成21年6月に開始した。主にデザイン、設計、加工、試作等の分野で、開発過程でのデータ収集、測定、性能評価等も対象とした。複雑で高度化する企業のニーズに対し、従来制度である依頼試験や受託研究での対応では、支援内容が制度にマッチしない事例が発生していたが、オーダーメイド開発支援事業の開始により、都産技研が保有する機器・設備と、職員の人的能力を最大限に活用して、中小企業の製品開発を有効に支援できるようにした。成果において特許、実用新案が発生する場合は、必要に応じて都産技研・利用者と協議し、契約を結ぶことも可能である。

平成28年度は、450件、12,068,700円のオーダーメイド開発支援を実施した。

### 3.6.5 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、平成18年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に3室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、平成22年2月多摩テクノプラザ開設時に5室設置、平成23年10月本部開設時には新たに18室設置し、平成24年10月からは増室により19室とし、合計24室を製品開発支援のために提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24時間利用できる、③ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特長がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した共用の試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した共用の化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。

入居者はウェブサイトやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。平成29年3月31日現在、本部ラボ（19室）は17室が入居中であり、多摩ラボ（5室）は満室状態を維持している。

#### 本部

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
301	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成25年 6月 1日 ～平成29年 5月31日(予定)
302	ハードロック工業(株)	宇宙航空機産業参入に向けた新製品開発とボルト締結体基礎物性の把握	平成27年10月 1日 ～平成30年 9月30日(予定)
303	ティエムファクトリ(株)	「透明な断熱性を有するエアロゲル」の製品開発	平成27年11月16日 ～平成29年10月31日(予定)
304	(株)サイトライン・ソリューションズ	マイクロレイや次世代シーケンサーのデータ解析システムの開発	平成24年 9月 1日 ～平成29年 8月31日(予定)
305	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成24年10月 1日 ～平成28年 8月31日
	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成29年 3月31日
306	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化	平成25年10月 1日 ～平成29年 9月30日(予定)
307	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成27年12月 1日 ～平成28年 8月31日
	ACA(株)	肌測定用のソフトウェア、アプリケーションの開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)
308	(株)トリマティス	光通信技術と制御回路技術をもとにレーザー光源と電源の開発	平成28年 1月 1日 ～平成30年12月31日(予定)
309	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成27年12月 1日 ～平成28年 8月31日
	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成29年 9月30日(予定)
310	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成26年 4月 1日 ～平成28年 8月31日
311	(株)ジャパンユニックス	レーザーならびに超音波はんだ付けロボットの研究開発 はんだこて先具材の研究開発	平成23年10月 1日 ～平成28年 7月31日
312	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成26年10月 6日 ～平成28年 7月31日
	seven dreamers laboratories(株)	全自動衣類折りたたみ機の開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)
313	(株)バイオマステクノロジー	バイオマス樹脂成型加工品の分析、評価、課題抽出および解析等多様な要求事項に対する課題解決	平成23年10月 1日 ～平成28年 9月30日

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
	(株)アルファ・プロダクト	コンクリート表面のクラック検出用画像処理装置、コンクリート内部の金属検出用超音波検査装置、ドラム缶内面のさび検出用超音波装置の開発	平成28年12月 1日 ～平成31年11月30日(予定)
314	(株)ティ・エフ・ディ	光波、電磁波を応用した臨床検査、計測機器の研究と開発	平成23年10月 1日 ～平成28年 9月30日
	デザミス(株)	農業・畜産分野における IoT 機器の開発	平成29年 1月24日 ～平成32年 1月23日(予定)
315	(株)名取製作所	2020 年パラリンピックに向けスポーツ用義足の開発	平成28年 6月 1日 ～平成31年 5月31日(予定)
316	日本電熱(株)	過熱蒸気発生機器関連の開発および爆砕処理とそれによる残渣の利用開発	平成26年10月 8日 ～平成29年 9月30日(予定)
317	大東潤滑(株)	グリースやエアゾール、エンジニアリング・プラスチック等の新製品の設計開発および性能等実験調査	平成23年10月 1日 ～平成28年 7月31日
	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成28年 8月 1日 ～平成29年12月31日(予定)
318	(株)TBM	フィルター高充填シートの開発	平成26年11月 1日 ～平成29年10月31日(予定)
319	(株)CDM コンサルティング	水熱爆砕処理技術を利用したセシウム除去システムの開発等	平成24年 4月 1日 ～平成29年 3月31日

### 多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
ラボ 1	(株)EVTD 研究所	知見を有す電動両輪技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発	平成27年 8月 1日 ～平成30年 7月31日(予定)
ラボ 2	ナノコート・ティーエス(株)	真空・プラズマ技術を用いた薄膜作成技術の開発	平成27年 9月15日 ～平成30年 8月31日(予定)
ラボ 3	Cambwick Healthcare(株)	抗酸化ストレス治療用の治療器の開発	平成27年 2月22日 ～平成29年11月30日(予定)
ラボ 4	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成24年11月 1日 ～平成29年10月31日(予定)
ラボ 5	(株)アспект	3D プリンターのアプリケーション開発	平成28年10月 1日 ～平成31年 9月30日(予定)

### 3.6.6 共同研究開発室

競争的資金導入研究や共同研究などのテーマで、中小企業と都産技研が共同で実施し迅速に成果を出せるよう、研究の実施場所として共同研究開発室を本部に3室提供している。共用を原則としている。ただし、共同研究開発室運営会議で審査し承認が得られた場合には、6ヶ月を限度に専用使用することができる。共同研究開発室の利用者は、研究の実施場所として試作加工室や化学実験室など製品開発支援ラボの共用利用施設も利用することができる。平成29年3月31日までの利用状況は、3室3テーマである。

室番号	共同研究実施者	テーマ	使用期間
391A	GEE(株) 光音技術 G	ハンディタイプの拡散反射透過材測定器の開発	平成28年 6月 1日 ～平成28年11月30日(共用)
391B	(株)タンケンシールセーコウ 表面・化学技術 G	回転機械用メカニカルシール製品への応用を目的とした生産用大型 CVD 装置による多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発	平成28年 5月31日 ～平成29年 3月31日(共用)
393	アイリックス(株) 表面・化学技術 G	導電性ダイヤモンド電極の開発	平成28年 5月31日 ～平成29年 3月31日(共用)

### 3.7 品質評価支援（実証試験セクター）

「実証試験セクター」では、中小企業の安全で信頼性の高い製品を開発するために必要な、温湿度・劣化、振動・衝撃、電気・耐ノイズの試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援ができるよう環境試験機器を集約している。

平成 28 年度は、迅速かつ効率的な試験サービスの維持・拡充と、各種規格などに対応した質の高い試験業務の拡大を行った。

#### (1) 実証試験セクターのサービス拡充

実証試験セクターは、環境試験、電気・温度試験、製品・材料強度の各技術分野において製品の品質評価支援を行っている。

本部 2 階にある実証試験セクター窓口では、温湿度試験機などの機器利用予約情報、稼働状況、装置仕様を 60 インチディスプレイなどにより表示・提供している。装置と機器利用の概要をまとめたガイドについては、平成 26 年度分野ごとに作成したものをハンドブックとして 1 冊に統合し、その後新たに導入した試験機を反映させるとともに、わかりやすく使いやすいデザインに刷新した。ウェブサイトでは、温湿度試験機や EMC 試験機など、49 機種 of 機器利用予約情報、機器仕様などの提供、ならびに 29 機種のオンライン予約を行っている。また、利用が多い静電気試験器、小型恒温恒湿槽、100 kN 精密万能試験機、マイクロビッカース硬さ試験機、高精度ブリッジ、直交流発生器を更新し、サービスの維持と充実を図った。

#### (2) 対応可能な規格試験の拡大とサービス向上

高性能な熱拡散率測定装置を導入し、機器利用ライセンス制度での運用を開始した。ASTM E 1461、JIS R 1611 に基づく測定において、従来機では対応できなかった厚さの試料が測定可能となり、精度の向上も実現した。

#### (3) 試験所認定および校正事業者登録による国際化支援

電気（直流抵抗器）および温度（熱電対）の JCSS 校正試験を行っており、電気については平成 28 年度技能試験を実施した。また、鉄鋼（金属材料引張試験）の JNLA 試験については、平成 28 年度認定 2 年以内の全項目検査が実施され、事業継続が認められた。

#### (4) 利用促進 PR 活動

実証試験セクターのパンフレットと刷新したハンドブックは、出展した展示会でお客さまに配布するとともに、1 階相談窓口および各担当分野室に配架し、認知度向上と利用者増、事業目標達成につながる PR 展開を行った。

平成 28 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 実証試験セクター利用実績（件）

平成 28 年度利用実績	68, 123
--------------	---------



### 3.8 技術経営支援

#### 3.8.1 知的財産権の取得

##### (1) 知的財産権総括

##### 1) 知的財産権保有件数

		特許(件)		実用新案(件)		意匠(件)	商標(件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	登録	出願中
国内※1	今年度分	17	39	0	0	1	0	0
	累計	163	133	8	0	4	10	0
国外※2	今年度分	3	2				2	0
	累計	10	24				2	0
PCT※3	今年度分		2					
	累計		5					

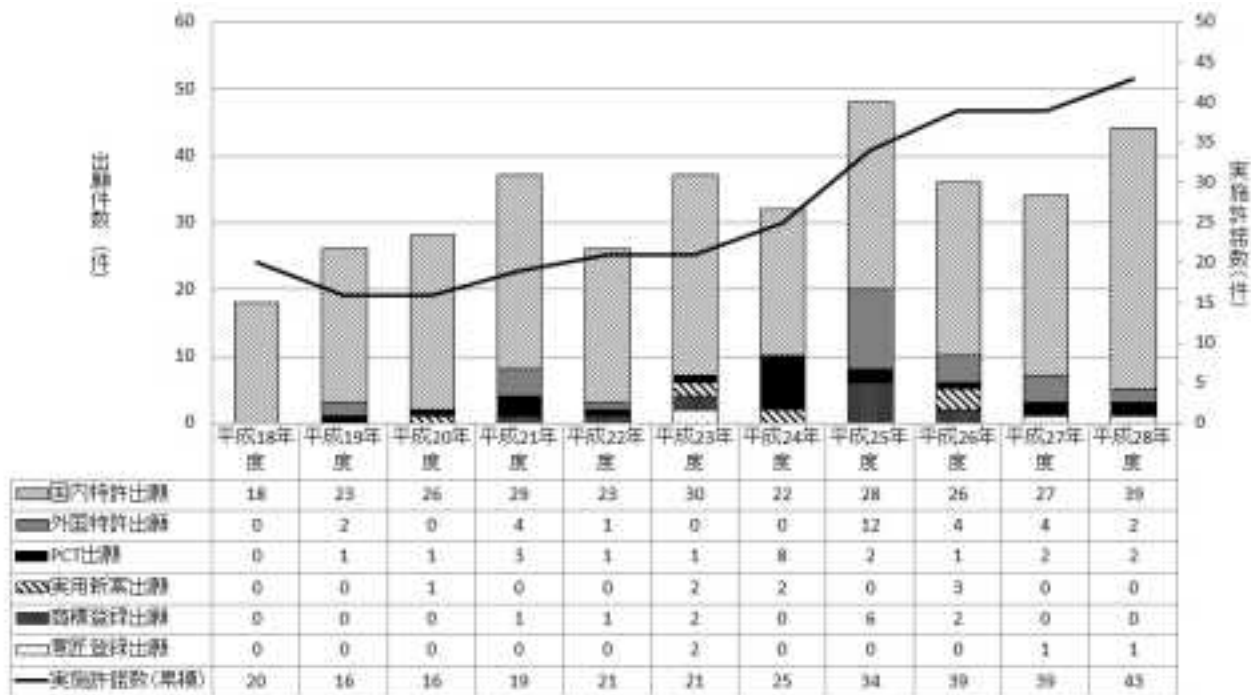
※1 国内優先権主張を利用したものは、原出願を件数から削除した。登録となった場合には、累計における「出願中」から削除した。「出願中」は、出願公開後に放棄等した件数を含む。

登録累計は、実績上権利終了案件を含む。

※2 自国（日本）指定も含めて計上した。

※3 PCT 出願後、各国への移行が完了したものについては、PCT の「出願中」から削除した。

##### 2) 出願案件数の推移（平成 18 年度～平成 28 年度まで）



## (2) 保有する登録済み知的財産権

## 1) 国内登録特許

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
1	第 3062813 号 (平 10-251835)	べっ甲基材の再生製造方法	H12. 5. 12 (H10. 8. 21)	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法に関する
2	第 3082911 号 (平 09-273212)	球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	H12. 6. 30 (H9. 9. 1)	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物に関する
3	第 3122870 号 (平 06-324046)	交流用 LED 点灯回路	H12. 10. 27 (H6. 11. 21)	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路
4	第 3261676 号 (平 11-357480)	電気ニッケルめっき浴。	H13. 12. 21 (H11. 12. 16)	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくても良い、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴に関する
5	第 3292239 号 (平 10-084250)	鋳造用すず合金	H14. 3. 29 (H10. 3. 30)	佐藤健二 他 1 名	創造性、転写性に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金に関する
6	第 3326546 号 (平 07-321057)	コンピュータシステムの故障検知方法	H14. 7. 12 (H7. 11. 15)	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法に関する
7	第 3354377 号 (平 08-047151)	レーザー溶射法による高耐食性改質層の作製方法	H14. 9. 27 (H8. 3. 5)	一色洋二 藤木 栄	レーザー溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
8	第 3406390 号 (平 06-180964)	重水素の濃縮方法及び装置	H15. 3. 7 (H6. 7. 8)	斎藤正明 他 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
9	第 3520505 号 (平 09-131548)	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法	H16. 2. 13 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法
10	第 3559727 号 (平 11-198208)	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	H16. 5. 28 (H11. 7. 12)	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
11	第 3590932 号 (2000-282652)	EMI ブローブ	H16. 9. 3 (H12. 8. 15)	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに60度の角度で配置したEMIブローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる
12	第 3612659 号 (平 09-131549)	フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法	H16. 11. 5 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏 他 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
13	第 3624394 号 (平 10-347644)	電解用活性陰極の製造方法	H16. 12. 10 (H10. 12. 7)	田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
14	第 3719847 号 (平 10-131320)	摺動性材料及びその製造方法	H17. 9. 16 (H10. 4. 24)	三尾 淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦かつ耐摩耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法
15	第 3748304 号 (平 08-327402)	重水素の濃縮度算出決定装置	H17. 12. 9 (H8. 12. 9)	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置
16	第 3779290 号 (2003-322418)	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	H18. 3. 10 (H15. 9. 16)	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
17	第 3812783 号 (平 10-066426)	超音波振動付加型摩擦試験機	H18. 6. 9 (H10. 3. 17)	片岡征二 加藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機
18	第 3963859 号 (2003-116330)	電動自転車用電源供給装置	H19. 5. 22 (H15. 3. 18)	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモーターに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
19	第 3968413 号 (2001-024203)	工作物に穴を形成する放電加工方法	H19. 4. 11 (H13. 1. 31)	山崎 実 森 紀年 武井健三郎 国枝正典	直径数十ミクロンという微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる
20	第 3970021 号 (2001-392816)	デジタル回路実験・実習遠隔教育方法	H19. 6. 15 (H13. 11. 20)	森 久直 坂巻佳壽美 他 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行えるようにした遠隔教育システム
21	第 3993784 号 (2002-106827)	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの用具	H19. 7. 24 (H14. 4. 9)	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
22	第 3992536 号 (2002-138469)	ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置	H19. 7. 24 (H14. 5. 14)	斎藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレータおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内に連続的に流入させた試料水または試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を増倍管で計数する
23	第 4046450 号 (平 11-325903)	表面プラズモン共鳴センサ	H19. 11. 30 (H11. 10. 12)	上野武司 加澤エリト 佐々木智憲 他 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ
24	第 4086241 号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	H20. 2. 29 (H16. 2. 12)	内田 聡 他 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
25	第 4125671 号 (2003-436038)	ノイズ測定用多素子アンテナ	H20. 5. 16 (H15. 11. 28)	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
26	第 4126576 号 (平 10-245288)	鋳造用アルミニウム合金	H20. 5. 23 (H10. 8. 31)	佐藤健二 他 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の低減化と製品歩留まりが向上する
27	第 4222515 号 (2004-314637)	ダイヤモンドの研磨方法と装置	H20. 11. 28 (H16. 10. 28)	横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
28	第 4226875 号 (2002-312841)	放電加工による素材の成形方法	H20. 12. 5 (H14. 10. 28)	山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 国枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 $\mu\text{m}$ の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作ることができる
29	第 4233222 号 (2001-008685)	着色ガラスの製造方法	H20. 12. 19 (H13. 1. 17)	鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2~50% の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる
30	第 4359537 号 (2004-177562)	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	H21. 8. 14 (H16. 6. 15)	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良に関するもの
31	第 4392719 号 (2004-036734)	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	H21. 10. 23 (H16. 2. 13)	片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 他 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
32	第 4394050 号 (2005-254626)	低摩擦性、耐磨耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23 (H17. 9. 2)	藤木 栄 他 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐磨耗性を一層向上させた金属板に関する
33	第 4568142 号 (2005-048669)	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13 (H17. 2. 24)	山崎 実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する
34	第 4573174 号 (2005-226475)	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27 (H17. 8. 4)	小山秀美 小林政行 他 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
35	第 4599529 号 (2005-234849)	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	H22. 8. 11 (H17. 8. 12)	後藤典子 山崎正夫 他 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの
36	第 4680612 号 (2005-016154)	カーボンオニオンの製造方法	H23. 2. 10 (H17. 1. 24)	基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便かつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること
37	第 4740439 号 (2000-008551)	塗装用ブラシ	H23. 5. 13 (H12. 1. 18)	木下稔夫 他 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
38	第 4764973 号 (2005-356870)	CRC 値の算出装置	H23. 6. 24 (H17. 12. 9)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した
39	第 4776212 号 (2004-340549)	マルチ X 線の発生方法及びその装置	H23. 7. 8 (H16. 11. 25)	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素から成るフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関するもの
40	第 4791746 号 (2005-094574)	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H23. 7. 29 (H17. 3. 29)	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
41	第 4827657 号 (2006-222746)	排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理キット	H23. 9. 22 (H18. 8. 17)	野々村 誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる
42	第 4828159 号 (2005-153290)	赤外線追尾装置	H23. 9. 22 (H17. 5. 26)	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
43	第 4832785 号 (2005-114097)	表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法	H23. 9. 30 (H17. 5. 26)	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐磨耗性の向上を目的としている
44	第 4847931 号 (2007-211714)	揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法	H23. 10. 21 (H19. 8. 15)	紋川 亮 石東真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
45	第 4851432 号 (2007-320334)	揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム	H23. 10. 28 (H19. 12. 12)	紋川 亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置
46	第 4873617 号 (2006-093164)	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	H23. 12. 2 (H18. 3. 30)	基 昭夫 後藤賢一 他 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法
47	第 4920007 号 (2008-129932)	ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法	H24. 2. 10 (H20. 5. 16)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関するものである

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
48	第 4936349 号 (2005-161094)	金属内包カーボンナノカプセルの製造方法	H24. 3. 2 (H17. 6. 1)	基 昭夫 片岡征二 他 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法
49	第 4940464 号 (2005-271060)	ネットワーク機器試験装置	H24. 3. 9 (H17. 9. 16)	坂巻佳壽美 乾 剛 他 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する
50	第 5019445 号 (2007-230736)	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	H24. 6. 22 (H19. 9. 5)	基 昭夫 他 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材を提供する
51	第 5022207 号 (2007-326851)	多層編地および多層編地の編成方法	H24. 6. 22 (H19. 12. 19)	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地を提供する
52	第 5025209 号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 6. 29 (H18. 9. 27)	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
53	第 5055617 号 (2007-139787)	分注装置	H24. 8. 10 (H19. 5. 25)	楊 振 他 3 名	従来に分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする
54	第 5078002 号 (2007-124308)	ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法	H24. 9. 7 (H19. 5. 9)	玉置賢次 片岡征二 他 2 名	鉄合金上に密着性良くダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する
55	第 5083768 号 (2008-008191)	バイオセンサシステム	H24. 9. 14 (H20. 1. 17)	沢井正之 他 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD <sup>+</sup> または NADP <sup>+</sup> を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること
56	第 5105957 号 (2007-146932)	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	H24. 10. 12 (H19. 6. 1)	斎藤正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する
57	第 5107261 号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	H24. 10. 12 (H19. 12. 7)	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
58	第 5107571 号 (2006-354819)	LED 制御方法	H24. 10. 12 (H18. 12. 28)	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する
59	第 5116245 号 (2006-083377)	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	H24. 10. 26 (H18. 3. 24)	上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名	硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する
60	第 5135022 号 (2008-081958)	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	H24. 11. 16 (H20. 3. 26)	紋川 亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することを可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである
61	第 5135341 号 (2009-520544)	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 11. 16 (H20. 6. 20)	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回印刷を重ねることにより隔壁となる所定の厚さの導電性インキ層を形成することを特徴とする
62	第 5137768 号 (2008-253593)	断面形態制御繊維およびその製造方法	H24. 11. 22 (H20. 9. 30)	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する
63	第 5140519 号 (2008-212839)	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22 (H20. 8. 21)	林 英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する
64	第 5147633 号 (2008-263687)	フッ素アパタイトの製造方法	H24. 12. 7 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
65	第 5175584 号 (2008-064141)	局所表面プラズモン 共鳴イメージング装 置	H25. 1. 11 (H20. 3. 13)	紋川 亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメージング装置を提供する
66	第 5177472 号 (2006-274408)	カット面を着色した ダイヤモンド粒子の 製造方法、およびカッ ト面に文様を描画し たダイヤモンド粒子 の製造方法	H25. 1. 18 (H18. 10. 5)	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないカラーダイヤモンド製造方法を提供する
67	第 5183301 号 (2008-139659)	成型型およびその製 造方法	H25. 1. 25 (H20. 5. 28)	寺西義一 他 3 名	ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型型およびその製造方法を提供する
68	第 5183328 号 (2008-174673)	編成体及びその製造 方法	H25. 1. 25 (H20. 7. 3)	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
69	第 5203603 号 (2006-355457)	親水性熱可塑性共重 合体	H25. 3. 5 (H18. 12. 28)	清水研一 篠田 勉 上野博志	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシル基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法に関する
70	第 5207669 号 (2007-165339)	再生繊維製造方法	H25. 3. 1 (H19. 6. 22)	樋口明久 他 2 名	塩ビ系壁紙を粉砕処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
71	第 5214290 号 (2008-071504)	食品用 X 線異物検査 装置およびその方法	H25. 3. 8 (H20. 3. 19)	大平倫宏 周 洪鈞 他 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法を開発した
72	第 5231294 号 (2009-055710)	揮発性有機化合物吸 着材とその製造方法	H25. 3. 29 (H21. 3. 9)	瓦田研介 井上 潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を VOC 吸着材に転換する技術に関するものである
73	第 5242289 号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収材 及びその製造方法	H25. 4. 12 (H20. 8. 12)	紋川 亮 田村和男	取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法に関する
74	第 5243222 号 (2008-322621)	粉体分離装置、粉体分 離システム、及び粉体 分離方法	H25. 4. 12 (H20. 12. 18)	樋口明久 他 8 名	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分離システムに関する
75	第 5261690 号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド 膜工具	H25. 5. 10 (H20. 5. 20)	横澤 毅 玉置賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具に関する
76	第 5268050 号 (2008-010369)	カーボンナノチュー ブ含有樹脂組成物、硬 化物、成形体及びカー ボンナノチューブ含 有樹脂組成物の製造 方法	H25. 5. 17 (H20. 1. 21)	柳 捷凡 他 2 名	機械強度 (曲げ強度、曲げ弾性率) や導電性 (特に均一性) に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法に関する
77	第 5281926 号 (2009-046676)	揮発性有機化合物吸 着剤とその製造方法、 並びに樹皮又はその 成型体の利用方法	H25. 5. 31 (H21. 2. 27)	瓦田研介 井上 潤	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法に関する
78	第 5301140 号 (2007-286805)	ガラス状炭素材から なる微細成型型材料 とその製造方法なら びにそれを用いた微 細成型型	H25. 6. 28 (H19. 11. 2)	寺西義一 他 1 名	凹凸部の寸法を数 nm~数百 μm 程度とする微細な成形が行われた微細成型型の材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型型に関する
79	第 5302860 号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方 法	H25. 6. 28 (H21. 11. 24)	柳 捷凡	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
80	第 5308608 号 (2001-024519)	締結体締め付け力安定化剤、これを用いた締結力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	H25. 7. 5 (H13. 1. 31)	大久保一宏 石田直洋 他 2 名	締結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤、およびこれを用いた締結体の締め付け力安定化方法、さらに、同安定化剤をあらかじめ付着させてなる締結体を構成する部品に関する
81	第 5309354 号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	H25. 7. 12 (H18. 2. 28)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法に関する
82	第 5350866 号 (2009-096262)	皮革または革製品	H25. 8. 30 (H21. 4. 10)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏	皮革および革製品の表面に付着した主に環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品に関する
83	第 5367341 号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	H25. 9. 20 (H20. 11. 5)	渡部友太郎	Al-Si(Al-Si-Mg)系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法に関する
84	第 5376669 号 (2010-070763)	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	H25. 10. 4 (H22. 3. 25)	小金井誠司 他 6 名	ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等に関する
85	第 5378024 号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	H25. 10. 4 (H21. 3. 25)	紋川 亮 藤井恭子	揮発性有機物の吸収能(吸収量および吸収速度)が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため、吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材に関する
86	第 5382638 号 (2008-014005)	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	H25. 10. 11 (H20. 1. 24)	基 昭夫 他 4 名	絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型に関する
87	第 5388304 号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	H25. 10. 18 (H22. 3. 29)	中村広隆 榊本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報(掲示情報)についての視認性の改善に寄与する照明装置に関する
88	第 5394132 号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	H25. 10. 25 (H21. 6. 3)	紋川 亮 他 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法に関する
89	第 5399034 号 (2008-246074)	微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法	H25. 11. 1 (H20. 9. 25)	寺西義一 三尾 淳 石東昌典	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法に関する
90	第 5404465 号 (2010-031649)	ポリアニリン半導体材料	H25. 11. 8 (H22. 2. 16)	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料に関する
91	第 5413939 号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	H25. 11. 22 (H19. 7. 30)	楊 振 佐々木智憲	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成生成装置に関する
92	第 5414719 号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	H25. 11. 22 (H23. 3. 9)	染川正一 他 1 名	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等に関する
93	第 5422320 号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	H25. 11. 29 (H21. 9. 18)	染川正一 石川麻子 他 1 名	VOC 分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で VOC を分解することができる触媒等に関する
94	第 5425689 号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	H25. 12. 6 (H22. 3. 31)	神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘引効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
95	第 5435911 号 (2008-218293)	除放射性製剤とその製造方法	H25. 12. 20 (H20. 8. 27)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖	短期間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法に関する
96	第 5438287 号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	H25. 12. 20 (H20. 5. 30)	柳 捷凡 他 3 名	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に関わり、さらに皮膚外用剤に関する
97	第 5439155 号 (2009-286011)	歯間清掃具及びその製造方法	H25. 12. 20 (H21. 12. 17)	許 深 樋口明久	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法に関する
98	第 5441485 号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	H25. 12. 27 (H21. 4. 24)	紋川 亮	VOC の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および VOC 処理方法に関する
99	第 5448549 号 (2009-106520)	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	H26. 1. 10 (H21. 4. 24)	平野康之 加澤エリト 吉田裕道 原本欽郎	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でも VOC 濃度の測定が可能な光イオン化検出器等に関する
100	第 5460113 号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	H26. 1. 24 (H21. 4. 23)	紋川 亮 加澤エリト	VOC 等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
101	第 5479826 号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置	H26. 2. 21 (H21. 9. 24)	三尾 淳 他 2 名	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極に関する
102	第 5486790 号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	H26. 2. 28 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
103	第 5511523 号 (2010-129014)	二脚型移動装置	H26. 4. 4 (H22. 6. 4)	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに跨ぎ越すことのできる二脚型移動装置に関する
104	第 5548144 号 (2011-016517)	表示装置	H26. 5. 23 (H23. 1. 28)	豊島克久	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する表示装置
105	第 5560065 号 (2010-047994)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
106	第 5560066 号 (2010-047997)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
107	第 5564680 号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	H26. 6. 27 (H21. 7. 21)	中澤亮二 小山秀美	排水中のりん酸を回収するのに適した高いりん酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
108	第 5572459 号 (2010-152637)	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	H26. 7. 4 (H22. 7. 5)	上野博志 菊池有加 峯 英一	試料中の微量な 4 種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、よう素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法に関する
109	第 5579644 号 (2011-059966)	赤色ガラス	H26. 7. 18 (H23. 3. 18)	大久保一宏 増田優子 上部隆男	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラスに関する
110	第 5604094 号 (2009-286822)	防かび剤組成物、およびそれを利用した木材および木製品	H26. 8. 29 (H21. 12. 17)	小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品等に関する



番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
111	第 5632597 号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の製造 方法及び弦楽器製造 装置	H26.10.17 (H21. 8.31)	横山 幸雄	積層造形法を活用した、弦楽器、弦楽器の製造 方法および弦楽器製造装置に関する
112	第 5647669 号 (2012-503249)	多孔質シリカの製造 方法	H26.11.14 (H23. 3. 3)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、 ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下 のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で 得ることができる多孔質シリカの製造方法に関 する
113	第 5647836 号 (2010-198628)	導電紙及びその製造 方法	H26.11.14 (H22. 9. 6)	上野武司 竹村昌太 島田勝廣	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材 パルプを含む導電紙およびその製造方法に関す る
114	第 5650916 号 (2010-047999)	防護服	H26.11.21 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成 されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部か ら頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部 があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で 迅速に脱衣できる
115	第 5660831 号 (2010-219707)	アルミニウム合金の 材質判定方法	H26.12.12 (H22. 9.29)	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミ ニウム合金のグループ分けを行う場合に適用し て好適なアルミニウム合金の材質判定方法に関 する
116	第 5660918 号 (2011-026993)	情報処理装置、コンピ ュータプログラム、お よび情報処理方法	H26.12.12 (H23. 2.10)	大平倫宏	三次元図形を構成する複数の頂点に対応する複 数の頂点データを有する三次元図形データに対 する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにお いて、データの改ざんが検出されやすくなるよ うにする情報処理装置、コンピュータプログラ ム、および情報処理方法に関する
117	第 5667431 号 (2010-287832)	三次元座標測定機簡 易検査用ゲージ	H26.12.19 (H22.12.24)	中西正一 西村信司 中村弘史	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に 行うことができ、マルチスタイラスの検査も実 施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージに 関する
118	第 5690244 号 (2011-179367)	はんだの組成分析方 法	H27. 2. 6 (H23. 8.19)	林 英男	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する 方法に関する
119	第 5697309 号 (2009-053490)	局在プラズモン共鳴 センサの製造方法	H27. 2.20 (H21. 3. 6)	加澤エリト 紋川 亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学セ ンサの性能向上に関し、センサ性能低下の要 因となっていた導電・密着層を熱処理により誘 電体化することを特徴とする
120	第 5697852 号 (2009-073154)	揮発性有機物回収シ ステム	H27. 2.20 (H21. 3.25)	紋川 亮	VOC を効率的に液化して回収することができる 揮発性有機物回収システムに関する
121	第 5698034 号 (2011-045449)	加熱補助器具及び加 熱装置並びに化学的 酸素消費量の測定方 法及び加熱方法	H27. 2.20 (H23. 3. 2)	荒川 豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速 に加熱することができるとともに、試料間の加 熱むらを小さくすることができる加熱補助器 具、加熱装置および加熱方法、ならびに、複数 の試料水について簡易かつ迅速に加熱するこ とができるとともに、試料間の測定精度のばら つきを小さくすることができる化学的酸素消費 量の測定方法に関する
122	第 5706069 号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨装 置及びダイヤモンド 研磨方法	H27. 3. 6 (H21. 2. 4)	横澤 毅 片岡征二 他 1 名	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを 研磨する装置および方法に関する
123	第 5711927 号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料電 池	H27. 3.13 (H22. 9. 3)	樋口明久 他 7 名	MEA セルとセパレータの間に集電材が設けられ る平板型の固体酸化物型燃料電池、および MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に 集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料 電池に関する
124	第 5717491 号 (2011-065307)	揮発性有機化合物用の 担体触媒及びその 製造方法	H27. 3.27 (H23. 3.24)	染川正一 小島正行 藤井恭子 萩原利哉 堂免一成	VOC 用の触媒層を担体に担持するにあたって、 触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき 、かつ触媒層が担体から剥離しにくいので、 触媒性能のアップを図ることができるとともに 触媒燃焼法の装置設計がしやすくなる
125	第 5722736 号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組 成物、その組成物で形 成される微細流路を 備える石英ガラスマ イクロリアクター及 びその流路形成方法	H27. 4. 3 (H23. 9.16)	田中 実 伊東洋一 上部隆男 他 3 名	一对の石英ガラス基板の両板の対向面に、スク リーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成 により該両板間に微細流路を形成する流路形成 用ガラス組成物、その組成物で形成される微細 流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、 およびその石英ガラスマイクロリアクターの流 路形成方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
126	第 5734589 号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	H27. 4. 24 (H22. 7. 16)	清水研一 飛澤泰樹 他 2 名	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキンに関する
127	第 5739125 号 (2010-2011507)	人工骨部材	H27. 5. 1 (H22. 9. 9)	寺西義一 他 1 名	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材に関する
128	第 5753568 号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴 センサ及びその製造 方法	H27. 5. 29 (H25. 11. 20)	加澤エリト 紋川 亮	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法に関する
129	第 5762151 号 (2011-126795)	数値データの圧縮シ ステム及び方法	H27. 6. 19 (H23. 6. 6)	大原 衛 山口隆志	主にコンピュータによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮および伸長するためのシステム、方法およびその装置に関する
130	第 5767076 号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	H27. 6. 26 (H23. 10. 17)	豊島克久	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサーに関する
131	第 5775326 号 (2011-041203)	LED 点灯回路	H27. 7. 10 (H23. 2. 28)	小林丈士 染谷克明 寺井幸雄	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つ LED (発光ダイオード) の点灯回路に関する
132	第 5779038 号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器 及び揮発性有機物検 出方法	H27. 7. 17 (H23. 8. 10)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	被測定対象に含まれる VOC を検出する VOC 検出器および VOC 検出方法、特に、VOC をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる VOC の種別を特定することが可能な VOC 検出器および VOC 検出方法に関する
133	第 5780640 号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動シ ステム及び燃料電池 組み立てキット	H27. 7. 24 (H23. 6. 30)	峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他 1 名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットに関する
134	第 5803003 号 (2011-150689)	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	H27. 9. 11 (H23. 7. 7)	長坂浩志	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法に関する
135	第 5812828 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管 内壁の研掃方法に用 いる偏向部材および 管内壁研掃システム	H27. 10. 2 (H23. 11. 30)	小野澤明良 木下稔夫 他 1 名	錆面（付着物が付着した管内壁）への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のプラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩耗を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率が良いため同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段に関する
136	第 5818619 号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の 付着装置	H27. 10. 9 (H23. 10. 5)	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術に関する
137	第 5827735 号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造 方法	H27. 10. 23 (H26. 9. 29)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法に関する
138	第 5840054 号 (2012-74775)	複合材料、培養容器及 び細胞培養器用仕切 り部材	H27. 11. 20 (H24. 3. 28)	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコーラゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器に関する
139	第 5861177 号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法 および有機溶剤の脱 着装置	H28. 1. 8 (H23. 10. 18)	杉森博和 他 3 名	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置に関する
140	第 5861231 号 (2011-138440)	絹繊維品のプリーツ 加工方法及び絹繊維 品のプリーツ加工品	H28. 1. 8 (H23. 6. 22)	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品のプリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、プリーツの保持性にも優れるという効果を有する、プリーツ加工方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
141	第 5875761 号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲル およびその用途	H28. 1. 29 (H22. 12. 16)	柚木俊二 他 2 名	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材に関する
142	第 5876311 号 (2012-15800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	H28. 1. 29 (H24. 1. 27)	西沢啓子 神田浩一 渡辺茂幸	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラムに関する
143	第 5878294 号 (2011-2763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具	H28. 2. 5 (H23. 1. 11)	小金井誠司 他 4 名	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工工具の耐久性を高めることができる、加工方法及加工工具に関する
144	第 5883287 号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用 方法、防護服及び防護 装置	H28. 2. 12 (H23. 12. 16)	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる防護帽に関する
145	第 5892485 号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	H28. 3. 4 (H23. 12. 26)	斎藤正明	多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことができる自動蒸発濃縮器に関する
146	第 5901156 号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	H28. 3. 18 (H23. 6. 29)	柳 捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法に関する
147	第 5917139 号 (2011-287408)	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	H28. 4. 15 (H23. 12. 28)	藤巻研吾 横澤 毅	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置に関する
148	第 5917108 号 (2011-260878)	電解セル	H28. 4. 15 (H23. 11. 29)	斎藤正明	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セルに関する
149	第 5989334 号 (2011-283724)	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	H28. 8. 19 (H23. 12. 26)	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材に関する
150	第 6029149 号 (2014-126615)	編針の製造方法	H28. 10. 28 (H26. 6. 19)	堀江 暁 森河和雄 川口雅弘 三尾 淳	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針の製造方法
151	第 6004528 号 (2012-186879)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 9. 16 (H24. 8. 27)	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
152	第 6017431 号 (2013-533461)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28. 10. 7 (H26. 2. 24)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
153	(2012-103787)	尾てい骨保護下着	(H24. 4. 27)	藤田薫子 他 1 名	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着に関する
154	第 6052958 号 (2012-151440)	相溶化剤、その相溶化剤により相溶される複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶される複合体の製造方法	H28. 12. 9 (H24. 7. 5)	梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健	脂肪酸ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶される複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶される複合体の製造方法に関するものである
155	第 6059957 号 (2012-241704)	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	H28. 12. 16 (H24. 11. 1)	大平倫宏 富山真一	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することのできる鳥獣識別装置等に関する
156	第 6057569 号 (2012-150881)	冷却シート	H28. 12. 16 (H24. 7. 4)	飛澤泰樹 清水研一 他 1 名	冷却シートに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シートに係るものである

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
157	第 6061483 号 (2012-068325)	冷却シート及びネッククーラー ※名称補正	H28. 12. 22 (H24. 3. 23)	清水研一 飛澤泰樹 他 1 名	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラーに関する
158	第 6066600 号 (2012-154100)	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	H29. 1. 6 (H24. 7. 9)	菅谷紘子 岩崎謙次	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関する
159	第 6071468 号 (2012-256802)	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	H29. 1. 13 (H24. 11. 22)	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
160	第 6080762 号 (2013-531434)	成形体の製造方法	H29. 1. 27 (H24. 8. 31)	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
161	第 6081156 号 (2012-251622)	ハイドロゲル	H29. 1. 27 (H24. 11. 15)	柚木俊二 大藪淑美 関口正之 他 1 名	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲルに関する
162	第 6081781 号 (2012-255357)	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	H29. 1. 27 (H24. 11. 21)	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法等に関する
163	第 6108272 号 (2013-193718)	プラスチックのバイオマス由来判別方法	H29. 3. 17 (H25. 9. 19)	永川榮泰 柚木俊二 斎藤正明	プラスチックのバイオマス由来判別方法に関する

## 2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称 (和名)	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H5. 4. 20	鈴木 蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 12. 7	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
3	米国特許 第 8729371 号	弦楽器、その製造方法及び装置	H26. 5. 20	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法等に関する
4	中国特許 ZL 2011 8 0011994. 1 (201180011994. 1)	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H27. 6. 24 (H24. 9. 3)	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに関する
5	韓国特許 第 10-1417009 号	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びガラスペースト	H26. 6. 30	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
6	韓国特許 第 10-1502996 号	燃料電池用集電材	H27. 3. 10	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に関する
7	韓国特許 第 10-1609080 号	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 3. 29	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
8	中国特許 ZL 201280042513. 8 (201280042513. 8)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 8. 24	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
9	米国特許 第 9, 480, 117 号 (14/354, 758)	電力線を介して負荷を制御するための制御システム ※名称補正	H28. 10. 25	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
10	欧州特許 第 2757573 号 (12831773. 2)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28. 11. 4	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する

### 3) 実用新案登録

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	考案者	内 容
1	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	H21. 3. 11	秋山 正 他 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモバイル細工
2	登録第 3170441 号	照明器具	H23. 8. 24	上野明也 他 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	登録第 3171954 号	ブラジャー	H23. 11. 2	藤田薫子 他 1 名	授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者などが使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー
4	登録第 3183799 号	注射器の針部取り外し器具ユニット	H25. 5. 8	石堂 均 他 2 名	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを迫及するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニットに関する
5	登録第 3183939 号	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	H25. 5. 15	西川康博 佐野宏康 小船諭史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する
6	登録第 3194598 号	装飾品及び照明器具	H26. 7. 4	上野明也	希少なベッコ甲を有効に利用しつつ、ベッコ甲が持つ風合いを活かした装飾品および照明器具に関する
7	登録第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	H26. 12. 3	秋山 正	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせて連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンドおよびブックエンドユニットに関する
8	登録第 3195171 号	パンツ型着用物	H26. 12. 10	平山明浩 他 1 名	日常生活における着用者の動作に追従し着用者の肌と密着して、吸収パッドからの漏れを抑制するパンツ型着用物に関する

### 4) 意匠登録

番号	登録番号 (出願番号)	意匠に係る物品	登録年月日 (出願日)	創作者	内 容
1	登録第 1433084 号	ランプシェード	H24. 1. 6	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードである
2	登録第 1439104 号	ランプシェード	H24. 3. 23	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するものである
3	登録第 1546747 号 (2015-013530)	ランプシェード	H28. 2. 26 (H27. 6. 18)	上野明也	LED などの光源を内部に収容して使用するランプシェードであり、大きさの異なる 3 つの六角形の枠（大枠、中枠、小枠）から形成され、大枠正面に透光性を有する素材が配設されてなるものである
4	登録第 1571378 号 (2016-011576)	ロボット	H29. 2. 10 (H28. 5. 31)	小林裕介 村上真之 坂下和広	自律的に走行可能なロボットである。例えば、屋内または屋外の施設で、施設内巡回や施設利用者への案内等を行う

5) 商標登録

番号	登録番号	商標	登録年月日	内 容
1	登録第 5358694 号		H22. 10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子ども服中心のブランド
2	登録第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
3	登録第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
4	登録第 5492668 号		H24. 5. 11	メリヤス（ニット）の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー（実験室）の「ラボ」から生まれたニットブランド
5	登録第 5663387 号		H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
6	登録第 5663388 号	チリン (標準文字)	H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
7	登録第 5680841 号		H26. 6. 27	介護服の新ブランド
8	登録第 5689214 号		H26. 7. 25	都産技研のロゴマーク
9	登録第 5689215 号	東京都立産業技術 研究センター (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の名称
10	登録第 5689216 号	TIRI (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の英語略称

## (3) 出願案件 ※公報が発行されていない出願の内容は「未公開」と表記

## 1) 国内出願

番号	出願番号	名称	出願年月日	発明者	内容
<b>平成 18 年度</b>					
1	2007-079315	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	H19. 3. 26	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関すること
<b>平成 19 年度</b>					
1	2007-303522	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	H19. 11. 22	阪口文雄 武田有志	VOC ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法に関する
2	2008-018066	マイクロバルブを有する微細流路	H20. 1. 29	伊東洋一 基 昭夫 他 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御 (ON・OFF) させる技術
3	2008-022789	路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	H20. 2. 1	小池茂幸	道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の消去方法および装置に関する
4	2008-054596	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	H20. 3. 5	武田有志 他 3 名	管内を通過する VOC ガスの累積ガス量を一つのセンサで計測する機構とその方法に関する
<b>平成 20 年度</b>					
1	2008-303347	生地加工方法	H20. 11. 28	木村千明 小林研吾 藤田 茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法
2	2009-042030	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	H21. 2. 25	基 昭夫 他 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た
3	2009-042804	織物及び編物のプリーツ性試験方法とその装置	H21. 2. 25	田中みどり 岩崎謙次	伸長法プリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した
<b>平成 21 年度</b>					
1	2009-134114 【優先権主張】 原出願 2008-145511	編針及びその製造方法	H21. 6. 3	堀江 暁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針とその製造方法
2	2009-213585	画像合成装置及び画像合成方法	H21. 9. 15	大平倫宏 他 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている
3	2009-285657	LED 点灯回路	H21. 11. 27	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生のない、LED 点灯回路
4	2010-046922	活性炭及びその製造製法	H22. 3. 3	瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 他 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス (特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス) を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
5	2010-48371	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	H22. 3. 4	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
6	2010-71902	揮発性有機化合物分解反応器	H22. 3. 26	紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名	VOC 分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする VOC 分解反応器
7	2010-72806	工場排気ガス処理装置	H22. 3. 26	小島正行 平野康之 他 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC および塗料、インクなどの高沸点有機化合物ならびにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置
8	2010-72807	工場排気ガスの 2 層ろ過装置	H22. 3. 26	小島正行 他 2 名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
<b>平成 22 年度</b>					
1	2010-163584	フィールド機器用データストレージシステム	H22. 7. 21	金田泰昌 佐月康晴 佐野宏靖 他 6 名	記録済みのデータが外部から改変あるいは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
2	2010-248770	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	H22. 11. 5	小島正行 染川正一 秋山恭子 荻原利哉 他 2 名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する
3	2011-038925	オゾン濃度測定装置	H23. 2. 24	中村広隆 他 6 名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する
<b>平成 23 年度</b>					
1	2011-124782	有害化学物質低減木質ボードの製造方法と有害化学物質低減木質ボード	H23. 6. 3	濱野智子 瓦田研介 他 2 名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現
2	2011-220895	塗装物の乾燥・焼付炉	H23. 10. 5	小島正行 藤井恭子 染川正一 荻原利哉 他 1 名	塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減および塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術に関する
3	2011-236695	制御システム	H23. 10. 28	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
4	2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215	コラーゲン膜及び培養容器	H23. 3. 28	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコラーゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器に関する
<b>平成 24 年度</b>					
1	2012-129660	重金属吸着剤及び重金属回収方法	H24. 6. 7	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	金属の吸着剤、さらに詳しくは担子菌の死菌体またはこれを含有する廃菌床を利用した重金属吸着剤、およびこれらを使用する重金属回収方法等に関する
2	2012-143083	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	H24. 6. 26	榎本一郎	機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレンに関する



番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
3	2012-180829 【分割出願】 親出願 2008-131617	高強度ダイヤモンド膜工具	H24. 8. 17	横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名	耐欠損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある
4	2012-181879	補助布付きコート、補助布及びマフラー	H24. 8. 20	加藤貴司	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等に関する
5	2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	H24. 9. 27	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチに関する
6	2012-227142 【分割出願】 親出願 2009-520544	燃料用電池用セパレータプレート の製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 10. 12	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に形成する
7	2012-257432	ライトパイプ	H24. 11. 26	横田浩之	発光の形状を点状に近似させ、発光の位置を任意とすることで、LED を光源としつつフィラメント素子との相違を解消させてフィラメント素子の配光に近似させることができるライトパイプに関する
8	2012-266048	プラスチックのバイオマス由来判別方法	H24. 12. 5	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	固体プラスチックに含まれる放射性炭素( <sup>14</sup> C)を、LSC法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
9	2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027	骨結合性材料、人工骨並びに 基材と自家骨との結合促進 方法	H24. 12. 17	寺西義一 他 1 名	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等に関する
10	2013-021929	メカニカルシールおよびその製造方法	H25. 2. 7	長坂浩志 渡辺友太郎 寺西義一 他 1 名	未公開
11	2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985	LED 照明の分光分布設計方法	H25. 3. 28	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかにかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となる LED 照明の分光分布設計方法に関する
<b>平成 25 年度</b>					
1	2013-096087	金属編地及びその製造方法	H25. 4. 30	唐木由佑	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法に関する
2	2013-100737	光源装置	H25. 5. 10	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置に関する
3	2013-113498	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びに X 線三次元測定装置及び方法	H25. 5. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
4	2013-119604 【優先権主張】 原出願 2012-129660	重金属吸着剤及び重金属回収方法	H25. 6. 6	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法に関する
5	2013-125803	配光測定装置および配光測定方法	H25. 6. 14	横田浩之	面発光体の配光分布の測定を精度良く行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置等に関する
6	2013-129077	電気ニッケルめっき液および電気めっき方法	H25. 6. 19	浦崎香織里 土井 正	ピット防止等のための添加剤やほう素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液に関する
7	2013-134031	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	H25. 6. 26	坂下和広	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置に関する

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
8	2013-159010	飛行装置及び駆動装置	H25. 7. 31	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステムに関する
9	2013-172143	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	H25. 8. 22	澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度良く行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術に関する
10	2013-181647	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	H25. 9. 2	浦崎香緒里 他 1 名	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等に関する
11	2013-192629	オゾン濃度測定装置	H25. 9. 18	武田有志 中村広隆 他 3 名	固体発光素子をチョップ発信させ計測する紫外線吸収式オゾン濃度測定装置に関する
12	2013-194199	ノード装置及びネットワークシステム	H25. 9. 19	中川善継	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
13	2013-218054	光学部材および光源装置	H25. 10. 21	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
14	2013-224627	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	H25. 10. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也	X線CT画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができるX線三次元測定装置
15	2013-224629	三次元測定装置及び三次元測定方法	H25. 10. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
16	2013-240142 【分割出願】 親出願 2009-053490	局在プラズモン共鳴センサ	H25. 11. 20	紋川 亮 加澤エリト	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサにおいて、リソグラフィ法による製造上必要不可欠な、誘電体基板と金属微細構造の間に挿入される導電層または密着層としての金属層を除去することなく、かつ複雑、高価な製造工程を必要とすることのない、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
17	2013-241895	運動支援システム及び運動支援プログラム	H25. 11. 22	後濱龍太 他 1 名	内発的動機付けを促進するとともに、運動強度および運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザーを支援することができる運動支援システムおよび運動支援プログラム
18	2013-256516	反応物供給流路	H25. 12. 11	峯 英一 窪寺健吾 他 2 名	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
19	2014-001479 【優先権主張】 原出願 2013-001809	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	H26. 1. 8	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	多量の廃棄物を生じるような高温高圧処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および/または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術に関する
20	2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	H26. 2. 21	水元和成 他 2 名	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金・パラジウム合金皮膜に関する
21	2014-048017	信号検出装置及び信号検出方法	H26. 3. 11	村上真之 志水 匠	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置および信号検出方法
22	2014-052115 【優先権主張】 原出願 2013-052321	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	H26. 3. 14	杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置等に関する

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
平成 26 年度					
1	2014-092371 【優先権主張】 原出願 2013-095732	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	H26. 4. 7	岩岡 拓	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等に関する
2	2014-107600	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	H26. 5. 23	後濱龍太 他 1 名	未公開
3	2014-124534	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	H26. 6. 17	吉野 徹 山中寿行 大久保一宏 渡邊禎之	未公開
4	2014-144888 【優先権主張】 原出願 2013-147761	マイクロヒータ	H26. 7. 15	山岡英彦	熱応力を抑制することができるマイクロヒータに関する
5	2014-168330	触媒	H26. 8. 21	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	未公開
6	2014-189562 【優先権主張】 原出願 2013-195891	揮発性有機化合物検出センサ	H26. 9. 18	紋川 亮 月精智子 城 照彰 他 3 名	未公開
7	2014-192135	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	H26. 9. 22	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	未公開
8	2014-198975 【分割出願】 親出願 2012-503249	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H26. 9. 29	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカと、その製造方法に関する
9	2014-202048 【優先権主張】 原出願 2014-000573	成形体	H26. 9. 30	寺西義一 他 2 名	生体親和性、生体分解性、および強度に優れる成形体
10	2014-209085	遅延量測定回路および遅延量測定方法	H26. 10. 10	岡部 忠	未公開
11	2014-210057	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	H26. 10. 14	柚木俊二 畑山博哉 大藪淑美	未公開
12	2014-210060	コラーゲンゲルの作製方法及びコラーゲンゲル	H26. 10. 14	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝	未公開
13	2014-211950 【優先権主張】 原出願① 2013-095732 原出願② 2014-125805	金属イオン捕集材	H26. 10. 16	梶山哲人 他 1 名	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材
14	2014-223328	量子ドット複合光触媒	H26. 10. 31	渡辺洋人 染川正一 他 2 名	未公開
15	2014-2350504	放熱性を向上させる塗装方法および塗装装置および塗料	H26. 11. 13	木下稔夫 他 3 名	未公開
16	2014-233373	多孔質シリカの製造方法	H26. 11. 18	渡辺洋人 他 2 名	未公開
17	2014-250421	ナノ粒子の製造方法	H26. 12. 10	川口雅弘 渡邊禎之 林 英男	未公開
18	2014-259095	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	H26. 12. 22	上野明也 山中寿行	未公開
19	2015-006392	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	H27. 1. 16	唐木由佑 他 2 名	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
20	2015-060009	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	H27. 3. 23	長坂浩志 他 2 名	未公開
<b>平成 27 年度</b>					
1	2015-078027 【優先権主張】 原出願 2014-079717	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	H27. 4. 6	加澤エリト 紋川 亮	未公開
2	2015-080285	LED 照明の分光分布設計方法	H27. 4. 9	岩永敏秀 中村広隆	未公開
3	2015-110645	強度確知評価方法	H27. 5. 29	川口雅弘 他 1 名	未公開
4	2015-116085	廃棄汚泥の減少方法	H27. 6. 8	田中真美 中澤亮二 小林宏輝 佐々木直里	未公開
5	2015-120886	光電変換装置	H27. 6. 16	太田優一	未公開
6	2015-121205 【優先権主張】 原出願 2014-125217	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	H27. 6. 16	林 孝星 渡辺洋人 他 2 名	未公開
7	2015-132390	車輪構造体	H27. 7. 1	西川康博	未公開
8	2015-140165	表面プラズモン共鳴測定装置及びそのチップ	H27. 7. 14	紋川 亮	未公開
9	2015-168867	微粒子凝集制御装置、微粒子凝集体生成方法、および微粒子凝集体	H27. 8. 28	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	未公開
10	2015-172025	造形材料	H27. 9. 1	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	未公開
11	2015-196042	局在表面プラズモン共鳴センサ	H27.10. 1	加澤エリト	未公開
12	2015-201498	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	H27.10. 9	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他 5 名	未公開
13	2015-208371	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	H27.10.22	川口雅弘 他 2 名	未公開
14	2016-008946	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 他 1 名	未公開
15	2016-008947	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 他 1 名	未公開
16	2016-019288 【優先権主張】 原出願 2015-019615	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	H28. 2. 3	村上真之	未公開
17	2016-030300 【優先権主張】 原出願 2015-057992	積層造形装置を用いた積層造形方法	H28. 2. 19	山内友貴	未公開
18	2016-068938	導電性繊維	H28. 3. 30	添田 心 古田博一 池田善光	未公開
<b>平成 28 年度</b>					
1	2016-091317	光学特性測定装置および光学特性測定方法	H28. 4. 28	横田浩之	未公開
2	2016-107468	ガス流路構造および流量センサ	H28. 5. 30	山岡英彦 他 1 名	未公開
3	2016-109516	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	H28. 5. 31	柳 捷凡	未公開
4	2016-112634	情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム	H28. 6. 6	大平倫宏 富山真一	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
5	2016-113048	物体追跡装置、物体追跡方法、及び物体追跡プログラム	H28. 6. 6	中村佳雅 吉村僚太 佐々木智典 武田有志 坂下和広	未公開
6	2016-119770 【優先権主張】 原出願 2015-125324	めっき付き樹脂成形体	H28. 6. 16 (H27. 6. 23)	竹村昌太 浦崎香織里 土井 正 桑原聡士 小野澤明良	未公開
7	2016-120703	アシスト装置装着用のウェアおよびアシストウェアシステム	H28. 6. 17	加藤貴司 他 1 名	未公開
8	2016-131911	非架橋ゼラチン、ゼラチン混合体、およびこれらを含む化粧料用または医薬用ゼラチン	H28. 7. 1	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 他 2 名	未公開
9	2016-138685	6価クロム含有廃液の処理剤および処理方法	H28. 7. 13	杉森博和	未公開
10	2016-138896	ハイドロゲル及びハイドロゲルの製造方法	H28. 7. 13	永川栄泰 柚木俊二 中川清子 関口正之	未公開
11	2016-141417 【分割出願】 親出願 2012-186879	多孔質シリカ内包粒子の製造方法	H28. 7. 19 (H27. 6. 23)	渡辺洋人 他 2 名	未公開
12	2016-151279	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H28. 8. 1	平野康之 篠田 勉	未公開
13	2016-153201 【優先権主張】 原出願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	H28. 8. 3 (H27. 8. 10)	大西 徹 村上祐一	未公開
14	2016-155123	情報検索方法、情報検索プログラム、情報検索用端末および情報検索装置	H28. 8. 8	阿部真也 三木大輔 他 2 名	未公開
15	2016-160254	機能性薄膜及びその製造方法	H28. 8. 17	寺西義一 他 1 名	未公開
16	2016-170665 【優先権主張】 原出願 2015-225399	フローセンサ及びその製造方法	H28. 9. 1 (H27. 11. 18)	山岡英彦 他 1 名	未公開
17	2016-172118	白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒およびその製造方法ならびに燃料電池、金属空気電池	H28. 9. 2	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	未公開
18	2016-175457 【優先権主張】 原出願 2015-196152	回転体、回転機械及びポンプ	H28. 9. 8 (H27. 10. 1)	小西 毅 平野康之	未公開
19	2016-195995 【優先権主張】 原出願 2015-196039	通気性扉	H28. 10. 3 (H27. 10. 1)	渡辺茂幸 服部 遊 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一	未公開
20	2016-197054	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	H28. 10. 5	紋川 亮	未公開
21	2016-202142	CT装置用校正器	H28. 10. 13	竹澤 勉	未公開
22	2016-213024	高分子多糖類又はタンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法、並びに、タンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法	H28. 10. 31	成田武文 柚木俊二 他 1 名	未公開
23	2016-213025	止血材用スポンジ及びその製造方法	H28. 10. 31	成田武文 柚木俊二	未公開
24	2016-219377	ノイズ源探査システムおよびノイズ源探査方法	H28. 11. 10	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
25	2016-219707	ガス電子増幅モジュール	H28. 11. 10	小宮一毅 小林丈士 藤原康平	未公開
26	2016-224255	生体組織孔閉鎖用、管腔状組織閉塞用及び潰瘍保護用ゾル	H28. 11. 17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 他 2 名	未公開
27	2016-224258	粘膜下局注用コラーゲンゾル	H28. 11. 17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 他 2 名	未公開
28	2016-231519	放射線量計測装置、放射線量計測方法及び放射線量計測システム	H28. 11. 29	中川善継 村上知里 他 1 名	未公開
29	2016-239628	六輪移動架台	H28. 12. 9	益田俊樹	未公開
30	2016-243600	導波管マイクロストリップ線路変換器	H28. 12. 15	藤原康平 小林丈士	未公開
31	2017-015919	金属イオンを分離することのできる配位子とそれを用いた分離材	H29. 1. 31	梶山哲人 他 1 名	未公開
32	2017-018226	熱伝導式センサ	H29. 2. 3	豊島克久	未公開
33	2017-021470	保存対象物の保存方法、ゾルゲル転移体およびこれを含む保存剤	H29. 2. 8	大藪淑美 柚木俊二 藤井恭子 他 3 名	未公開
34	2017-021470	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	H29. 2. 8	大西 徹 小林祐一	未公開
35	2017-030413	LA-ICP-MS 装置を用いた定量分析方法および LA-ICP-MS 装置	H29. 2. 21	林 英男 川口雅弘 渡邊禎之	未公開
36	2017-037309	非接触給電構造およびこれを備えた駐輪施設	H29. 2. 28	秋山美郷 佐野宏靖 大森 学	未公開
37	2017-040525 【優先権主張】 原出願 2016-041375	成形体の製造方法	H29. 3. 3 (H28. 3. 3)	峯 英一 伊東洋一 小野澤明良	未公開
38	2017-040986 【優先権主張】 原出願 2016-044667	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	H29. 3. 3 (H28. 3. 8)	徳田祐樹 川口雅弘 他 2 名	未公開
39	2017-061293	移動ロボット及び制御回路	H29. 3. 27	村上真之 坂下和広 佐藤 研 森田裕介	未公開

## 2) 外国出願（自国指定も含む）

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日	発明者	内 容
1	10-2009-7023522 【韓国移行出願】 PCT/JP2008/061295	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	H21. 1. 11	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
2	2012-503249 【自国指定出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 7. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
3	13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 8. 31	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
4	【中国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 3	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
5	11750758.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術

番号	出願番号	名称 (和名)	出願年月日	発明者	内 容
6	10-2012-7025433 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
7	11 2011 103 324.9 【ドイツ移行出願】 PCT/JP2011/072912	燃料電池用集電材	H25. 3. 8	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、および円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に設けられる集電材に関する
8	2013-533461 【自国指定出願】 PCT/JP2012/004025	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H26. 2. 24	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
9	14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26. 2. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	2013-531433 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072214	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
11	2013-531434 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072216	成形体の製造方法	H26. 2. 27	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
12	2013-531435 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072217	成形用材料と、これを用いた成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
13	12828428. 8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
14	12828401. 5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216	成形体の製造方法	H26. 2. 27	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
15	12826932. 1 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072217	成形用材料と、これを用いた成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
16	12828309. 0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26. 3. 12	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
17	14/216, 588 【米国移行出願】 PCT/JP2012/004025	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H26. 3. 17	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
18	2013-540845 【自国指定出願】 PCT/JP2012/077719	制御システム	H26. 4. 17	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
19	2015-508824 【自国指定出願】 PCT/JP2014/59526	悪臭処理用担持触媒	H27. 8. 4	染川正一 井上 潤 他 1 名	Co、Ce 系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日	発明者	内 容
20	2015-519944 【自国指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 10. 30	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
21	14/894, 325 【米国指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 8	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
22	14804436. 5 【欧州指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 15	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
23	16180850. 6 【欧州分割出願】 親出願 1404436. 5	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法	H28. 7. 22	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
24	2017-508416 【自国指定出願】 PCT/JP2016/059352	ロッカーボキー	H29. 2. 21	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	未公開

### 3) PCT 出願

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
1	PCT/JP2009/058891 【PCT 優先権出願】 原出願 2008-127030	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	H21. 5. 13	月精智子 他 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法
2	PCT/JP2014/052958 【PCT 優先権出願】 原出願 2013-021929	メカニカルシールおよびその製造方法	H26. 2. 7	長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
3	PCT/JP2016/055825 【PCT 優先権出願】 原出願① 2014-039680 原出願② 2015-039192	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H28. 2. 26	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
4	PCT/JP2016/66539 【PCT 優先権出願】 原出願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H28. 6. 3	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
5	PCT/JP2016/080829 【PCT 優先権出願】 原出願 2015-207399	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	H28. 10. 18	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 他 2 名	未公開

### 4) 実用新案登録出願

平成 28 年度はなし

### 5) 意匠登録出願

平成 28 年度はなし（登録設定済み）



6) 商標登録出願

番号	出願番号	商 標	出願年月日	発明者	内 容
1	979000 【タイ王国出願】		H27. 3. 19	国際化推進 室の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 41 類
2	979001 【タイ王国出願】		H27. 3. 19	国際化推進 室の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 42 類

## (4) 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	①特許第 4791746 号 ②韓国第 10-2006-28002	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特願 2009-286822	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第 3292239 号	鋳造用すず合金	1
6	特許	特許第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	1
7	特許	特願 2010-047997	防護服	1
8	特許	特願 2009-266467	家畜骨残渣の処理方法	2
9	特許	特願 2011-276326	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
10	特許	特願 2011-282885	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
11	特許	特許第 5107571 号	LED 制御方法	1
12	特許	特願 2001-024519	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	1
13	特許	特許第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	1
14	特許	特許第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
15	特許	特願 2012-251622	ハイドロゲル	1
16	特許	特許第 5243222 号	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	1
17	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
18	特許	特許第 5414719 号	無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
19	特許	特許第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	1
20	特許	特許第 5572459 号	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	1
21	特許	特願 2011-065307	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
22	特許	特願 2013-074842	悪臭処理用担持触媒	1
23	特許	特願 2011-138440	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	1
24	特許	特願 2011-059966	赤色ガラス	1
25	特許	特願 2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	1
26	特許	特願 2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	1
27	特許	特願 2013-070640	LED 照明の分光分布設計方法	2
28	特許	特願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	1
29	実用新案	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	1
30	実用新案	登録第 3170441 号	照明器具	1
31	実用新案	登録第 3171954 号	ブラジャー	1
32	意匠	登録第 1433084 号	ランプシェード	1
33	意匠	登録第 1439104 号	ランプシェード	1
34	商標	登録第 5358694 号		1
35	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1
36	特許	特願 2016-109516	多層グラフェン分散液並びに熱物性測定用黒化剤	1
37	特許	特願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
38	特許	特願 2016-197054	X 線 CT 装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	1
39	特許	特許第 5388304 号	掲示板のための照明装置	1
40	意匠	登録第 1546747 号	ランプシェード	1

(5) 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ 成果事例集』（平成 28 年 3 月発行）、pp. 8～9 「利用者の要望をつかみ、コンセプトを再設計 改善し続ける医療機器メーカー」	泉工医科工業(株)	泉工医科工業(株)社内報 「いずみ」7月号 (平成 28 年 7 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 5 号 (平成 22 年度)』 (平成 22 年 11 月 15 日発行)、pp. 14～17 「食品異物検査装置のユーザビリティ向上のための アルゴリズム開発」	(株)東レリサーチセンター	「異物分析・除去技術」 (平成 28 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 6 号 (平成 23 年度)』 (平成 23 年 9 月 26 日発行)、pp. 34～37 「熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析法の異物 分析への応用に関する研究」	(株)東レリサーチセンター	「異物分析・除去技術」 (平成 28 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究所 『研究報告 第 5 号 (平成 14 年度)』 (平成 14 年 11 月 28 日発行)、pp. 17～20 「『三宅ガラス』の開発」	ジューグレイブ(株)	「災害と防災 3 火山」 (平成 29 年 2 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 11 号 (平成 28 年度)』 (平成 28 年 9 月 26 日発行)、pp. 48～51 「金属粉末積層造形におけるモデル形状に対する条 件データベースの構築」	(株)アグネ技術センター	「金属」5月号 (平成 29 年 5 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 11 号 (平成 28 年度)』 (平成 28 年 9 月 26 日発行)、pp. 102～103 「亜鉛めっき用クロムフリー化成皮膜形成に関する 検討」	(株)アグネ技術センター	「金属」5月号 (平成 29 年 5 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『平成 28 年度 都産技研活用事例集』 (平成 29 年 1 月発行)、表紙、p. 11 「リフォーム量 <sup>®</sup> 」	大山畳店	大山畳店ウェブサイト
東京都立産業技術研究所 『研究報告 第 3 号 (平成 12 年度)』 (平成 12 年 12 月 15 日発行)、pp. 41～46 「照射鶏肉の炭化水素法及び ESR 法による検知」	(株)バンティアン	東京学芸大学の講義資料および ウェブサイト
東京都立産業技術研究所 『研究発表会要旨 (平成 10 年度)』 (平成 10 年 10 月発行)、p. 59 「熱ルミネッセンス法による照射食品の検知」	(株)バンティアン	東京学芸大学の講義資料および ウェブサイト

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成 19 年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。

### 3.8.2 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行っている。

平成 28 年度は 26 団体からの依頼により 66 事業の審査に携わり、延べ 5,200 件の技術審査を行った。

	実施主体	審査件名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	382
	産業労働局商工部	世界発信コンペティション（製品・技術（ベンチャー技術）部門）	548
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定（トライアル発注）	205
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	75
	その他		79
	小計（比率%）		1,289(24.8%)
(公財)東京都中小企業振興公社	助成課	(公財)東京都中小企業振興公社助成事業	1,646
	助成課	中小企業応援ファンド（地域資源活用助成）	71
	設備リース課	成長産業等設備投資特別支援事業	202
	その他		47
	小計（比率%）		1,966(37.8%)
区市	(公財)大田区産業振興協会	新製品・新技術支援事業	108
		大田区中小企業新製品新技術コンクール	208
	北区	新製品・新技術支援事業	33
	品川区	メイドイン品川 PR 事業	8
		新製品・新技術開発促進事業等	88
	港区	新製品・新技術開発支援事業	27
	府中市	新製品・新事業支援	6
	その他		306
小計（比率%）		784(15.1%)	
団体等	東京商工会議所	勇気ある経営大賞等	68
	(公財)日本発明振興協会	発明大賞表彰	271
	(一財)機械振興協会	新機械振興賞	32
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	609
	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	150
	その他		31
	小計（比率%）		1,161(22.3%)
	合計（比率%）		5,200(100%)

### 3.8.3 海外展開技術支援

(1) 国際規格対応支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)

広域首都圏輸出製品技術支援センター (以下、「MTEP (エムテップ)」という。) は、1都10県1市の運営機関が連携して中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。

運営機関：都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、横浜市工業技術支援センター

中小企業の海外規格対応への支援について円滑かつ適切な運営を進めるために、以下のとおり運営機関による会議を開催した。

No.	開催日	開催場所	会議等名	内容
1	6月17日	埼玉県産業技術総合センター	第9回MTEP事務局会議	MTEP共同運営機関の海外展開支援に対する助成事業の状況について
2	10月28日	神奈川県産業技術センター	第10回MTEP事務局会議	外部機関との海外展開支援の連携事例について
3	2月10日	東葛テクノプラザ	第5回MTEP運営委員会	各機関海外展開支援事例報告

1) 専門相談員による技術相談

都産技研に次の17名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
生島 博	知的財産全般、権利取得・管理・活用
石井 満	CEマーキング、各国認証制度、取扱説明書
板谷雅樹	航空機関連、宇宙衛星機器関連、米国規格
井原房雄※1	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
岡野雅一	RoHS指令、REACH規則
奥野克幸	中国規格、安全規格
忍足光史	各国薬事法規制
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
元 淑華	EMC・安全・無線の各国認証
小西 颯	CEマーキング、医療機器指令
篠崎厚志	EMC、CEマーキング
福井 寛	EU化粧品規制
藤ノ木修二※2	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
松浦徹也	RoHS指令、REACH規則、WEEE指令
松尾 渉※1	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
森 浄	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
吉川 保	CEマーキング、機械指令

※1 平成28年 6月から

※2 平成28年 9月まで

## 2) 普及啓発活動

### ① 技術セミナー

都産技研主催の技術セミナーを48件開催した(5.1 技術セミナー、講習会一覧参照)。

- ・グローバル人材育成セミナー 13件
- ・現場で役立つシリーズ 6件
- ・海外規格精通シリーズ 3件
- ・世界に通用するものづくりセミナー 3件
- ・MTEP ミニ講座など 17件
- ・MTEP V-learning 6件

### ② MTEP 共同運営機関連携セミナー

MTEP 共同運営機関へ専門相談員を派遣し、連携セミナーを4件開催した。

No.	開催日	実施場所	名称
1	6月23日	群馬県立産業技術センター	分析技術講演会
2	9月15日	栃木県産業技術センター	平成28年度海外規格セミナー
3	11月24日	新潟県工業技術総合研究所	【グローバル人材育成】「CEマーキング+改正RoHS指令 解説」
4	2月27日	新潟県工業技術総合研究所	【グローバル人材育成】「CEマーキング 機械指令」

### ③ 他機関主催イベントでの講演等

他機関主催イベントへ専門相談員や都産技研職員を派遣し、セミナーを8件実施した。

No.	開催日	主催者	実施先の名称	実施場所
1	5月26日	滋賀県工業技術総合センター	海外展開技術支援事業セミナー (職員向けセミナー講師)	滋賀県工業技術総合センター
2	9月8日	(一社)東京環境経営研究所	化学物質管理政策の現状と課題 -chemSHERPAを国際標準へ- (JASIS2016)	幕張メッセ
3	9月16日	滋賀県工業技術総合センター	はじめての海外展開に役立つセミナー	滋賀県工業技術総合センター
4	10月31日～ 11月2日	中小企業世界発信プロジェクト推進協議会	ビジネスチャンス・セミナー (ビジネスフロンティア・フェア)	東京ビッグサイト
5	11月18日	滋賀県工業技術総合センター	海外輸出(国際規格対応)に役立つセミナー (RoHS、EMC)	滋賀県工業技術総合センター
6	2月14日	(国研)産業技術総合研究所	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総会(産業技術連携推進会議)	都産技研本部
7	3月23日	(公財)東京都中小企業振興公社	平成28年度「東京手仕事」プロジェクト 海外輸出規制セミナー	都産技研城東支所
8	3月27日	(地独)大阪府産業技術総合研究所	産技研技術セミナー ものづくり企業の海外展開支援サービス	大阪府立大学 I-site なんば

④ 海外規格情報の閲覧サービス

Web サーバーまたは冊子にて海外規格情報の閲覧サービスを提供した。

ア. Web サーバーにて閲覧できる海外規格 IEC、ISO、JIS

イ. 冊子にて閲覧できる海外規格 AMS、ASTM、EN、IEC、ISO、MIL など

⑤ MTEP メールニュース

海外規格セミナーや各種イベントの情報など、海外展開支援情報を提供する MTEP メールニュースを配信した。

配信回数 計 14 回

配信登録数 約 2,400 件

3) 相談実績

相談実績は以下のとおりである。

① 相談方法別 (件)

相談方法	件数	相談方法	件数
電話	71	メール	719
来所	388	テレビ会議	13
実地支援	16	オーダーメイドセミナー	8
		その他	23
		合計	1,238

② 相談企業所在地別 (件)

	東京都	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県
件数	806	8	12	10	83	15

	神奈川県(内、横浜市)	山梨県	長野県	静岡県	新潟県	その他
件数	128(56)	0	18	29	18	111

③ 相談企業規模別 (件)

中小企業	963
大企業	260
その他	15
合計	1,238

#### 4) 刊行物

中小企業への技術情報提供のため、海外規格の概要をまとめた「海外規格テキスト」など、以下の刊行物を発行した。

##### ① 海外規格テキスト

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	東南アジア(マレーシア、シンガポール、タイ)編	平成 28 年 9 月	1,000
2	CE マーキング EU 指令	平成 29 年 2 月	2,000
3	CE マーキング EMC 指令	平成 29 年 2 月	2,000
4	CE マーキング 低電圧指令	平成 29 年 2 月	2,000
5	CE マーキング RoHS 指令	平成 29 年 2 月	2,000
6	CE マーキング 機械指令	平成 29 年 2 月	2,000

##### ② 東京都 平成 28 年度 海外展開技術支援「海外規格適合化の普及啓発」事業 海外規格解説ガイドブックシリーズ

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
4	各国無線認証制度～欧州、米国、中国、韓国、台湾～	平成 29 年 1 月	3,000
5	各国省エネルギー制度～欧州、米国、中国、韓国、台湾～	平成 29 年 1 月	3,000
6	CB 認証制度と IEC 62368-1	平成 29 年 1 月	3,000

##### ③ 海外展開支援事例集

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	平成 28 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集	平成 29 年 3 月	1,000

##### ④ リーフレット

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	広域首都圏輸出製品技術支援センター サービスガイド (増刷)	平成 28 年 10 月	2,000
2	MTEP 専門相談員紹介パンフレット(増刷)	平成 28 年 10 月	2,000
3	都内中小企業の皆さまへ 海外展開支援サービスのご紹介 (増刷)	平成 29 年 3 月	2,000



## (2) 海外支援拠点（バンコク支所）

平成 27 年 4 月に設立した都産技研初の海外拠点であるバンコク支所では、ASEAN に展開する日系中小企業へ技術相談や技術セミナーを実施している。技術相談では都産技研本部とのテレビ会議システムなどを活用し、技術的課題の解決を図った。

### 1) 技術相談

試験規格、製造委託先の紹介や製品不具合などの技術相談を 314 件実施した。より専門的な相談内容については、本部職員を交えテレビ会議システムを活用し解決を図った。

主な相談事例

- ・電気試験、材料強度試験や塩水噴霧試験などに関する事
- ・金属材料の品質管理、不具合対策や成分分析に関する事
- ・タイ国内やヨーロッパの製品規格に関する事
- ・めっき加工委託、プラスチック製品の製造メーカーや校正機関の紹介に関する事

### 2) 展示会での周知活動

バンコク支所事業の周知活動としてタイ国内開催の展示会に出展した。

- ・INTERMACH2016 併設：SUBCON THAILAND 5月\*
- ・Manufacturing EXPO 併設：ものづくり商談会 6月
- ・METALEX 2016 11月

\*公益財団法人東京都中小企業振興公社ブースと共同展示

### 3) 産業人材の育成

#### ① 技術セミナー

日系中小企業からの開催要望が多いテーマに関して、本部とのテレビ会議システムを活用して計 5 回実施した（5.1 技術セミナー・講習会参照）。

#### ② 連携セミナー（首都大学東京）

日系企業技術者向けに、首都大学東京と連携し、セミナー「生産技術レベルアップのための工学基礎～生産自動化のためにエンジニアは何を学ばよいか～」を 2 会場で開催した。

#### ③ 技術情報勉強会

日系中小企業が現場で抱える人材育成や品質管理などをトピックスとした勉強会を計 5 回開催し、情報提供を行った（計 105 名参加）。

主な実施テーマ

- ・「IS09001 勉強会」～ISO 9001：2015 年度版 改正内容及び要求事項の理解～
- ・タイで品質管理を行うということ  
～タイと日本とで品質管理の方法論が異なるのか～

#### 4) 産業交流事業

##### ① 異業種交流会

平成 28 年 4 月、公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所と共同運営する「異業種交流会 IN バンコク」を発足した。会員企業をバンコク支所ウェブサイトなどで募集し、17 社が活動している。

回数	実施機関名	開催日
第 1 回	運営方法の検討	5 月 19 日
第 2 回	講演会「タイでの労務管理」 講師：(公財)東京都中小企業振興公社アドバイザー	7 月 13 日
第 3 回	タイの職業訓練学校 Eastern Technological College の見学	9 月 14 日
第 4 回	講演会「タイ最新経済事情」 講師：GDM(Thailand)Co., Ltd. 高尾博紀氏	11 月 9 日
第 5 回	講演会「タイから日本への人材派遣事業」 講師：(公財)国際人材育成機構ほか	1 月 18 日

##### ② ものづくり企業交流会

現地日系企業への情報提供や交流推進を目的に都産技研の業務協定締結機関と連携し、「ものづくり企業交流会 2017 IN バンコク」を開催した。(参加者 71 名)

第 1 部では、顧客のニーズの多様化や技術の高度化に基づく競争力強化に対応するために、ASEAN での産業動向、ならびに自動車産業向けの技術開発の最新情報を紹介した。第 2 部では、名刺交換会などのビジネス交流会を開催した。

##### ③ タイ試験機関見学会

現地日系企業から要望の多いタイ国内試験機関の見学会を 6 回開催した。

回数	実施機関名	参加者数	開催日
第 1 回	SGS(民間試験所)	16 社 20 名	4 月 28 日
第 2 回	コベルコ科研(民間試験所)	18 社 19 名	5 月 25 日
第 3 回	Thai-German-Institute(民間試験所)	12 社 16 名	7 月 25 日
第 4 回	Iron and Steel Institute of Thailand (タイ鉄鋼協会)	9 社 12 名	8 月 24 日
第 5 回	IMV(民間試験所)	7 社 11 名	11 月 2 日
第 6 回	FUTURE TECH(民間試験所)	8 社 9 名	12 月 15 日

## 4. 多様な主体による連携

### 4.1 産学公金連携

#### 4.1.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m<sup>2</sup>のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し、産学公金連携事業を推進した。平成 28 年度の取り組みは以下のとおりである。

##### (1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成28年 5月27日	MTEP セミナー「CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門第 1 弾」
平成28年 6月 8日～10日	TIRI クロスミーティング 2016
平成28年 6月15日	MTEP セミナー「電気・電子製品の中国規格、中国 RoHS」
平成28年 6月24日	技術セミナー「営業で役立つモノづくりの基礎の基礎 騒音測定・評価編ー売れる製品のための音の知識ー」
平成28年 7月29日	技術セミナー「X線 CT 装置を用いたリバースエンジニアリング技術の高度化」
平成28年 9月 9日～10日	INNOVESTA!2016
平成28年10月 6日	技術セミナー「電気用品安全法って何だろう（輸入事業者向け）」
平成28年11月11日	技術セミナー「現場で役立つプラスチックの話」
平成28年11月25日	技術セミナー「プラスチック射出成形現象の可視化と体系化」
平成29年 1月31日	MTEP セミナー「マレーシア、シンガポール、タイの認証制度」
平成29年 2月 2日	第 32 回東京都異業種交流グループ合同交流会
平成29年 2月16日	東京イノベーション発信交流会
平成29年 2月23日	MTEP セミナー「国際規格と各国の省エネルギー、無線認証制度」
平成29年 3月 6日	MTEP セミナー「中国、韓国、台湾の認証制度」

##### (2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成28年 5月31日	第 1 回公設試実習講習会「射出成形の実習講習会ースキルアップ編ー」	(一社)プラスチック成形加工学会
平成28年 6月 2日	第 28 回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成28年 7月20日	第 12 回偏光計測研究会	(一社)日本光学会 偏光計測制御技術研究グループ
平成28年 8月29日～9月2日	第 22 回真空ウォーキングコース	真空工業会
平成28年10月 7日	2016 年秋期講演会	マテリアルライフ学会 表面ー界面物性研究会

開催年月日	催事名	他主催者
平成28年10月20日	新たな機能フィルムの創製シンポジウム	機能性フィルム研究会
平成28年10月21日	講演会「ナノ粒子、ナノ構造の作製とその特性」	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
平成28年11月 5日～6日	サイエンスアゴラ 2016	(国研)科学技術振興機構
平成28年12月 7日	第 52 回日本食品照射研究協議会 「技術セミナー/教育講演会」	日本食品照射研究協議会
平成28年12月 8日	安全な省エネ社会の構築と中小企業	(一社)電気学会
平成28年12月15日	2016 技術交流会「技術者のための音響材料計測評価、解析、適用方法及び感性と振動・騒音」	制振工学研究会
平成29年 1月12日	第 157 回講演会「国内および欧州における CFRP 軽量化技術の最新動向」	(一社)プラスチック成形加工学会
平成29年 1月25日	第 270 回材料試験技術シンポジウム	日本材料試験技術協会
平成29年 1月26日～27日	第 24 回超音波による非破壊評価シンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会
平成29年 3月 9日	2016 年春期講演会	マテリアルライフ学会 表面－界面物性研究会

### (3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成28年 6月29日	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム第 1 回研究会	(国研)産業技術総合研究所 電気化学界面コンソーシアム
平成28年12月 1日～2日	第 10 回日本プラグフェス	(一社)組込みシステム技術協会
平成29年 2月24日	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム第 3 回研究会	(国研)産業技術総合研究所 電気化学界面コンソーシアム

### (4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成28年 7月 5日	業務連携協定締結記念セミナー「積極的に契約を取る展示会プロセス」	(株)東京 TY フィナンシャルグループ
平成28年 7月22日	第 1 回中小企業のためのサイバーセキュリティ対策ワークショップ	(一社)組込みシステム技術協会
平成28年11月 9日	中小企業のためのサイバーセキュリティイベント	警視庁サイバーセキュリティ対策本部
平成28年11月22日	炭素材料の現状と未来－ナノカーボン、カーボンファイバー－	(国研)産業技術総合研究所、みずほ情報総研(株)、(株)みずほ銀行
平成29年 3月 3日	技術シーズ説明会・マッチング会	(公財)東京都中小企業振興公社

#### 4.1.2 マッチングの場の提供

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品化や事業化を促進することを目的に、ビジネスマッチング交流会「東京イノベーション発信交流会」を開催した。都産技研の利用企業および業務連携協定を締結している大学研究機関、金融機関、支援機関から推薦された企業が出展した。

日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）10:30～17:30

会場：都産技研本部

支援機関：東京都 後援：公益財団法人東京都中小企業振興公社

出展企業：69 社 来場者：280 名

#### ◆プログラム概要◆

【展示会】 10:30～17:30 出展企業 69 社が自社製品・技術を紹介

【出展企業プレゼンテーション】（2 会場で同時開催）

11:00～16:15 出展企業 33 社による PR タイム

#### 4.1.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と、既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

##### (1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）の新グループを昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 27 グループ約 400 名の会員が活動している。

平成 28 年度は従来型の異業種交流グループ（課題解決型）会員とともに、あらたに既存の異業種交流グループ会員、技術研究会会員を対象に、「高齢者支援機器の開発」をテーマにした異業種交流グループ会員（製品開発型）を募集し、新しいグループの形成支援を行った。課題解決型の異業種交流グループは平成 28 年 7 月に、製品開発型の異業種交流グループは平成 28 年 9 月に結成し、毎月 1 回の活動を実施した。

なお、課題解決型の異業種交流グループには専門の助言者を配置して、平成 29 年 3 月まで毎月 1 回交流会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、講演会などを実施した。

異業種交流グループ名	開催日	開催回数	参加者数（延べ人数）
H28 グループ（課題解決型）	7 月～3 月、各 1 回	9	151
高齢者支援機器開発グループ（製品開発型）	9 月～3 月、各 1 回	7	57

## (2) グループ間交流支援

### 1) グループ協議会

既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ活動の参考にするとともに、合同交流会の開催についても検討を行い、第 32 回合同交流会の開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	5月24日	17（19）

### 2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、都産技研異業種交流グループの全グループ会員が一堂に会する第 32 回合同交流会を、平成 29 年 2 月 2 日、都産技研本部にて開催した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。平成 28 年度はより幅広い連携交流を図るため、公益財団法人東京都中小企業振興公社異業種交流グループおよび都産技研技術研究会の会員も参加し、「交流から協働へ ～「ひと」「もの」「こと」の回復～」のテーマのもと、製品展示会（26 社）と分科会（①事業承継、②新製品・新分野開拓、③IoT、④CSR＜企業の社会的責任＞、⑤IT 化）を実施した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下のとおりである。

会議名（開催日）	開催回数	参加者数（延べ人数）
第 32 回合同交流会（2 月 2 日）	1	191
合同交流会実行委員会等	6	93

また、多摩テクノプラザを拠点として活動している 6 グループが、中小企業大学校・東京校を会場に、平成 28 年 8 月 24 日、第 4 回多摩グループ合同交流会を開催し、51 名が参加した。

### 3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の 26 グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談に対応した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下のとおりである。

会議名	利用回数	参加者数（延べ人数）
定例会など	82	797

#### 4.1.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業参加者数 (都産技研・商工部)	内 容
1	多摩・区内繊維関連業界	平成 28 年 9 月 6 日	19 (19)	都産技研、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の各事業説明。業界の現状、課題、計画および要望等を受けた後、意見交換を行った。複合素材開発サイト見学。
2	東部金属熱処理工業組合	平成 28 年 9 月 14 日	25 (8)	金属熱処理業界の近況報告、都産技研の技術支援概要および非破壊検査分野の紹介、「熱処理工程での不具合と破損の関係」を報告後、意見交換を行った。東京ロボット産業支援プラザ見学。
3	東京温度検出端工業会	平成 28 年 10 月 7 日	11 (5)	都産技研事業紹介および業界支援と今後の取り組みに向けた意見交換を行った。施設見学(温度・衝撃試験室、耐光性試験室、AM ラボ、製品強度実験室)
4	日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC)	平成 28 年 10 月 18 日	15 (4)	都産技研の技術支援概要を説明。NAPAC の最近の動向の紹介および技術的支援に関する要望を受け、意見交換を行った。施設見学(環境試験室、無響室、残響室、AM ラボ、振動試験室)
5	日本包装技術協会	平成 28 年 10 月 20 日	8 (3)	機械技術グループおよび各種事業を説明。業界の現状と課題の報告および技術的支援に関する要望を受け、今後の支援と取り組みについて意見交換を行った。施設見学。
6	東京家具工業組合青年部	平成 28 年 12 月 8 日	19 (15)	都産技研への要望を中心に意見交換を行った。施設見学(家具試験機・防カビ、木材塗装、金属 AM、木材強度試験等、東京ロボット産業支援プラザ)
7	東京鼈甲組合連合会	平成 29 年 3 月 28 日	15 (3)	平成 28 年度東京都受託研究を報告後、業界支援と今後の取り組みに向けた要望を受け、意見交換を行った。城東支所の施設見学。

#### 4.1.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業延べ参加者数 (都産技研)	開催回数
1	化学技術研究会	昭和 61 年 10 月	化学技術の向上、相互の技術交換	68 (12)	4
2	静電植毛加工技術研究会	昭和 62 年 4 月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	13 (2)	1
3	超音波応用懇談会	昭和 63 年 3 月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	116 (32)	9
4	PC 情報研究会	平成元年 7 月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	111 (43)	24
5	締結問題研究会	平成 6 年 2 月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	114 (22)	7
6	トライボコーティング技術研究会	平成 6 年 11 月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	132 (8)	4

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
7	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進など	41 (18)	6
8	東京都健康福祉研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	77 (23)	6
9	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	113 (15)	8
10	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	93 (2)	2
11	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	28 (3)	3
12	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	121 (22)	11
13	照明技術研究会	平成14年 4月	照明技術の研究、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換	49 (13)	3
14	循環型技術研究会	平成14年 7月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	189 (6)	9
15	東京温度検出端工業会 技術懇談会	平成18年 4月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	16 (5)	1
16	デザインマーケティング技術研究会	平成23年 4月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	57 (20)	6
17	東京都ロボット研究会	平成23年 4月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	226 (23)	7
18	航空宇宙部品製造技術研究会(アマテラス)	平成23年 10月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	30 (7)	2
19	ガラス技術交流会	平成24年 3月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	191 (28)	6
20	感性工学研究会	平成25年 1月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	101 (13)	10
21	TIRI 情報セキュリティ研究会	平成27年 4月	サイバー攻撃の実態調査、生活ロボットへの組込みシステム、中小企業向けセキュリティ簡易診断法開発、情報セキュリティに関する勉強会や普及促進活動	140 (22)	11
22	保存修復開発研究会	平成27年 7月	新材料を修復技術に応用することを目的とし、情報収集、情報交換、共同調査・研究を実施し、相互の技術力と経営力を向上させる	7 (3)	1
23	金属加工の潤滑技術研究会	平成28年 1月	金属加工に用いられる潤滑剤の効果について議論・検証し、中小企業が抱える潤滑技術の課題を、相互の技術と知識により解決する	32 (4)	4

以下の技術研究会は、平成28年度をもって廃止した。

次世代自動車技術研究会（平成29年1月20日）

照明技術研究会（平成29年3月31日）



## 4.2 行政等支援機関連携

### 4.2.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである（平成29年3月31日現在）。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年4月1日
		覚書	平成19年1月4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	平成18年8月10日
		秘密保持契約書	平成18年9月1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	平成19年3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年4月1日
6	長岡技術科学大学	協定書	平成20年8月26日
		覚書	平成21年8月6日
7	新宿区	協定書	平成20年9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	平成21年3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年6月3日
11	港区	協定書	平成21年7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの 活用に関する覚書	平成21年7月16日
13	府中市	覚書	平成22年5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
15	北区	覚書	平成23年2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	平成23年4月14日
17	品川区	協定書	平成23年6月1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年9月12日
19	江東区	協定書	平成23年9月14日
20	朝日信用金庫	協定書	平成24年1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	平成24年3月8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	平成24年4月9日
23	江東信用組合	協定書	平成24年6月6日
24	東京電機大学	協定書	平成24年7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	平成24年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月7日
27	日野市	覚書	平成25年2月26日
28	昭島市	協定書	平成25年3月12日
29	城南信用金庫	覚書	平成25年3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	平成25年3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	平成25年4月1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	平成25年9月5日
33	東京都商工会連合会	協定書	平成25年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	平成25年10月28日
35	東京理科大学	協定書	平成25年11月5日
36	葛飾区	協定書	平成25年11月26日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
37	東京工業高等専門学校	協定書	平成26年 3月 26日
38	法政大学	協定書	平成26年 4月 11日
39	東京東信用金庫	協定書	平成26年 6月 3日
40	芝信用金庫	協定書	平成26年 6月 11日
41	東京商工会議所	協定書	平成26年 7月 14日
42	青梅市	協定書	平成26年 8月 26日
43	青梅商工会議所	協定書	平成26年 8月 26日
44	千葉工業大学	協定書	平成26年 9月 30日
45	墨田区	協定書	平成26年 11月 13日
46	タイ工業省	協定書	平成26年 11月 25日
47	電気通信大学	協定書	平成26年 12月 9日
48	荒川区	協定書	平成27年 3月 3日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	平成27年 4月 24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	平成27年 10月 19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	平成27年 11月 5日
52	泰日工業大学	協定書	平成28年 2月 4日
53	亀有信用金庫	協定書	平成28年 2月 17日
54	信州大学	協定書	平成28年 3月 10日
		覚書	平成28年 5月 31日
55	(株)東京TYフィナンシャルグループ	協定書	平成28年 5月 27日
56	江戸川区	協定書	平成29年 3月 29日
57	東京海洋大学	協定書	平成29年 3月 30日

#### 個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	平成25年 10月 1日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	平成25年 10月 30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	平成25年 12月 18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	平成26年 1月 17日	墨田支所

#### 4.2.2 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成28年度の主な取り組みは以下のとおりである。

##### (1) 区部での連携

##### 1) 城東地域

機関名	連携事業
台東区	MTEP ミニ講座「RoHS 指令超入門」(11月:台東区中小企業振興センター)
墨田区	理事長の区長表敬訪問(4月) 墨田区主催4者連絡協議会へ参加(6月) ・墨田区、国際ファッションセンター(KFC)、ファッション産業人材育成機構(IFI)、都産技研墨田支所の4者での情報交換会
江東区	ロボット施設見学会の実施(11月:東京ロボット産業支援プラザ)
荒川区	共催セミナー「欧州への製品輸出に必須! CE マーキング超入門」(10月:ホテルラングウッド 参加者24名) ロボット産業入門セミナー「ロボットに興味をもってみよう!」(11月:東京ロボット産業支援プラザ 参加者21名) 「第38回荒川区産業展」へ出展(3月:荒川総合スポーツセンター 工作教室参加者120名) ・事業紹介および工作教室「UVアートでオリジナルコースターを作ろう」
足立区	都産技研利用費用補助の継続実施
葛飾区	<委員派遣> ・葛飾区工業振興会議(2回開催) ・葛飾ブランド「葛飾町工場物語」認定審査委員会 ・葛飾区新製品・新技術開発補助金審査委員会 ・葛飾区優良工場認定審査委員会 <委員派遣・出展> ・第32回葛飾区産業フェア運営実行委員会(10回開催) 城東支所施設公開をもって産業フェア「工業・商業・観光展」へ参加(10月:産業フェア 来場者83000名) ・葛飾区産学公連携推進協議会(3回開催) 「産学公連携シンポジウム2016」を後援し、出展(11月:東京理科大学) <出展> ・第3回町工場見本市2017(2月:東京国際フォーラム)
江戸川区	「第18回産業ときめきフェア in EDOGAWA」を後援し、出展(11月:船堀ホール)

##### 2) 城南地域

機関名	連携事業
品川区	連携技術相談(「画像処理技術によるプレス金型の検査」など) 都産技研事業説明、施設見学会(8月 品川区役所7名参加) 品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区合同開催「ものづくり商談会」へ出展(9月:品川産業支援交流施設「SHIP」)

機関名	連携事業
大田区	「大田加工技術展示商談会」出展(6月:大田区産業プラザ 参加者 221名) 「第6回おおた研究・開発フェア」を後援し、出展(10月:大田区産業プラザ 参加者 192名) ・城南支所「施設公開」同時開催 ブラジル連邦共和国要人、大使館の城南支所見学(11月、1月 参加者延べ13名) 「おおた工業フェア」出展(2月:大田区産業プラザ)

### 3) 城北地域

機関名	連携事業
豊島区	「第10回としまものづくりメッセ」を共同主催し、出展(3月)
北区	共催セミナー「赤外線の基本と利用技術」(8月) 品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区合同開催「ものづくり商談会」へ出展(9月:品川産業支援交流施設「SHIP」)
板橋区	共催セミナー「赤外線の基本と利用技術」(8月) 品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区合同開催「ものづくり商談会」へ出展(9月:品川産業支援交流施設「SHIP」) 「第20回いたばし産業見本市」実行委員会へ委員派遣(2回)および出展(11月)

### 4) 都心・副都心地域

機関名	連携事業
千代田区	「第9回千代田ビジネス大賞」を後援
港区	オーダーメイドセミナー「商品・サービス開発」の企画書を作成する(5月 参加者 30名) 都産技研利用実績に基づいた助成事業の新規検討(平成29年4月から実施決定)

### (2) 多摩地域での連携

機関名	連携事業
八王子市	平成28年度第4回先端技術セミナー「都産技研の中小企業支援全貌を掴む」(11月:八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」参加者 48名) 平成28年度第6回先端技術セミナー「製品安全設計の要諦」(3月:八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」参加者 49名)
青梅市	おうめものづくり支援事業専門家会議へ委員派遣(7月) 「第49回青梅産業観光まつり」へ出展(11月:永山公園グラウンド 参加者 400名) ・理科教室「マグヌスコップを飛ばそう」、「ペットボトル空気砲」 青梅商工会議所との連携で「冬休み子ども科学教室」へ出展(1月:多摩テクノプラザ 参加者 27名) ・イベントタイトル「未来のモノづくり「3Dプリンタ」を学ぼう」
府中市	第27回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」へ出展(10月:府中市市民会館 参加者 120名) ・複合素材開発セクター紹介、ロボット関連事業紹介

機関名	連携事業
昭島市	昭島市立拝島第二小学校児童社会科の多摩テクノプラザ見学(6月 参加者 103名) 「第48回昭島市産業まつり」へ出展(11月:昭島市市民会館前) ・工作教室「ペットボトルで発射装置を作ろう」、「ブーブーコップを作ろう」(参加者7名)
日野市	日野おもてなしロボットプロジェクト実行委員会へ委員派遣(6月:多摩平の森産業連携センター)

### (3) 東京都立職業能力開発センターとの連携

機関名	連携事業
多摩職業能力開発センター	多摩職業能力開発連絡協議会へ委員派遣(7月、3月) 造園実習協力(9月) ・造園スペースを提供し、終了式典参加 産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」にて、多摩テクノフェア「ファミリーデー」と「技能祭」を同時開催

### (4) その他の連携

機関名	連携事業
(一社)首都圏産業活性化協会	協会理事として、都産技研理事を派遣

## 4.2.3 金融機関との連携

機関名	連携事業
多摩信用金庫	第14回多摩ブルー・グリーン賞選考委員会へ委員派遣し(3回)、表彰式に参加(12月) 第16回たま工業交流展出展企業説明会および施設見学会(1月 参加者 45名)
さわやか信用金庫	「第12回ビジネスフェア」を後援し、出展(6月) ・事業説明、ロボット展示 ・ビジネスマッチング参加(医療用小型鉗子の観察および計測に関する相談) 連携実地支援(7社)(10月~2月) ・都産技研利用による技術課題の解決を提案
朝日信用金庫	東京イノベーション発信交流会出展企業推薦
城南信用金庫	「2016“よい仕事おこし”フェア」へ出展(8月) 連携相談(11月) ・環境負荷の低い製品の、技術面での将来性やリスク
西武信用金庫	「第17回ビジネスフェア from TAMA」出展(11月:東京ドームシティープリズムホール) ・複合素材開発サイトのPR(ポスター展示、パンフレット配布等)
東京東信用金庫	「48時間デザインマラソン in 東京」へ支援機関として参加(9月) ・国際ユニヴァーサルデザイン協議会特別ワークショップ ひがしんビジネスクラブオーロラ第25回大会へ参加(3月)

機関名	連携事業
芝信用金庫	連携技術相談(8月) ・ブラシ植毛の強度評価 芝信用金庫顧客の都産技研見学会(9月参加者13名)
東京TYフィナンシャルグループ	異業種交流グループ募集へのPR協力 都産技研事業説明および見学会(4月90名, 5月92名) 業務連携協定締結(5月27日) 「TOKYO TY ビジネス交流会 2016」へ出展(5月:東京国際フォーラム) 都産技研、公社多摩支社、東京TYFG共催セミナー「事業継承・M&Aセミナー」(8月:多摩テクノプラザ) INNOVESTA!2016にて講演「金融機関による支援事業の紹介」(9月)
昭和信用金庫	「ビジネスマッチング交流会'16」へ出展(7月)
シグマバンクグループ	「第8回ビジネス交流会」出展(8月)
(一社)東京都信用金庫協会	平成28年度優良企業表彰制度へ選考委員を派遣

#### 4.2.4 大学・研究機関等との連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

機関名	連携事業
首都大学東京	共同研究2テーマ実施(バイオ応用技術G、表面・化学G) エネルギーインテグリティシステム研究センターへ研究員派遣 TIRIクロスミーティング2016での発表(6月、8件) 超音波関連の研究室へ訪問(7月)
産業技術大学院大学	「オープンインスティテュート(OPI)企画経営委員会」へ委員派遣 TIRIクロスミーティング2016での発表(6月、9件)
東京都立産業技術高等専門学校	共同研究実施(バイオ応用技術G) 地域連携委員会派遣 都立産技高専運営協力者会議派遣
明星大学	外部資金への共同申請 TIRIクロスミーティング2016での発表(6月、1件)
東京理科大学	葛飾区産学公連携推進協議会(3回開催) ・「産学公連携シンポジウム2016」を後援し、出展(11月:東京理科大学)
電気通信大学	共同研究1テーマ実施 ロボット分野の研究室紹介ツアーへ参加(4月、6名)
東京工業高等専門学校	TIRIクロスミーティング2016での発表(6月、1件) 複合素材開発セクター開設記念セミナーでの講師依頼(9月) ・講演タイトル「CFRP・CFRTPの成形・加工技術の現状と課題」
千葉工業大学	TIRIクロスミーティング2016での発表(6月、1件) 千葉工業大学附属研究所「研究活動報告会」へ参加(9月、2名)

機関名	連携事業
芝浦工業大学	TIRI クロスミーティング 2016 での発表(6月、1件) ベイエリアおもてなしロボット研究会ステップアップセミナー2016を共同実施(1月) ・芝浦工業大学、首都大学東京、産業技術大学院大学、都産技研の研究者が発表
(国研)産業技術総合研究所	共同研究2テーマ実施(実証試験S、電子・機械G) TIRI クロスミーティング 2016 での発表(6月、9件) 「第6回臨海地域産学官連携フォーラム」へ発表者1名派遣(9月) 両理事長と多摩地区企業の懇談会(9月:多摩テクノプラザ 9社招待) セミナー「炭素材料の現状と未来ーナノカーボン・カーボンファイバー」を共同主催(11月) 東京ベイイノベーションフォーラム開催(12月:産総研臨海センター 9社22名参加) 連携協議会開催(3月)
(公財)東京都農林水産振興財団	共同研究1テーマ実施(電子・機械G) TIRI クロスミーティング 2016 での発表(6月、1件) 産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」にて「東京農林水産フェア」を開催(10月)
(一財)機械振興協会	第14回新機械振興賞へ審査委員派遣 INNOVESTA!2016 にポスター掲示し、相談コーナーを特設(9月)
(一財)化学研究評価機構	「JCII 標準化調査研究成果発表会」を後援し、参加(9月:エッサム神田ホール) 連携推進会議(11月)
(一社)コラボ産学官	えどがわ産学官金連携推進フォーラムへ発表者派遣(9月:タワーホール船堀 参加者65名) ・発表タイトル「Additive Manufacturing (3Dプリンティング)を核としたものづくり技術による走行用スポーツ義足の作成」
東京都商工会連合会	多摩地域ものづくり人材確保支援ネットワーク事業(10月、2月) ・多摩テクノプラザ見学会および講演会 ・たま工業交流展への引率および講演会(知財セミナー)の開催
東京商工会議所	「産学公連携相談窓口」へ新規参画(7月) ・連携相談対応延べ8件
(一社)組込みシステム技術協会(JASA)	JASA 設立30周年記念号寄稿(理事長祝辞) 共催セミナー「第43回 JASA/ET セミナー チームリーダーのためのプロジェクトマネジメント～ソフトウェア開発リーダーの悩み解消の一助に～」(5月 参加者35名) バンコク支所視察(6月 参加者18名) 共催セミナー「第1回 中小企業のためのサイバーセキュリティ対策ワークショップ」(7月:参加者27名) 関東支部の東京ロボット産業支援プラザ見学会(9月) 2016年秋「第10回日本プラグフェスト」開催に、試験会場を提供(12月)

#### 4.2.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成14年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都区域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）を設立した。平成20年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では平成23年度より長野県、平成25年度より栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに平成26年度には茨城県、静岡県、平成27年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携5機関：都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、横浜市工業技術支援センター

オブザーバー機関：関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(国研)産業技術総合研究所、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県工業技術センター、山梨県富士工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所

TKFではウェブサイト「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」の運営や、「IT・情報」、「微細加工技術」、「高分子材料」、「デザイン」、「熱処理・表面処理」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKFミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

##### (1) 首都圏公設試連携推進会議

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、年に1度TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。平成27年度からはTKFフォーラムを一般公開し（TKFオープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成28年 6月17日	埼玉県産業技術総合センター	5機関、オブザーバー機関、青森県産業技術センター、埼玉県産業労働部	51名
2	平成28年 10月28日※	神奈川県産業技術センター	5機関、オブザーバー機関、一般参加者	200名
3	平成29年 2月10日	東葛テクノプラザ	5機関、オブザーバー機関、千葉県商工労働部、(地独)山口県産業技術センター、滋賀県工業技術総合センター	45名

※TKFオープンフォーラムとして開催した。



(2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表実績は以下のとおりである。

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	主催機関	大会等の名称
1	平成 28 年 7 月 27 日	木材-ボルト接合における ワッシャーのめり込み挙動	松原独歩	千葉県産業支援 技術研究所	平成 28 年度千葉県 産業支援技術研究所 研究成果発表会
2	平成 28 年 7 月 27 日	テラヘルツ連続波を用いた材 料の電気特性評価	時田幸一	千葉県産業支援 技術研究所	平成 28 年度千葉県 産業支援技術研究所 研究成果発表会
3	平成 28 年 9 月 27 日	東京都ロボット産業活性化 事業の現状	倉持昌尚	埼玉県産業技術 総合センター	平成 28 年度オープン ラボ
4	平成 28 年 10 月 26 日	ロボット産業支援の拠点開 設と公募型共同研究開発に よる製品化への取組み	瓦田研介	神奈川県産業技 術センター	平成 28 年度神奈川 県ものづくり技術交 流会
5	平成 28 年 10 月 27 日	都産技研における 3D 技術 を活用した支援事例について	山内友貴	神奈川県産業技 術センター	平成 28 年度神奈川 県ものづくり技術交 流会
6	平成 28 年 10 月 27 日	天然繊維の有機導電加工と 活用	添田 心	神奈川県産業技 術センター	平成 28 年度神奈川 県ものづくり技術交 流会
7	平成 28 年 10 月 27 日	DLC 分析評価の現状と展望	川口雅弘	神奈川県産業技 術センター	平成 28 年度神奈川 県ものづくり技術交 流会
8	平成 29 年 3 月 16 日	情報技術グループにおける IoT への取組み事例紹介	入月康晴	静岡県工業技術 研究所	平成 28 年度静岡県 工業技術研究所研究 発表会

#### 4.2.6 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成18年、公益財団法人東京都中小企業振興公社と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMAでは、「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

種別	連携事業
講座・セミナー・フォーラム	デザイナーと起業家のためのマーケティング戦略実践講座(6月開始) 「INNOVESTA!2016」での講師依頼(9月) ・MTEP 特別セミナー「カンボジアを中心とした大メコン圏の経済概況」 ・事業紹介「成長産業等設備投資特別支援事業助成事業」、「次世代イノベーション創出プロジェクト2020助成事業」 鷹峯フォーラム(12月)にて、「東京手仕事」の取組紹介 城南支所にてオーダーメイドセミナー実施(10回 参加者延べ130名)
交流会・マッチング会	東京都異業種交流グループ IN バンコク交流会(5回開催) ものづくり企業交流会2017 in バンコク(3月) 東京イノベーション発信交流会(2月 公社からマッチング協力) 公社多摩支社主催「新技術創出交流会」にて事業紹介、複合素材開発セクターのPR
事業化支援	都産技研・産総研共同技術支援プロジェクトへ公社から企業推薦 技術シーズ説明会マッチング会を共催し、シーズ発表2件(3月) ・発表タイトル「漆と間伐材の木粉を用いた100%バイオマス成形材料及び成形体」、「衣服圧測定のための歩行型柔らかかダミー」 「東京手仕事」プロジェクトへ商品開発アドバイザー派遣(2名)
連携支援	事業承継・再生支援(3社) ・実地技術支援により製造技術・設備保全に関する支援を実施 ・製品開発に関する技術的課題の相談対応 ・ロボット産業活性化支援事業による委託研究を実施 広域多摩イノベーションプラットホーム利用企業に対し、3次元造形支援 事業化チャレンジ道場参加企業に対し、試作支援
広報活動	公社広報誌「アーガス21」に「見えないものを見る技術」連載記事を4回掲載 都産技研メールニュースに公社事業の記事を掲載 共通パンフレット作成(各拠点)

※表中の「公社」は、公益財団法人東京都中小企業振興公社を指す。

#### 4.2.7 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成28年度の参加実績および各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果発表などを行った発表実績は以下のとおりである。

##### (1) 参加実績

No.	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成28年 5月13日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	山形県工業技術センター
2	平成28年 6月8日	メカトロニクス分科会/ロボティクス分科会 地域交流ワークショップ2016	横浜市開港記念会館
3	平成28年 6月9日～10日	ライフサイエンス部会 第19回デザイン分科会	サテライトキャンパス広島
4	平成28年 6月10日	ライフサイエンス部会 医療福祉分科会 第1回人間生活工学研究会	都産技研本部
5	平成28年 6月22日	製造プロセス部会 第5回3Dものづくり特別分科会 関東甲信越静岡地域部会 3Dプリンタ研究会	都産技研本部
6	平成28年 6月30日～7月1日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会	ア・ミュー・ホール（富山県）
7	平成28年 8月18日～19日	技術向上支援事業「ドライコーティング膜の摩擦 摩耗評価に関する検討」第1回研修会・第1回検 討会	岡山県工業技術センター
8	平成28年 9月2日	知的基盤部会 電磁環境分科会 第14回関東甲信 越静岡 EMC 研究交流会 MTEP パートナーグループ会	新潟県工業技術総合研究所
9	平成28年 9月3日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 第18回医療福祉技術シンポジウム	東北大学
10	平成28年 9月29日～30日	製造プロセス部会 第23回表面技術分科会 運営委員会本会議	宮城県自治会館
11	平成28年 9月29日～30日	ナノテクノロジー・材料部会 ガラス材料技術分科会 第10回総会・研修会	長崎県窯業技術センター
12	平成28年 10月6日～7日	ナノテクノロジー・材料部会 第10回木質科学分科会	アイリス愛知
13	平成28年 10月13日～14日	ライフサイエンス部会 第20回デザイン分科会	山梨県立図書館
14	平成28年 10月13日～14日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第10回音・振動研究会	奈良県文化会館、奈良県産業振 興総合センター
15	平成28年 10月27日～28日	製造プロセス部会 第24回塗装工学分科会	ホルトホール大分
16	平成28年 11月10日～11日	知的基盤部会 第21回電磁環境分科会 第26回 EMC 研究会	くにびきメッセ、テクノアーク しまね
17	平成28年 11月10日～11日	環境・エネルギー部会 環境・エネルギー分科会 エネルギー研究会 水素利用関連技術講演会	都産技研本部
18	平成28年 11月17日～18日	ナノテクノロジー・材料部会 第54回高分子分科会	サンラポーむらくも（島根県）
19	平成28年 11月17日～18日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 情報通信研究会	(国研)産業技術総合研究所臨 海副都心センター
20	平成28年 11月17日～18日	情報通信・エレクトロニクス部会 第12回電子技術分科会 第17回高機能材料・デ バイス研究会 第17回実装・信頼性技術研究会	長野県工業技術総合センター

No.	開催年月日	会議名	開催場所
21	平成 28 年 11 月 29 日～30 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 14 回組込み技術研究会	広島県立総合技術研究所 食品 工業技術センター
22	平成 28 年 11 月 30 日～12 月 2 日	知的基盤部会第 11 回総会 計測分科会 第 1 回光 放射計測研究会 形状計測研究会 第 48 回温度・ 熱研究会	サンポートホール高松
23	平成 28 年 12 月 1 日～2 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維技術研究会	ニューミヤコホテル足利本館
24	平成 28 年 12 月 1 日～2 日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会 第 51 回セラミックス技術担当者会議	(国研)産業技術総合研究所中 部センター
25	平成 29 年 2 月 14 日～15 日	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総会	都産技研本部

## (2) 発表実績

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
1	平成 28 年 6 月 9 日	人材育成を目指す実践ワーク ショップ	橋本みゆき	サテライトキャン パス広島	ライフサイエンス部会 第 19 回デザイン分科会
2	平成 28 年 6 月 9 日	都産技研デザイン分野紹介	酒井日出子	サテライトキャン パス広島	ライフサイエンス部会 第 19 回デザイン分科会
3	平成 28 年 6 月 10 日	構造解析を利用したコンセプト デザイン	上野明也	サテライトキャン パス広島	ライフサイエンス部会 第 19 回デザイン分科会
4	平成 28 年 6 月 22 日	金属粉末 AM による 3D ものづく り技術支援	藤巻研吾	都産技研本部	製造プロセス部会 第 5 回 3D ものづくり特別分科会
5	平成 28 年 8 月 19 日	DLC 膜の膜構造分析結果と膜硬 度の相関性について	徳田祐樹	岡山県工業技術 センター	技術向上支援事業「ドライ コーティング膜の摩擦摩 耗評価に関する検討」第 1 回検討会
6	平成 28 年 8 月 19 日	ラウンドロビンテストに関する 全体討論	川口雅弘	岡山県工業技術 センター	技術向上支援事業「ドライ コーティング膜の摩擦摩 耗評価に関する検討」第 1 回検討会
7	平成 28 年 9 月 2 日	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザの実状報告	小畑 輝	新潟県工業技術 総合研究所	知的基盤部会 電磁環境分 科会
8	平成 28 年 9 月 29 日	陶磁器上絵における残存有機物 分析	樋口智寛	長崎県窯業技術 センター	ナノテクノロジー・材料部 会 ガラス材料技術分科会 第 10 回総会・研修会
9	平成 28 年 9 月 29 日	強化ガラスにおける最近のト ピックス	増田優子	長崎県窯業技術 センター	ナノテクノロジー・材料部 会 ガラス材料技術分科会 第 10 回総会・研修会
10	平成 28 年 10 月 6 日	木材ーボルト接合におけるワッ シャーのめり込み挙動解析	松原独歩	アイリス愛知	ナノテクノロジー・材料部 会 第 10 回木質科学分科会
11	平成 28 年 10 月 13 日	情報技術に基づく災害発生時対 応支援用具の開発	加藤貴司	山梨県立図書館	ライフサイエンス部会 第 20 回デザイン分科会
12	平成 28 年 10 月 13 日	多摩テクノプラザにおける振動 試験の取り組み	岩田雄介	奈良県文化会館	情報通信・エレクトロニク ス部会 情報技術分科会 第10回音・振動研究会
13	平成 28 年 10 月 13 日	都産技研（光音技術グループ） の設備紹介と支援事例	渡辺茂幸	奈良県文化会館	情報通信・エレクトロニク ス部会 情報技術分科会 第10回音・振動研究会
14	平成 28 年 10 月 27 日	ヤモリテープを活用した微量粉 末試料の新規回収方法	神谷嘉美	ホルトホール大 分	製造プロセス部会 第24回塗装工学分科会
15	平成 28 年 10 月 27 日	セルローズナノファイバーとセル ローズ誘導体による酸性紙の 強化	村井まどか	ホルトホール大 分	製造プロセス部会 第24回塗装工学分科会

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
16	平成 28 年 11 月 10 日	都産技研での水素関連技術への 取組事例の紹介	樋口明久	都産技研本部	環境・エネルギー部会 環 境・エネルギー分科会 エ ネルギー研究会 水素利用 関連技術講演会
17	平成 28 年 11 月 11 日	MTEP と連携した国際化支援につ いて	福田純子	くにびきメッセ、 テクノアークしま ね	知的基盤部会 第 21 回電 磁環境分科会 第 26 回 EMC 研究会
18	平成 28 年 11 月 11 日	EMC 試験業務の改善への取組み	近藤 崇	くにびきメッセ、 テクノアークしま ね	知的基盤部会 第 21 回電 磁環境分科会 第 26 回 EMC 研究会
19	平成 28 年 11 月 17 日	下水管渠更生工法材料の強度試 験	安田 健	サンラボーむらく も (島根県)	ナノテクノロジー・材料部 会 第 54 回高分子分科会
20	平成 28 年 11 月 17 日	観光情報システムの言語バリア フリー	阿部真也	(国研)産業技術 総合研究所 臨海 副都心センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 情報技術分科会 情 報通信研究会
21	平成 28 年 11 月 17 日	放射線除染事業向け走査型モニ タリングの動向とその応用	中川善継	(国研)産業技術 総合研究所 臨海 副都心センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 情報技術分科会 情 報通信研究会
22	平成 28 年 11 月 17 日	藻類由来微結晶の光学特性につ いて	宮下惟人	長野県工業技術 総合センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 第 12 回電子技術分 科会
23	平成 28 年 11 月 17 日	耐腐食性・低コスト・低消費電 力の特長を有するフローセンサ デバイスの開発	山岡英彦	長野県工業技術 総合センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 第 12 回電子技術分 科会
24	平成 28 年 11 月 17 日	都産技研における半導体前工程 設備の利用状況	永田晃基	長野県工業技術 総合センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 第 12 回電子技術分 科会
25	平成 28 年 11 月 29 日	ディープラーニングに関する技 術動向の紹介	三木大輔	広島県立総合技 術研究所 食品工 業技術センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 第 14 回組込み技術 研究会
26	平成 28 年 11 月 30 日	現場環境におけるパラレルメカ ニズムを用いた三次元測定機の 高度化 -温度ドリフトの評価お よび補正-	大西 徹	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
27	平成 28 年 11 月 30 日	都産技研における JCSS の取組	三浦由佳	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
28	平成 28 年 12 月 1 日	光学シミュレーションと実測の 比較	横田浩之	サンポートホー ル高松	知的基盤部会計測分科会 光放射計測研究会
29	平成 28 年 12 月 1 日	都産技研における試験事業の高 品質化への取り組み	澁谷孝幸	サンポートホー ル高松	知的基盤部会計測分科会 光放射計測研究会
30	平成 28 年 12 月 1 日	都産技研における依頼試験及び 機器利用の状況について	秋葉拓也	サンポートホー ル高松	知的基盤部会計測分科会 光放射計測研究会
31	平成 28 年 12 月 1 日	CMM の設置環境ってどんなと ころ? 温度コントロールされて いない場所での問題点	村上祐一	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
32	平成 28 年 12 月 1 日	電気炉の温度分布評価による信 頼性向上	倉持幸佑	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 第 48 回温度・熱研究会
33	平成 28 年 12 月 1 日	小型化された共晶点セルの実現 とその評価	佐々木正史	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 第 48 回温度・熱研究会
34	平成 28 年 12 月 1 日	φ 0.1mm 極細シース熱電対の開 発	沼尻治彦	サンポートホー ル高松	知的基盤部会 計測分科会 第 48 回温度・熱研究会
35	平成 28 年 12 月 1 日	産地状況と事業紹介	堀江 暁	ニューミヤコホテ ル足利本館	ナノテクノロジー・材料部 会 繊維分科会 繊維技術研 究会

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
36	平成 28 年 12 月 1 日	衣服圧測定手法の応用による、 背負圧測定方法の検討	菅谷紘子	ニューミヤコホテル 足利本館	ナノテクノロジー・材料部 会 繊維分科会 繊維技術研 究会
37	平成 28 年 12 月 1 日	陶磁器上絵における残存有機物 分析	樋口智寛	(国研)産業技術 総合研究所中部 センター	ナノテクノロジー・材料部 会 セラミックス分科会 第51回セラミックス技術担 当者会議
38	平成 28 年 12 月 1 日	シリカガラス基板に微細流路を 形成したマイクロリアクターの 紹介	田中 実	(国研)産業技術 総合研究所中部 センター	ナノテクノロジー・材料部 会 セラミックス分科会 第51回セラミックス技術担 当者会議
39	平成 28 年 12 月 1 日	有害物質を含まないあざやかな 赤色ガラス「茜硝子」の紹介	大久保一宏	(国研)産業技術 総合研究所中部 センター	ナノテクノロジー・材料部 会 セラミックス分科会 第51回セラミックス技術担 当者会議
40	平成 29 年 2 月 14 日	広域首都圏公設試連合体による 海外展開支援事業の紹介	五十嵐美穂子	都産技研本部	環境・エネルギー部会・分 科会・研究会合同総会

#### 4.2.8 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 28 年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名
1	平成 28 年 5 月 18 日	(一社)表面技術協会 材料機能ドライプロセス部会	第 100 回例会「DLC の最新動向と評価技術」
2	平成 28 年 5 月 20 日	(一社)表面技術協会 めっき部会	めっき部会
3	平成 28 年 5 月 27 日	(一社)日本塑性加工学会 金型分科会	医工連携分野における素形材技術の展開
4	平成 28 年 5 月 31 日	(一社)プラスチック成形加工学会	第 1 回公設試実習講習会「射出成形の実習講習会—スキルアップ編—」
5	平成 28 年 6 月 2 日	木材塗装研究会	第 28 回木材塗装基礎講座
6	平成 28 年 7 月 20 日	(一社)日本光学会 偏光計測・制御技術研究グループ	第 12 回偏光計測研究会
7	平成 28 年 8 月 29 日～ 9 月 2 日	日本真空工業会	第 22 回真空ウォーキングコース
8	平成 28 年 10 月 7 日	マテリアルライフ学会 表面—界面物性研究会	2016 年秋期講演会
9	平成 28 年 10 月 20 日	機能性フィルム研究会	新たな機能性フィルム創製シンポジウム
10	平成 28 年 10 月 21 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会	講演会「ナノ粒子、ナノ構造の作製とその特性」
11	平成 28 年 11 月 22 日	(公社)日本鑄造工学会	鑄造品の実体での試験・検査技術と品質保証
12	平成 28 年 12 月 2 日	定量 NMR クラブ	定量 NMR に関するアプリケーション事例のセミナー
13	平成 28 年 12 月 7 日	日本食品照射研究協議会	第 52 回技術セミナー/教育講演会
14	平成 28 年 12 月 8 日	(一社)電気学会	安全で省エネ社会の構築と中小企業支援
15	平成 28 年 12 月 15 日	マテリアルライフ学会	第 7 回耐久性セミナー「木材・木工材料の耐久性」
16	平成 28 年 12 月 15 日	制振工学研究会	2016 技術交流会
17	平成 28 年 12 月 16 日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会	金属加工関連技術—講演・見学会
18	平成 29 年 1 月 12 日	(一社)プラスチック成形加工学会	第 157 回講演会「国内および欧州における CFRP 軽量化技術の最新動向」
19	平成 29 年 1 月 25 日	日本材料試験技術協会	第 270 回材料試験シンポジウム
20	平成 29 年 1 月 26 日～27 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 24 回超音波による非破壊評価シンポジウム
21	平成 29 年 1 月 27 日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2017 with プログラマブルデバイスプラザ
22	平成 29 年 2 月 13 日	(一社)強化プラスチック協会	第 1 回 FRP 成形・利用に関する合同研究会
23	平成 29 年 3 月 6 日	マテリアルライフ学会 表面界面物性研究会	2017 年春期講演会

## 5. 東京の産業を支える産業人材の育成

### 5.1 技術セミナー・講習会

中小企業等の技術力向上と振興を図ることを目的として、環境・エネルギー、生活技術・ヘルスケア、機能性材料、安全・安心、ものづくり要素技術などの各分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を開催した。

#### (1) 技術セミナー・講習会

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
●技術セミナー					
環境・エネルギー分野					
シミュレーションを活用した音響材料の開発	光音技術	10	1	5	10/26
規制強化に向けた亜鉛めっき排水処理対策	環境技術	13	1	3.5	11/11
生活技術・ヘルスケア					
X線CT装置を用いたリバースエンジニアリング技術の高度化	バイオ応用技術	48	1	4	7/29
機能性食品の現状および分析方法	バイオ応用技術	7	1	3.5	2/20
グローバル人材育成セミナー 繊維製品の取り扱い表示記号 (ケアラベル)の改正	生活技術開発	33	1	4	7/7
営業で役立つものづくり基礎の基礎 感性品質評価編	生活技術開発	25	1	4	7/29
現場で役立つ化粧品のレオロジーと経皮吸収の基礎	バイオ応用技術	57	1	2.5	7/26
現場で役立つシリーズ 人体3Dデジタイザによる人体計測～ スポーツ分野および福祉機器分野編～	生活技術開発	29	1	3.5	9/12
機能性材料分野					
現場で役立つプラスチック射出成形現象の可視化と体系化	表面・化学技術	68	1	2.5	11/25
機能性炭素材料の産業応用への開発動向	表面・化学技術	7	1	4	12/9
機器分析の基礎と活用	城南	38	1	3	3/9
安全・安心分野					
電気用品安全法ってなんだろう (輸入事業者向け)	電気電子技術	46	1	6	10/6
営業で役立つはじめての振動試験	機械技術	20	1	2	9/9
営業で役立つものづくり基礎の基礎 振動試験編	機械技術	3	1	3.5	11/25
【電気安全・開発支援セミナー】製品安全の考え方と進め方 (実践編)	電子・機械	21	1	3.5	10/11
期待した効果が得られていますか?社内ルールを見直す EMC 設計	電子・機械	47	1	4	2/3



名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
ものづくり要素技術					
若手技術者のための金属加工技術シリーズ第1回 図面の基礎と金属材料編	機械技術	30	1	4	6/17
非破壊検査入門	機械技術	53	1	4.5	3/3
測光の基礎の基礎 照明製品スペックシートの読み方から照度シミュレータの簡単な使い方まで	光音技術	24	1	3.5	9/9
営業で役立つモノづくりの基礎の基礎 騒音測定・評価編ー売れる製品のための音の知識ー	光音技術	24	1	4	6/24
赤外線の基礎と利用技術	光音技術	19	1	4.5	8/26
現場で役立つプラスチックの話	表面・化学技術	70	1	4	11/11
素材・製品における色の基礎～素材・製品の特性と色の基礎知識～	環境技術	19	1	5.5	10/18
営業で役立つガラス製品の基礎知識	環境技術	16	1	4	3/7
デザイン思考によるプロダクトイノベーション	デザイン技術	35	1	3	5/24
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～①売れる仕組みの全体像をつかむ	デザイン技術	12	1	4	6/3
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～⑤顧客が買いたくなる「キャッチコピーの作り方」	デザイン技術	25	1	6	9/13
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～⑦販促の費用対効果とツールの見直し	デザイン技術	22	1	4	11/16
都産技研が進める規格認証制度の取組	3Dものづくり	14	1	5.5	2/1
【営業で役立つものづくり基礎の基礎 材料編】炭素繊維強化プラスチック入門セミナー	電子・機械	12	1	3	6/17
現場で役立つやさしい破断面の見方	城南	36	1	3	8/26
技術セミナー	31件	883	31	121	
●講習会					
環境・エネルギー分野					
現場で役立つ機器騒音測定技術	光音技術	10	1	6	7/5
VOC計測の基礎 排ガスサンプリングとPIDガスクロマトグラフによる計測	環境技術	5	1	4	10/14
RoHS指令に対応した六価クロム測定実習	環境技術	5	1	4	12/8
現場で役立つ熱設計と数値シミュレーション	情報技術	20	1	6	8/5
RoHS指令の規制物質と蛍光X線分析	複合素材開発	6	1	3.5	7/12

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
生活技術・ヘルスケア					
バイオイメーjing講習会 ～顕微鏡の選択術～	バイオ応用技術	3	1	4	3/17
現場で役立つ顕微鏡観察テクニック 初心者のための顕微鏡 活用法～繊維素材の観察法～	生活技術開発	8	1	4	1/19
機能性材料分野					
プラスチック射出成形シミュレーション入門	表面・化学技術	16	1	6	10/5
体験で学ぶはじめての材料分析	表面・化学技術	9	1	6	2/23
ナノ材料評価入門～粒度分布・細孔構造解析～	先端材料開発	5	1	4	2/28
複合素材の成形	複合素材開発	8	1	4	3/23
安全・安心分野					
雷対策入門【電気電子機器における電源線の雷対策】	電気電子技術	9	1	3	2/17
振動試験規格と振動試験の進め方（第1回）	機械技術	10	1	6	5/19
振動試験規格と振動試験の進め方（第2回）	機械技術	10	1	6	9/6
【多摩テクノプラザで入門（機械系試験編）】振動試験スタートアップ	電子・機械	6	1	5	5/20
【多摩テクノプラザで入門（機械系試験編）】表面粗さ測定スタートアップ	電子・機械	5	1	4	6/20
【多摩テクノプラザで入門（EMC試験編）】イミュニティ測定	電子・機械	7	1	4	6/14
【多摩テクノプラザで入門（EMC試験編）】エミッション測定	電子・機械	7	1	4	6/17
T型ロボットベースによるロボット開発実践入門講座	ロボット開発	4	1	4	3/9
LabVIEWによる産業用ロボット制御入門	ロボット開発	4	1	4	3/10
ものづくり要素技術					
MEMS技術Ⅰ リソグラフィ	電気電子技術	4	1	4	5/26
MEMS技術Ⅱ エッチング	電気電子技術	4	1	4	7/26
鉛フリーはんだ付け講習会（技術者・監督者向け）	電気電子技術	15	1	5.75	9/28
高周波誘電率測定の基礎	電気電子技術	4	1	4	11/8
若手技術者のための金属加工技術シリーズ第2回 切削・研削と塑性加工編	機械技術	20	1	4	6/24
若手技術者のための金属加工技術シリーズ第3回 表面処理と潤滑技術編	機械技術	16	1	4	7/1
若手技術者のための金属加工技術シリーズ第4回 溶接・接合と金属熱処理編	機械技術	20	1	4	7/8

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
非破壊検査入門	機械技術	7	1	6.75	10/21
設計から営業まで役立つ実践型木工塗装技術	表面・化学技術	5	2	13	12/6
発注者のためのめっき入門ーめっき技術の基礎ー	表面・化学技術	5	1	6	2/3
発注者のためのめっき入門ーめっき技術の基礎ー	表面・化学技術	5	1	6	2/10
営業で役立つものづくり基礎の基礎 薄膜評価編	表面・化学技術	3	1	5	2/20
ガラスの破損事故解析	環境技術	22	1	4	2/3
現場で役立つ人間中心のプロジェクトマネジメント	情報技術	12	1	6	7/1
品質工学による製品開発機関の短縮	情報技術	24	1	6	10/13
SoC 向けデジタル回路設計入門 (VHDL・Altera 編)	情報技術	7	1	6	12/14
GPGPU プログラミング入門	情報技術	7	1	4	1/16
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～③パソコンでつくるコミュニケーションツール	デザイン技術	15	1	4	7/12
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～④Office ソフトで作る自社ブースに呼び込む展示会パネル	デザイン技術	8	1	4	8/23
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～⑥自社商品を売るためのパッケージ	デザイン技術	17	1	4	9/27
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～⑧Webを武器にした集客の仕組みづくり	デザイン技術	11	1	4	1/24
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～⑨初心者のためのJIMDOを使ったホームページ作成講座	デザイン技術	8	3	12	2/9
3D-CAD 入門 (第1回)	3D ものづくり	10	1	5.5	4/27
3D-CAD 入門 (第2回)	3D ものづくり	10	1	5.5	6/29
3D-CAD 入門 (第3回)	3D ものづくり	10	1	5.5	8/24
3D-CAD 入門 (第4回)	3D ものづくり	10	1	5.5	10/19
3D-CAD 入門 (第5回)	3D ものづくり	10	1	5.5	12/7
3D-CAD 入門 (第6回)	3D ものづくり	10	1	5.5	2/8
測定の基礎と測定機器の精度管理	3D ものづくり	10	1	6	2/27
CAE 入門～シミュレーションによる構造解析～	3D ものづくり	3	1	5	3/8
精密万能試験機による製品・材料の強度評価 (第1回)	実証試験	10	1	4	5/27
精密万能試験機による製品・材料の強度評価 (第2回)	実証試験	10	1	4	8/19
精密万能試験機による製品・材料の強度評価 (第3回)	実証試験	10	1	4	11/18
精密万能試験機による製品・材料の強度評価 (第4回)	実証試験	8	1	4	2/17

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
熱拡散率測定	実証試験	14	1	6	7/12
光学特性測定ー透過率・反射率、色彩、へーズ、光沢度ー	城東	6	1	3	9/15
蛍光 X 線分析装置、赤外分光分析装置活用講座～異物分析・材料分析・めっき厚さ測定など～	城東	9	1	6	7/12
静電植毛加工技術	城東	10	1	4	10/20
3D デジタイザー入門	城東	2	1	5	11/16
グラフィックデザイン入門	城東	4	1	3	11/15
現場で役立つ形状評価入門	城南	11	1	3	2/22
現場で役立つ 3D デジタルものづくり入門	城南	8	1	3.5	1/23
【多摩テクノプラザでレベルアップ（機械系試験編）】現場環境における三次元測定	電子・機械	5	1	4	7/15
【多摩テクノプラザで入門（機械設計編）】3D-CAD スタートアップ	電子・機械	6	1	4	7/13
【多摩テクノプラザでレベルアップ（機械設計編）】3D-CAD レベルアップ	電子・機械	4	1	4	8/31
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】マイコンで無線センサネットワーク機器開発	電子・機械	6	1	6	11/25
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】電子回路基板のノイズ源を探る近傍界ノイズ測定と解析	電子・機械	8	1	4	10/7
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】はじめての電子回路設計	電子・機械	10	1	4	7/1
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】基板設計入門	電子・機械	11	1	4	7/22
現場で役立つ材料評価技術 帯電性評価-繊維製品を中心として-	複合素材開発	5	1	3	9/15
表面処理技術の基礎と評価実習	複合素材開発	5	2	10	11/24
講習会	71 件	631	75	348.5	

## (2) ブランド確立実践ワークショップ

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
企画基礎講座	デザイン技術	16	3	18	6/30
商品企画基礎講座	デザイン技術	20	13	78	6/30
マーケティング戦略実践講座	デザイン技術	6	16	90	6/30
マーケティング戦略実践講座 応用編	デザイン技術	6	13	52	7/21

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
ブランド確立実践ワークショップ	4 件	48	45	238	

(3) 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) セミナー

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第 1 回)	国際化推進	27	1	1.5	4/21
【グローバル人材育成 知財編】 技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方		14	1	3	5/11
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第 1 回)		22	1	1.5	5/20
【グローバル人材育成 EU 編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第 1 弾		63	1	3	5/27
【現場で役立つシリーズ】 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法		24	1	4	5/30
【グローバル人材育成 欧州編】 EU 化粧品規制入門		153	1	2	6/2
【海外規格精通シリーズ】 CE マーキング リスクアセスメントと取扱説明書		99	1	3	6/7
【グローバル人材育成 アジア編】 電気・電子製品の中国規格、中国 RoHS		80	1	3.5	6/15
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第 2 回)		8	1	1.5	6/16
【海外規格精通シリーズ】 Q&A 形式で学ぶ RoHS 指令		11	1	3	6/27
【グローバル人材育成 アジア編】 アジアの医療機器規制		28	1	1.5	7/6
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第 2 回)		19	1	2	7/11
【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC60204-1		8	1	4	7/28
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第 3 回)		26	1	2	8/5
『INNOVESTA!2016』 特別セミナー 「中国や東南アジアの産業用ロボット市場」		31	1	1	9/9
『INNOVESTA!2016』 特別セミナー 「カンボジアを中心とした大メコン圏の経済概況」		23	1	1	9/9
【現場で役立つシリーズ】 実践 CE マーキング 機械指令とリスクアセスメント		8	1	4	9/12
海外規格ミニセミナー 中国規格 RoHS (個別相談付)		9	1	2	9/20
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第 3 回)		20	1	2	9/21
【中小企業の海外展開を応援！】 CE マーキング活用セミナー～海外の認証制度を学んでみよう～		26	1	2	9/29

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
【グローバル人材育成 EU編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第2弾	国際化推進	35	1	4	10/6
海外規格ミニセミナー 中国規格 RoHS (個別相談付)		4	1	2	10/12
都産技研・荒川区共催セミナー 欧州への製品輸出に必須! CE マーキング超入門		24	1	2	10/17
【グローバル人材育成 欧州編】 REACH 規則の基礎		60	1	2	10/20
【海外規格精通シリーズ】 日米欧の医療機器規制		22	1	2.5	11/18
台東区産業振興事業団・都産技研共催セミナー MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門		27	1	2	11/24
【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング 新 EMC 指令		29	1	2	11/28
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第5回)		14	1	2	12/8
【グローバル人材育成 知財編】 海外ビジネスのための知財 戦略		11	1	2	12/14
【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC60204-1		10	1	4	12/19
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第5回)		15	1	2	1/13
【現場で役立つシリーズ】 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法		24	1	4	1/23
世界で通用する安全なものづくりセミナー 安全設計の基本 概念		97	1	3	1/25
【グローバル人材育成 アジア編】 マレーシア、シンガポ ール、タイの認証制度		41	1	3	1/31
欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修 「CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門」		55	1	4	2/2
【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC61010-1		12	1	4	2/14
【グローバル人材育成 規格と制度編】 国際規格と各国の省エネルギー、無線認証制度		28	1	4	2/23
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第6回)		14	1	2	2/28
【グローバル人材育成 アジア編】 中国、韓国、台湾の認証 制度		48	1	3	3/6
世界に通用するものづくりセミナー 製品含有化学物質規制の動向と管理方法		122	1	4	3/17
世界に通用するものづくりセミナー 新 EMC 指令と RE (無線機器) 指令	82	1	3	3/21	
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第6回)	13	1	2	3/27	
MTEP V-learning CE マーキング入門	45	-	1.5	-	

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
MTEP V-learning EMC 指令入門 <EMC 指令の入門と事例>	国際化推進	35	-	1.5	-
MTEP V-learning 低電圧指令入門		37	-	1.5	-
MTEP V-learning 機械指令入門 <欧州 CE マーキングの制度へ機械指令 2006/42/EC>		31	-	1.5	-
MTEP V-learning RoHS 指令入門		51	-	1.5	-
MTEP V-learning 中国規格入門		30	-	1.5	-
MTEP セミナー	48 件	1715	42	119	

#### (4) その他のセミナー

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
●バンコク支所セミナー					
発注者のためのめっき入門 -めっき技術の基礎- (第1回)	バンコク	7	1	2.5	7/7
発注者のためのめっき入門 -めっき技術の基礎- (第2回)		9	1	2.5	7/28
生産技術レベルアップのための工学基礎 (第1回)		10	1	3	8/17
生産技術レベルアップのための工学基礎 (第2回)		32	1	3	8/18
プラスチック材料の基礎 (第1回)		6	1	2.5	10/19
プラスチック材料の基礎 (第2回)		8	1	2.5	11/29
幾何公差の読み方、測り方スタートアップ		6	1	2.5	11/11
ものづくり企業交流会 2017 in バンコク		71	1	4	3/2
●連携セミナー・イノベーション発信交流会・ロボット産業活性化事業セミナー					
～販売力を高めるための営業戦略シリーズ～②積極的に契約 を取る展示会プロセス	デザイン技術	77	1	3	7/5
第1回中小企業のためのサイバーセキュリティ対策ワーク ショップ	情報技術	27	1	2.5	7/22
中小企業のためのサイバーセキュリティイベント	経営企画	129	1	4	11/9
炭素材料の現状と未来：ナノカーボン、カーボンファイバー	交流連携	49	1	4	11/22
東京イノベーション発信交流会	交流連携	285	1	7	2/16
ロボット産業活性化事業セミナー (第1回)	ロボット企画	84	1	3	2/9
ロボット産業活性化事業セミナー (第2回)		160	1	4	3/3
ロボット産業活性化事業セミナー (第3回)		48	1	3	3/15

名称	担当 G/S・室 支所	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
●開設記念セミナー					
複合素材開発サイト開設記念無料セミナー（第1回）	複合素材開発	83	1	4	9/21
複合素材開発サイト開設記念無料セミナー（第2回）		41	1	4	11/10
複合素材開発サイト開設記念無料セミナー（第3回）		89	1	4	2/20
●知的資産経営講座					
知的資産経営講座	技術経営支援	-	-	-	10/6
その他セミナー	20件	1221	19	65	



## 5.2 オーダーメイドセミナー

時期・内容など、個別企業等の依頼者のニーズに合わせ、随時セミナーを実施した。  
平成 28 年度は 118 件実施した。

担当	実施件数	主な指導内容
技術経営支援室	1	スクリーン印刷技術
国際化推進室	8	REACH 規則、化学物質規制、CE マーキング認証の解説
電気電子技術グループ	1	鉛フリーはんだ付け
機械技術グループ	6	振動計測技術、塑性加工と切削・研削技術
光音技術グループ	1	騒音測定技術
表面・化学技術グループ	9	二軸押出機、バッチ式混練機に関する実技実習
環境技術グループ	2	RoHS(Ⅱ)指令の最新動向、遮音壁ガラスの破損事故解析
バイオ応用技術グループ	4	照射食品検知法の研修、リアルタイム PCR の実習
デザイン技術グループ	22	グラフィックデザインに関する知財について、ホームページ作成講座、イラストレーター講座、ネーミングに関する商標について
生活技術開発セクター	19	家庭用品品質表示法について
3D ものづくりセクター	1	測定の基礎と測定機器の精度管理
先端材料開発セクター	1	高分解能走査電子顕微鏡による材料解析技術
実証試験セクター	1	材料・構造力学の基礎
城南支所	20	グロー放電質量分析法、材料強度試験の実技研修
総合支援課	4	特許情報調査セミナー
電子・機械グループ	6	製図の基礎、回路設計セミナー、基板設計セミナー
複合素材開発セクター	17	繊維の基礎と繊維製品の製造工程、ニット製造の基礎
計	123	

## 5.3 講師・委員等の派遣

### 5.3.1 委員等の派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関などへ評価委員や専門委員として、61 機関合計 76 名を派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

内閣府

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
公益財団法人日本発明振興協会  
一般社団法人日本繊維機械学会  
一般社団法人日本トライボロジー学会  
一般社団法人日本マグネシウム協会  
一般財団法人日本規格協会  
一般財団法人機械振興協会  
公益財団法人東京都中小企業振興公社  
独立行政法人日本学術振興会 など

### 5.3.2 講師等の派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関などへ非常勤講師や指導員として、48 機関合計 63 名を派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

環境省  
輪島市  
法政大学  
明治大学  
山梨大学  
東京学芸大学  
首都大学東京  
東京都立産業技術高等専門学校  
東京都鍍金工業組合  
東京都医学総合研究所  
公益社団法人日本分析化学会  
一般社団法人日本熱処理技術協会  
一般社団法人日本計量振興協会  
滋賀県工業技術総合センター  
茨城県工業技術センター  
地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 など

## 5.4 インターンシップなどの受け入れ

### 5.4.1 インターンシップ

職業体験による職業意識の向上と、公設試の業務について理解を深めてもらうことを目的にインターンシップを実施し、6 大学、1 高等学校より 16 名を受け入れた。

	受け入れ相手先		人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	法政大学 理工学部経営システム工学科		1	情報技術グループ	平成28年 8月22日 ～平成28年 8月26日
2	東京理科大学 工学部・機械工学科		1	城東支所	平成28年 8月18日 ～平成28年 8月31日
			1	機械技術グループ	平成28年 8月22日 ～平成28年 9月 9日
3	首都大学 東京	都市教養学部理工学系機械 工学コース	1	城南支所	平成28年 8月29日 ～平成28年 9月 2日
		都市教養学部理工学系化学 コース	1	城南支所	平成28年 8月29日 ～平成28年 9月 2日
		都市教養学部理工学系物理 学コース	1	生活技術開発セクター	平成28年 8月29日 ～平成28年 9月 2日
		システムデザイン学科インダ ストリアルアートコース	1	光音技術グループ	平成28年 9月 5日 ～平成28年 9月 9日
		都市教養学部理工学系機械 工学コース	1		
		都市教養学部理工学系化学 コース	1	環境技術グループ	平成28年 9月 6日 ～平成28年 9月10日
		都市環境学部分子応用科学 コース	1		
都市教養学部理工学系電気 電子工学コース	1	電気電子技術グループ	平成28年 9月 6日 ～平成28年 9月10日		
4	電気通信大学大学院 情報理工学研究科機械知能システム学専攻		1	情報技術グループ	平成28年 9月 5日 ～平成28年 9月16日
5	信州大学大学院 総合工学系研究科生命機能・ファイバー 工学専攻		1	生活技術開発セクター	平成29年 1月16日 ～平成29年 2月 7日
6	東京電機大学 理工学部理工学科電子・機械工学系		1	表面・化学技術グループ	平成29年 2月 6日 ～平成29年 2月10日
7	東京都立多摩工業高等学校		2	多摩テクノプラザ	平成29年 2月 7日 ～平成29年 2月 9日

#### 5.4.2 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。平成28年度は8大学より10名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	東京電機大学 理工学部生命理工学系	1	バイオ応用技術グループ	平成28年 4月 1日 ～平成29年 3月31日
2	芝浦工業大学大学院 理工学研究科工学専攻	1	機械技術グループ	平成28年 4月15日 ～平成30年 3月31日
3	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科	1	表面・化学技術グループ	平成28年 5月23日 ～平成29年 3月31日
4	群馬大学 理工学府理工学専攻	1	表面・化学技術グループ	平成28年 6月27日 ～平成29年 3月31日
5	東京大学 工学部航空宇宙工学科	1	電気電子技術グループ	平成28年 7月26日 ～平成29年 3月31日
6	東京大学大学院 新領域創成科学研究科先端エネルギー工 学専攻	1	電気電子技術グループ	平成28年 7月26日 ～平成29年 3月31日
7	筑波大学 システム情報工学研究科構造エネルギー 工学専攻	2	電気電子技術グループ	平成28年 7月29日 ～平成29年 3月31日
8	首都大学東京 システムデザイン研究科知能機械システ ム学域	1	表面・化学技術グループ	平成28年 9月28日 ～平成29年 3月31日
9	長岡技術科学大学 経営情報システム工学課程	1	広報室	平成28年10月 7日 ～平成29年 2月10日

## 6. 情報発信・情報提供の推進

### 6.1 イベント開催

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを広く中小企業や都民に紹介するために、施設公開や講演会などを開催した。

#### 6.1.1 TIRI クロスミーティング

都産技研の技術シーズや研究成果を発表してきた「研究成果発表会」を「TIRI クロスミーティング」として内容を充実させ、平成 28 年 6 月 8 日～10 日に開催した。都産技研だけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関からの発表などを行った。3 日間で基調講演・特別講演等を 8 テーマ、研究成果を 113 テーマ、事業説明を 2 テーマ実施し、700 名の参加があった。東京イノベーションハブでは、研究成果のパネル展示を行い、発表者との交流を図った。6 月 8 日は、地方独立行政法人化 10 周年記念式典と併催で実施した。

平成 28 年 6 月 8 日（水）

<地方独立行政法人化 10 周年プログラム> 講堂・会議室 531・食堂

題 目	所 属	発表者名
【記念講演】 中小企業の競争力は、ビジネスモデルとそれを支える知財マネジメントで決まる～産業生態系の変容の中で何を検討しなければならないか～	(特非)産学連携推進機構 理事長 ／一橋大学大学院 商学研究科 MBA客員教授	妹尾堅一郎 氏
【記念講演】 メディカロイドが目指す医療ロボットについて	(株)メディカロイド 常務取締役 ／川崎重工業(株)精密機械カンパニー ロボットビジネスセンター 医療ロボット部門 担当理事	田中博文 氏
10周年記念式典・交流会	—	—

平成 28 年 6 月 9 日（木）

<ロボット> 講堂・会議室 531

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 ロボットと未来社会	大阪大学教授／ATR石黒浩特別研究所 客員所長(ATRフェロー)	石黒 浩 氏
最新試作ロボットの紹介	ロボット開発セクター	坂下和広
自動停止機能を有する電動車椅子の研究開発	WHILL(株)	白井一充
T型ロボットベースの高機能化	(株)システムクラフト	曾我部正躬
震災時の要救助者探索用レスキューロボットの開発	明星大学	山崎芳昭
ロボットとロボット用玩具の違いとそれらの有効活用のために	首都大学東京	井上 薫
ロボット産業活性化事業平成28年度公募型共同研究開発事業（事業説明）	ロボット企画グループ	高橋千秋
在宅見守りロボットの研究開発	(株)VR テクノセンター	横山考弘
T型ロボットベースの開発と応用事例	ロボット開発セクター	小林祐介
人追従型運搬ロボットの安全性強化と開発	ロボット開発セクター	益田俊樹
案内サービスロボットの安全認証取得への取り組み	ロボット開発セクター	森田裕介
USBを用いた機械制御システムのための安全技術	ロボット開発セクター	村上真之
ロボット用自律移動ソフトウェアの開発	ロボット開発セクター	佐々木智典
先導型案内ロボット向けヒト追跡ソフトウェアの開発	ロボット開発セクター	中村佳雅
多言語対話のための音声処理ソフトウェアの開発	ロボット開発セクター	武田有志
実証実験に基づいた受付ロボットのサービス検討と改善	ロボット開発セクター	松本正雄

<海外展開支援> 講堂

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 中小企業の「生産拠点を持たない海外展開」戦略	(株)日本政策金融公庫 総合研究 所 主席研究員	丹下英明 氏
【MTEPセミナー】 海外の医療機器規制の概要	広域首都圏輸出製品技術支援セン ター(MTEP) 専門相談員	忍足光史 氏

特別講演の後、都産技研の事業説明も実施

<環境・エネルギー> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
亜鉛めっき排水処理の課題と対策 ―亜鉛の排水暫定基準終了を前に―	環境技術グループ	小坂幸夫
亜鉛めっき用クロムフリー耐食性化成皮膜の開発	表面・化学技術グループ	浦崎香織里
はんだ不濡れの発生するAuパッド表面の解析	信頼性安全技術研究会	河合 俊
酵素分解イオン液体法によるセルロース抽出の高効率化	環境技術グループ	濱野智子
促進酸化法による綿布不純物分解プロセスの開発	複合素材開発セクター	榎本一郎
赤外線ヒータの変角放射強度測定による全放射束評価	光音技術グループ	磯田和貴
微細流路を用いた次世代型熱交換器の開発～可視化実験に基づく整理式の作成～	電気通信大学	榎木光治
LSPR ガスセンサにおける吸脱着ヒステリシスの改善	開発企画室	加澤エリト
バナナ繊維のセシウムイオンおよびストロンチウムイオン捕集能	城南支所	梶山哲人
異物分析における菌類の確認方法	表面・化学技術グループ	木下健司

<機能性材料> 研修室 242・研修室 244

題 目	所 属	発表者名
ITO代替材料としての二酸化チタン系透明導電膜の開発	先端材料開発セクター	小川大輔
導電性ダイヤモンド合成技術の開発	表面・化学技術グループ	長坂浩志
新しい金属カルコゲナイド超伝導体・熱電変換材料の開発と物性研究	首都大学東京	水口佳一
単層カーボンナノチューブの熱電特性の制御とその応用	首都大学東京	柳 和宏
摩擦攪拌点接合 (FSSW) による工具鋼とチタンとの異材接合性	機械技術グループ	青沼昌幸
重ね摩擦攪拌接合の効率化を目的とした接合ツールの検討	機械技術グループ	青沼昌幸
高速度工具鋼粉末によるレーザ粉体肉盛層の機械的性質	神奈川県産業技術センター	高橋和仁
低温プラズマ窒化処理の開発	機械技術グループ	中村 勲
直流パルス GD-MS による薄板試料中の微量成分の直接分析	城南支所	山田健太郎
機能性炭素材料の分析法の検討	神奈川県産業技術センター	城田はまな
静電植毛加工技術	城東支所	長谷川 孝
パルス光焼成技術とナノカーボン・複合材料への応用	(国研)産業技術総合研究所	島田 悟
軽量金属材料の高機能化・多機能化	芝浦工業大学	芹澤 愛
巻線応力がリング試料の直流磁気特性に及ぼす影響	神奈川県産業技術センター	馬場康壽
摺動部品の摩擦特性向上のための DLC 膜の低摩擦化技術	城東支所	徳田祐樹

<3D ものづくり支援> 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
粉末焼結型AM技術における3Dデータ補正による寸法精度向上	3D ものづくりセクター	小林隆一
金属粉末AMにおける形状条件データベースの構築	3D ものづくりセクター	藤巻研吾
高精度X線CT装置の運用事例	バイオ応用技術グループ	紋川 亮
3次元画像からの空隙率測定方法の開発	生活技術開発セクター	大平倫宏
X線CT装置を用いた寸法測定評価	城南支所	竹澤 勉

<安全・安心> 研修室 243・研修室 244

題 目	所 属	発表者名
オンサイト型ナノインデント用XYステージの開発	埼玉県産業技術総合センター	荻野重人
AIIT PBL『偏光イメージングのための多角的撮像システムの開発と応用研究』	産業技術大学院大学	村越英樹
コンクリート構造物の長寿命化に資する弾性波法による内部可視化技術	首都大学東京	大野健太郎
ガラスの破損事故解析の事例紹介	環境技術グループ	宮宅ゆみ子
耐候性試験の基礎と活用法	先端材料開発セクター	小林宏輝
X線照射装置の特性と照射利用	バイオ応用技術グループ	関口正之
SAWフィルタを用いたゲート駆動回路	首都大学東京	五箇繁善
サポートベクターマシンによる多次元非線形センサの出力推定	情報技術グループ	村上知里
シヤフル表現によるWeb システム動作系列の記述	情報技術グループ	阿部真也
情報ネットワークのセキュリティ向上対策	東京電機大学	宮保憲治
大面積機能性表面の創生～濡れ性・光学機能制御技術～	(国研)産業技術総合研究所	栗原一真
バイオハザード検出センサ～安全・安心な社会を実現するために～	(国研)産業技術総合研究所	鶴沢浩隆
POCT用の水晶振動子式バイオセンサ	(国研)産業技術総合研究所	黒澤 茂
MASを用いた津波災害時の避難シミュレーションの一例	首都大学東京	岸 祐介

平成 28 年 6 月 10 日 (金)

<先端ものづくり> 講堂・研修室 242・会議室 233

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 自動車用CFRP部品の量産技術	三菱レイヨン(株) 炭素繊維・複合材料技術統括室	小川繁樹 氏
【特別講演】 世界市場を目指した国際標準化戦略～金属とプラスチックの接合技術「ナノモールディング技術」～	大成プラス(株) 会長	成富正徳 氏
段差乗り越えを容易にする偏心車軸を特徴とした車輪機構の開発	電子・機械グループ	西川康博
圧電セラミックスによるセルフセンシングアクチュエータを用いた振動制御	機械技術グループ	福田良司
超音波疲労試験機を用いたねじ締結体のギガサイクル軸力負荷試験法	城東支所	櫻庭健一郎
ポーラスディスクを用いた被動機の開発	機械技術グループ	小西 毅
ダイヤモンドコーティング工具の開発	城南支所	平野康之
シリカを用いた新規造形材料の開発	生活技術開発セクター	飛澤泰樹
バイオマス混練プラスチックの射出成形条件の最適化	千葉県産業支援技術研究所	朝稻香太郎
麻繊維強化植物由来ポリアミド複合材料の成形加工と機械的性質	経営企画室	山中寿行
高強度繊維不織布を用いた防護材料の開発	複合素材開発セクター	榎本一郎

特別講演の後、都産技研の事業説明も実施

<品質向上> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
現場環境における三次元測定機の寸法違いを用いた温度補正の評価	電子・機械グループ	大西 徹
φ0.1mm極細シース熱電対の開発	実証試験セクター	沼尻治彦
自動測定による炉の温度分布評価	実証試験セクター	倉持幸佑
熱電対の不均質測定と評価	実証試験セクター	佐々木正史

<スポーツ義足> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
積層造形による機能的美しさのデザイン:SLSを用いた走行用義足の試作開発	東京大学	佐藤翔一
Additive Manufacturing (AM) と関連技術による走行用スポーツ義足の設計	城東支所	木暮尊志
スポーツ用義足の研究開発とアスリート支援	(国研)産業技術総合研究所	保原浩明
スポーツ用義足の力学的特性評価法の検討	電子・機械グループ	西川康博
2020年に向けた東京都のスポーツ推進施策について(事業説明)	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課	竹澤光弘

<生活技術・ヘルスケア> 研修室 242・研修室 243

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 モノづくりへの人間工学・感性工学の活用	パナソニック(株)プロダクト解析センター ユーザビリティソリューション部 係長	立田美佳 氏
物理的環境を再現した培養細胞血管モデルの構築	首都大学東京	坂元尚哉
心筋梗塞の予防・治療に役立つ悪玉LDL自動測定装置の開発	埼玉県立大学	久保田 亮
ESRを利用した分析技術	バイオ応用技術グループ	中川清子
医用X線に対する遮へい性能測定と規格化の現状	バイオ応用技術グループ	河原大吾
高齢者の音声聴取改善に適したスピーカシステムの開発	光音技術グループ	服部 遊
AIIT PBL『訪問看護ステーション支援事業の分析とBPR提案』	産業技術大学院大学	戸沢義夫
産総研における人間中心設計に根差した健康・医療支援への取り組み	(国研)産業技術総合研究所	梅村浩之
筋電と加速度を用いた動作識別の検討	経営情報室	志水 匠
デジタル水晶玉：高齢者の生活のデータベース・分析・デザイン支援	(国研)産業技術総合研究所	北村光司
天然繊維の有機導電加工と活用	生活技術開発セクター	添田 心
都産技研の人間生活工学分野への取り組み	生活技術開発セクター	島田茂伸
北海道立総合研究機構工業試験場における人間生活工学分野の取り組み	(地独)北海道立総合研究機構	吉成 哲
長野県工業技術総合センターにおける人間生活工学の取り組み	長野県工業技術総合センター	河部 繁
富山県工業技術センターにおける人間生活工学分野への取り組み	富山県工業技術センター	九曜英雄
人間工学に配慮した使い易い食器棚の設計指針の提案	福岡県工業技術センター	石川弘之
岩手県工業技術センターにおける人間生活工学に関連する取組事例の紹介	(地独)岩手県工業技術センター	茨島 明
大阪府立産技研における感覚計測技術の取り組み	(地独)大阪府立産業技術総合研究所	山本貴則
衣服圧測定手法の応用による背負い圧測定の検討	生活技術開発セクター	菅谷紘子
生活環境におけるにおい評価	生活技術開発セクター	佐々木直里

<安全・安心> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
セラミックスを用いたガス電子増幅器用電極の開発	電気電子技術グループ	小宮一毅
近傍界測定におけるノイズ源識別モジュールの開発	電子・機械グループ	佐野宏靖
配線用遮断器およびヒューズの直列接続によるSPD分離器構成方法の検討	電気電子技術グループ	黒澤大樹



<環境・エネルギー> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
UPS用LiB蓄電池電源	(株)EVTD研究所	小池哲夫
パーヒドロポリシラザンで形成されるSiO <sub>2</sub> の太陽電池応用	東京工業高等専門学校	永吉 浩
7員環を有するフラーレン誘導体の合成と有機薄膜太陽電池への応用	先端材料開発セクター	小汲佳祐
既成市街地へ導入可能な新たな熱融通システムの有効性に関する研究～双方向熱融通・スマートヒートグリッド	芝浦工業大学	永井 猛
地中熱ヒートポンプを活用した局所温度管理技術の開発	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	岡澤立夫
金属織物を用いた固体酸化物形燃料電池用集電材の開発	複合素材開発セクター	窪寺健吾
白金代替燃料電池触媒の開発	埼玉県産業技術総合センター	稲本将史
ガスハイドレート技術による物質分離	創イノベーション(株)	最上 要

<機能性材料> 研修室 233

題 目	所 属	発表者名
セラミックス製品における残存有機物分析	表面・化学技術グループ	樋口智寛
有機物と無機系量子ドットの複合化検討	先端材料開発セクター	染川正一
LDLマーカの粒子径制御と評価に関する検討	先端材料開発セクター	柳 捷凡
触媒の摩擦によるエチレン酸化反応の促進	千葉工業大学	平塚健一
低エネルギー光照射によるナノ粒子の凝集制御	先端材料開発セクター	海老澤瑞枝
金属ナノ粒子の光学シミュレーション	情報技術グループ	山口隆志
金ナノ粒子担持触媒の基礎および実用化研究～造粒と触媒活性～	首都大学東京	村山 徹

## 6.1.2 施設公開

都産技研の主要施設、設備を中小企業および都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図ることを目的に各事業所で施設公開を開催している。

城東支所は葛飾区の産業イベント、城南支所は大田区の産業イベントと同時開催した。多摩テクノプラザは、産業サポートスクエア・TAMAの各支援機関のイベントと同時開催した。

また、本部および多摩テクノプラザでは、入場者の職層、年齢層を設定し、ビジネスデー、ファミリーデーとして、内容を変えて開催した。

事業所	公開日	日数	入場者数(名)
本部 (INNOVESTA! 2016)	平成28年 9月 9日(金)～10日(土)	2日間	1,547
城東支所	平成28年10月14日(金)～16日(日)	3日間	3,400
墨田支所 生活技術開発セクター	平成28年10月 6日(木)～ 7日(金)	2日間	100
城南支所	平成28年10月 6日(木)～ 7日(金)	2日間	333
多摩テクノプラザ(多摩テクノフェア)	平成28年10月21日(金)～22日(土)	2日間	3,672
	計	11日間	9,052

### (1) 本部 (INNOVESTA! 2016)

#### 1) ビジネスデー (9月9日)

特別講演(2テーマ)、MTEP 海外展開特別セミナー(2テーマ)、ワークショップ(13テーマ)、製品化支援ラボ入居企業の紹介(3企業)、連携機関(ポスター展示16件、資料配布18件)など

#### 2) ファミリーデー (9月10日)

工作教室(10テーマ)、サイエンスショー(3公演)、パトカー撮影(協力:東京湾岸警察署)、近隣商店街の出店など

#### 3) 両日開催

##### ・ロボット展示(玄関ロビー)

ロボット開発セクター開発ロボット展示、ロボットサッカー・バトル(操縦体験)、ロボットステージショー、協定締結機関製作ロボット展示(1機関)

##### ・シンボル展示(下町ボブスレー)(協力:公益財団法人大田区産業振興協会)

#### 4) 体験・実演・紹介見学

9日: 体験4テーマ、実演12テーマ、紹介見学15テーマ

10日: 体験15テーマ、実演9テーマ、紹介見学6テーマ

### (2) 城東支所

#### 1) 展示・実演・体験

工作機械の展示、静電植毛体験・顕微鏡観察・デザイン作成などのワークショップ

#### 2) クイズラリーによる装置の見学(記念品贈呈)

#### 3) 同時開催

第32回葛飾区産業フェア「下町の宝発見～葛飾の技術と味・匠の技～」(工業・商業・観光展)

主催: 葛飾区、葛飾区産業フェア運営委員会、東京商工会議所葛飾支部

(3) 墨田支所 生活技術開発セクター

1) 展示・実演

快適性評価：日射環境試験装置、流体可視化装置など

安全性評価装置：KES 風合いシステム、におい関連技術など

製品化支援：生活空間計測スタジオ、AM（3Dプリンター）など

2) 体験コーナー

熱転写プリント体験

(4) 城南支所

1) 展示・実演・体験

溶融積層造形装置で製作した試作品の提供、光造形システムのテクノロジー、電子顕微鏡での 50 万倍の世界、恒温恒湿室による多湿環境、低温環境の体験など

2) スタンプラリーによる装置の見学（記念品贈呈）

3) 同時開催

第 6 回おおた研究・開発フェア

主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

(5) 多摩テクノプラザ（多摩テクノフェア）

1) ビジネスデー（10月21日）

ミニセミナー（7テーマ）、講演会（2講演）、連携大学シーズ展示（1件）、セミナー（1件）、研究成果や試験機器のデモ・紹介など

2) ファミリーデー（10月22日）

ものづくりコーナー（7テーマ）、体験コーナー（3テーマ）、サイエンスショー（2回）、研究成果や実験装置の紹介・実演

3) 「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」企画（10月22日）

各施設を回るスタンプラリー（記念品贈呈）、各支援機関紹介パネル展示（正門隣ポケットパーク）

4) 同時開催

「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」

主催：公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社、東京都商工会連合会、

公益財団法人東京都農林水産振興財団、東京都立多摩職業能力開発センター

### 6.1.3 産業交流展

産業交流展は、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に事業所を有する中小企業などの優れた技術や製品を、分野を越えて一堂に展示する首都圏最大規模の見本市であり、国内外への販路開拓による受発注の拡大、情報収集・情報交換などを促進することを目的とする展示会である。実行委員会の一員として企画運営に参画するとともに、出展を行った。

開催日：平成28年10月31日（月）～11月2日（水）

会場：東京ビッグサイト東5・6・7・8ホール

同時開催：新価値創造展2016（第12回 中小企業総合展 東京）

ビジネスフロンティア・フェア

主催：産業交流展2016実行委員会

出展内容：首都圏テクノネットワークゾーン

事業および成果の展示紹介、製品開発支援ラボ入居企業5社出展

TKF、つくば市ほか連携機関の出展

次世代ロボットゾーン

ロボット産業活性化事業の紹介、案内ロボットのデモンストレーション

ビジネスフロンティア・フェア

国際規格・海外の製品規格に関する相談をMTEPの専門相談員が担当

輸出規制セミナーの開催（3回）

### 6.1.4 その他イベント

#### (1) サイエンスアゴラ2016

「サイエンスアゴラ2016」を共催し、都産技研のほか、日本科学未来館、国立研究開発法人産業技術総合研究所臨海副都心センターなどを会場として、サイエンスに関わる214のプログラムが行われた。都産技研は他の出展者へ会場を提供するとともに、以下のプログラムを実施した。

開催日：平成28年11月3日（木）～6日（日） ※都産技研は5日（土）、6日（日）参加

会場：都産技研 本部

プログラム：都産技研ミニ見学ツアー

同時開催：セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ2016

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

#### (2) 子ども科学技術教室

小中学生と同伴する大人（都内在住もしくは在学）を対象とする体験型イベントを実施した。

開催日：平成28年8月18日（木）、19日（金）

会場：公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社 大会議室

参加者：47組103名

内容：各日2テーマ

## 6.2 見学

都内の中小企業、商工関連業界、学校、自治体等からの要望に応じて、見学・視察を受け入れた。都産技研の役割および各種事業や研究成果、機器等を紹介し、知名度向上と産業技術の普及に努めている。

平成 28 年度施設見学受け入れ件数・見学者数

庁舎	本部	城東	墨田	城南	多摩テクノプラザ	合計
件数(件)	175	3	30	30	44	282
見学者数(名)	2,650	40	336	283	582	3,891

## 6.3 展示会出展およびセミナーの開催

### 6.3.1 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用など事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

#### (1) 東京都・区市関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	Tokyo ふしぎ祭 (サイ) エンス 2016	東京都	4月23～24日	日本科学未来館	ホバークラフト工作教室 (24日のみ参加)
2	第9回大田区加工技術展示商談会	大田区、大田区産業振興協会、大田工業連合会	6月17日	大田区産業プラザ (Pi0)	事業紹介、設備紹介
3	ものづくり・匠の技の祭典 2016	ものづくり・匠の技の祭典 2016 実行委員会	8月10～12日	東京国際フォーラム	開発ロボット紹介他
4	ものづくり商談会	品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区	9月6日	品川産業支援交流施設	事業紹介
5	システムデザインフォーラム 2016	首都大学東京	10月5日	首都大学東京 日野キャンパス	チリンロボットの紹介
6	第6回おおた研究・開発フェア	大田区、大田区産業振興協会	10月6～7日	大田区産業プラザ (Pi0)	事業紹介、施設公開同時開催
7	ふちゅうテクノフェア	府中市	10月14～15日	府中市市民会館	複合素材開発関連事業・設備紹介、ロボット事業紹介、ものづくりセミナー、ショートプレゼン
8	第32回葛飾区産業フェア	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部、葛飾区産業フェア運営委員会	10月14～16日	テクノプラザかつしか城東地域中小企業振興センター	事業紹介、研究紹介、設備紹介
9	おおた商い・観光展 2016	大田区、大田区産業振興協会	10月15～16日	大田区産業プラザ (Pi0)	チリンロボットの紹介
10	第49回青梅産業観光まつり	青梅市、青梅商工会議所、青梅市観光協会	11月5～6日	青梅市永山公園グラウンド	工作教室(マグヌスコップ、ペットボトル空気砲)、多摩テクノ紹介
11	葛飾区産学公連携シンポジウム 2016	葛飾区、東京理科大学	11月9日	東京理科大学葛飾キャンパス	事業紹介、研究紹介

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
12	第20回いたばし産業見本市	いたばし産業見本市実行委員会	11月10～11日	板橋区立東板橋体育館	事業紹介、実証試験セクター紹介
13	第48回昭島市産業まつり	昭島市	11月12～13日	KOTORI ホール(市民会館)・公民館	工作教室(ぶーぶーカップ、ペットボトルの発射装置)、多摩テク紹介
14	第18回産業ときめきフェア in EDOGAWA	産業ときめきフェア実行委員会・江戸川区	11月18～19日	タワーホール船堀	事業紹介
15	第21回高度技術・技能展おた工業フェア	大田区・大田区産業振興協会・大田工業連合会	2月2～4日	大田区産業プラザ(Pi0)	事業・設備等の紹介
16	第10回つくば産学産連携促進市 in アキバ	つくば市	2月9日	秋葉原コンベンションホール	情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発
17	第3回町工場見本市2017	葛飾区・東京商工会議所葛飾支部	2月14～15日	東京国際フォーラム	事業紹介、研究紹介、設備紹介
18	第16回たま工業交流展	たま工業交流展実行委員会	2月23～24日	東京都立多摩職業能力開発センター	多摩テク事業紹介、複合素材開発サイト紹介、CFRP等サンプル展示

## (2) 金融機関関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	TOKYO TY ビジネス交流展2016	東京TYフィナンシャルグループ	5月27日	東京国際フォーラム	事業紹介、開発ロボット紹介
2	第12回ビジネスフェア & 第7回さわやか信用金庫物産展	さわやか信用金庫	6月7日	大田区産業プラザ(Pi0)	事業紹介、ロボット事業紹介
3	ビジネスマッチング交流会'16	昭和信用金庫	7月7日	新宿エルタワー	事業・設備等の紹介
4	2016“よい仕事おこし”フェア	城南信用金庫	8月2～3日	東京国際フォーラム	事業紹介
5	第8回ビジネス交流会	シグマバンクグループ	8月5日	東武ホテルレバント東京	事業・設備等の紹介
6	江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2016	東京信用保証協会	10月12日	東京国際フォーラム	事業紹介・複合素材開発セクター紹介
7	第16回 あおしんビジネス支援マッチング大会	青梅信用金庫	10月18日	フォレスト・イン昭和館	事業・設備等の紹介
8	第17回ビジネスフェア from TAMA	西武信用金庫、首都圏産業活性化協会	11月2日	東京ドームシティプリズムホール	事業・設備等の紹介

## (3) 民間団体その他

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	TECHNO-FRONTIER 2016	日本能率協会	4月20～22日	幕張メッセ	事業紹介、研究紹介、設備紹介
2	JPCA Show 2016 第46回国際電子回路産業展	日本電子回路工業会	6月1～3日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、設備紹介
3	AUTOMATICA 2016 国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市	メッセ・ミュンヘン	6月21～24日	ドイツ・ミュンヘン見本市会場	開発ロボット紹介、公募成果品紹介、公募採択企業紹介他
4	第3回Mfair バンコク2016 ものづくり商談会	Factory Network Asia(Thailand) Co., Ltd. / Reed Tradex Co., Ltd.	6月22～24日	BITEC (Bangkok International Trade and Exhibition Center), BANGKOK	事業紹介、設備紹介
5	すぐそこの、ミライ暮らしとロボット展	新宿高島屋	8月3～14日	新宿高島屋	チリンロボットの紹介(百貨店内での受付案内の実証実験の一環として)

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
6	INTERMEASURE 2016 (第27回計量計測展)	日本計量機器工業連合会	9月28～30日	東京ビッグサイト	極細熱電対の紹介
7	CEATEC JAPAN 2016	CEATEC JAPAN 実施協議会	10月4～7日	幕張メッセ	都産技研におけるFPGAを活用した製品開発支援
8	IGEM 2016	Malaysian Exhibition Services Sdn Bhd	10月5～8日	KLCC(Kuala Lumpur Convention Centre)	事業紹介、開発製品の品質や性能を見える化
9	地域イノベ・技術連携交流会	首都圏産業活性化協会	10月7日	中野サンプラザ	事業・設備等の紹介
10	Bio Japan 2016	JTB コミュニケーションデザイン	10月12～14日	パシフィコ横浜	研究紹介、プレゼンテーション(30分) 「コラーゲン・ゼラチン改質技術による再生医療・次世代医療機器の開発」
11	2016年国際航空宇宙展 (ジャパン エアロスペース 2016/JA2016)	日本航空宇宙工業会(SJAC)、東京ビッグサイト	10月12～15日	東京ビッグサイト	航空宇宙産業支援
12	Japan Robot Week 2016	日本ロボット工業会、日刊工業新聞社	10月19～21日	東京ビッグサイト	開発ロボット紹介、公募型共同研究開発事業紹介、公募成果品紹介、公募採択企業紹介他
13	新技術創出交流会	(公財)東京都中小企業振興公社	10月25日	パレスホテル立川	事業・設備等の紹介
14	第1回省エネ・プラントショー	化学工学会、日本能率協会	10月26～28日	東京ビッグサイト	塩分濃度簡易分析装置の展示、研究紹介
15	Embedded Technology 2016/組込み総合技術展	組込みシステム技術協会	11月16～18日	パシフィコ横浜	研究紹介と機器紹介(情報技術グループ)、共同研究成果(電子・機械グループ)
16	METALEX 2016	Reed Tradex Co., Ltd	11月23～26日	BITEC(Bangkok International Trade and Exhibition Center), BANGKOK	事業紹介、技術相談会
17	第7回クルマの軽量化技術展	リード エグジビション ジャパン	1月17～19日	東京ビッグサイト	事業紹介、技術開発紹介、車の軽量化に関する研究成果の普及(電子・機械グループ)
18	第7回化粧品開発展	リード エグジビション ジャパン	1月23～25日	東京ビッグサイト	化粧品開発支援機器紹介、販促支援紹介
19	東京FPGAカンファレンス with プログラマブルデバイスプラザ	FPGA コンソーシアム	1月27日	都産技研本部	研究紹介
20	第55回東京国際ナショナル プレミアム・インセンティブショー春2017	ビジネスガイド社国際ナショナルプレミアム・インセンティブショー事務局	2月8～10日	東京ビッグサイト	開発ロボット紹介、公募型共同研究開発事業紹介、公募成果品紹介、公募採択企業紹介他
21	3D Printing 2017 Additive Manufacturing Technology Exhibition	JTB コミュニケーションデザイン	2月15～17日	東京ビッグサイト	設備紹介
22	SURTECH2017 表面技術要素展	JTB コミュニケーションデザイン	2月15～17日	東京ビッグサイト	研究紹介

※地方創生加速化交付金を活用した東京都補助事業「ロボット実用化プロモーション」における展示会情報は、2.4 ロボット産業活性化事業を参照。

### 6.3.2 ものづくりセミナー

区市町村との連携を深め、地域に密着した産業振興・技術支援を行うため、展示会において、都産技研の研究成果や事業を普及する「ものづくりセミナー」を開催した。

[ものづくりセミナー in 府中]

第27回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェアにおいて、「複合素材の活用で新たな製品開発を！！」をテーマに開催した。

開催日：平成28年10月14日(金)

会場：ルミエール府中（府中市市民会館）1階 第1・第2会議室

No.	題 目	発表者名	所 属
1	複合素材開発セクター事業紹介	谷口昌平	複合素材開発 S
2	複合素材の製品試作事例（1） ～オートクレーブによる加工成形～	谷口昌平	複合素材開発 S
3	複合素材の製品試作事例（2） ～プレス機による加工成形～	武田浩司	複合素材開発 S
4	都産技研のロボット技術支援事業	渡部友太郎	ロボット企画 G



## 6.4 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報の発信機能を果たし、中小企業などへの技術情報提供に貢献している。研究成果をまとめた「研究報告」、研究発表の要旨を記載した「TIRI クロスミーティング 2016 要旨集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種冊子およびリーフレットを発行した。

### 6.4.1 刊行物

#### (1) 冊子

平成 28 年度に発行した冊子は以下のとおりである。

登録番号	タイトル	発行年月	部数(増刷含む)
27(本)26	平成 27 年度都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書	平成 28 年 4 月	200
28(本)1	事業案内(冊子)の改訂	平成 28 年 4 月	1,500
28(多)1	多摩テクノプラザ案内の改訂	平成 28 年 5 月	2,000
28(多)2	複合素材開発セクターパンフレット	平成 28 年 5 月	4,000
28(本)5	事業案内(冊子)の改訂・増刷	平成 28 年 6 月	5,700
28(本)3	地方独立行政法人化 10 年の歩み	平成 28 年 6 月	1,000
28(本)4	TIRI クロスミーティング 2016 要旨集	平成 28 年 6 月	1,000
28(南)1	城南支所案内の改訂	平成 28 年 6 月	1,000
28(本)2	平成 27 年度年報	平成 28 年 6 月	600
28(本)6	研究報告 第 11 号(2016)	平成 28 年 9 月	1,300
28(本)8	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) 国際規格・海外規格入門シリーズ その 10 東南アジア(マレーシア、シンガポール、タイ)編	平成 28 年 9 月	1,000
28(墨)1	墨田支所 生活技術開発セクター案内の改訂	平成 28 年 10 月	2,000
28(本)10	技術シーズ集 平成 28 年度版	平成 28 年 10 月	500
28(本)11	実証試験セクターで行える依頼試験・機器利用ハンドブック	平成 28 年 10 月	2,600
28(本)9	東京都異業種交流グループ 平成 28 年度グループ交流カルテ	平成 28 年 11 月	50
28(東)1	城東支所案内の改訂	平成 28 年 12 月	1,500
28(南)2	城南支所案内の改訂	平成 29 年 1 月	4,000
28(本)16	技術シーズ集 平成 28 年度版の改訂	平成 29 年 1 月	1,000
28(本)14	平成 28 年度都産技研活用事例集	平成 29 年 1 月	3,000
28(多)3	多摩テクノプラザ案内の改訂	平成 29 年 2 月	2,000
28(東)2	城東支所案内の改訂	平成 29 年 2 月	1,500
28(本)15	東京イノベーション発信交流会	平成 29 年 2 月	1,500
28(本)7	事業案内(冊子)の改訂	平成 29 年 2 月	2,000
28(本)17	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) CE マーキング入門シリーズ その 1 EU 指令入門	平成 29 年 2 月	2,000
28(本)18	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) CE マーキング入門シリーズ その 2 EMC 指令入門	平成 29 年 2 月	2,000

登録番号	タイトル	発行年月	部数(増刷含む)
28(本)19	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) CEマーキング入門シリーズ その3 低電圧指令入門	平成29年2月	2,000
28(本)20	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) CEマーキング入門シリーズ その4 RoHS指令	平成29年2月	2,000
28(本)21	MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) CEマーキング入門シリーズ その5 機械指令	平成29年2月	2,000
28(本)13	平成28年度 ブランド確立実践ワークショップ 成果事例集	平成29年3月	2,000
28(多)4	複合素材開発セクターパンフレットの改訂	平成29年3月	1,000
28(本)22	平成28年度 東京都異業種交流グループ 活動報告&会員名簿	平成29年3月	450
28(本)23	ものづくり企業交流会2017 in バンコク 企業紹介プレゼン要旨集	平成29年3月	90
28(本)12	都内中小企業向け 区市・業界団体が行う 都産技研の依 頼試験・機器利用・実地技術支援利用料金への助成制度の ご案内	平成29年3月	500
28(本)26	都内中小企業の技術支援ニーズに関するアンケート調査	平成29年3月	100

(発行年月順)

## (2) リーフレット

平成28年度に発行した主なリーフレットは以下のとおりである。

事業案内リーフレット(改訂)、セクター案内(3Dものづくりセクター、実証試験セクター、生活技術開発セクター)、ロボット産業活性化事業、ブランド試験(改訂)

### 6.4.2 年報

前年度に実施した試験・研究・調査の成果や普及・技術移転業務の実績などを公開・報告するために平成27年度の年報を発行した。

### 6.4.3 研究報告

都産技研が取り組んだ研究開発、技術開発の成果をまとめた研究報告第11号(2016)を発行した。論文19本、ノート29本のほか、都産技研外で発表した論文、口頭発表、ポスター発表、総説などのリストも掲載した。本号で第二期中期計画分の研究成果について掲載が終了したため、研究報告による研究成果の公表を終了した。今後はTIRI NEWSなど都産技研の刊行物や学会誌で研究成果の公表を継続する。

#### 6.4.4 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を目的に発行する技術情報誌である。A4判、12ページ、カラー印刷で、毎月約6,000部を発行している。配達数は昨年から77件減少し、中小企業および各関係機関2,202件（平成29年3月号）へ送付したほか、各種展示会やイベント、施設見学者等に配布した。また、ウェブサイトにはPDF資料として掲載している。

平成28年度は、第三期中期計画の開始に合わせて、新たに発足した組織に加え再編した重点研究分野の特色や取り組みを特集で紹介したほか、設備紹介の連載開始や最新の技術情報を掲載する「TIRI NEWS EYE」の継続など、内容の充実に努めた。

#### 6.5 都産技研ウェブサイト

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。

コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。

平成28年度は、以下の方針に基づき、リニューアルを実施した。

- ・利用者が知りたい情報が探しやすい
- ・都産技研が知ってほしい情報を知らせる
- ・都産技研が公表すべき情報を掲載する

ページビューおよびアクセスユーザー数は以下のとおりである。

	新ウェブサイト (H28. 12. 20~29. 3. 31)	旧ウェブサイト (H28. 4. 1~28. 12. 19)	合 計
ページビュー件数	648,570	2,180,000	2,828,570
アクセスユーザー数	66,662	189,100	255,762

#### 新ウェブサイトのトップページ



なお、都産技研が所有しているドメインは以下のとおりである。

東京都立産業技術研究センター	URL: <a href="http://www.iri-tokyo.jp/">http://www.iri-tokyo.jp/</a>
採用情報サイト	URL: <a href="http://saiyou.iri-tokyo.jp/">http://saiyou.iri-tokyo.jp/</a>
首都圏テクノナレッジフリーウェイ	URL: <a href="http://tkm.iri-tokyo.jp/">http://tkm.iri-tokyo.jp/</a>
DHule (デューレ)	URL: <a href="http://www.dhule.jp/">http://www.dhule.jp/</a>
ロボット実用化プロモーション	URL: <a href="http://tiri-robot.jp/">http://tiri-robot.jp/</a>
INNOVESTA!	URL: <a href="http://tiri-innovesta.jp/">http://tiri-innovesta.jp/</a>
TIRI クロスミーティング	URL: <a href="http://www.tosangiken-seika.jp/">http://www.tosangiken-seika.jp/</a>

## 6.6 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週1回程度配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

配 信 数 : 約 13,200 件

発行回数 : 50 回

## 6.7 マスコミ報道

平成 28 年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

### (1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	4月1日	東京都立産業技術研究センター 新理事長就任の挨拶
2	4月1日	公設試験研究機関 人間生活工学機器データベース「DHuLE (デューレ)」公開
3	4月11日	都知事列席・視察のお知らせ「東京ロボット産業支援プラザ開所式」および報道機関向け見学会
4	4月26日	産業用繊維を応用した製品開発支援施設「複合素材開発サイト」開設
5	4月28日	東京都ロボット産業活性化事業 共同開発テーマの提案募集説明会を開催
6	5月16日	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社東京 TY フィナンシャルグループ、株式会社東京都民銀行、株式会社八千代銀行及び株式会社新銀行東京による「業務連携に関する協定」の調印式について
7	5月23日	東京都ロボット産業活性化事業 「ロボット実用化プロモーション」実施 ～日本各地でロボット産業活性化を推進～
8	5月27日	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社東京 TY フィナンシャルグループ、株式会社東京都民銀行、株式会社八千代銀行及び株式会社新銀行東京による「業務連携に関する協定」を締結しました
9	6月16日	東京都ロボット産業活性化事業 「AUTOMATICA2016」に出展 ～海外でのロボット活用に向けて～
10	7月12日	商業施設で初めてチリンロボットが受付案内 ～新宿高島屋で実証実験を実施～
11	7月19日	平成 28 年度東京都異業種交流グループ発足
12	7月19日	INNOVESTA! 2016 開催 都産技研施設公開イノベスタ (Innovation+Festa)
13	8月16日	計量法校正事業者登録制度 (JCSS) の長さの区分で校正手法を追加登録しました
14	9月27日	東京都ロボット産業活性化事業 公募型共同研究開発事業 テーマ決定
15	10月25日	東京都ロボット産業活性化事業 案内ロボットの開発・実証事業者の募集
16	11月1日	「中小企業のためのサイバーセキュリティイベント」開催のご案内
17	12月26日	東京都異業種交流グループ第 32 回合同交流会の開催 交流から協働へ ～「ひと」「もの」「こと」の回復～
18	1月12日	東京都ロボット産業活性化事業 案内ロボットの開発・実証事業者の決定
19	1月17日	東京都ロボット産業活性化事業「ロボット実用化プロモーション」事業報告会の開催
20	1月17日	都産技研初！ビジネスマッチング交流会開催 東京イノベーション発信交流会
21	3月3日	東京都立産業技術研究センター 新理事の就任
22	3月28日	東京都立産業技術研究センターと東京海洋大学が協定を締結－産学公連携活動の活性化・共同研究等に相互協力を推進－
23	3月29日	東京都立産業技術研究センターと江戸川区が協定を締結－地域産業の活性化および地域連携を推進－

### (2) テレビ・ラジオ報道

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月20日	東京 MX	TOKYO MX NEWS	ロボット開所式の様子
2	4月20日	NHK	首都圏ネットワーク	ロボット開所式の様子
3	8月19日	J:COM 多摩	デイリーニュース	子ども科学技術教室紹介

No.	報道日	放送局	番組名	内容
4	2月26日	東京MX	東京クラッソ NEO	ロボット産業活性化事業／東京ロボット産業支援プラザの紹介、チリンほかロボットのデモ

### (3) 撮影協力

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	6月19日	テレビ朝日	日本人の3割しか知らないこと くりいむしちゅーのハナタカ！ 優越館	カビ予防の効果検証
2	7月11日	BS JAPAN	ものラボ	都産技研活用企業の紹介
3	7月20日	NHK	ミラクルボディー	義足の試験映像の様子
4	7月26日	NHK BS プレミアム	イッピン	サーモグラフィーによる温度変化測定
5	8月4日	テレビ大阪	和風総本家	研いだうなぎ包丁の実証実験の様子
6	8月21日	CBC テレビ	健康カプセル！ゲンキの時間	骨をテーマにしたテレビ番組の製作
7	9月7日	NHK	ガッテン！	検討のためのデータ取材
8	11月7日	NHK	あさイチ	ピーラー刃先端の観察
9	11月15日	NHK BS プレミアム	イッピン	真珠と水晶の硬さ試験
10	12月20日	NHK BS プレミアム	イッピン	走査型電子顕微鏡による駿河炭の状態観察
11	12月22日	テレビ大阪	和風総本家	画像測定機によるノギスの本尺と副尺のすきまの計測
12	2月17日	NHK	超絶 凄ワザ！	純チタンとチタン合金のビッカース硬度比較
13	2月23日	テレビ大阪	和風総本家	ニット編み機に使用するメリヤス針の撮影・寸法測定および観察機器の撮影

### (4) 新聞報道

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
1	4月1日	日本経済新聞	東京 中小支援に「東京モデル」 東京 TY 新体制 味岡社長に聞く 都と連携や M&A 強化
2	4月1日	東京新聞	3・11後を生きる 早く都民に公表せねば・・・ 全電源喪失の記憶 証言・1F 汚染金町でヨウ素基準値超え
3	4月1日	医理産業新聞	都産技研 信州大学と協定締結 亀有信用金庫と協定
4	4月1日	医理産業新聞	都産技研 新理事長に奥村 次徳氏
5	4月1日	中小企業振興	インフォメーション ■都産技研が「平成28年度（第1回）共同研究」を募集
6	4月4日	日刊工業新聞	新刊 『明日使える光計測の基礎』 東京都立産業技術研究センター
7	4月4日	日刊工業新聞	人間工学機器 DB 化 都産技研、公設試とサイト
8	4月4日	日本経済新聞	中小進出 独で支援 都の機関が拠点 規制対応を助言
9	4月4日	日本経済新聞	中小の欧州進出支援、都産技研、独に拠点、規制対応を助言。
10	4月4日	日本経済新聞	中小の欧州進出支援、ドイツで支援 都産技研が拠点新設
11	4月5日	日刊工業新聞	スガウエザリング 財団賞表彰2件 9件研究助成
12	4月8日	木材新聞	6月2日、東京で 木材塗装基礎講座 木材塗料研究会
13	4月9日	東京新聞	情報コーナー ◆Tokyo ふしぎ祭(サイ)エンス 2016

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
14	4月12日	日刊工業新聞	横顔 東京都立産業技術研究センター理事長に就任した 奥村 次徳氏
15	4月18日	日経産業新聞	知を拓く 首都大学東京教授 春田正毅氏 金が触媒 化学の常識覆す 微粒子の作用発見、世界が引用 大学発 VB も創設
16	4月18日	日本海新聞	安全規格など無料相談 鳥取県産技センター テレビ会議システムで 海外展開を目指す中小企業向け
17	4月21日	日刊工業新聞	ロボット革命 中小のロボ参入支援 都産技研、江東区に拠点
18	4月21日	東京新聞	中小企業ロボット 開発支援 青海に施設 試作や耐久性試験など
19	4月21日	日本経済新聞	ロボット開発の支援拠点を開設 都産技研、江東区に
20	4月22日	東京新聞	中小企業のロボ開発支援 江東・青海に新施設
21	4月25日	朝日新聞	ロボット産業を活性化 中小支援に拠点 江東にオープン 実験環境で試運転も
22	4月25日	日刊工業新聞	新商品 フラッシュ 生活編 グラスの底に阪神ロゴ 3D 彫刻
23	4月26日	都政新報	◆産技研利用料を補助 ◇墨田区◇
24	4月27日	日刊工業新聞	“才能豊かな AI”を目指す
25	5月1日	中小企業振興	都産技研、「平成 28 年度異業種交流グループ」参加者募集中
26	5月4日	秋田さきがけ新報	ワールド・エコノ・ムーブ開幕 各マシン 走り確認 大潟村 3 部門、きょう本戦
27	5月5日	秋田さきがけ新報	大潟村「ワールド・エコノ・ムーブ」秋田工高が 3 連覇 【燃料電池部門】②都産技研（東京）
28	5月7日	塗料報知	催し物案内 木材塗装研究会 木材塗装基礎講座 6月2日に開催
29	5月11日	日刊工業新聞	FLASH ◆ロボ開発テーマ募集説明会 東京都立産業技術研究センター
30	5月15日	医理産業新聞	都産技研 共同開発テーマ 募集説明会開催
31	5月15日	医理産業新聞	異業種交流 参加者募集 申込 6月10日まで
32	5月17日	日本経済新聞	製品性能試験 利用料を補助 墨田区
33	5月17日	塗料報知	スガウエザリング技術振興財団 ウェザリング技術の表彰助成 平成 27 年度贈呈式を東京で
34	5月19日	日刊工業新聞	複合繊維材料開発支援施設 都産技研が多摩に
35	5月23日	日刊工業新聞	情報フラッシュ ◆中国 RoHS セミ 広域首都圏輸出製品技術支援センター
36	5月25日	日刊工業新聞	ロボット革命 全国 6 都市でロボット出展 都産技研
37	5月25日	東京新聞	探訪 都の企業 ビジネス交流展編 TOKYO TY 中小企業出合いの場 27 日・東京国際フォーラムに 155 社
38	5月26日	日刊工業新聞	都産技研依頼 試験費を補助 東京・墨田区
39	5月28日	日本経済新聞	中小の技術開発で連携 東京 TY と都立産技研
40	5月30日	日刊工業新聞	都産技研など 5 者、連携協定 中小の技術支援強化
41	5月30日	日刊工業新聞	鳥取県産業技術センター 技術支援で県内産業の発展に貢献 相談「拒めない」親身の支援追求
42	6月2日	公明新聞	中小企業の参入促進へ ロボット産業支援プラザを開設 東京五輪機に技術力を世界に発信 試作・開発や安全性評価も 公明が実現を後押し
43	6月6日	日刊工業新聞	クローズアップ 都産技研 ロボ産業支援本格化 公募採択増 実用に弾み
44	6月7日	日刊工業新聞	環境・CSR 新ワード 来月施行、欧版に近づく 改正中国版 RoHS
45	6月7日	ファスニングジャーナル	30 周年記念誌発行へ 締結問題研究会 総会・講演会・見学会開く
46	6月9日	日刊工業新聞	ロボや新素材の研究成果を発表 都産技研

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
47	6月15日	ペイント&コーティングジャーナル	木材の材質や塗装方法を解説 木材塗装研究会
48	6月17日	日刊工業新聞	ロボット革命 都産技研のロボ 独見本市に出展 中小と共同開発
49	6月20日	塗料界新報	木材着色一番難しい 第28回木材塗装基礎講座 全国から100名参加
50	6月25日	東京新聞	都人事(7月1日)
51	6月27日	日刊工業新聞	クローズアップ 都民銀、経営者と対話強化 問題共有 真のニーズ対応
52	6月28日	日刊工業新聞	タイ20社参加で商談会 TAMA協会 多摩中小と連携橋渡し
53	6月28日	建通新聞	東京都 16年7月1日付異動
54	6月28日	建設通信新聞	人事異動・東京都
55	6月30日	日刊工業新聞	TAMA協会会長に吉田氏
56	6月30日	日刊工業新聞	第42回発明大賞募集あす開始
57	6月30日	日刊建設工業新聞	都市機構/八王子旭町・明神町地区施設計画検討業務(東京都八王子市)入札公告
58	7月1日	中小企業振興	中小企業と技術で出合う場に 「クロスミーティング2016」開催 都産技研
59	7月1日	医理産業新聞	MTEP RoHS指令 7月11日東京
60	7月7日	塗料報知	塗装から見た木材の性質等テーマに 木塗研基礎講座に120人
61	7月12日	毎日新聞	月刊パラリンピック 五輪とパラ 一体で強化 中核拠点に集約「相乗効果」期待 「移動、楽に」分散化も併用
62	7月13日	日刊工業新聞	FLASH ◆追従型案内ロボ実証 東京都立産業技術研究センター
63	7月17日	ファスニングジャーナル	東証協規格委員会と流通経営委がセミナー開催 規格委 強度評価方法と破断面の見方など聴講
64	7月22日	西多摩新聞	こども科学技術教室 多摩テクノプラザで
65	7月24日	東京新聞	情報コーナー ◆暮らしとロボット展
66	7月27日	日刊工業新聞	ズボンのように装着 信州大が歩行支援ロボ
67	7月28日	朝日新聞	装着3分 ズボン型ロボット 信州大など 介護・リハビリ用
68	7月29日	日刊工業新聞	東京都の主要団体と金融機関 東京都立産業技術研究センター 「複合素材開発サイト」開設
69	8月1日	医理産業新聞	■東京都立産業技術研究センター INNOVESTA!2016開催
70	8月2日	日本経済新聞	最新ロボ100種、一堂に 搭乗型や会話型・・・高島屋新宿店、あすから
71	8月5日	日刊工業新聞	スペースプラザ お知らせ 日本発明振興協会 第42回発明大賞候補者募集 ◆後援 (地独)東京都立産業技術研究センター
72	8月5日	日刊工業新聞	ロボットで近未来体験 高島屋新宿店でイベント
73	8月7日	塗料報知	東工塗中央支部 合併後初の研修会開く
74	8月11日	日刊工業新聞	深層断面 夏に挑む[上]技術に秀でた中小企業 モノづくり 技術に磨き トリマティス IoT時代へ“技術を見える化”
75	8月15日	医理産業新聞	都産技研 共同研究募集 応募は9/1~8
76	8月17日	日刊工業新聞	化粧品 AI・ロボ成長のカギ 百貨店 “未来の生活”提案試行錯誤
77	8月19日	日刊工業新聞	日本発明振興協会 第42回発明大賞候補者募集
78	8月23日	日刊建設工業新聞	都市機構/八王子旭町・明神町地区施設計画検討業務(東京都八王子市) /山下設計に
79	8月26日	日刊工業新聞	日本発明振興協会 第42回発明大賞候補者募集



No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
80	9月1日	工団連	ものづくり基盤強化支援事業の積極的活用で組織強化を！ 依頼試験等助成事業 ◆助成対象経費 (2) 東京都立産業技術研究センター
81	9月1日	工団連	東京都からのお知らせ 産業交流展 2016 を開催
82	9月1日	建通新聞	NTC 拡充整備に 36 億 スポーツ庁の概算要求
83	9月1日	医理産業新聞	都産技研 ラボ入居者募集 応募 9月 12 日まで
84	9月1日	医理産業新聞	都産技研 キャッチコピー 9月 13 日 東京
85	9月2日	建通新聞	NTC 拡充整備に 36 億 スポーツ庁の概算要求
86	9月6日	日刊工業新聞	第 42 回 発明大賞 締め切り迫る
87	9月6日	建通新聞	NTC 拡充整備に 36 億 スポーツ庁の概算要求
88	9月7日	日刊工業新聞	◆施設公開イベント 東京都立産業技術研究センター
89	9月7日	東京新聞	情報コーナー ◆イノバスタ 2016 ファミリーデー
90	9月7日	ファスニングジャーナル	ものづくり支援の設備など 都産技研 城東支所を見学 締結問題研究会 第 85 回定例会
91	9月9日	日刊工業新聞	日本発明振興協会 第 42 回発明大賞候補者募集
92	9月14日	日刊工業新聞	「利用者ファーストの視点を」 小池都知事、都産技研など 3 法人に
93	9月15日	医理産業新聞	都産技研 電気用品安全法 10月 6 日 東京
94	9月17日	塗料報知	複合素材の開発サイト 都産技研が開設
95	9月23日	都政新報	都独法 評価委員会 中小企業支援など評価 業務実績総じて良好
96	9月28日	日本経済新聞	第 19 回 中小企業による国内最大級のトレードショー 産業交流展 2016
97	10月1日	医理産業新聞	都産技研 3D-CAD 10月 19 日 東京
98	10月3日	建通新聞	府中市 工業技術展を 10月 14、15 日
99	10月3日	日刊工業新聞	ロボ公募型共同研究 都産技研が 10 事業者決定
100	10月10日	日刊工業新聞	Japan Robot Week 2016 ロボット用移動ベースなど展示 都立産技研センター
101	10月12日	朝日新聞	長野)「穿くロボット」実用化へ前進
102	10月13日	日刊工業新聞	首都大 インテックス 食品用 LED 照明 自在に色調変換
103	10月20日	日刊工業新聞	ロボット革命 先導型案内ロボ 新機種 都産技研 モノ運ぶ機能追加
104	10月24日	日刊工業新聞	都産技研 中小のロボ実用化支援加速 採択 2 件増 全国に対象拡大
105	10月24日	日刊工業新聞	クローズアップ 採用事例紹介 電動車椅子「自動停止で安全」強み
106	10月25日	北海道新聞	いきいき健康・福祉フェア 新技術や新商品が登場
107	10月27日	塗料報知	ロボット共同研究開発 都立産業技術研究センター 最先端技術で未来へ
108	10月27日	塗料報知	塗料・塗装の利点と問題点 色彩・デザイン・表面処理技術の角度から 塗装技術 塗膜の“魅力”を認識 塗装活かすデザイン積極的に 東京都立産業技術センター 技術開発支援部長 木下 稔夫氏
109	10月27日	ファスニングジャーナル	2016 年国際航空宇宙展 第一工業、太陽ステンレススプリング、メイラなど出展 参加
110	10月27日	ファスニングジャーナル	大田研究・開発フェア 富士セイラなど出展
111	11月1日	工団連	都産技研から セミナー・講習会のお知らせ
112	11月1日	工団連	地域からのお知らせ 産業ときめきフェア in EDOGAWA

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
113	11月2日	日刊工業新聞	FLASH ◆サイバーセキュリティー講座
114	11月2日	読売新聞	子どもの安全考えた商品 キッズデザイン賞受賞作など展示
115	11月3日	日刊工業新聞	◆5日から展示会 文部科学省、科学技術振興機構（JST）
116	11月15日	沖縄タイムス	琉球独特の技法紹介 19日「螺鈿と文化」研究報告会 宮里正子 皇帝献上品と同類の螺鈿龍盆のマイクロスコープ分析 神谷嘉美氏（東京都立産業技術研究センター）
117	11月15日	医理産業新聞	セミナー案内 都産技研 新EMC指令 11月28日 東京
118	11月17日	建通新聞	NTC 拡充棟建設 第3四半期中に4工種を公告
119	11月17日	日刊建設工業新聞	文科省／NTC 拡充棟建設（東京都北区）／建築と設備3件、近く WTO 入札公告
120	11月22日	建通新聞	ナショナルトレセン建築工事を公告 文科省
121	11月22日	日刊建設工業新聞	文科省／ナショナルトレセン拡充棟新當他（東京都北区） WTO 入札公告
122	11月25日	日刊工業新聞	助成テーマ91件決定 天田財団 今年度前期 【奨励研究助成（塑性加工）】「難燃性マグネシウム合金切削くずの薄板状固化成形および集合組織の解析」 東京都立産業技術研究センター事業化支援本部技術開発支援部実証試験セクター小島諭史副主任研究員
123	11月27日	塗料報知	マテリアルライフ学会セミナー 木材・木工材料の耐久性
124	11月28日	日刊工業新聞	東京・多摩エリア 産業・企業特集 企業の将来成長をサポート 東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ 複合素材開発で拠点 産業用繊維 製品化へ
125	12月7日	ファスニングジャーナル	設立30周年祝い 締結問題研究会 歩みの記念誌発行
126	12月13日	岩手日報	★ニュースフラッシュ★ ■岩手社長が海外展開の成功例を講演
127	12月15日	日刊工業新聞	農業IoT 都がシステム 最適な生育環境、自動制御
128	12月27日	ファスニングジャーナル	日系ねじ関連企業も参加 タイ METALEX 閉幕
129	12月28日	日本経済新聞	信大、歩行補助ロボVB 病院向けリリースめざす
130	12月30日	日刊工業新聞	FLASH ◆5分科会で異業種交流
131	1月1日	日刊工業新聞	東西南北「一年の計」西年にたくす郷土の産業（都道府県） 東京都 東京の産業力を高める支援拠点を開設
132	1月1日	医理産業新聞	セミナー案内 都産技研 WEB戦略 1月24日 東京
133	1月5日	日刊建設工業新聞	文科省／ナショナルトレセン拡充棟新當設備（東京都北区） 3件 WTO 入札公告
134	1月13日	日刊工業新聞	案内ロボ開発 2事業を採択 都産技研
135	1月17日	東奥日報	陸奥湾で04年発見の臼歯化石 ムカシマンモスと確認 東北初 県立郷土館が調査
136	1月18日	日刊工業新聞	◆ロボ活性化報告会 東京都立産業技術研究センター
137	1月19日	日刊工業新聞	変わるモノづくり 3Dプリンターの活用 東京都立産業技術研究センター 中小向け機器利用事業で活躍
138	1月19日	日刊工業新聞	◆4分野70社・団体マッチング 東京都立産業技術研究センター
139	1月24日	日刊工業新聞	電磁環境の安全性研究 パワエレ機器由来の障害回避へ 規制のあり方検討 エネルギー・通信融合 首都大東京
140	1月26日	読売新聞	観光案内を多言語化 産業・観光
141	1月27日	朝日新聞	都の新年度予算案 主な事業 下 産業・観光 ◆成長産業の育成・強化(103億円)
142	1月27日	塗料報知	マテリアルライフ学会 木材・木工塗料の耐久性テーマにセミナー

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
143	2月1日	日刊工業新聞	パルコ、案内ロボ導入 08 ワークスなどと開発 今秋に都内店舗
144	2月1日	日刊工業新聞	「東京大改革」高速で推進 小池都政半年 中小支援を加速 女性の起業、より手厚く
145	2月1日	家具新聞	木材塗装研究会 6月に基礎講座 実演交え詳細に解説
146	2月9日	日刊工業新聞	農林水産業の課題解決セミ 日本公庫
147	2月10日	日刊工業新聞	中小の課題解決 具体化 東京TVフィナンシャルグループ 後継対策、ミドル層採用支援 大阪圏との連携拡大
148	2月10日	日本経済新聞	モンゴル学生 技術者に 品川区 区内製造業で就業体験
149	2月13日	日刊建設工業新聞	東京都八王子市／旭町・明神町地区街づくり推進／再開発事業化検討を支援
150	2月14日	日刊工業新聞	◆非破壊検査セミ 東京都北区、板橋区、東京都立産業技術研究センター
151	2月28日	日刊工業新聞	中小マッチング会 4都県の技術シーズ紹介 都知財センターが来月3日
152	3月2日	日刊建設工業新聞	文科省／ナショナルトレセン拡充棟新営他（東京都北区）／フジタに
153	3月3日	建通新聞	施工者はフジタ NTC 拡充 文科省
154	3月8日	日本経済新聞	企業@信州 歩行補助ロボ、医療や介護に アシストモーション社長 橋本 稔氏 試作重ね軽量・小型化
155	3月14日	日本経済新聞	転倒骨折 スカートで予防 下着製造とみ パットで衝撃緩和
156	3月15日	日刊工業新聞	摩擦攪拌接合（FSW）の技術動向、産業動向
157	3月31日	建通新聞	東京都人事異動 17年4月1日付課長級
158	3月31日	日刊工業新聞	中小技術支援などで連携協定 東京海洋大と都立産技研

#### (5) 雑誌・広報誌報道

No.	発行日	掲載誌	出版社	掲載号	掲載ページ	記事タイトル・内容など
1	4月5日	精密工学会誌	精密工学会	Vol. 82 (No. 4)	p. 307	「マザーテクノロジーで未来を拓く」インタビュー／(地独)東京都立産業技術研究センター 鈴木 悠矢
2	4月5日	ぶんせき	(公社)日本分析化学会	2016年 第4号(496)	pp. 142-144	こんにちは (地独)東京都立産業技術研究センターを訪ねて
3	4月25日	旬刊政経レポート	(株)山陰政経研究所	第1291号	p. 6	東京の高度機能を「地方で活用」、産技センターで海外規格等を遠隔相談
4	4月	文京区中小企業サポーターブック2016	文京区役所	2016年	p. 38	支援機関 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
5	4月	文京区中小企業サポーターブック2016	文京区役所	2016年	p. 39	支援機関 その他 (地独)東京都立産業技術研究センター
6	5月1日	工団連	(一社)東京工業団体連合会	第565号	3面	都産技研からのお知らせ 中小企業と技術 出会いの場に TIRI クロスミーティング2016
7	5月10日	NIKKEI Robotics	日経BP社	第11号	pp. 24-26	【東京ロボット産業支援プラザ】家庭内やコンビニ模した環境でロボット実証を支援
8	5月10日	アーガス21	(公財)東京都中小企業振興公社	5月号 No. 450	p. 17	東京都異業種交流グループ参加者募集
9	5月11日	こうとう区報	江東区	No. 1891	p. 6	官公署 TIRI クロスミーティング2016
10	5月20日	光技術コンタクト	(一社)日本オプトメカトロニクス協会	第54巻第5号 (通巻630)	pp. 12-17	現場環境における三次元座標測定機の高度化—温度の影響—

No.	発行日	掲載誌	出版社	掲載号	掲載ページ	記事タイトル・内容など
11	5月20日	日本イオン交換学会会報	日本イオン交換学会	Vol.27 No.2	p.2	研究室訪問記 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターのご紹介
12	5月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	6月号 Vol.243	p.24	クローズアップ!! 新交通ゆりかもめ 建物と緑の調和が美しいテレコムセンター駅
13	5月31日	週刊山陰経済ウィークリー	山陰中央新報社		p.16	鳥取県産業技術センター 海外進出を目指す県内企業に東京の専門家がアドバイス 都立研究センターと結びテレビ電話サービス開始
14	6月10日	アーガス 21	(公財)東京都中小企業振興公社	2016 6 Vol.451	p.5	見えないものを見る技術 災害時に備えて情報を身につける
15	6月10日	アーガス 21	(公財)東京都中小企業振興公社	2016 6 Vol.451	p.14	東京都からのお知らせ 第19回 産業交流展2016 出展企業募集
16	6月20日	きらり・たちかわ	たちかわ市民交流大学	2016 夏号 Vol.36	p.19	きらり・かわら版 「子ども科学技術教室」～夏休みものづくり体験!～
17	7月1日	メラニュースいずみ	泉工医科工業(株)	2016年第30巻 364号(441)	pp.1-2	ブランド確立実践ワークショップ参加報告
18	7月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	8月号 Vol.245	p.2	湾岸エリア MAP 都立産業技術研究センター INNOVESTA! 2016 9/9(金) ビジネス向け/10(土)ファミリー・一般向け
19	7月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	8月号 Vol.245	p.9	SEASIDE TOPICS 「INNOVESTA! 2016(一般公開)」開催 東京都立産業技術研究センター
20	8月20日	まちみらいニュース	(公財)まちみらい千代田	Vol.137	表面	INNOVESTA!(イノベスタ)2016開催
21	8月21日	こうとう区報	江東区	No.1901	p.5	都産技研イノベスタ
22	8月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	9月号 Vol.246	表紙	日本の産業技術がここに!東京都立産業技術研究センターにお邪魔しました♪ 撮影地:東京都立産業技術研究センター 2次元摩擦攪拌接合装置
23	8月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	9月号 Vol.246	p.1	COVER PHOTO 東京都立産業技術研究センター(都産技研)では中小企業支援を行うための一般公開イベント「INNOVESTA!(イノベスタ)2016」を開催!
24	8月25日	TOKYO SEASIDE STORY	産経新聞社	9月号 Vol.246	p.5	EVENT SCHEDULE INNOVESTA! 2016(一般公開) 東京都立産業技術研究センター
25	9月1日	ロボコンマガジン	(株)オーム社	9月号 No.107	p.107	NEWS FLASH 信州大学、人体装着型ロボット「curara」パンツタイプの試作モデルを発表
26	9月1日	広報 東京都	東京都	第853号	p.7	催し ものづくり技術や科学の体感イベント 「INNOVESTA!(イノベスタ)2016」
27	9月3日	街の便利帳	(株)クリエイト	9月号 Vol.081	表紙	江東区 イベント情報 9/10(土) INNOVESTA(イノベスタ)2016～ファミリーデー～
28	9月10日	アーガス 21	(公財)東京都中小企業振興公社	9月号 No.454	p.10	見えないものを見る技術 「におい」を数値化する
29	9月20日	きらり・たちかわ	たちかわ市民交流大学	2016 秋号 Vol.37	p.19	きらり・かわら版 産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」
30	10月2日	広報 けいしちょう	警視庁	秋号(第76号)	p.2	中小企業サイバーセキュリティ相談窓口の開設

No.	発行日	掲載誌	出版社	掲載号	掲載ページ	記事タイトル・内容など
31	10月3日	週刊 金融財政事情	(一社)金融財政事情研究会	10月3日号 (3185号)	pp. 10-15	【特集】本業支援の極意 法人顧客と対話を進めるための創意工夫 本業支援の取組みを業績評価やシステム活用でバックアップ 東京都民銀行 知的資産経営の観点から取引先企業を支援
32	10月11日	こうとう区報	江東区	No. 1907	p. 4	ロボット施設見学会 最先端機器やロボットの実演を見学 セミナー・交流会も開催 11/10(木)
33	10月15日	リビング多摩	サンケイリビング新聞社			イベント 10/22(土)は家族そろってワクワク体験
34	10月17日	週刊 金融財政事情	(一社)金融財政事情研究会	10月17日号 (3187号)	pp. 30-33	談論風発 地域できらりと光る都市型地銀を目指したい 業務提携を広げ強みを磨いていく
35	12月1日	日本農学図書館協議会誌	(特非)日本農学図書館協議会	184号	p. 38	第18回(2016年)図書館総合展 みて・あるき (その2) 図書館にもロボット出現!
36	12月10日	アーガス 21	(公財)東京都中小企業振興公社	12月号 No. 457	p. 5	見えないものを見る技術 ものを壊さずに内部を見る
37	2月5日	精密工学会誌	精密工学会	Vol. 83 No. 2 (第986号)	pp. 146-147	第29回 アフィリエイト委員会&見学会@お台場実施報告
38	2月10日	月刊スクリーン印刷	(株)印刷紙業社	第53巻 第2号	p. 72	産業交流展
39	2月21日	こうとう区報	江東区	No. 1921	p. 7	都立産業技術研究センター 利用料補助
40	3月10日	アーガス 21	(公財)東京都中小企業振興公社	3月号 No. 460	p. 5	見えないものを見る技術 風の流れや温度分布を確認する
41	3月21日	こうとう区報	江東区	No. 1924	p. 4	区内中小企業・事業所をサポート 創業支援、展示会への出展経費など、経営に関する各種補助事業を実施 都立産業技術研究センター利用料
42	3月21日	すみだ	墨田区	No. 1849	p. 1	変わる! すみだの産業支援 すみだビジネスサポートセンターの開設

## (6) ウェブ報道

No.	日付	サイト名	見出し
1	4月4日	日刊工業新聞	新刊/東京都立産業技術研究センター編『明日使える光計測の基礎』
2	4月4日	日刊工業新聞	都産技研、公設試と連携し人間工学機器のDBサイトを公開
3	4月4日	日本経済新聞 ほか1件	中小の欧州進出、ドイツで支援 都産技研が拠点新設
4	4月8日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門
5	4月8日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門
6	4月8日	J-Net21	技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方 ～海外展開のその前に～
7	4月8日	Jpubb ほか2件	舩添知事記者会見 ●1 福島訪問 ●2 平成30年秋に東京都で開催する「全国育樹祭」 ●3 再生可能エネルギー由来の電気供給モデル事業 ●4 はたらく馬フェスの開催
8	4月9日	産経ニュース	「どのホテルに泊まりたいとか、一回も言ったことはない」_2
9	4月9日	イザ!	【舩添知事会見】「どのホテルに泊まりたいとか、一回も言ったことはない」_2
10	4月9日	ECO Mart	舩添知事記者会見 ●1 福島訪問 ●2 平成30年秋に東京都で開催する「全国育樹祭」 ●3 再生可能エネルギー由来の電気供給モデル事業 ●4 はたらく馬フェスの開催

No.	日付	サイト名	見出し
11	4月12日	日刊工業新聞	横顔／東京都立産業技術研究センター理事長に就任した奥村次徳氏
12	4月12日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 定例会開く、産業技術の知識深める
13	4月12日	Jpubb ほかに1件	理工系人材育成に関する産学官円卓会議（第6回） 議事録
14	4月13日	ゴムタイムスWEB	十川ゴム 汎用天然ゴムシート（厚物）値上げ
15	4月18日	Jpubb ほかに1件	「TOKYO TY ビジネス交流展 2016」を開催いたします。開催日：2016年5月27日（金）
16	4月19日	J-Net21	デザイン思考によるプロダクトイノベーション
17	4月21日	日刊工業新聞	都産技研、中小のロボ参入支援拠点を開所
18	4月21日	Yahoo!ニュース ほかに4件	「東京ロボット産業支援プラザ」 東京・江東区にオープン
19	4月22日	NewsPicks	都産技研、中小のロボ参入支援拠点を開所（動画あり）
20	4月25日	朝日新聞デジタル	ロボット産業を活性化 中小支援に拠点
21	4月27日	日刊工業新聞	“才能豊かなAI” 目指すーNEDOが社会実装ビジョン
22	4月27日	財経新聞 ほかに5件	「東京ロボット産業支援プラザ」 中小企業の開発・事業化をサポート
23	4月27日	ニュースイッチ	ガラスの底に「阪神ロゴ」3D彫刻
24	4月27日	J-Net21	デザイナーと起業家のための「マーケティング戦略実践講座」
25	4月27日	創業手帳Web	品川区がプロデュースするコワーキングスペース。 そのユニークな魅力を探る。
26	4月28日	ゴム報知新聞	【ゴムシート】十川ゴム、今期差別化製品に注力
27	4月28日	J-Net21	企画基礎講座
28	4月28日	J-Net21	商品企画基礎講座
29	5月10日	Web担当者Forum	【5/18水18:30～開催】カラフル・ボード渡辺社長×ターミナル瀬戸社長登壇～第15回KFCネットマーケティングセミナー
30	5月11日	J-Net21	MTEP V-learning CE マーケティング・海外規格入門シリーズ
31	5月11日	日刊工業新聞	都産技研、19日からロボ開発テーマの提案募集説明会
32	5月17日	J-Net21	共同開発テーマの提案募集説明会を開催
33	5月18日	埼玉大学院	OBからのメッセージ ～大学院生活と就活～
34	5月19日	J-Net21	3Dものづくりセクター
35	5月19日	J-Net21	めつき部会5月例会ー講演・見学会ー
36	5月19日	J-Net21	共同開発テーマの提案募集説明会
37	5月19日	J-Net21	金型分科会 第38回セミナー／東京・南関東支部 第8回技術フォーラム「医工連携分野における素形材技術の展開」
38	5月19日	J-Net21	公募型共同研究開発事業の公募を開始します
39	5月19日	J-Net21	第28回木材塗装基礎講座（PDF ファイル）
40	5月19日	日刊工業新聞	都産技研、多摩に複合繊維材料開発支援施設
41	5月19日	J-Net21	複合素材開発サイト開設記念講演会・見学会
42	5月20日	J-Net21	MTEP セミナー：【グローバル人材育成 アジア編】電気・電子製品の中国規格、中国 RoHS
43	5月20日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第2回）

No.	日付	サイト名	見出し
44	5月20日	J-Net21	セミナー：営業で役立つモノづくりの基礎の基礎 騒音測定・評価編
45	5月20日	J-Net21	セミナー：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第1回）図面の基礎と金属材料編
46	5月20日	J-Net21	学習用DVD「MTEP V-learning CE マーケティング・海外規格入門シリーズ」
47	5月20日	NewsPicks	都産技研、多摩に複合繊維材料開発支援施設
48	5月23日	日刊工業新聞	広域首都圏輸出製品技術支援センター、中国 RoHS セミナー
49	5月25日	ロボスタドットインフォ	2016年05月25日 ロボット業界ニュースヘッドライン
50	5月25日	日刊工業新聞 ほか1件	都産技研、全国6都市でロボット出展
51	5月26日	日刊工業新聞	東京・墨田区、都産技研の依頼試験費を補助
52	5月27日	ディスクロージャー	東京 TY フィナンシャルグループ(7173) 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとの「業務連携に関する協定」について
53	5月27日	J-Net21	業務連携協定締結記念セミナー「積極的に契約を取る展示会プロセス」
54	5月27日	トレーダーズ・ウェブ ほか1件	後場コメント No.5 アンドール、東京 TYFG、コナミ、日本ゼオン、相鉄 HD など
55	5月27日	Jpubb ほか1件	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとの「業務連携に関する協定」について
56	5月27日	Jpubb ほか1件	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとの「業務連携に関する協定」について（東京 TY フィナンシャルグループ）
57	5月27日	時事ドットコム ほか5件	東京 TY、都立産業技術研究センターと連携協定
58	5月27日	トレーダーズ・ウェブ ほか1件	東京 TYFG一堅調 東京都立産業技術研究センターと業務連携
59	5月30日	日刊工業新聞 ほか1件	都産技研など5者、連携協定を締結ー中小の技術支援強化
60	5月30日	日経企業活動情報	東京 TY フィナンシャルグループは都産技研と業務連携協定
61	6月2日	公明新聞	中小企業の参入促進へ 東京五輪機に技術力を世界に発信 試作・開発や安全性評価も 東京都
62	6月2日	J-Net21	業務連携協定締結記念セミナー「積極的に契約を取る展示会プロセス」
63	6月2日	J-Net21	講習会：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第2回）塑性加工と切削・研削編
64	6月2日	J-Net21	講習会：人間中心のプロジェクトマネジメント
65	6月2日	J-Net21	講習会：販売力を高めるための営業戦略シリーズ（3）パソコンでつくる「コミュニケーションツール」
66	6月6日	日刊工業新聞	クローズアップ／都産技研、ロボ産業支援本格化ー公募採択増で実用に弾み
67	6月6日	J-Net21	セミナー：販売力を高めるための営業戦略シリーズ（2）積極的に契約を取る展示会プロセス
68	6月8日	J-Net21	セミナー：営業で役立つものづくり基礎の基礎 感性品質評価編
69	6月8日	J-Net21	講演会：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第3回）潤滑技術と表面処理編
70	6月8日	J-Net21	講演会：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第4回）溶接・接合と金属熱処理編
71	6月9日	J-Net21	MTEP セミナー（グローバル人材育成 アジア編）アジアの医療機器規制
72	6月9日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第2回）
73	6月9日	日刊工業新聞	都産技研、ロボや新素材の研究成果を発表
74	6月13日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターメールニュース H28-10 号

No.	日付	サイト名	見出し
75	6月14日	J-Net21	MTEP セミナー：海外規格精通シリーズ Q&A 形式で学ぶ RoHS 指令
76	6月14日	J-Net21	セミナー：化粧品のレオロジーと経皮吸収の基礎
77	6月14日	Jpubb ほかに1件	平成28年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会の開催
78	6月17日	J-Net21	講習会：熱設計と数値シミュレーション
79	6月17日	日刊工業新聞 ほかに1件	中小と共同開発ー都産技研のロボ独見本市に出展
80	6月23日	財経新聞 ほかに1件	製品開発支援ラボ（本部6室・多摩1室）入居者募集
81	6月23日	Jpubb ほかに1件	平成28年度第1回試験研究分科会を開催
82	6月24日	PR TIMES	山本寛斎、日本元気プロジェクト2016「スーパーエネルギー!!」追加出演者が決定！ 秋元梢やアンミカ、磨赤兒ら業種やジャンルを超えたキャスト陣たちが一同集結！ [山本寛斎事務所]
83	6月24日	創業手帳 Web	【東京】入居者募集「製品開発支援ラボ」
84	6月27日	J-Net21	MTEP セミナー：現場で役立つシリーズ「実践 設計者のための IEC 60204-1」
85	6月28日	日刊工業新聞	TAMA 協会、タイ20社参加で商談会 多摩中小と連携橋渡し
86	6月28日	建設通信新聞	人事異動・東京都
87	6月30日	日刊工業新聞	第42回発明大賞、あす募集開始
88	6月30日	日刊建設工業新聞	都市機構／八王子旭町・明神町地区施設計画検討業務（東京都八王子市）入札公告
89	7月1日	Jpubb ほかに2件	栃木県産業技術センターにおける海外展開支援について
90	7月4日	PR TIMES	山本寛斎、日本元気プロジェクト“天下無敵のカラフル盆踊り”開催
91	7月4日	ファスニングジャーナル ほかに1件	締結問題研究会 30周年記念誌発行へ、総会開く
92	7月12日	毎日新聞	月刊パラリンピック 五輪とパラ、一体で強化 中核拠点に集約、「相乗効果」期待 「移動、楽に」分散化も併用
93	7月12日	建設通信新聞	松田平田 JV と随契/NTC 拡充実施設計／文科省
94	7月13日	J-Net21	X線CT装置を用いたリバースエンジニアリング技術の高度化セミナー
95	7月13日	J-Net21	第1回中小企業のためのサイバーセキュリティ対策ワークショップ
96	7月13日	日刊工業新聞	都産技研と高島屋、追従型案内ロボ実証
97	7月14日	Jpubb ほかに1件	平成28年度第2回試験研究分科会を開催
98	7月14日	東京都	東京都地方独立行政法人評価委員会 平成28年度第2回試験研究分科会の開催について
99	7月19日	J-Net21	第16回KFC ネットマーケティングセミナー「VRが拓く未来への扉」
100	7月20日	Social Game Info	KFC、製造業のVR活用を考えるセミナー「VRが拓く未来への扉」を開催…ユニティ伊藤周氏とプロノハーツ藤森匡康氏が講演
101	7月20日	Web 担当者 Forum	セミナー「VRが拓く未来への扉」～<8/2>KFC ネットマーケティングセミナーを【東京・両国】国際ファッションセンター（株）が開催
102	7月20日	ドリームニュース	ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン伊藤周氏×プロノハーツ藤森匡康氏が登壇！製造業のVR活用について考えるセミナー（8/2・東京両国）「VRが拓く未来への扉～KFC ネットマーケティングセミナー」
103	7月22日	Jpubb ほかに1件	平成28年度第3回試験研究分科会を開催
104	7月22日	官庁通信社	信州大、「はくロボット」を開発 「パンツタイプ」で高齢者の生活動作を支援
105	7月25日	PR TIMES	日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア curara®（クララ）新パンツタイプ・試作モデルを発表[国立大学法人信州大学]



No.	日付	サイト名	見出し
106	7月25日	ロボスタドットインフォ	3分で装着! 日本初のパンツタイプの「穿くロボット」、ロボティックウェア「curara (クララ)」の試作モデルが発表
107	7月25日	IoT NEWS	信州大学と都産技研、“穿くロボット”ロボティックウェア「curara (クララ)」新パンツタイプ・試作モデルを発表
108	7月25日	RBBTODAY ほか25件	日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア curara® (クララ)新パンツタイプ・試作モデルを発表
109	7月25日	Guide Me!	【ロボット工学】日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア (クララ) 新パンツタイプ・試作モデルを発表
110	7月25日	DIAMOND online ほか2件	[ 国立大学法人信州大学 ] 日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア curara(R) (クララ) 新パンツタイプ・試作モデルを発表
111	7月25日	@nifty ほか1件	国立大学法人信州大学 日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア curara(R) (クララ) 新パンツタイプ・試作モデルを発表
112	7月25日	信州大学	日本初の「穿くロボット」、ロボティックウェア curara® (クララ)新パンツタイプ・試作モデルを発表～約3分で装着可能 数年後の実用化を目指す～
113	7月26日	WORK MASTER	信州大研究チーム、歩行動作を支援するロボット「クララ」を発表
114	7月26日	教えて!goo IT ライフch	日本初の“穿くロボット”、ロボティックウェア「curara」パンツ型の試作モデルを開発
115	7月26日	知る NAVI ほか2件	要介護者の自立を支援 はくだけで装着できる歩行補助ロボットを開発—信州大学
116	7月27日	ニュースイッチ	“履くロボット”で装着・歩行ラクラク!
117	7月27日	J-Net21	「複合素材開発サイト」第1回開設記念セミナー・見学会
118	7月27日	J-Net21	【本部】ソーラシミュレータの試験受付の停止のお知らせ
119	7月27日	J-Net21	INNOVESTA!2016 都産技研施設公開イノベスタ (Innovation +Festa)
120	7月27日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門 (第3回)
121	7月27日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第3回)
122	7月27日	J-Net21	セミナー:現場で役立つやさしい破断面の見方
123	7月27日	J-Net21	セミナー:赤外線の基本と利用技術
124	7月27日	J-Net21	セミナー:測光の基本の基礎 照明製品スペックシートの読み方から照度シミュレータの使い方まで
125	7月27日	J-Net21	商業施設で初めてチリンロボットが受付案内～新宿高島屋で実証実験を実施～
126	7月27日	日刊工業新聞	信州大、ズボン式の歩行支援ロボットを開発—介護・リハビリ施設のトレーニング用に
127	7月27日	J-Net21	生産技術レベルアップのための工学基礎 (第1回)
128	7月27日	J-Net21	生産技術レベルアップのための工学基礎 (第2回)
129	7月27日	J-Net21	平成28年度東京都異業種交流グループ発足
130	7月28日	朝日新聞デジタル	3分で装着、ズボン型ロボット開発 介護やリハビリに
131	7月28日	朝日新聞デジタル	装着3分、ズボン型ロボット開発 信州大など、介護・リハビリ用
132	7月28日	CoatingMedia Online	木材の材質や塗装方法を解説 木材塗装研究会
133	7月28日	マストニュース	歩行動作を支援するパンツタイプのロボット「curara」、試作モデル開発成功
134	7月29日	@nifty ニュース ほか18件	「クララが立った!」—歩行に障害がある人を助けるパンツ型ロボット「curara」
135	7月29日	エキサイトニュース ほか1件	日本初の「穿くパワードスーツ」curara
136	7月29日	MEDTEC Japan	歩行動作を支援するパンツタイプのロボティックウェアを発表

No.	日付	サイト名	見出し
137	8月1日	ものづくりニュース	「クララが立った！」歩行を助けるパンツ型ロボット『curara (クララ)』
138	8月1日	Jpubb ほか1件	事業承継セミナーの開催について
139	8月1日	大学ジャーナルオンライン	信州大学が日本初のズボン型「はくロボット」開発に成功
140	8月3日	新宿タカシマヤ	新宿高島屋開店20周年記念 すぐそのミライ 暮らしとロボット展
141	8月4日	東京おでかけ情報局	INNOVESTA!(イノベスタ)2016
142	8月9日	ドリームニュース	メンズファッション、メンズコスメ業界の方向けセミナー「2017春夏メンズトレンドセミナーを8/30東京・両国で開催します。
143	8月10日	J-Net21	【研究開発】平成28年度共同研究テーマ第1回(4月募集)採択テーマを掲載しました
144	8月10日	J-Net21	セミナー:営業で役立つはじめての振動試験
145	8月10日	J-Net21	セミナー:現場で役立つシリーズ 人体3Dデジタイザによる人体計測～スポーツ分野および福祉機器分野編～
146	8月10日	J-Net21	セミナー:販売力を高めるための営業戦略シリーズ(5)顧客が買いたくなるキャッチコピーの作り方
147	8月10日	fabcross	ユカイ工学CTOが語る製品を量産するときに押さえるべきポイント
148	8月10日	J-Net21	講習会:プラスチック射出成形シミュレーション入門
149	8月10日	J-Net21 ほか1件	平成28年度(第2回)共同研究募集案内
150	8月10日	ファスニングジャーナル ほか1件	東京鋸螺協同組合規格委員会が強度評価方法と破断面の見方などセミナー開く
151	8月12日	安心介護	在宅でも使用可能 歩行をアシストする“履く”ロボットの試作品が完成
152	8月17日	創業手帳Web	【東京】経費等を分担「共同研究」
153	8月18日	イベントナビ	INNOVESTA(イノベスタ)!2016
154	8月18日	ニュースイッチ	利き酒師も登場!百貨店や化粧品でAI、ロボットの活用進む
155	8月19日	J-Net21	【研究開発】平成28年度研究課題外部評価結果を掲載しました
156	8月19日	J-Net21	【電気安全・開発支援セミナー】製品安全の考え方と進め方(実践編)
157	8月19日	J-Net21	セミナー:電気用品安全法って何だろう(輸入事業者向け)
158	8月19日	財経新聞 ほか1件	ロボット産業活性化事業(東京ロボット産業支援プラザ)
159	8月19日	J-Net21 ほか1件	製品開発支援ラボ(本部 電気系2室・IT系2室)入居者募集中
160	8月22日	いこーよ	《無料》INNOVESTA!2016 都産技研の技術や施設を体験しよう!
161	8月22日	創業手帳Web	【東京】「製品開発支援ラボ」入居者募集
162	8月23日	Jpubb ほか1件	28年度第二回東京都地方独立行政法人評価委員会開催
163	8月23日	J-Net21	機能性フィルム研究会8月特別例会
164	8月23日	J-Net21	第22回真空ウォーキングコース
165	8月24日	朝日新聞デジタル ほか1件	INNOVESTA(イノベスタ)!2016 都産技研の技術や施設を体験しよう!
166	8月24日	IPROS 製造業	東京都立産業技術研究センター イノベスタ INNOVESTAに出展します
167	8月25日	Jpubb ほか1件	セーフティグッズフェアを開催
168	8月25日	東京都	セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ2016 子供の安全に配慮した商品見本市を開催します!

No.	日付	サイト名	見出し
169	8月26日	J-Net21	セミナー：品質工学による製品開発期間の短縮
170	8月29日	ロボコンマガジン	INNOVESTA！2016
171	8月31日	(株)キャンパスクリエイト	「INNOVESTA!2016 (イノベスタ)」のご案内 (2016年9月9日～10日)
172	8月31日	ことさが	INNOVESTA！(イノベスタ)2016
173	8月31日	(一社)日本ねじ工業協会	○官公庁からのお知らせ INNOVESTA！2016 開催について
174	8月31日	東京都	ものづくり技術や科学の体感イベント「INNOVESTA！(イノベスタ)2016」
175	8月31日	J-Net21	販売力を高めるための営業戦略シリーズ6 自社商品を売るためのパッケージ 0831
176	8月31日	Minkabu ニュース	NTC 拡充整備に 36 億 スポーツ庁の概算要求
177	8月31日	建設通信新聞	NTC 拡充施設／概算工事費は 220 億／補正成立後に発注公告
178	9月2日	Yahoo! ロコ ほか5件	INNOVESTA (イノベスタ)！2016
179	9月2日	ゆこゆこ	INNOVESTA (イノベスタ)！2016 (イノベスタ 2016)
180	9月2日	告知一ず	《無料》「INNOVESTA！(イノベスタ)2016」ビジネスデー
181	9月2日	告知一ず	《無料》「INNOVESTA！(イノベスタ)2016」ファミリーデー
182	9月2日	お出かけパラダイス	《無料》「INNOVESTA！(イノベスタ)2016」
183	9月2日	お台場ネット	INNOVESTA！(イノベスタ)2016<東京都立産業技術研究センター>
184	9月2日	イベントカレンダー +ログ	「INNOVESTA(イノベスタ)2016」《無料》講演、技術系ワークショップ開催
185	9月2日	REGNAS/レグナス	「INNOVESTA(イノベスタ)2016」《無料》講演、技術系ワークショップ開催のセミナー情報
186	9月5日	Jpubb ほか1件	産業サポートスクエア・TAMA でウェルカムデー開催
187	9月5日	J-Net21	総合支援窓口専門相談
188	9月6日	金属産業新聞社	縮結研、都産技研城東支所を見学
189	9月7日	fabcross	先端産業技術開発の成果を見ることができるイベントから、木材加工の知識を身につけることができるセミナーまで (9月9日～のイベント)
190	9月7日	日刊工業新聞	都産技研、9・10日に施設公開イベント
191	9月8日	Zakzak ほか6件	ニチベいのロールスクリーン「ソフィー」スマートコード式を全国の展示イベントで紹介
192	9月8日	J-Net21	セミナー：シミュレーションを活用した音響材料の開発
193	9月8日	livedoor ニュース ほか1件	ニチベイ 全国の子ども向けイベントで「ソフィー」紹介へ
194	9月8日	@Press	ニチベいのロールスクリーン「ソフィー」スマートコード式を全国の展示イベントで紹介 [ニチベイ]
195	9月8日	ニチベイ	ニチベいのロールスクリーン「ソフィー」スマートコード式を全国の展示イベントで紹介 第10回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞受賞
196	9月8日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター 本部：動的粘弾性測定装置の機器整備による試験・機器利用停止のお知らせ
197	9月8日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター城南支所「施設公開」
198	9月12日	日刊工業新聞	【電子版】デジタル編集部から (11)「MONO」がスタートアップのアジア連携後押し
199	9月12日	神奈川新聞	「楽しい車いす」体験を 電動2台実証実験 15日まで横浜港

No.	日付	サイト名	見出し
200	9月13日	@nifty ニュース ほか3件	「楽しい車いす」体験を 電動2台実証実験15日まで横浜港
201	9月13日	Jpubbほか1件	地方独立行政法人の業務実績評価結果
202	9月13日	dメニュー	「楽しい車いす」体験を 電動2台実証実験15日まで横浜港
203	9月13日	東京都	地方独立行政法人の業務実績評価結果について
204	9月14日	とちょう i(知事チャンネル)	東京都地方独立行政法人の業務実績評価報告
205	9月14日	日刊工業新聞	「利用者ファーストの視点を」 小池都知事、都産技研など3法人に
206	9月14日	J-Net21	【グローバル人材育成 欧州編】CEマーキング入門+改正RoHS指令入門 第2弾
207	9月14日	J-Net21	都産技研・荒川区共催セミナー 欧州への製品輸出に必須! CEマーキング超入門
208	9月14日	ニュースイッチ	東京・お台場の「MONO」が新事業構想、スタートアップのアジア連携を強力に後押し
209	9月16日	mediajamほか1件	締結問題研究会 都産技研の城東支所を見学、ものづくり支援の設備など理解深める
210	9月20日	メカニカル・テック ほか1件	都産技研、イノベスタ2016を開催
211	9月21日	J-Net21	工業技術の発展のための支援窓口
212	9月23日	J-Net21	販売力を高めるための営業戦略シリーズ7 販促の費用対効果とツールの見直し
213	9月26日	中小企業NEWS	楽しく学ぶ最先端技術: 都産技研が「イノベスタ」開催
214	9月27日	東京くらしWEB	セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ2016 ~子供の安全に配慮した商品見本市を開催します!~
215	9月30日	Jpubbほか1件	「産業交流展2016」への出展について ~2016年10月31日から11月2日まで、東京ビッグサイトにて開催~ (東京TYFG)
216	9月30日	Jpubbほか1件	「産業交流展2016」への出展について ~平成28年10月31日から11月2日まで、東京ビッグサイトにて開催~
217	9月30日	Jpubbほか1件	「産業交流展2016」への出展について (東京TYフィナンシャルグループ)
218	9月30日	J-Net21	セミナー:【グローバル人材育成 欧州編】REACH規則の基礎
219	9月30日	J-Net21	セミナー:プラスチック射出成形現象の可視化と体系化
220	9月30日	J-Net21	セミナー:現場で役立つプラスチックの話
221	9月30日	J-Net21	多摩テクノフェア-産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー
222	9月30日	J-Net21	東京都ロボット産業活性化事業 公募型共同研究開発事業 テーマ決定
223	10月3日	日刊工業新聞	ロボ公募型共同研究-都産技研が10事業者決定
224	10月8日	マチパブ	第27回 府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」を開催します
225	10月10日	日刊工業新聞	Japan Robot Week 2016・紙上プレビュー (3) 川本重工ほか
226	10月11日	J-Net21ほか1件	製品開発支援ラボ(本部 電気系2室・IT系2室) 入居者募集中
227	10月12日	創業手帳Web	【東京】入居者募集「製品開発支援ラボ(本部 電気系2室・IT系2室)」
228	10月12日	朝日新聞デジタル	長野「穿くロボット」実用化へ前進
229	10月13日	Jpubbほか1件	「東京都と金融機関とが連携して実施する事業承継支援」に対する企画提案の採択について (東京TYFG)
230	10月13日	Jpubbほか1件	「東京都と金融機関とが連携して実施する事業承継支援」に対する企画提案の採択について (東京TYフィナンシャルグループ)
231	10月13日	Jpubbほか1件	「東京都と金融機関とが連携して実施する事業承継支援」に対する企画提案の採択について

No.	日付	サイト名	見出し
232	10月13日	日刊工業新聞 ほか1件	広がる大学と中堅・中小連携 (68) 首都大・インテックスー食品用 LED 照明
233	10月19日	日経 DUAL	子どもの仲間意識を育む空間作りの極意とは? [PR] _2
234	10月20日	日刊工業新聞	都産技研、先導型案内ロボに新機種ーモノ運ぶ機能を追加
235	10月21日	Yahoo!ニュース ほか14件	科学と社会をつなぐ広場「サイエンスアゴラ 2016」11/3-6
236	10月24日	マイナビ進学 U17	科学と社会をつなぐ広場「サイエンスアゴラ 2016」11/3-6
237	10月24日	ものあす	2016年10月24日(月)付日刊工業新聞紙面インデックス
238	10月24日	日刊工業新聞	都産技研、中小のロボ実用化を加速ー採択2件増、全国に対象拡大
239	10月25日	マチパブ	【現在募集中!】平成28年度第4回『都産技研の中小企業支援全貌を掴む』
240	10月25日	Infoseek ニュース ほか14件	子どもの安全を守るグッズが集合、お台場11/4-6
241	10月26日	J-Net21	セミナー：営業で役立つものづくりの基礎の基礎 振動試験編
242	10月26日	J-Net21	セミナー：規制強化に向けた亜鉛めっき排水処理対策
243	10月26日	J-Net21	セミナー：中小企業のためのサイバーセキュリティイベント
244	10月26日	ニュースイッチ	どうなる小池新ビジョン。改めて「国際金融センター構想」を明確に打ち出す
245	10月27日	PR TIMES	『第20回いたばし産業見本市 ～製造と加工技術展～』開催
246	10月28日	J-Net21	セミナー：炭素材料の現状と未来ーナノカーボン、カーボンファイバーー
247	11月2日	日刊工業新聞	都立産技研センター、サイバーセキュリティ講座
248	11月4日	SciencePortal	「サイエンスアゴラ 2016」が開幕 好天に恵まれ親子連れ学生ら来場
249	11月4日	オフィスマガジン online	子どもが安心して使える、文房具選びの基準の一つに「セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ 2016」開催
250	11月4日	Value Press	第10回キッズデザイン賞「経済産業大臣賞」を受賞!ダイヤコーポレーション『ダイヤ ベビーベッドかや』を11月4日より開催の「セーフティグッズフェア」に出展
251	11月5日	NHK オンライン	“セーフティグッズ”展示会
252	11月5日	NHK オンライン	子どもの安全に配慮 玩具や日用品の展示会
253	11月6日	マイナビニュース	「サイエンスアゴラ 2016」が開幕 好天に恵まれ親子連れ学生ら来場
254	11月6日	価格.com マガジン ほか2件	「セーフティグッズフェア」で発見した身体能力や創造力を育む“やさしい”おもちゃ
255	11月7日	My Cloud トピックス	「セーフティグッズフェア」で発見した身体能力や創造力を育む“やさしい”おもちゃ
256	11月7日	WEB ニッポン消費者 新聞	子どもを守るセーフティグッズ、98点を展示 東京都など普及目指す
257	11月8日	J-Net21	ロボット産業入門セミナー「ロボットに興味をもってみよう!」
258	11月10日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門
259	11月10日	J-Net21	セミナー：【グローバル人材育成 欧州編】CE マーケティング 新 EMC 指令
260	11月10日	J-Net21	セミナー：【海外規格精通シリーズ】日米欧の医療機器規制
261	11月10日	J-Net21	セミナー：炭素材料の現状と未来；ナノカーボン、カーボンファイバー
262	11月11日	浦添市美術館	琉球の漆文化と化学 2016～螺鈿と文化～

No.	日付	サイト名	見出し
263	11月15日	東京都産業労働局	イベント情報 記念クラスター研究会（平成28年度 第5回クラスター研究会）を開催します 【第I部 開所式】東京都医工連携イノベーションセンター 【第II部 クラスター研究会】 16:35-16:45 東京都産業技術センター 事業紹介 樋口 明久 氏
264	11月16日	Minkabu ニュース	NTC 拡充棟建設 第3 四半期中に 4 工種を公告
265	11月16日	マチパブ	平成 28 年度第 4 回 『都産技研の中小企業支援全貌を掴む』
266	11月17日	建通新聞	第3 四半期に 4 件公告/NTC 拡充棟建築、設備/文科省 WTO 対象
267	11月21日	J-Net21	【グローバル人材育成 知財編】 海外ビジネスのための知財戦略
268	11月21日	J-Net21	【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC 60204-1
269	11月21日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第5回）
270	11月21日	Minkabu ニュース	ナショナルトレセン建築工事を公告 文科省
271	11月22日	日刊建設工業新聞 Online Service	文科省/ナショナルトレセン拡充棟新當他（東京都北区）WTO 入札公告
272	12月3日	中日新聞	《経済》 エリジオン 特別奨励賞贈呈
273	12月6日	J-Net21	21世紀鷹峯フォーラム 「日本工芸を海外に広めるために輸出のための障壁を取り除く」
274	12月6日	ゴムタイムス WEB	PVC デザインアワード 2016 「とびだすおふろ」が大賞に
275	12月6日	J-Net21	セミナー：都産技研が進める規格認証制度への取り組み
276	12月6日	J-Net21	セミナー：販売力を高めるための営業戦略シリーズ（8）Web を武器にした集客の仕組みづくり
277	12月6日	GLAFAS	メガネレンズをキズや熱から保護するガラスコーティング剤「メガプラスコート」
278	12月19日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第5回）
279	12月26日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 設立 30 周年祝う、歩みの記念誌も発行
280	12月27日	mediajam	締結問題研究会 設立 30 周年祝う、歩みの記念誌も発行
281	12月28日	ビジネス+IT	大田区の coworking スペース「biz BEACH CoWorking」が絶好の立地に開設できたワケ
282	12月30日	日刊工業新聞	都立産業技術研究センター、5 分科会で異業種交流
283	1月5日	J-Net21	「複合素材開発サイト」第3 回開設記念セミナー・見学会
284	1月5日	J-Net21	【グローバル人材育成 アジア編】 マレーシア、シンガポール、タイの認証制度
285	1月5日	J-Net21	【現場で役立つシリーズ】 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法
286	1月5日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第5回）
287	1月5日	J-Net21	セミナー：ガラス製品の破損事故解析
288	1月5日	J-Net21	セミナー：期待した効果が得られていますか？社内ルールを見直す EMC 設計
289	1月5日	J-Net21	セミナー：都産技研が進める規格認証制度への取り組み
290	1月5日	J-Net21	セミナー：販売力を高めるための営業戦略シリーズ（8）Web を武器にした集客の仕組みづくり
291	1月5日	Jpubb ほかに1件	つくば産産学連携促進市 in アキバを開催
292	1月5日	J-Net21	世界に通用する安全なものづくりセミナー 安全設計の基本概念
293	1月5日	J-Net21	第32 回 東京都異業種交流グループ合同交流会

No.	日付	サイト名	見出し
294	1月5日	J-Net21	都産技研・港区共催セミナー 欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修 「CE マーケティング入門 +改正 RoHS 指令入門」
295	1月5日	J-Net21	非破壊検査入門
296	1月12日	マイナビニュース ほか14件	パルコ、ショッピングセンターでの案内ロボット開発へ - 棚卸のサポートも
297	1月12日	ロボスタドットイ ンフォ	パルコ、共同体事業にてショッピングセンター内の案内ロボットを新規開発、17年秋に店舗で実証実験
298	1月12日	週刊アスキーPLUS ほか5件	パルコ、今秋から都内店舗で多機能ロボットを導入
299	1月12日	WWD JAPAN.COM	パルコが今秋からロボットの実証実験 接客や棚卸をサポート
300	1月12日	goo ニュース ほか8件	パルコで接客ロボットによるフロア案内サービスの実証実験が今秋より開始。棚卸しの自動化も実現
301	1月12日	PR TIMES ほか4件	案内ロボットを新規開発、17年秋にパルコ店舗で実証実験
302	1月12日	Jpubb ほか1件	日本ユニシス 08 ワークスとパルコの3社が、東京都立産業技術研究センターの公募型共同研究開発事業に採択
303	1月12日	日本経済新聞 ほか1件	日本ユニシスなど、東京都立産業技術研究センターの公募型共同研究開発事業に採択
304	1月13日	MarkeZine ほか11件	パルコ、ロボット開発・実証実験行う～店舗案内や棚卸業務のサポートに活用
305	1月13日	日刊工業新聞	都産技研、案内ロボ開発2事業を採択
306	1月17日	J-Net21	「ロボット実用化プロモーション」事業報告会
307	1月17日	J-Net21	H28年度 東京都ロボット産業活性化事業 案内ロボットの開発・実証事業者の決定
308	1月17日	J-Net21	UV厚手対応プリンタの機器利用を開始しました
309	1月17日	this.kiji.is ほか1件	ムカシマンモスの白歯／陸奥湾で2004年発見の化石、東北初
310	1月17日	北海道新聞	ムカシマンモスの白歯だった 陸奥湾で04年発見
311	1月17日	J-Net21	赤外分光放射測定試験再開のお知らせ
312	1月17日	J-Net21	多摩テクノプラザ「複合素材開発サイト」第3回開設記念セミナー・見学会
313	1月17日	J-Net21	東京イノベーション発信交流会
314	1月17日	J-Net21	東京都異業種交流グループ「第32回合同交流会の開催」交流から協働へ～「ひと」「もの」「こと」の回復～
315	1月17日	J-Net21	労働セミナー：～誰もが働きやすい職場づくりのためのヒント～「LGBT」への理解と職場での対応（全2日）
316	1月17日	mediajam	パルコで接客ロボットによるフロア案内サービスの実証実験が今秋より開始。棚卸しの自動化も実現
317	1月18日	流通 NEWS	パルコ／案内ロボット、都内店舗で実証実験
318	1月18日	日刊工業新聞 ほか1件	東京都立産業技術研究センター、ロボ活性化報告会
319	1月19日	日刊工業新聞	変わるモノづくり 3Dプリンターの活用（31）東京都立産業技術研究センター
320	1月19日	日刊工業新聞	都立産業技術研究センター、来月16日にビジネスマッチング交流会
321	1月26日	BCN Bizline ほか1件	企業動静 2017年1月23日付 Vol.1662
322	1月27日	Jpubb ほか1件	創業者・起業家に対する支援体制の強化について
323	1月27日	Jpubb ほか1件	創業者・起業家に対する支援体制の強化について（東京 TYFG）
324	1月27日	Jpubb ほか1件	創業者・起業家に対する支援体制の強化について（東京 TY フィナンシャルグループ）

No.	日付	サイト名	見出し
325	1月27日	朝日新聞デジタル	東京) 都の新年度予算案 主な事業 (下)
326	2月1日	ニュースイッチ	パルコ、案内ロボット導入。接客だけでなく梱卸しもお手伝い
327	2月1日	日刊工業新聞	パルコ、案内用多機能ロボを今秋に都内店舗に-08 ワークスなどと開発
328	2月2日	J-Net21	【グローバル人材育成 規格と制度編】国際規格と各国の省エネルギー、無線認証制度
329	2月2日	J-Net21	【現場で役立つシリーズ】実践 設計者のための IEC 61010-1
330	2月2日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門 (第6回)
331	2月2日	J-Net21	TIRI News 最新号
332	2月2日	J-Net21	シャルピー衝撃試験のメンテナンスに伴う試験停止のお知らせ
333	2月2日	J-Net21	営業で役立つガラス製品の基礎知識
334	2月2日	J-Net21	振動試験機 (電子・機械グループ) ご利用受付再開のお知らせ
335	2月2日	J-Net21	総合支援窓口専門相談 (2月スケジュール)
336	2月2日	J-Net21	測光関連の依頼試験・機器利用サービス
337	2月2日	J-Net21	第1回ロボット産業活性化事業セミナー
338	2月2日	J-Net21	東京都ロボット産業活性化事業「ロボット実用化プロモーション」事業報告会
339	2月2日	J-Net21	平成28年度版技術シーズ集
340	2月2日	J-Net21	放射線量測定試験機器の校正による試験停止のお知らせ
341	2月3日	Value Press	3月2日～4日に開催される「としまものづくりメッセ」に出展致します
342	2月3日	日経企業活動情報	パルコは案内ロボットを新規開発しパルコ店舗で実証実験
343	2月6日	JILI.COM ほか1件	天然なのに熱圧縮成形ができる特許素材に、本物の漆塗りを施すことで、エコで丈夫な新しい漆器が実現! テキスタイルデザイナーが模様をデザイン。最高の一杯を届けるデザイン漆器が発売開始
344	2月6日	Jpubb ほか1件	第6回地域産業支援プログラム表彰事業 経済産業大臣賞の受賞について (自動車産業振興室)
345	2月7日	河北新報 ほか4件	芝浦工業大学 -- 汎用ネットワークでリアルタイムに接続し、複数種のロボットを連携させる基礎実験に成功
346	2月7日	芝浦工業大学 ほか6件	汎用ネットワークでリアルタイムに接続し、複数種のロボットを連携させる基礎実験に成功
347	2月9日	ロボスタドットインフォ	ギフトショーの「ロボットワールド EXPO」に行ってきました! その1
348	2月10日	日本経済新聞	モンゴル学生を技術者に 品川区、区内製造業で就業体験
349	2月10日	日本経済新聞	品川区、人材育成でモンゴル高専と連携 学生を区内企業に派遣
350	2月11日	livedoor ニュース ほか1件	セミナー 「メゾン・エ・オブジェ 2017 レポート&出展体験談」
351	2月16日	J-Net21	セミナー: 【グローバル人材育成 アジア編】中国、韓国、台湾の認証制度
352	2月16日	J-Net21	セミナー: 現場で役立つ機器分析の基礎と活用 (異物分析を中心に)
353	2月16日	J-Net21	技術シーズ説明会・マッチング会
354	2月16日	nikkansports.com ほか1件	小池知事、予算案発表時イラストが実物ぬいぐるみに
355	2月16日	Jpubb ほか1件	小池知事記者会見 ●1 岩手への視察 ●2 平成29年第一回定例会に向けて ●3 八丈町と青ヶ島村の視察 ●4 「TEAM BEYOND LIVE FIELD 2017」の開催とIPC会長との面会 ●5 「都庁舎昼休み改革」



No.	日付	サイト名	見出し
356	2月16日	J-Net21	世界に通用する安全なものづくりセミナー 新EMC指令とRE(無線機器)指令
357	2月16日	J-Net21	世界に通用する安全なものづくりセミナー 製品含有化学物質規制の動向と管理方法
358	2月16日	J-Net21	第2回ロボット産業活性化事業セミナー
359	2月16日	J-Net21	平成28年度共同研究テーマ 第2回(10月募集)採択テーマを掲載しました
360	2月17日	産経ニュース ほか3件	【小池知事定例会見録】 都議選の選挙協力「民進党の固まりということについては考えていない」 石原慎太郎元知事には「都民は豊洲市場のファクトを知りたい」_2
361	2月17日	イザ!	小池知事定例会見 都議選の選挙協力「民進党の固まりということについては考えていない」 石原慎太郎元知事には「都民は豊洲市場のファクトを知りたい」_2
362	2月20日	ドリームニュース	2月16日「東京イノベーション発信交流会」に、インキュベクス「介護の王国」が出展し、代表取締役 上村隆幸が講演しました。
363	2月20日	SANPOWEB	JSNDI・第24回UTシンポ、全国から140人参集
364	2月21日	Jpubb ほか1件	地方独立行政法人評価委員会 試験研究分科会を開催
365	2月22日	@Press	採用支援ツール『グーカ』を運営するリブリッジ 「千代田ビジネス大賞」にて特別賞を受賞
366	2月27日	Jpubb ほか1件	地方独立行政法人評価委員会 試験研究分科会を開催
367	3月1日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第6回)
368	3月1日	J-Net21	TIRI News 最新号
369	3月1日	J-Net21	活用事例・製品化事例集
370	3月1日	J-Net21	総合支援窓口専門相談(3月スケジュール)
371	3月1日	J-Net21	第3回ロボット産業活性化事業セミナー
372	3月1日	J-Net21	平成29年度(第1回)共同研究募集
373	3月2日	創業手帳Web	【東京】「平成29年度(第1回)共同研究」
374	3月2日	日刊建設工業新聞	文科省/ナショナルトレセン拡充棟新営他(東京都北区)/フジタに[2017年3月2日4面]
375	3月2日	Minkabu ニュース	施工者はフジタ NTC 拡充 文科省
376	3月4日	HANJO HANJO	ナショナルトレセン拡充棟建設へ。東京五輪を目指すトップ選手の強化拠点に
377	3月7日	Jpubb ほか1件	アジア特別商談会への出展企業を募集
378	3月7日	Jpubb ほか1件	国際医療機器技術・部品展への出展企業を募集
379	3月7日	CoatingMedia Online	技能を高める取り組みを 東京工業塗装(賀詞交歓会)
380	3月8日	Jpubb ほか1件	静岡県工業技術研究所 研究発表会を開催します!
381	3月9日	Jpubb ほか1件	炭素繊維強化樹脂(CFRP)への密着性に優れためっき方法を開発-雷による被害をめっきで解決-
382	3月10日	Jpubb ほか5件	川崎市との「産業振興に関する包括連携協定」の締結について
383	3月10日	J-Net21	都産技研「事業案内」のウェブブックを公開しました
384	3月10日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター 新理事の就任
385	3月11日	マチパブ	「第3回荒川区新製品・新技術大賞」が決定いたしました
386	3月13日	Jpubb ほか1件	ヤマダ電機の店舗で、Fellow Robots (Fellow, Inc.) の自律移動型サービスロボット NAVii (ナビイー) を活用した 実証実験 第2弾を実施 >
387	3月14日	日本経済新聞	転倒骨折、スカートで予防 下着製造とみ、パットで衝撃緩和

No.	日付	サイト名	見出し
388	3月15日	PR TIMES ほか6件	PVC（塩ビ素材）の特長を活かしたデザイン提案・製品を公募『PVC DESIGN AWARD 2017』未来を拓くPVC ―機能と美の創造―
389	3月16日	Jpubb ほか1件	平成29年度科学技術週間 東京都特別行事のお知らせ
390	3月17日	メカニカル・テック	日本機械学会・関東支部、総会・講演会を開催
391	3月20日	インテリア情報サイト	PVC DESIGN AWARD 2017 “未来を拓く―機能と美の創造―” 募集
392	3月23日	MONOist	不景気でも誰も解雇せず、皆で学び続け、自社製品を生む金型工場
393	3月27日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第1回）
394	3月27日	J-Net21	総合支援窓口専門相談（4.5月スケジュール）
395	3月31日	日刊工業新聞 ほか1件	東京海洋大と都立産技研、中小技術支援などで連携協定

（合計 630 件）

月別のWEB掲載件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	42	43	32	102	49	67	56	27	11	93	61	47	630

## 6.8 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入するとともに、2ヶ月に1回程度企画展示を行い、蔵書の充実を行っている。また、本部図書室は中小企業者らに公開して、調査研究活動に活用されている。外部利用者数は、延べ584名であった。図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

平成28年度図書管理数

蔵書種類	本部	多摩 テクノプラザ	墨田支所
和書（冊）	15,600	3,579	2,687
洋書（冊）	1,133	74	119
和文雑誌（種）	476	86	93
欧文雑誌（種）	25	15	16

ほかに、欧文雑誌電子ジャーナル版を10誌年間契約した。

サーバーの保証期間終了による入れ替え、蔵書管理、検索機能等の図書室活用の利便性向上を図るため、システム更新を平成28年4月末に完了した。職員が使用している端末から都産技研図書資料の検索が可能になった。

## 7. 業務運営

### 7.1 組織運営

平成 28 年度からの第三期中期計画の着実な実施と、都産技研の業務運営および中小企業の動向を踏まえ、新たな組織体制での平成 28 年度版「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、ウェブサイトで公開した。また、効率的な事業運営のための業務改革の推進や、職員育成のための各種研修を行った。

#### 7.1.1 都産技研戦略ロードマップ

中小企業の技術支援を通じた産業振興を図り、技術支援の実施にあたってきめ細かいサービスを提供することを目的として、中長期的な視点に立った戦略的な事業展開のための「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、公開版をウェブサイトに掲載した。

また、第三期中期計画の着実な達成を目指し、開発第三部の設立、組織再編した本部セクターおよび多摩テクノプラザにおける事業展開を見据えた改訂を行った。

- ① 事業戦略ロードマップ：現行事業と今後新たに取り組むべき事業を明確にしたもの
- ② 事業運営ロードマップ：都産技研の運営に関わる取り組みを明確にしたもの
- ③ 技術分野ロードマップ：現行技術と今後注力する技術分野を明確にしたもの

#### 7.1.2 業務改革

所内各部門が業務運営の改善および効率化を図るための業務改革活動に取り組んだ。活動を効果的に行うために、外部講師による所内研修を実施した。平成 27 年度まで実施した小集団活動は、業務改革活動に統合した。

管理部門への要望なども含め、合計 38 件について取り組みを実施した。実施済みおよび継続中の代表的な取り組み内容は以下のとおりである。

代表的な取り組み内容

事業	取り組み内容
依頼試験	技術相談と依頼試験における対応モデルチャート作成、依頼試験バックアップ体制の構築、依頼試験・技術相談の情報共有による連携強化
機器利用	新しいパンフレット・小冊子の作成と更新およびウェブサイトの刷新による積極的な PR の実施、機器利用機器の注意事項の掲示
研究推進	研究事業に関連する規定類の整備、3D-CAD ヘルプデスクの設置
管理運営	業務事故・ヒヤリハットの取り扱い方法の見直し、ソフトウェアライセンス契約・管理指針の作成、規定類の整理・整備による広報事業の実施体制の確立

### 7.1.3 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

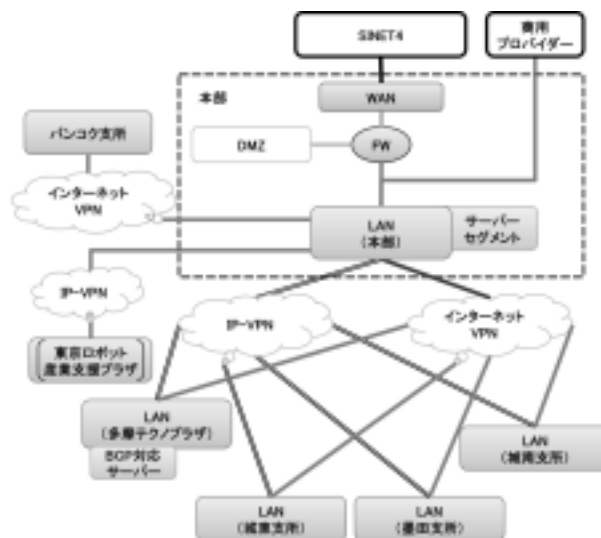
- ① 新任研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など受講者 17 名、8 日
- ② 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など受講者 59 名、19 日
- ③ 専門研修：職務上必要な専門知識の習得 33 回
- ④ 派遣研修：中小企業大学校など外部機関における研修 237 名  
大学院博士課程 1 件
- ⑤ 出向研修：東京都庁への派遣 1 件

## 7.2 都産技研情報システム

### 7.2.1 概要

情報ネットワークの基盤であるとともに、ウェブサイト閲覧、メール、ファイル共有、ファイル転送などのサービスを提供した。

本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所、バンコク支所および東京ロボット産業支援プラザをネットワークで接続している。組織全体でサービスを共有することにより、試験・研究・技術支援などの産業支援業務および各種事務の効率向上に寄与した。



### 7.2.2 業務運営

#### (1) ネットワーク機能の概要

学術情報ネットワーク (SINET5) および民間プロバイダー経由のインターネット接続、5 拠点を結ぶ拠点間通信網で構成されており、ウィルス対策、不正侵入対策、不正端末対策などの機能を有している。

#### (2) 提供サービスの概要

- ・一般ユーザー環境 (ファイル共有サーバー、ウェブサイト閲覧、メール、認証印刷、ファイル転送機能など)
- ・グループウェア (予定表、施設予約、掲示板、汎用申請機能など)
- ・メールアーカイブシステム
- ・メール受付共有システム
- ・内部向け情報サーバー (簡易利用手順、FAQなどの掲載)
- ・産業支援業務システム (技術相談・依頼試験・機器利用等事業管理)
- ・首都圏テクノナレッジフリーウェイ (<http://tkm.iri-tokyo.jp/>)
- ・外部公開サイト (<http://www.iri-tokyo.jp/>)
- ・東京都地域結集型研究開発プログラム成果報告サイト (<http://create.iri-tokyo.jp/>)
- ・採用情報サイト (<http://saiyou.iri-tokyo.jp/>)
- ・公立鉦工業試験研究機関長協議会 (<http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/>) 1月末まで
- ・予約状況表示システム、環境試験機オンライン予約
- ・図書管理システム (蔵書検索、NACSIS連携)

- ・総務システム（庶務事務・人事管理事務）
- ・財務システム（購買・資産管理事務）
- ・拠点間テレビ会議・映像配信システム
- ・薬品管理システム

(3) その他

- ・アカウント数 約470アカウント
- ・ネットワーク接続情報端末数 約2,300台、スタンドアロン情報端末数 約800台

## 7.3 業務実績報告書と業務実績評価

### 7.3.1 業務実績報告書の提出

平成 27 年度および第二期中期目標期間における業務実績報告書を、地方独立行政法人法第二十八条第 1 項および第三十条第 1 項の規定に基づき、平成 28 年 6 月 22 日に東京都へ提出した。

### 7.3.2 業務実績評価

東京都地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第二十八条の規定に基づき、東京都が設立した地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターについて、平成 27 年度における業務の実績に関する事業評価を行った。また地方独立行政法人法第三十条の規定に基づき、第二期中期目標期間における業務の実績に関する事業評価を行った。

全体評価の総評は以下のとおりであった。

#### ○平成 27 年度業務実績評価

##### 総 評

中期計画の達成に向け、業務全体が優れた進捗状況にある。

第二期中期目標期間の最終年度を迎えた東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という）は、現有の力を十分に発揮し、本部や支所等を通年で安定稼働させるとともに、サービスの充実等に積極的に取り組んだ結果、技術相談で過去最高の実績を上げ、依頼試験、機器利用で前年度より件数がやや減少したものの、いずれも高水準の実績を維持した。

依頼試験では、本部の実績が減少しているが、都産技研として依頼試験から機器利用サービスへ移行を促していることが一因といえる。これは、利用者の利便性の向上と研究業務の充実を図るための取組と理解することができる。一方、多摩テクノプラザや城南支所では、地域特性や企業ニーズを捉えたサービスのもと、実績が大きく増加している。また、機器利用サービスの提供では、金属粉末積層造形機<sup>1</sup>の活用など、新たな機器利用項目を 48 項目増加しており、利用者の高い満足を得ている。

平成 27 年 11 月には、高付加価値なものづくりを支援するために、墨田支所の生活技術開発セクターに、人間の動作や特性を計測する「生活空間計測スタジオ」を開設し、体制を強化した。平成 27 年度の生活技術開発セクターの依頼試験・機器利用実績が 16,000 件以上あり、好調に推移している。

平成 27 年 4 月に開始した「ロボット産業活性化事業」では「ロボット事業推進部」を新設して体制を強化した。ロボットの試作開発から安全性評価までを一貫して支援する「東京ロボット産業支援プラザ」の整備を始めるとともに、ロボットの実用化・事業化を推進するため、日本全国の中小企業を対象に公募型共同研究開発事業を開始しており、今後の成果が期待できる。

平成 24 年 10 月に 1 都 4 県の公設試験研究機関と連携して開始した「広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP<sup>ii</sup>)」では、平成 27 年 4 月に横浜市の参画により 1 都 10 県 1 市に拡大し、広域首都圏の体制が整備された。また、専門相談員を 32 名体制に増強するとともに、海外展開支援事例集を新規に発行し、中小企業製品の海外規格への適合支援を充実させることにより、相談実績が大きく伸びている。こうした MTEP の取組が評価され、地域産業支援プログラム表彰「全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞」を受賞した。更に、タイ王国にバンコク支所を開設し、現地に進出した中小企業への技術支援を開始しており、今後の展開に期待したい。

東京の産業を支える産業人材の育成では、中小企業において研究開発・製造技術の高度化を担う人材の育成支援を目的とした実践型高度人材育成講習会や中小企業からのニーズの高い海外展開を支援するセミナーの充実に加え、ロボット産業活性化事業やバンコク支所等での新規セミナーにより受講者数が増加している。

このように、都産技研は、臨機応変な対応が可能な地方独立行政法人のメリットを生かし、都内中小企業の技術振興に正面から向き合いニーズに合致した支援の充実に努め、十分な結果を出したと言える。また、都産技研より利用者分析や活用事例が示され、中小企業の利用状況や成果が明らかになり、中小企業支援における都産技研の役割をより一層確認することができた。

今後も、ニーズオリエンティッドな事業運営、事業化を見据えた技術支援、産業育成に直結する研究開発を 3 本柱とする都産技研の基本理念に基づき、ものづくり産業の高付加価値化、新事業・新産業創出、中小企業の海外展開の支援が求められる。そのため、国内外の市場ニーズを的確に捉えた製品開発を支える技術支援のより一層の拡充とともに研究開発を充実し、独創性・実用性の高い研究成果を企業に提供することを期待したい。

こうした都産技研の取組の結果、都内中小企業のニーズに合致したサービス提供がなされ、都内中小企業の持続的な発展に大きく寄与するものと期待する。

**i 金属粉末積層造形機：**

アディティブ・マニュファクチャリング (Additive manufacturing)。

高速造形機を使う技術のこと。モデルデータから素材を統合させ、樹脂や金属粉末などの素材を積層させて物体を形成させる。

**ii MTEP：**

Metropolitan Technical Support Network for Export Products の略。

○第二期中期目標期間業務実績評価

総 評

第二期中期計画の実施状況から見て、業務全体が優れた達成状況にある。

第二期中期目標期間中、東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という）は、技術相談、依頼試験、機器利用など技術支援の面で、極めて順調に業績を伸ばし中期計画を大幅に上回る業務実績を達成した。これは、最新の技術動向や中小企業のニーズに迅速かつ的確に対応するために、高度分析開発セクター、システムデザインセクター、実証試験セクター等の体制を整備したこと、ブランド試験の拡充や機器利用ライセンス制度の導入等に取り組んだこと、窓口機能の一元化等の利便性向上を図ったことなど、都産技研が地方独立行政法人のメリットを生かし、柔軟かつ機動的な業務運営を展開した成果であり、高く評価できる。

第二期の事業運営の中で、特筆すべき事業は、中小企業の海外展開支援である。経済のグローバル化に伴い、平成 24 年に 1 都 4 県の公設試験研究機関で開設した広域首都圏輸出製品技術支

援センター（MTEP）は、着実に実績を積み上げ、平成 27 年には 1 都 10 県 1 市にまで連携が拡大した。また、都産技研は公設試験研究機関では初めて海外に進出し、タイ王国にバンコク支所を開設し、現地に進出した企業の技術支援を開始した。中小企業が国際規格や海外の現地情報を自ら収集することは困難であり、都産技研のこうした新たな取組は中小企業の海外展開に大きく貢献しており、大いに評価できる。

研究開発の推進については、基盤研究、共同研究ともに中期計画を大きく上回り、成果が製品化・事業化や特許出願等に結びついている。外部資金導入研究では科学研究費補助金や産業振興を目的とする外部資金等の獲得が順調である。

多摩テクノプラザにおいては、多摩地域の産業特性を踏まえた機器整備等を行うとともに EMC サイトが公設試験研究機関で初めて電磁環境試験所認定センター（VLAC）試験所認定を取得したことなどから利用者が増加している。また、城南支所では、航空機産業・医工連携産業支援に対応するために、先端計測加工ラボを開設し、墨田支所では、高付加価値製品の開発を支援するために、生活製品開発ラボや生活空間計測スタジオを整備しており、いずれも順調に実績を上げている。こうした支所の取組は、地域の産業特性や産業の成長性を踏まえて適時的確に対応しており高く評価できる。更に、平成 27 年度より本格的に取組を開始したロボット産業活性化事業や金属粉末積層造形機の機器利用は、これからの需要増が見込め、今後の事業展開に期待する。

## 7.4 施設整備

都内中小企業の技術の向上とその成果の普及を図る上で、事業実施のために必要となる施設の整備を行った。

本部においては、平成28年4月から5ヶ年の第三期中期計画の実施にあたり各種施設整備を実施した。

### 7.4.1 本部

施設整備・修繕工事 合計52件

- ① 2C17 照明開発ラボ改修
- ② 4S02 他機械設備整備
- ③ 3C19 アパレルデザイン室改修
- ④ 3C19 ほか電気設備改修
- ⑤ 1E01 圧縮空気配管・給水管改修
- ⑥ 3C19 排気設備増設
- ⑦ 3C21 局所排気設備増設
- ⑧ 倉庫可動棚等設置
- ⑨ 執務室照明自動点消灯制御工事
- ⑩ 執務室解錠用カードリーダー増設
- ⑪ 3W07 レーザー加工機用排気フード増設
- ⑫ 本部 3W07・3C21 排風機電源工事
- ⑬ 音声案内追加
- ⑭ 本部 バイオG・先端S 電気設備改修
- ⑮ 本部 3C19 ほか改修
- ⑯ 本部屋上照明設備改修
- ⑰ サーバー室系統、電気室系統空調室外機修繕
- ⑱ 圧縮空気配管分岐・その他
- ⑲ 空調機・送風機モーターベアリング交換
- ⑳ シャワー室系統ガス湯沸器修繕
- ㉑ 本部 2S01 排気ダクト結露対応
- ㉒ 厨房系統ガスメーター交換
- ㉓ 実験装置転倒防止対策工事
- ㉔ 環境放射能実験室コンセント増設
- ㉕ 第2非破壊検査室立上り壁構築
- ㉖ 車路管制設備修繕
- ㉗ 雑用水滅菌装置残留塩素計センサー交換
- ㉘ 定風量ユニットセンサー交換
- ㉙ 滴下浸透気化式加湿器電磁弁交換
- ㉚ 会議室531 煙感知器交換
- ㉛ 高電圧実験室床補修
- ㉜ 本部ガス漏れ検知器交換
- ㉝ 電気機器実験室据置棚移設その他
- ㉞ 高所作業台修理
- ㉟ 東京イノベーションハブ防火シャッター改修
- ㊱ 東京イノベーションハブベルトパーテーション設置
- ㊲ 屋外業務案内サイン改修
- ㊳ 液体窒素発生装置警報盤保安電源交換
- ㊴ 空調機用加湿配管漏えい部修繕
- ㊵ 幹部室ブラインド取付
- ㊶ 理事長室照明スイッチ増設
- ㊷ セクションネームプレート改修
- ㊸ エントランスホール壁面改修
- ㊹ 監視カメラサーバーソフトウェアライセンス変更
- ㊺ サーバー電源仮設工事
- ㊻ エントランスホール2階ロールスクリーン設置
- ㊼ 東京ロボット産業支援プラザ壁解体部内装整備
- ㊽ 東京ロボット産業支援プラザOAフロア改修
- ㊾ 東京ロボット産業支援プラザ1階洗浄室流し台増設
- ㊿ 東京ロボット産業支援プラザ手元開閉器盤設置
- ① 東京ロボット産業支援プラザ加工エリア等整備建築
- ② 東京ロボット産業支援プラザ加工エリア等整備電気設備

### 7.4.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計18件

- ① 2階大会議室床等補修
- ② 精密測定室用空調機修繕
- ③ 冷温水発生機の修繕
- ④ 排水処理装置の修繕
- ⑤ 湧水槽のポンプ交換修繕
- ⑥ 誘導灯改修
- ⑦ 1階トイレ照明器具の取替修繕
- ⑧ 駐車場床修理



- ⑨ 1階トイレ（男女共）照明器具の取替修繕
- ⑩ デザイン室蛍光灯器具修繕 ⑪ 電気室ブレーカー・ヒューズの交換修理
- ⑫ 1階トイレドア修繕 ⑬ 2階男子トイレ修繕
- ⑭ 1階女子トイレ修繕 ⑮ 1階トイレ等取替修繕
- ⑯ 電話交換機交換 ⑰ 冷却水配管漏水修繕 ⑱ 照明設備改修

#### 7.4.3 墨田支所 生活技術開発セクター

施設整備・修繕工事 合計6件

- ① 衛星携帯電話移設 ② 貯湯槽温度コントローラーの修理
- ③ 業務用ガス遮断装置取替え ④ 冷水配管断熱保温材交換
- ⑤ クリーニング試験室バルブ不具合修繕 ⑥ VPN ルーター交換

#### 7.4.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計3件

- ① クリーンルーム CR-2 の空調設備の修理
- ② クリーンルーム CR-4 異常表示緊急対応およびVベルト交換修理
- ③ クリーンルーム CR-2 空調設備自動制御盤内の不具合部品交換修理

#### 7.4.5 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計22件

- ① EMC サイト空調ダクト結露防止対策工事 ② D棟 GH 室外機の圧縮機の取替
- ③ A棟冷温水ポンプインバーター取替 ④ 動力制御盤用冷却ファン取替
- ⑤ A・B・D棟受変電設備冷却ファン取替 ⑥ A棟倉庫湧水ポンプ取替
- ⑦ A棟屋上ラボ用外調機加湿機電磁リレー取替 ⑧ B棟工事に伴う電話復旧
- ⑨ 緊急地震速報システムバッテリー交換 ⑩ D棟電話交換機蓄電池取替
- ⑪ 落雷によるB棟電話復旧 ⑫ B棟警備室点検口の設置 ⑬ ゴミ置場照明器具改修
- ⑭ 植栽剪定 ⑮ ボンベ転倒防止取付 ⑯ 材料強度試験室温湿度センサー取替他
- ⑰ A棟屋上ラボ用パルス信号ケーブル設置 ⑱ 東側外溝植栽剪定
- ⑲ D棟2階ホール照明器具取替およびA棟コンセント設置
- ⑳ 自動火災警報装置蓄電池および誘導灯ランプ取替
- ㉑ 熱交センサー取替 GH 室外機定期点検 ㉒ 節電スイッチボックス取付

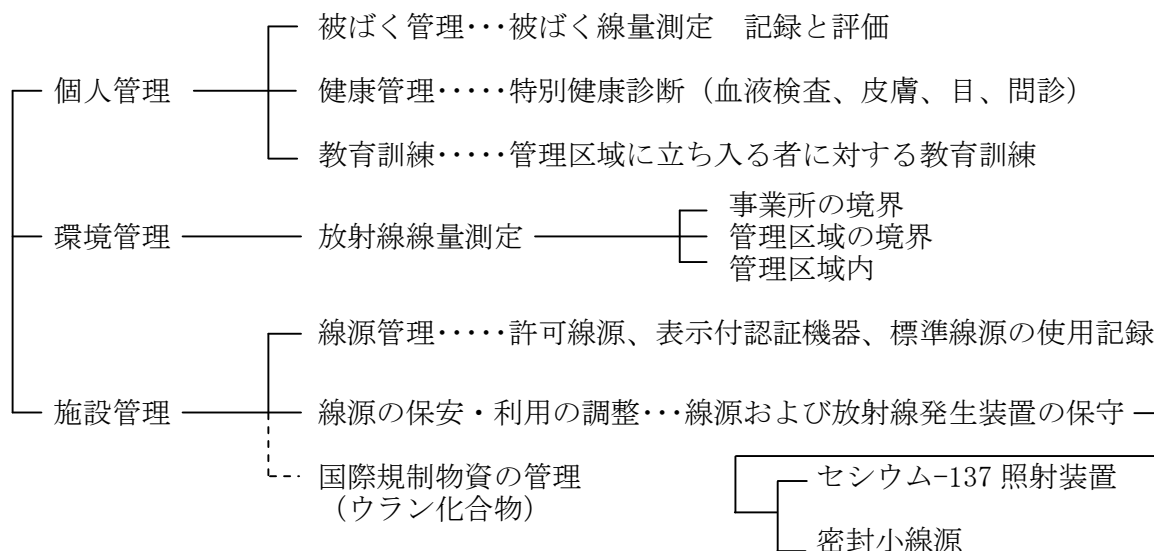
※城東支所、城南支所、多摩テクノプラザは、東京都から建物管理を受託しており、受託費により施設整備を行っている。

## 7.5 安全衛生管理

### 7.5.1 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射線障害防止法関連法令の規定に基づく個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

#### (1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



#### (2) 本部における放射線施設の概要

##### 1) 使用許可 平成 23 年 1 月 17 日付許可済み（許可証番号 使第 5725 号）

許可内容

放射線管理区域：第一非破壊検査室、第二非破壊検査室

許可線源：4 種（6 個）

ガンマ線照射装置（Cs-137:81.4 TBq×3 個）

（未保有）密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq）

（平成 29 年 3 月現在）

##### 2) 表示付認証機器（平成 23 年 10 月 27 日届出）

ガンマ線標準照射線量線源 Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq

ガスクロマトグラフ用線源 Ni-63:370 MBq

#### (3) 個人管理

##### 1) 被ばく管理

##### ① 放射線管理対象者

単位：人

	職 員	外来者	合 計
放射線業務従事者	24	0	24
一時立入者	4	519	523
合 計	28	519	547

② 被ばく測定結果

全員 0.1 ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度 放射線業務従事者： 50 ミリシーベルト/年  
 100 ミリシーベルト/5年  
 一時立入者： 1 ミリシーベルト/年

2) 放射線健康診断

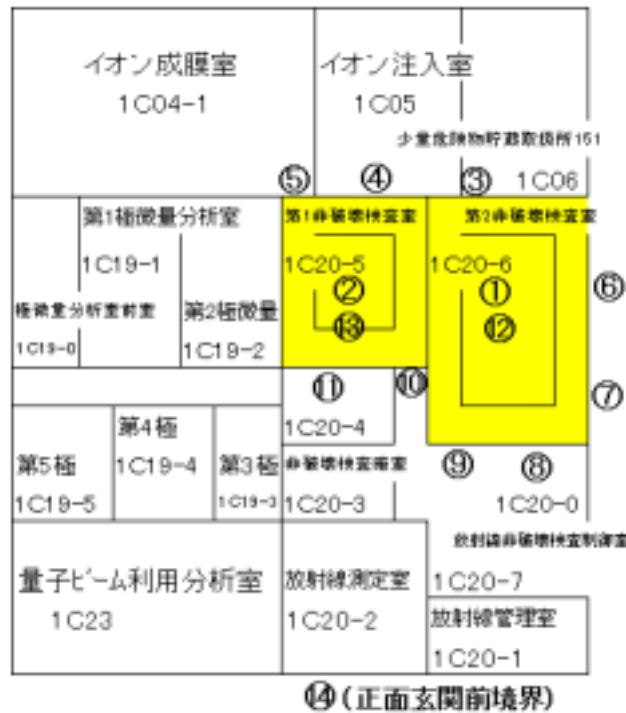
放射線業務従事者を対象に法定項目について実施したところ、全員異常は認められなかった。

3) 教育訓練

- ① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・2人
  - ② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・22人
- 訓練内容
- ・放射線の基礎
  - ・放射線安全取り扱いに関する法律
  - ・放射線の人体影響
  - ・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置を稼働状態にして、管理区域内（下図①、②）、管理区域境界（③～⑬）、事業所境界（⑭）における1センチメートル線量当量率を測定した。測定結果はいずれの月も測定点①～⑬については0.5マイクロシーベルト/h以下、⑭については0.1マイクロシーベルト/h以下であった。



- 上階(研修室243)右
- 上階(研修室243)左
- 放射線管理区域

## 【参考】

- (1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：  
実効線量で1ミリシーベルト/週（40 h）＝25マイクロシーベルト/h
- (2) 管理区域の境界における線量限度：  
実効線量で1.3ミリシーベルト/3月（40 h×13週）＝2.5マイクロシーベルト/h
- (3) 事業所の境界における線量限度：  
実効線量で250マイクロシーベルト/3月＝0.116マイクロシーベルト/h
  
- (5) 線源などの使用管理
  - 1) 線源等の搬入および搬出：実績なし
  - 2) 線源等使用状況

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	42	56	98
表示付認証機器（ガンマ線源）	0	53	53
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

## (6) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施し、安全が確保されていることを確認した。

- ① 線源等使用者による始業・終業時における日常点検（毎日）
- ② 線源の保管状況の点検（毎週）
- ③ 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6月ごと）
- ④ 地震（震度4以上）直後の安全点検（平成28年度は該当なし）

## (7) 法定検査受験状況

放射線障害防止法に基づく立入検査（不定期）および定期検査・定期確認（5年ごと）を受験した。

### 1) 立入検査

検査機関：原子力規制委員会原子力規制庁 放射線対策・保障措置課 放射線規制室

検査日：平成28年6月29日

検査結果：放射性同位元素使用室等において、所定の標識および放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示が不適切である旨の指摘があった。

改善状況：適切な位置に標識を移動し、放射線障害の防止に必要な注意事項を掲示した。

### 2) 定期検査・定期確認

検査機関：登録検査機関 公益財団法人原子力安全技術センター

検査日：平成28年8月4日

検査結果：法令で定める基準に適合しており、問題はない。

検査結果に基づき、検査合格証および定期確認証が交付された。

## 7.5.2 安全衛生管理

### (1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

### (2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

### (3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

#### <安全衛生推進部会>

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| ①技術支援部・ロボット推進事業部会 | ⑤城東部会       |
| ②開発第一部会・第二部会      | ⑥墨田部会       |
| ③開発第三部・技術開発支援部会   | ⑦城南部会       |
| ④企画・総務部会          | ⑧多摩テクノプラザ部会 |

#### 【構成員】

##### ・部会長

①～④：各部の部長、室長、上席研究員、課長の中から1名選出

⑤～⑦：各支所長

⑧：多摩テクノプラザ 総合支援課長

##### ・安全衛生推進員

①～④：各部内の室・グループ・セクター・課ごとに1名ずつ選出

⑤～⑦：各支所の管理係から1名、技術支援係（放射線安全係）から1～3名程度選出

⑧：総合支援課から1名、電子・機械グループ、複合素材開発セクターから1名ずつ選出

##### ・その他部会長が指名した者

#### 【活動内容】

・月1回以上、安全衛生推進部会を開催

・災害ポテンシャルの摘出と排除を実施

・安全衛生上の課題検討と排除を実施

### (4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

### (5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、ストレスチェック、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した(6月1日～30日、10月1日～31日)。平成28年度は全職員対象に「階段等の積極的な活用」を推奨し、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

管理職向け・一般職向けのストレスマネジメント研修を行った。また、管理職向け研修「ストレスチェック制度の活かし方」を行った。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室等で安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

### 7.5.3 リスクマネジメント

平成27年度に制定した「中期計画(平成28～32年度の5ヶ年計画)」に基づき、リスクマネジメント活動を実施している。

平成28年度は、平成25年度に制定した都産技研事業継続計画(BCP)地震編の内容を全体的に見直して改訂するとともに、城南支所の被災を想定した対応策を追加した。

## 7.6 情報開示

「東京都情報公開条例」(第二条)、「東京都個人情報の保護に関する条例」(第二条)に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター個人情報の保護に関する要綱」を制定・施行している。

平成28年度は、情報公開請求0件、個人情報の開示請求0件であった。

## 資 料

### 1 沿革

大正10年10月	東京府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
大正13年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
昭和 2年 3月	東京府立染色試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
昭和34年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
昭和45年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
平成 3年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
平成 8年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
平成 9年 4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足
平成12年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
平成14年 4月	多摩中小企業振興センター発足
平成18年 4月	城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
平成22年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
平成23年 3月	駒沢支所閉鎖
平成23年 9月	西が丘本部閉鎖
平成23年10月	本部（江東区青海）開設
平成27年 4月	バンコク支所開設

## 2 施設

1) 本部 (平成 23 年 10 月 3 日業務開始)

所在地 東京都江東区青海二丁目 4 番 10 号

敷地面積 14,519.35 m<sup>2</sup>

建築面積 8,573.38 m<sup>2</sup>

延床面積 33,129.80 m<sup>2</sup> (本体建屋 : 33,032.30 m<sup>2</sup>、付属建屋 : 97.50 m<sup>2</sup>)

### 1 階

総合受付

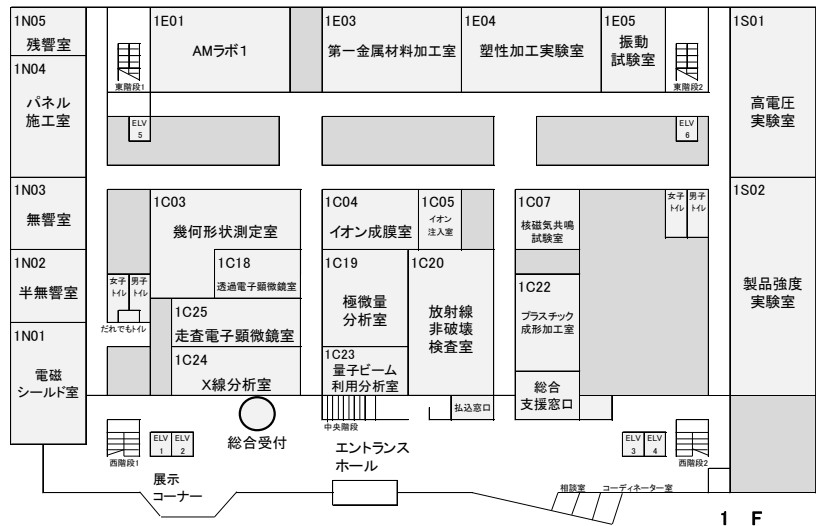
総合支援窓口

払込窓口

コーディネーター室

相談室

AM (3D プリンター) ラボ 1

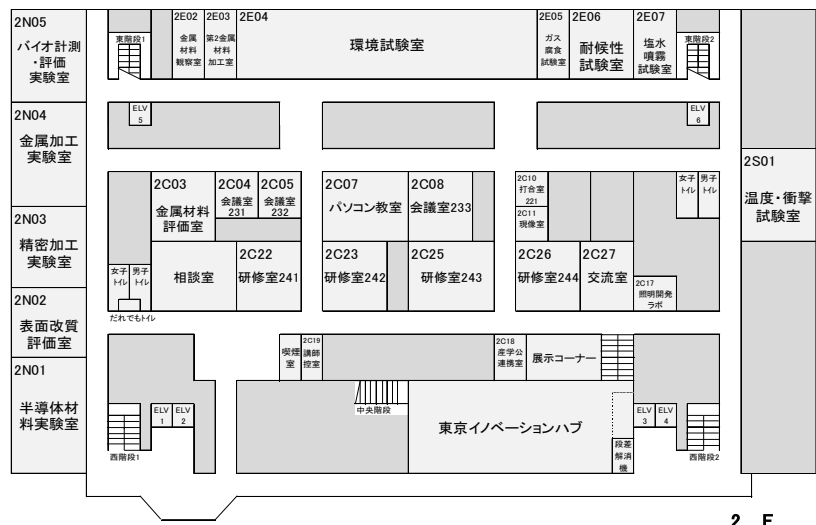


### 2 階

東京イノベーションハブ

研修室・会議室

実証試験セクター



### 3 階

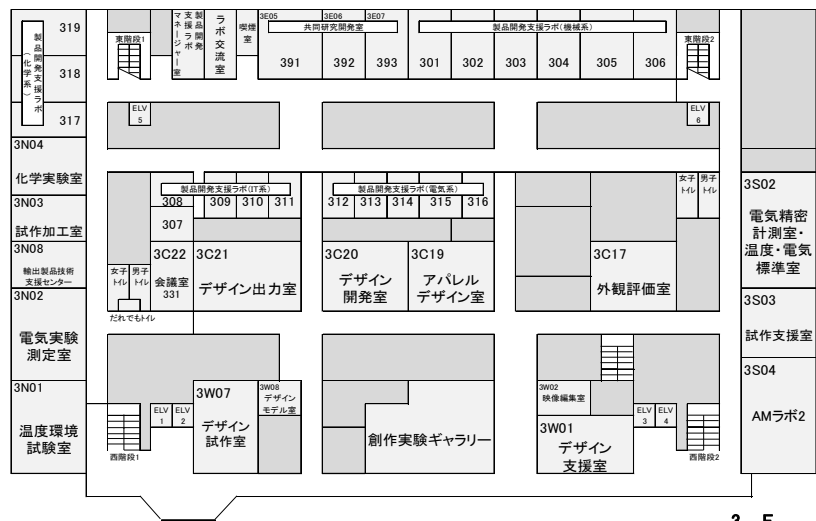
創作実験ギャラリー

製品開発支援ラボ

共同研究開発室

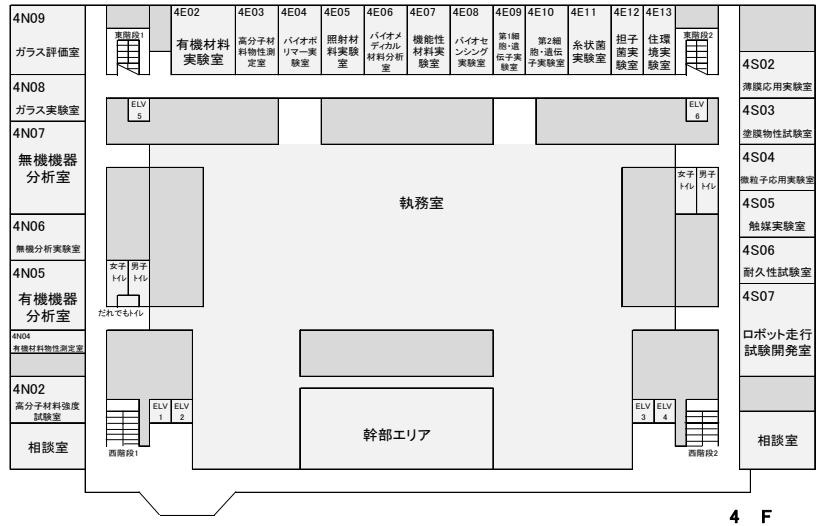
輸出製品技術支援センター

AM (3D プリンター) ラボ 2

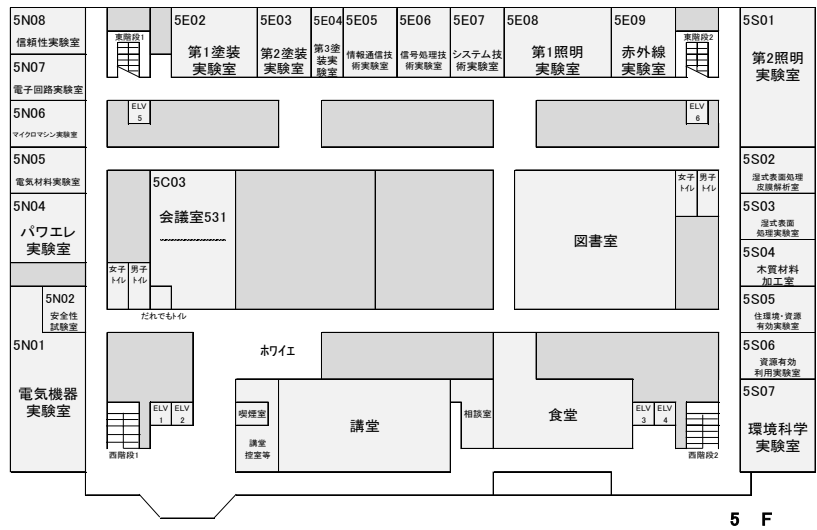




4階  
執務室  
相談室



5階  
講堂  
図書室  
会議室  
相談室  
食堂



○本部建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95 m <sup>2</sup>	機械室など
5階		6,397.80 m <sup>2</sup>	講堂、図書室、会議室、食堂など
4階		6,719.04 m <sup>2</sup>	執務室など
3階		6,352.55 m <sup>2</sup>	製品開発支援ラボ、AMラボ2など
2階		6,170.43 m <sup>2</sup>	東京イノベーションハブ、実証試験セクターなど
1階		7,081.91 m <sup>2</sup>	総合支援窓口、AMラボ1など
地階		188.62 m <sup>2</sup>	一般廃棄物処理施設など
付属建屋		鉄筋コンクリート造	97.50 m <sup>2</sup>
合計		33,129.80 m <sup>2</sup>	

<東京ロボット産業支援プラザ>

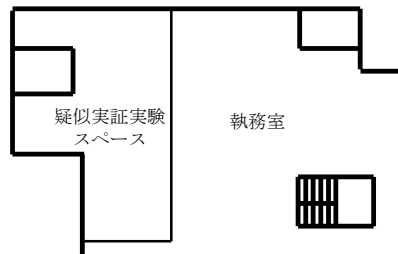
所在地 東京都江東区青海二丁目5番10号 (テレコムセンター内)

使用面積 2,334.46 m<sup>2</sup> 延床面積 158,050.18 m<sup>2</sup>

1階



2階



3階



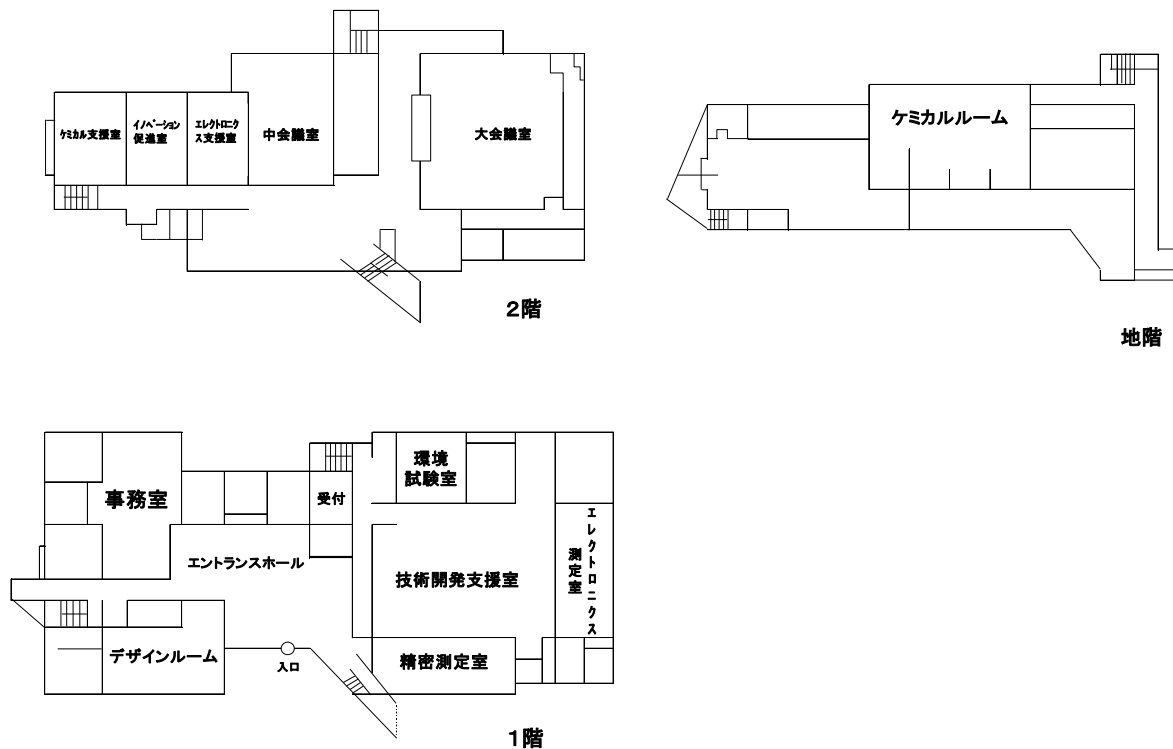
○東京ロボット産業支援プラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
1階	鉄筋コンクリート造	927.66 m <sup>2</sup>	走行試験エリア、強度試験エリア
2階	鉄筋コンクリート造	524.18 m <sup>2</sup>	執務室、疑似実証実験スペース
3階	鉄筋コンクリート造	882.62 m <sup>2</sup>	EMC試験室、試作開発室、会議室、共同研究開発室
合計		2,334.46 m <sup>2</sup>	

2) 城東支所

所在地 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号（城東地域中小企業振興センター内）

使用面積 1,564.82 m<sup>2</sup> 延床面積 4,402.90 m<sup>2</sup>



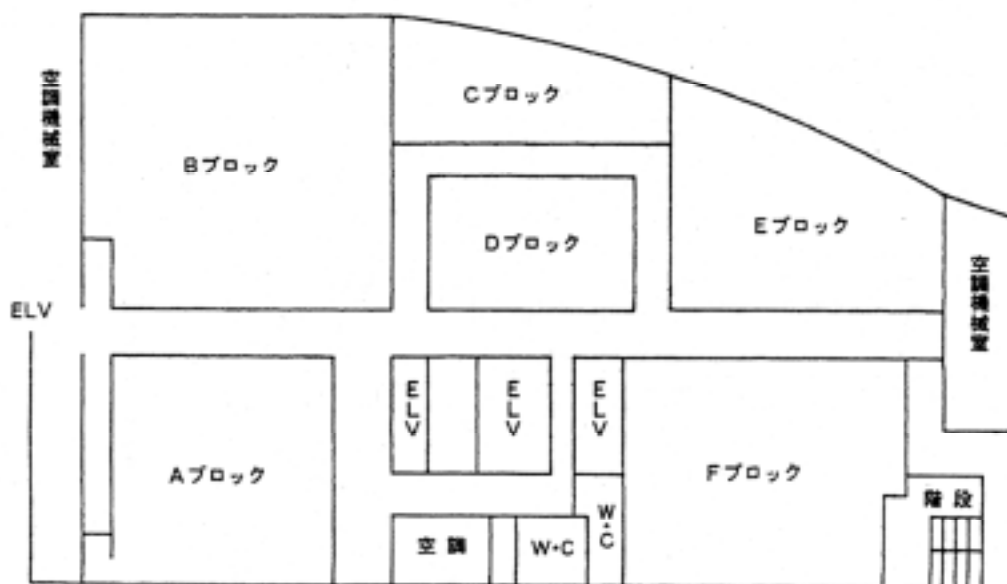
○城東支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	182.00 m <sup>2</sup>	ケミカルルーム
1階	鉄筋コンクリート造	728.80 m <sup>2</sup>	事務室、デザインルーム、技術開発支援室、エレクトロニクス測定室、精密測定室、環境試験室
2階	鉄筋コンクリート造	654.02 m <sup>2</sup>	大会議室、中会議室、エレクトロニクス支援室、イノベーション促進室、ケミカル支援室
合計		1,564.82 m <sup>2</sup>	

3) 墨田支所 生活技術開発セクター

所在地 東京都墨田区横網一丁目6番1号 (国際ファッションセンタービル12階)

使用面積 1,920.02 m<sup>2</sup> 延床面積 47,565.60 m<sup>2</sup>



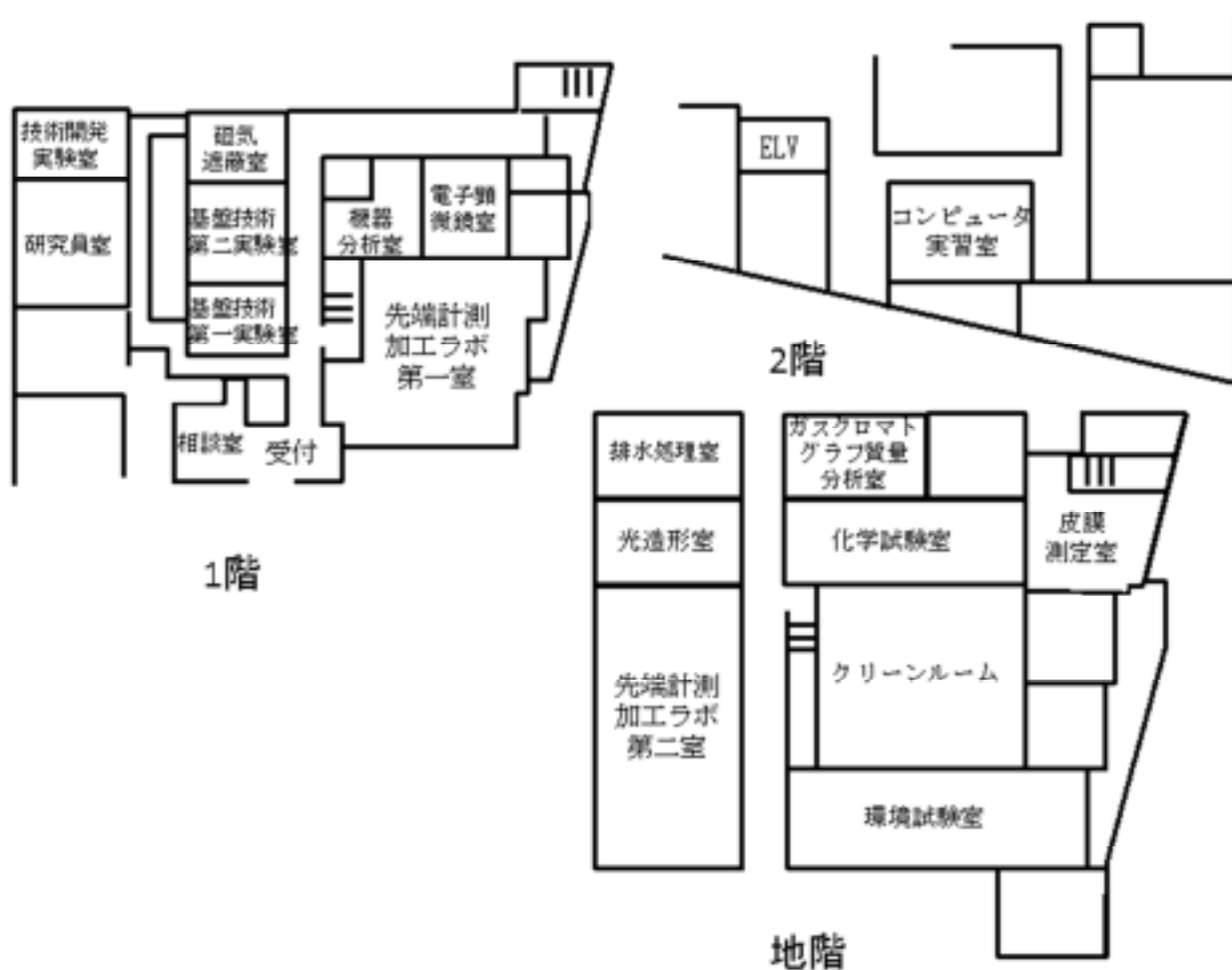
○墨田支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨	296.46 m <sup>2</sup>	総合受付、相談コーナー、図書室、応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨	417.65 m <sup>2</sup>	生活空間計測スタジオ、生活製品開発ラボ、染色加工試験室、品質評価試験室、安全技術評価室、耐光性試験室、クリーニング試験室
Cブロック	鉄骨	118.62 m <sup>2</sup>	高度観察システム室、生活科学試験室
Dブロック	鉄骨	123.00 m <sup>2</sup>	恒温恒湿室、官能検査室、デザイン室
Eブロック	鉄骨	218.31 m <sup>2</sup>	被服科学試験室、生活環境試験室、日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨	310.49 m <sup>2</sup>	執務室、アパレル設計室
その他		435.49 m <sup>2</sup>	通路、空調機械室など
合計		1,920.02 m <sup>2</sup>	

4) 城南支所

所在地 東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号 (城南地域中小企業振興センター内)

使用面積 2,668.52 m<sup>2</sup> 延床面積 8,054.61 m<sup>2</sup>



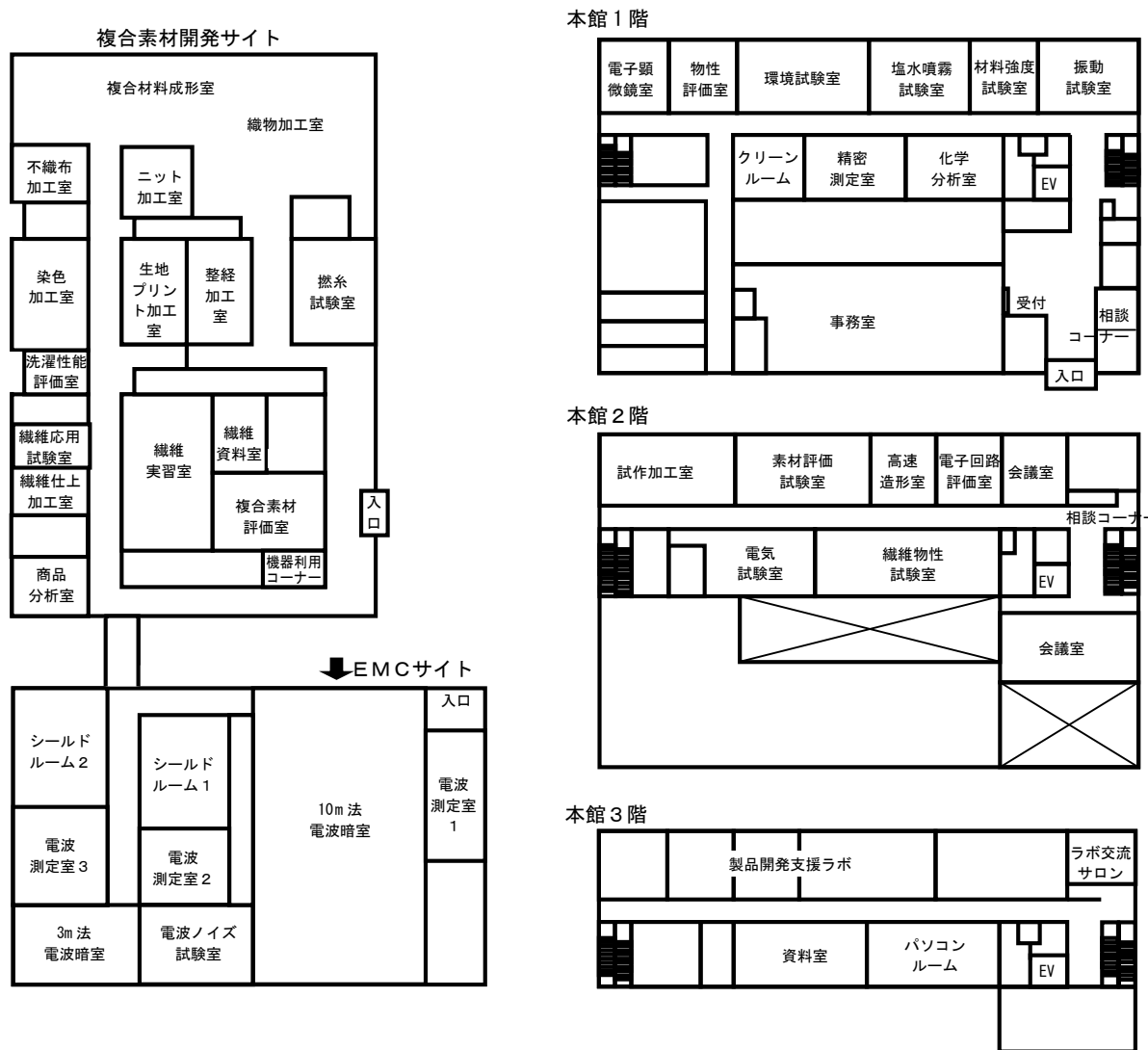
○城南支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66 m <sup>2</sup>	先端計測加工ラボ第二室、光造形室、ガスクロマトグラフ質量分析室、化学試験室、皮膜測定室、クリーンルーム、環境試験室
1階	鉄筋コンクリート造	1,292.68 m <sup>2</sup>	受付、先端計測加工ラボ第一室、電子顕微鏡室、機器分析室、磁気遮蔽室、各種実験室、研究員室
2階	鉄筋コンクリート造	108.24 m <sup>2</sup>	コンピュータ実習室
3階	鉄筋コンクリート造	246.94 m <sup>2</sup>	事務室他
合計		2,668.52 m <sup>2</sup>	

5) 多摩テクノプラザ

所在地 東京都昭島市東町三丁目6番1号 (産業サポートスクエア・TAMA 内※)

使用面積 6,120.10 m<sup>2</sup> (産業サポートスクエア・TAMA 延床面積 9,258.64 m<sup>2</sup>)



○多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館 (A棟)	鉄筋コンクリート造 地上3階建	3,353.53 m <sup>2</sup>	事務室、振動試験室、環境試験室、塩水噴霧試験室、精密測定室、電子顕微鏡室、化学分析室、高速造形室、素材評価試験室、会議室、製品開発支援ラボ
複合素材開発サイト EMCサイト (B棟)	鉄骨造 地上1階建	2,766.57 m <sup>2</sup>	染色加工室、複合材料成形室、複合素材評価室、繊維実習室、10m法電波暗室、3m法電波暗室、シールドルーム、電波ノイズ試験室
合計		6,120.10 m <sup>2</sup>	

※C棟：東京都商工会連合会

D棟：(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社

### 3 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価を行う。平成28年度、試験研究分科会が5回開催された。

#### ○平成28年度試験研究分科会開催概要

	開催年月日	概 要
第1回	平成28年6月28日	・平成27年度および第二期中期目標期間の業務実績報告について都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第2回	平成28年7月21日	・平成27年度および第二期中期目標期間の業務実績評価(案)について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第3回	平成28年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度業務実績評価(案)について事務局から説明し、評価案のとおり決定した。</li> <li>・第二期中期目標期間業務実績評価(案)について事務局から説明し、評価案を分科会の決定とし、評価委員会に諮ることとした。</li> <li>・平成27年度財務諸表および利益処分(案)について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。</li> <li>・第二期中期目標期間終了に伴う積立金処分(案)について事務局から説明し、処分案を分科会の決定とし、評価委員会に諮ることとした。</li> </ul>
第4回	平成29年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三期中期計画の変更(案)について事務局から説明し、意見聴取した。</li> <li>・第三期中期目標期間における業務実績評価方法について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。</li> </ul>
第5回	平成29年3月6日	・平成29年度年度計画について都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。

## 4 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

都産技研が社会において活動していく上で、法人の考え方や姿勢を明確にするために、基本理念とその理念を実現するための行動指針ならびに行動基準を「憲章」として、平成19年12月1日に策定した。役職員に憲章を印刷したカードを携帯させ、都産技研全体のものとする活動を進め、憲章の精神を実現するために精励して業務に取り組んでいる。

### 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

「明日の暮らしと産業を支えるために」

#### <基本理念>

##### －私たちの使命－

産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です

##### －私たちの理想－

地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です

##### －私たちの信条－

すべての人々の喜びと安心を大切に、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です

#### <行動指針>

私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します

1. 誠実であり続けます（誠実）
  2. 科学技術で社会に貢献します（技術）
  3. 環境保護に取り組みます（環境）
  4. 活気に満ちた健全な職場をつくります（活力）
  5. 自らの向上に努めます（研鑽）
  6. 適正に業務を行います（適正）
  7. 情報を適切に取り扱います（情報）
- 役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します



## 5 環境方針

都産技研は環境に配慮した業務運営の指針となる環境方針を、平成 21 年 1 月 1 日に制定した。環境にとって良い活動やサービスの提供、継続的取り組み、環境負荷の低減、法令遵守、環境目標などについて、それを行う意思を明らかにした。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター環境方針  
「技術の力で環境改善と産業の発展を支えます」

< 基本理念 >

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、健康で安全な環境と持続的発展可能な社会を次世代に継承するため、環境への配慮を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、日々の努力と英知をもって環境改善に取り組みます。

< 基本方針 >

1. 環境負荷の低減、環境改善につながる研究開発・技術支援を積極的に行います。
2. 省資源・省エネルギー化を推進し、CO<sub>2</sub>と廃棄物の削減に努めます。
3. 職員全員の環境問題に関する意識の向上を図ります。
4. 環境に関する法令、条例、規則等を遵守します。
5. 環境目標を策定し、定期的な見直しを行うことにより、継続的に改善を進めます。

この環境方針を内外に公表し、都民・中小企業の理解と協力を得ながら実施していきます。

## 6 リスクマネジメントに関する基本方針

都産技研におけるリスクマネジメントに関して必要な事項を定め、リスク顕在化防止および危機対応等を行い、都産技研の事業運営の堅実化およびステークホルダーの損失の最小化を図るため、平成23年1月23日、リスクマネジメントに関する基本方針を制定した。

### リスクマネジメントに関する基本方針

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、都内中小企業のニーズに対応した技術支援を行い、もって都民生活の向上に寄与するために、都民の皆様からのご理解と高い信頼が得られるよう、高品質な経営の確立を目指します。

適正かつ効率的な経営を実現するために、都産技研は有効な内部管理体制を構築し、事業に関連する危機及び災害などの様々なリスクに対応するためのリスクマネジメントに関する体制を整備し、その充実、強化に努めていきます。

リスクとは、それが顕在化することによって、事業目的の達成に望ましくない影響を与える可能性、または可能性のある要因と定義します。

都産技研のリスクマネジメントは、以下の事項を達成目標として活動します。

1. 役職員一人ひとりが、高い業務品質の維持・改善を通じて、リスクの顕在化防止に努めます。（品質）
2. リスクを特定、評価し、適切に対策を行うことでリスクの顕在化を未然に防ぎます。（防止）
3. リスクが顕在化した場合は、責任ある行動により、被害の最小化及び速やかな回復を図ります。（回復）
4. リスクマネジメントを通じて、リスク対応能力の継続的向上を図ります。（向上）
5. 都産技研に関係する全ての人や組織の安全及び健康に配慮した業務を行います。（安全）
6. 高い倫理感を持って業務を遂行し、法令、規程類及びそれらの精神を理解し遵守します。（遵守）

理事長はリスクマネジメント活動の責任者として、これを統括します。

都産技研では、以上の方針及びリスクマネジメントに関係する諸規程に基づき、リスクマネジメントを確実に実行することで、都内中小企業への技術支援に貢献してまいります。

## 7 第三期中期計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 26 条の規定に基づき、東京都知事から指示を受けた平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を、以下のとおり定める。

都産技研は、平成 18 年 4 月地方公設試験研究機関で初めて地方独立行政法人化し、デザインセンターや企業の要望に応じたオーダーメイド型の支援事業を新たに展開するなど事業の幅を広げるとともに、こうした技術支援に適した組織変更を行うなど、法人の経営判断に基づく機動性の高い組織運営や柔軟かつ迅速な業務運営を積極的に推進し東京の産業の発展と都民生活の向上に寄与してきた。

第二期中期計画期間では、平成 23 年度江東区青海に開設の本部において高度な技術開発に対する支援を新たに開始するなど事業を拡充・強化して都内中小企業の製品化や事業化などものづくり中小企業の総合的支援を行った。

第三期中期計画期間では、第二期中期計画期間で得られた事業成果を有効活用しつつ、研究開発活動によって東京の成長産業支援を図るとともに、開発型中小企業支援をより充実させる。第二期に開設した広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）事業並びに海外拠点事業により、都内中小企業の海外展開等に対する技術支援をさらに推し進めていく。

具体的には、

### 1 研究開発活動による東京の成長産業支援

東京の将来の活力を支える成長産業分野である「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の 4 分野の研究開発活動によって中小企業の新事業への展開などを促進する。また、今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を推進する。

### 2 プロダクトイノベーションの推進による開発型中小企業の支援

3D デジタル技術を活用した高度なものづくり支援及び新製品開発の要となる材料技術開発を支援する。また、急激に発展する技術革新に対応する取組として、開発期間の短縮を求められている都内中小企業に対し効率的な製品開発ができる場を提供することにより、製品開発や事業化のスピードアップに貢献する。

### 3 中小企業の海外展開を支える技術支援

経済のグローバル化等への中小企業の対応を支援するため、国際規格に即した製品開発等に関する情報提供や相談体制の確保に努めるとともに、海外展開する中小企業に対する現地技術支援を進め、都内中小企業の国際競争力の強化や海外展開に貢献する。

#### 4 多様な機関との交流連携の推進

産学公連携によって中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を推進する。公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の技術支援を実施する。中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。

#### 5 高度な産業人材の育成

新製品・新技術開発、高度化する研究開発や製造技術において、ものづくりの上流工程である製品の企画・設計を担う中小企業の技術者の育成を行う。中小企業の海外展開事業必須となるグローバル人材の育成に着手する。

### I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

##### 1-1 基盤研究

機械、電気・電子、情報、化学、バイオ等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の充実、都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される4つの技術分野を重点として、新産業育成を図る研究に取り組む、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

##### ア) 環境・エネルギー分野

大都市特有の課題である環境浄化に関する技術開発に取り組み、国際競争力を有する環境浄化技術を開発するとともに、再生可能エネルギーなどの研究開発により新エネルギー創出に貢献する。

##### イ) 生活技術・ヘルスケア分野

感性工学などに基づいた生活技術を応用して、サービス産業の支援を行う。東京に集積している健康・医療・福祉機器産業に対して、先端技術を活用した研究開発によって支援を行う。

##### ウ) 機能性材料分野

幅広い産業への波及効果が高い高機能性材料の開発に取り組み、航空機産業や素材産業などの成長産業に対する中小企業の参入を支援する。

##### エ) 安全・安心分野

システム安全に基づいた高信頼性技術の開発を行い、製品の安全性向上を支援する。少子高齢化社会で必要となるサービスロボットの安全性評価技術を開発し、信頼性の高いロボット開発を支援する。

基盤研究の成果は、都産技研の技術レベルの向上、対応技術分野の充実、新たな依頼試験項目の追加など中小企業への技術支援につなげていくほか、中小企業との共同研究の実施や外部資金導入研究にも発展させていく。基盤研究の成果を基に、事業化・製品化された件数、共同

研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、第三期中期計画期間中に 100 件を目標とする。

## 1-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組む。共同研究の実施により、第三期中期計画期間中に製品化又は事業化に至った件数については、33 件を目標とする。

共同研究機関の共同研究による製品化・事業化を把握できる仕組みを導入する。

## 1-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。外部資金を導入した研究・調査を実施した成果をもって、中小企業のニーズや社会的ニーズの解決に応じていく。外部資金導入研究・調査の採択件数については、第三期中期計画期間中に 70 件を目標とする。

## 1-4 ロボット産業活性化事業

今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を実施し、中小企業や大学との共同研究を通じた事業化・産業化を推進する。また、ロボット産業の活性化に必要な産業人材を育成する。

## 1-5 生活関連産業の支援

クールジャパン製品に代表されるように、生活関連製品の付加価値向上の重要性が増していることから、感性工学など新たな産業技術にもとづく開発促進および製品評価に係る技術支援サービスを実施する。

## 2 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

### 2-1 技術的課題の解決のための支援

#### (1) 技術相談

ものづくりの基盤的技術分野の技術支援ニーズのみならず、環境、生活技術、安全・安心など都市課題の解決に向けた幅広い技術支援に取り組む。

本部に設置した総合支援窓口の取組みを継続し、複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を図り、お客様へのワンストップサービスを継続する。

中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。都産技研が保有していない技術分野の相談があった場合は、専門家への委嘱あるいは他の試験研究機関や大学へ紹介するなどお客様の利便性向上に努める。

技術相談件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 120,000 件を目標とする。

## (2) 依頼試験

製品の品質・性能証明や事故原因究明など都内中小企業の技術的課題の解決及び高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図るとともに、効果的な技術的アドバイスを実施する。JIS等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。

膨大かつ多様な試験ニーズに対応するため、首都圏公設試験研究機関連携体（以下「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携し、お客様の相互紹介を行うなどのサービスを実施する。

中小企業の海外取引の拡大や高度化する製品開発に伴って必要となる品質証明に関するニーズに対応し、公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。試験所認定を受けた登録分野の技術支援を実施することで、依頼試験の高品質化を進める。

高付加価値な製品の開発に必要な高度かつ多様な試験ニーズに対応するため、試験項目の追加等を適宜行うとともに、全国の公設試験研究機関にはない都産技研の特徴ある技術分野（非破壊透視試験、音響試験、照明試験等）については、試験精度の向上や試験内容の充実を図るなど一層高品質なサービスの提供に努める。都産技研の特徴ある技術分野が依頼試験全体に占める割合については、第三期中期計画期間の最終年度である平成32年度の年間実績で23%を目標とする。

## 2-2 開発型中小企業の支援

### (1) 機器利用サービスの提供

中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器の直接利用のサービスを提供する。利用に際しては、職員の豊富な知識を活かして、的確な機器利用に関する指導・助言を行う。

高度な先端機器についても、利用方法習得セミナーを開催して機器利用ライセンスを発行する制度により、中小企業の機器利用の促進を図る。

都産技研ホームページ（以下、「都産技研 HP」という。）を活用し、利用可能情報を提供するなど、機器利用に際しての利便性向上を図る取り組みを継続する。

### (2) 高付加価値製品の開発支援

アディティブマニュファクチャリング設備による試作・製作支援、三次元 CAD データ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うための「3D ものづくりセクター」を開設し、3D 技術やリバースエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。「3D ものづくりセクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成32年度の年間実績 21,100 件を目標とする。

機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置した「先端材料開発セクター」を開設し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。「先端材料開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成32年度の年間実績 7,600 件を目標とする。

産業用繊維や炭素繊維などの複合素材の開発を支援するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発セクター」を開設し、成長産業へ参入を希望する中小企業の支援を行う。「複合素材開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 19,500 件を目標とする。

中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を実施し、新製品や新技術の開発を支援する。オーダーメイド開発支援の件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 450 件を目標とする。

新製品・新技術開発を目指す中小企業の研究・実験スペースへのニーズに対応するため、本部の製品開発支援ラボ 19 室に加えて多摩テクノプラザの製品開発支援ラボ 5 室を引き続き利用に供する。

共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を 3 室設置し、共同研究の成果を活用した迅速な製品の開発を促進する。

### (3) 製品の品質評価支援

中小企業の安全で信頼性の高い製品開発のために必要な温湿度、振動、衝撃、劣化、ノイズ等の試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用を一貫して支援することができるよう、環境試験機器を「実証試験セクター」に集約し、迅速かつ効率的な試験サービスを提供する。

「実証試験セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 48,000 件を目標とする。

## 2-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1) 技術経営への支援

中小企業が自社の「技術力」を強力な経営基盤として活用し、戦略的な事業展開や技術経営手法の導入等に活かしていけるよう、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）などの経営支援機関と連携して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

都産技研の成果として蓄積した優れた新技術や技術的知見を、中小企業の技術開発や製品開発に活かすため、知的財産権の出願やそれらを活用する使用許諾を推進する。第三期中期計画期間中に都産技研の知的財産権を中小企業等へ実施許諾する件数については、30 件を目標とする。

### (2) 技術審査への貢献

東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

公的試験研究機関として公平・公正・中立な審査を効率的に行えるよう、学会や展示会などでの最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

## 2-4 中小企業の海外展開を支える技術支援

### (1) 国際規格対応への支援

中小企業が製品輸出や海外進出などを行う際に、相手国の規格への適合性を確認するための測定や分析の必要性などの情報が中小企業に十分に提供されていない現状を踏まえ、国際規格に関する相談や国際規格の動向に関するセミナーを実施し、海外展開を目指す都内中小企業を支援する。

中小企業の海外展開等で必要となる国際規格に対応した試験により都内中小企業の海外展開支援をすすめる。第三期中期計画期間の最終年度である平成32年度の年間実績4,000件を目標とする。

### (2) 海外支援拠点による支援

今後の市場拡大が期待される海外に展開する中小企業に対し現地技術支援を実施するとともに、海外の現地情報を都内中小企業へ情報提供し海外展開支援を実施する。

## 3 多様な主体による連携の推進

### 3-1 産学公金連携による支援

本部に開設した「東京イノベーションハブ」において、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催し、産学公連携支援を推進する。

公立大学法人首都大学東京（以下「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

企業同士の連携に意欲のある企業に対して、異業種交流会や技術研究会の設立支援、業界団体との業種別交流会の開催等を継続実施し、単独企業では困難な技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。

中小企業の製品開発や事業化が円滑に進むよう、金融機関など支援機関と連携した取り組みを行う。

### 3-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

区市町村やそれらの自治体が運営する中小企業支援機関が開催する展示会及びセミナーへの参加の要請や、職員派遣の要請等にきめ細かく対応することで、地域における産業振興の取組みに貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。



## 4 東京の産業を支える産業人材の育成

### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

サービス業や卸売業・小売業においても、製品の製造や品質管理に関する知識を有する人材育成が必要となっていることを踏まえ、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

### 4-3 海外展開に必要なグローバル人材の育成

中小企業が海外へ事業を展開する際には現地の経営環境や市場動向に詳しい人材の育成が必要であることを踏まえ、金融機関などの連携締結機関の情報や他の産業支援機関を活用した実践的なセミナーを実施する。

## 5 情報発信・情報提供の推進

### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、TKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

### 5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

- ・ 研究開発の成果
- ・ 保有する技術情報やノウハウ
- ・ 依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・ 産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・ 共同研究や受託研究の公募に関する情報
- ・ 最近の国内外の技術動向等に関する情報

## II 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 組織体制及び運営

#### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

都内各地の産業特性を考慮しながら、社会経済情勢や中小企業の変化する技術ニーズに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かした柔軟かつ迅速な経営判断により、組織体制を弾力的に見直していく。

#### 1-2 適正な組織運営の確保

地方独立行政法人法の主旨に則った事業経費の適切な執行管理を行うとともに、事業別のセグメント管理により、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証し、技術支援事業と研究開発事業とのバランスの取れた事業執行をめざすなど、都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定的かつ継続的に提供する適切な組織運営を実施する。

#### 1-3 職員の確保・育成

技術革新の著しい産業や技術に対し将来を見据えた中長期的な視点に立って、必要とされる技術を適時に中小企業に対して提供できるよう、大学訪問などの積極的なリクルート活動により優秀な研究職員を計画的に採用する。

地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保していく。

地方独立行政法人の任用・給与制度の特徴を活かして、公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

中小企業のグローバル化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集などを通じて国際規格の相談に対応できる職員の確保・育成に努める。

#### 1-4 情報システム化の推進・情報セキュリティ対策の徹底

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談等を実施し、お客様へのサービスの向上に努める。

海外展開を支援する海外支所とのネットワーク化を推進し、利便性及びセキュリティの向上を図る。

### 2 業務運営の効率化と経費節減

#### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案による業務内容や処理手続きの見直し等の業務改革を推進し、外部機関や専門家の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

## 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進等により、毎年度平均で前年度比一パーセントの財政運営の効率化を図る。

## III 財務内容の改善に関する事項

### 1 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

### 2 剰余金の適切な活用

的確な経営判断に基づき、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

## IV 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

## V 短期借入金の限度額

### 1 短期借入金の限度額

15 億円

### 2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借り入れの必要が生じることが想定される。

## VI 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし

## VII 剰余金及び積立金の使途

### 1 剰余金の使途

当該中期目標期間の決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

### 2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第 40 条第 1 項又は第 2 項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## VIII その他業務運営に関する重要事項

### 1 施設・設備の整備と活用

業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を確保し、先端技術への対応や省エネルギー対策を含めた総合的・長期的観点に立った整備・更新を適切に行う。

### 2 危機管理対策の推進

個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止を図るために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

健全な事業活動の確保や事故・事件の未然防止を図るため、環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

### 3 社会的責任

#### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研 HP や刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

#### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO<sub>2</sub>削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

#### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

平成 28 年度～平成 32 年度予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	30,665
(うち標準運営費交付金効率化係数対象分)	22,875
(うち標準運営費交付金効率化係数対象外分)	984
(うち特定運営費交付金分)	6,806
施設整備費補助金	50
自己収入	6,216
事業収入	3,536
補助金収入	300
外部資金研究費等	500
その他収入	1,880
積立金取崩	462
計	36,931
支出	
業務費	27,523
試験研究経費	8,124
外部資金研究経費等	500
東京緊急対策	61
ロボット産業活性化	3,603
役職員人件費	15,234
一般管理費	9,870
計	37,393

[人件費の見積り]

中期目標期間中、総額 14,823 百万円支出する。(退職手当は除く。)

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 2. 収支計画

### 平成 28 年度～平成 32 年度収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	39,548
經常費用	39,548
業務費	23,798
試験研究経費	5,062
外部資金研究経費等	500
役職員人件費	15,234
東京緊急対策	61
ロボット産業活性化	2,940
一般管理費	9,172
減価償却費	6,579
収入の部	39,548
經常収益	39,548
運営費交付金収益	27,003
事業収益	3,536
外部資金研究費等収益	500
補助金収益	50
その他収益	1,880
資産見返運営費交付金等戻入	6,331
資産見返補助金等戻入	233
資産見返物品受贈額戻入	1
資産見返寄付金等戻入	13
純利益	0
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

### 3. 資金計画

#### 平成 28 年度～平成 32 年度資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	37,393
業務活動による支出	32,969
投資活動による支出	4,424
資金収入	37,393
業務活動による収入	36,931
運営費交付金による収入	30,665
事業収入	3,536
外部資金研究費等による収入	500
補助金等による収入	350
その他の収入	1,880
前期中期目標期間よりの繰越金	462

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 8 平成 28 年度計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 26 条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の中期計画を達成するための平成 28 年度の業務運営に関する計画を、以下のとおり定める。

I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

1-1 基盤研究

機械、電気・電子、情報、化学、バイオ等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される環境・エネルギー、生活技術・ヘルスケア、機能性材料、安全・安心技術分野を重点研究として取り組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

また、第一期および第二期中の基盤研究において得られた研究成果を事業化・製品化及び共同研究への実施や外部資金導入研究の採択へ発展させる。

1-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組むとともに、成果展開へつなげる。

年度当初及び年度途中で研究テーマを公募により設定し、研究を実施する。

共同研究機関の共同研究による製品化・事業化を把握できる仕組みを試行する。

1-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。

(1) 提案公募型研究

技術開発の要素が大きい経済産業省や文部科学省などの提案公募型事業へ積極的に応募し、採択を目指すとともに、採択された研究を確実に実施する。

未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して積極的に申請する。

(2) 地域結集型研究

第二期に完了した製品化研究に基づき、これまでに得られた研究成果の事業化を推進する。

1-4 ロボット産業活性化事業

今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を実施し、中小企業や大学との共同研究を通じた事業化・産業化を推進する。

公募型研究開発事業を推進し、ロボット技術の製品化・事業化を促進する。



## 1-5 生活関連産業の支援

開発第三部を開設し、生活関連産業の付加価値向上を目的とした技術支援サービスを実施する。

## 2 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

### 2-1 技術的課題の解決のための支援

#### (1) 技術相談

中小企業等に対し、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図る。

- ①お客様への確かな技術相談を提供するため、本部の実施体制を継続する。
- ②総合支援窓口の取組みにより、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を継続する。
- ③幅広い技術相談ニーズに的確に対応するため専門相談員を設置し、中小企業の技術開発を支援する。
- ④ものづくりに関連するサービス産業等の技術分野の相談について積極的に対応する。
- ⑤中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。
- ⑥都産技研の保有していない技術については、他の試験研究機関や大学、専門知識を有する外部専門家を活用して課題の解決を図り、利用者の要望に応える。
- ⑦協定締結機関と連携した技術相談体制を継続および拡充する。
- ⑧震災による電力不足に対応するため、都内および被災地中小企業の節電や省エネルギーに関する技術相談や実地技術支援を継続実施する。

#### (2) 依頼試験

製品等の品質・性能の評価や、事故原因究明など中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。

- ①導入した機器を活用し、高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図る。
- ②JIS等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。
- ③首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携した試験実施体制を継続する。
- ④本部において、電気および温度分野の計量法認定事業者（JCSS）として試験業務を継続実施する。
- ⑤多摩テクノプラザ EMC サイトにおいて、EMC 分野の試験所認定事業者（VLAC）として試験業務を継続実施する。
- ⑥本部において、照明分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を継続実施する。また、鉄鋼分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を継続実施する。
- ⑦都産技研の特徴的な技術分野である非破壊検査、照明、音響、高電圧、ガラス技術、環境・防かび、放射線技術、高速通信、めっき・塗装複合試験、光学特性計測技術分野において、試験精度の向上や試験範囲の拡充など一層高品質なサービスを実施する。

- ⑧中小企業ニーズ及び最新の技術動向等に基づき、試験・研究設備及び機器の導入・更新を実施する。
- ⑨公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。
- ⑩震災による電力不足に対応するため、中小企業の省エネルギー、高効率化に関する製品開発を促進する依頼試験を継続実施する。
- ⑪原子力発電所の事故に伴い、工業製品等の放射線量測定試験を継続実施する。

## 2-2 製品開発、品質評価のための支援

### (1) 機器利用サービスの提供

- ①中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器利用のサービスを提供する。
- ②機器の操作方法のアドバイスや、測定データの説明、課題解決のための的確な指導・助言を行う。
- ③高度な先端機器は利用方法習得セミナーを開催して、機器利用ライセンス制度により利用可能な機器を拡張する。
- ④都産技研ホームページを活用し、機器利用可能情報の提供を継続する。また、インターネット経由での予約申し込み受付の対象機器を拡大する。
- ⑤墨田支所において、「生活技術開発セクター」を拠点とし、サービス産業等への技術支援サービスを継続する。
- ⑥城南支所において、「先端計測加工ラボ」を活用した先端ものづくり産業支援を継続する。

### (2) 高付加価値製品の開発支援

- ①本部にアディティブマニュファクチャリング設備による試作・製作支援、三次元 CAD データ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うための「3D ものづくりセクター」を開設し、3D 技術やリバーズエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。
- ②本部に機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置した「先端材料開発セクター」を開設し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。
- ③多摩テクノプラザに産業用繊維や炭素繊維などの複合素材の開発を支援する「複合素材開発セクター」を開設し、成長産業へ参入を希望する中小企業の支援を行う。
- ④中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を継続する。
- ⑤新製品・新技術開発を目指す中小企業に対する支援施設として「製品開発支援ラボ」を本部に 19 室、多摩テクノプラザに 5 室を引き続き提供する。
- ⑥共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を 3 室引き続き提供し、迅速な製品の開発を促進する。
- ⑦製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置する。

### (3) 製品の品質評価支援

本部において、「実証試験セクター」を活用し、中小企業の安全で信頼性の高い製品開発を支援するために、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援する。

特に、温湿度、機械、電気試験分野において、各種規格に対応した質の高い試験を継続させる。

## 2-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1) 技術経営への支援

①公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）の経営支援部門等他の機関との連携を活用して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

②研究の成果として得た新技術に関して知的財産の出願に努めるとともに、使用許諾を推進し中小企業支援に活用する。

### (2) 技術審査への貢献

①東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

②審査・評価の公平かつ中立な実施と、精度の維持向上を図るため、最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

③技術審査事業を通じた産業振興への貢献度把握を継続する。

## 2-4 中小企業の海外展開を支える技術支援

### (1) 国際規格対応への支援

①輸出製品技術支援センターを支援拠点として、中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な国際規格への適合性などの技術情報を提供する。

②海外展開を目指す中小企業を支援するため、輸出製品に関する相談体制や情報提供を拡充するとともに、海外取引に関する技術セミナーを開催する。

③中小企業の海外展開等で必要となる国際規格に対応した試験により都内中小企業の海外展開支援を進める。

### (2) 海外支援拠点による支援

①タイ王国に開設したバンコク支所で海外進出した企業への現地技術支援事業を実施する。

②海外の現地情報を都内中小企業へ情報提供し、海外展開支援を実施する。

## 3 多様な主体による連携の推進

### 3-1 産学公金連携による支援

①本部において、産学公連携の拠点となる「東京イノベーションハブ」を活用し、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催する。

②公立大学法人首都大学東京（以下、「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

③企業同士の連携に意欲のある企業に対して、本部及び多摩テクノプラザで異業種交流会を各

1 グループ立ち上げるとともに、既存グループの活動支援を実施する。

④業界団体との業種別交流会を開催し、研究成果や新技術等の情報提供及び技術ニーズの収集を行う。

⑤中小企業の技術者等で構成する技術研究会を通じて、共同で技術的課題の解決を図る。

### 3-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

①区市町村との連携強化に努め、地域における産業振興の取組に貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

②首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施しているTKFの活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

③都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携した事業を実施する。

④東京都との「放射性物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。

## 4 東京の産業を支える産業人材の育成

### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取り組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

サービス業や卸売業・小売業の従事者向けにおいても、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

### 4-3 海外展開に必要なグローバル人材の育成

中小企業が海外へ事業を展開する際には現地の経営環境や市場動向に詳しい人材の育成が必要であることを踏まえ、金融機関などの連携締結機関の情報や他の産業支援機関を活用した実践的なセミナーを試行する。

## 5 情報発信・情報提供の推進

### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、

イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

## 5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

本部の公開図書室を活用し、中小企業に役立つ技術資料等を公開する。

- ・ 研究開発の成果
- ・ 保有する技術情報やノウハウ
- ・ 依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・ 産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・ 産学公金連携コーディネートに関する情報
- ・ 共同研究の公募や受託研究に関する情報
- ・ 最近の技術動向等に関する情報

## II 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 組織体制及び運営

#### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

- ①事業動向等を踏まえ組織の見直しを継続的に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。
- ②既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

#### 1-2 適正な組織運営の確保

- ①事業別のセグメント管理を活用することにより、各事業において投入した経営資源と事業効果の検証を継続する。
- ②都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供する適切な組織運営を継続する。

#### 1-3 職員の確保・育成

- ①大学訪問などの積極的なリクルート活動により、優秀な技術職員を計画的に採用する。
- ②地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保する。
- ③公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。
- ④中小企業の国際化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集など国際規格の相談に対応できる職員の育成を継続する。

#### 1-4 情報システム化の推進・情報セキュリティ対策の徹底

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談など情報システムを活用した利便性の向上に努める。

海外展開を支援する海外支所とのネットワーク化を推進し、利便性及びセキュリティの向上を図る。

### 2 業務運営の効率化と経費節減

#### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案により、業務内容や処理手続きの見直等の業務改革を推進し、外部機関の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

#### 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進による効率化を進める。

### Ⅲ 財務内容の改善に関する事項

#### 1 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

#### 2 剰余金の適切な活用

的確な経営判断を行い、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

### Ⅳ 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

### V 短期借入金の限度額

#### 1 短期借入金の限度額

15 億円

#### 2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借り入れの必要が生じることが想定される。

VI 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画なし

## VII 剰余金の使途

### 1 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

### 2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第40条第1項又は第2項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## VIII その他業務運営に関する重要事項

### 1 施設・設備の整備と活用

- ①業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。
- ②実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を適切に確保し、策定する長期保全計画に基づき総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

### 2 危機管理対策の推進

第一期中に策定した「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、内部危機管理体制の整備を継続する。

- ①個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止のために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。
- ②環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。
- ③震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。
- ④緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

### 3 社会的責任

#### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ホームページや刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO<sub>2</sub>削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。



## 予算（人件費の見積を含む）、収支計画および資金計画

## 1. 予算

平成 28 年度 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	6,921
(うち標準運営費効率化係数対象内分)	(4,667)
(うち標準運営費効率化係数対象外分)	(197)
(うち特定運営費交付金分)	(2,057)
施設整備費補助金	10
自己収入	1,237
事業収入	701
補助金収入	60
外部資金研究費等	100
その他収入	376
積立金取崩	35
計	8,203
支出	
業務費	5,753
試験研究経費	1,597
外部資金研究経費等	100
東京緊急対策	12
ロボット産業活性化	1,054
役職員人件費	2,990
一般管理費	2,450
計	8,203

## [人件費の見積]

平成 28 年度は、2,906 百万円支出する。(退職手当は除く。)

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 2. 収支計画

### 平成 28 年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	8,727
経常費用	8,727
業務費	4,855
試験研究経費	1,042
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	2,990
東京緊急対策	12
ロボット産業活性化	711
一般管理費	2,330
減価償却費	1,542
収入の部	8,727
経常収益	8,727
運営費交付金収益	5,998
事業収益	701
外部資金研究費等収益	100
補助金収益	10
その他収益	376
資産見返運営費交付金等戻入	1,496
資産見返補助金等戻入	41
資産見返物品受贈額戻入	0
資産見返寄付金等戻入	5
純利益	0
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

### 3. 資金計画

#### 平成 28 年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	8,203
業務活動による支出	7,185
投資活動による支出	1,018
資金収入	8,630
業務活動による収入	8,168
運営費交付金による収入	6,921
事業収入	701
外部資金研究費等による収入	100
補助金等による収入	70
その他の収入	376
前期中期目標期間よりの繰越金	462

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 9 職員名簿

理事長		奥村 次徳	技術経営支援部		
理事		原田 晃		部長	片桐 正博
理事		鈴木 雅洋			
監事		宮内 忍	交流連携室		
経営企画部			産業交流係	室長(ワト <sup>〃</sup> )	山本 哲雄
	部長	近藤 幹也		係長	中村 広隆
経営企画室				副主任研究員	中川 朋恵
	室長(兼務)	近藤 幹也	技術管理係	副主任研究員	シュイ チェン
	上席研究員	内田 聡		研究員(ワト <sup>〃</sup> )	沼田 邦雄
	主任研究員	清水 綾		係長	水野 裕正
	副主任研究員	山中 寿行		副主任研究員(ワト <sup>〃</sup> )	斎藤 正明
	主事	梅津 晴香	品質保証推進センター	研究員(ワト <sup>〃</sup> )	島田 勝広
	主事	木邑 真也	センター長(ワト <sup>〃</sup> )(兼務)		山本 哲雄
経営情報室			主任研究員(兼務)		水野 裕正
	室長(兼務)	近藤 幹也	主任研究員(兼務)		沼尻 治彦
情報システム係			主任研究員(兼務)		中西 正一
	係長	高崎 英承	主任研究員(兼務)		佐々木 正史
	副主任研究員	高松 聡裕	主任研究員(兼務)		松原 独歩
	副主任研究員	北原 枢	副主任研究員(兼務)		中村 弘史
	副主任研究員	志水 匠	副主任研究員(兼務)		小船 諭史
広報室			研究員(兼務)		澁谷 孝幸
	室長	山口 美佐子	研究員(兼務)		倉持 幸佑
広報係			研究員(兼務)		新垣 翔
	係長	木村 千明	研究員(ワト <sup>〃</sup> )(兼務)		秋葉 拓也
	副主任研究員	平井 和彦	研究員(ワト <sup>〃</sup> )(兼務)		森口 正夫
	主事	原田 英彦	研究員(ワト <sup>〃</sup> )(兼務)		三浦 由佳
	主事	淡路 和江	技術経営支援室		
			室長(ワト <sup>〃</sup> )		伊東 洋一
			上席研究員		山田 一徳
			技術振興係		
			副主任研究員		山田 巧
			副主任研究員(ワト <sup>〃</sup> )		榎本 博司
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		碓井 正雄
			相談支援係		
			係長(兼務)		山田 一徳
			副主任研究員		植松 卓彦
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		本阿彌 忠彦
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		小林 敏信
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		鈴木 隆司
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		篠田 勉
			国際化推進室		
			室長(兼務)		片桐 正博
			輸出製品技術支援センター		
			センター長		五十嵐 美穂子
			副主任研究員		萩原 利哉
			主事		秦 由梨加
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )		生島 博
			研究員(ワト <sup>〃</sup> )(兼務)		井原 房雄
			バンコク支所		
			支所長		西野 義典
			主任研究員(ワト <sup>〃</sup> )		内山 正吉
			主任研究員(ワト <sup>〃</sup> )		須間 賢二

ロボット事業推進部  
部長 瓦田 研介

ロボット企画グループ  
グループ長 竹内 由美子  
主任研究員 渡部 友太郎  
副主任研究員(兼務) 北原 枢  
副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>)(兼務) 久慈 俊夫  
副主任(兼務) 佐藤 岳  
副主任 高橋 千秋  
主事 入川 涼

ロボット事業化推進グループ  
グループ長 倉持 昌尚  
主任研究員(兼務) 佐藤 研  
研究員(兼務) 吉村 僚太  
研究員(兼務) 中村 佳雅  
ロボット開発技術員 大泉 悟  
ロボット開発技術員 佐藤 宏

ロボット開発セクター  
セクター長 坂下 和弘  
主任研究員 武田 有志  
主任研究員 佐藤 研  
副主任研究員 佐々木 智典  
副主任研究員 益田 俊樹  
副主任研究員 小林 祐介  
副主任研究員 森田 裕介  
副主任研究員 村上 真之  
研究員 吉村 僚太  
研究員 中村 佳雅  
ロボット開発技術員 松本 正雄  
ロボット開発技術員 鈴木 薫  
ロボット開発技術員 渡辺 公一  
ロボット開発技術員 竹内 潤

開発本部  
本部長(兼務) 原田 晃

開発企画室  
室長 大久保 一宏  
上席研究員 上本 道久  
担当係長 城 照彰  
主任研究員 中田 修  
主任研究員 堀江 暁  
副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 朝倉 守

開発企画係  
副主任研究員 長尾 梨紗  
主事 渡辺 彩

開発第一部  
部長 三尾 淳

電気電子技術グループ  
グループ長 小林 丈士  
主任研究員 重松 宏志  
主任研究員 藤原 康平  
副主任研究員 黒澤 大樹  
副主任研究員 時田 幸一  
副主任研究員 西澤 裕輔  
副主任研究員 近藤 崇  
副主任研究員 小宮 一毅  
副主任研究員 新井 宏章  
副主任研究員 山岡 英彦  
副主任研究員 太田 優一  
副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 渡部 雄太  
研究員 三上 和正  
研究員 須藤 翼  
研究員 永田 晃基  
研究員 宮下 惟人  
研究員(ワト<sup>〃</sup>) 武内 陽子  
研究員(ワト<sup>〃</sup>) 梶ヶ谷 正美

機械技術グループ  
グループ長(兼務) 三尾 淳  
主任研究員 青沼 昌幸  
主任研究員 福田 良司  
副主任研究員 中村 勲  
副主任研究員 小西 毅  
副主任研究員 岩岡 拓  
副主任研究員 西村 信司  
副主任研究員 中村 健太  
副主任研究員 奥出 裕亮  
副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 伊藤 清

光音技術グループ  
グループ長 岩永 敏秀  
主任研究員 中島 敏晴  
主任研究員 服部 遊  
副主任研究員 渡辺 茂幸  
副主任研究員 西沢 啓子  
副主任研究員 横田 浩之  
副主任研究員 澁谷 孝幸  
副主任研究員 磯田 和貴  
副主任研究員 宮入 徹  
副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 神田 浩一  
研究員 秋葉 拓也

開発第二部

部長	樋口 明久
表面・化学技術グループ	
グループ長(兼務)	樋口 明久
上席研究員	長坂 浩志
主任研究員	川口 雅弘
主任研究員	寺西 義一
主任研究員	竹村 昌太
主任研究員	安田 健
主任研究員	浦崎 香織里
副主任研究員	樋口 智寛
副主任研究員	木下 健司
副主任研究員	菊池 有加
副主任研究員	村井 まどか
副主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	土井 正
研究員	桑原 聡士
研究員	西田 葵
研究員	佐野 森
研究員	石田 祐也
研究員(ワト <sup>o</sup> )	佐熊 範和
環境技術グループ	
グループ長	飯田 孝彦
主任研究員	陸井 史子
主任研究員	中澤 亮二
主任研究員	小沼 ルミ
副主任研究員	増田 優子
副主任研究員	田熊 保彦
副主任研究員	濱野 智子
副主任研究員	吉野 徹
副主任研究員	池田 紗織
副主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	小坂 幸夫
研究員	井上 研一郎
研究員	森久保 諭
研究員	宮宅 ゆみ子
研究員	亀崎 悠
研究員	榎本 大佑
研究員(ワト <sup>o</sup> )	上部 隆男
バイオ応用技術グループ	
グループ長	櫻井 昇
主任研究員	中川 清子
主任研究員	紋川 亮
主任研究員	柚木 俊二
主任研究員	八谷 如美
副主任研究員	河原 大吾
副主任研究員	藤井 恭子
副主任研究員	大藪 淑美
副主任研究員	月精 智子
副主任研究員	永川 榮泰
副主任研究員	畑山 博哉
副主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	関口 正之
研究員	瀧本 悠貴
研究員	片岡 憲昭
研究員	成田 武文
研究員(ワト <sup>o</sup> )	外立 貴宏
研究員(ワト <sup>o</sup> )(兼務)	武藤 利雄
研究員(ワト <sup>o</sup> )	金城 康人

開発第三部

部長	大泉 幸乃
主席研究員	中村 優
情報技術グループ	
グループ長	入月 康晴
主任研究員	大原 衛
主任研究員	金田 泰昌
主任研究員	阿部 真也
副主任研究員	山口 隆志
副主任研究員	岡部 忠
副主任研究員	中川 善継
副主任研究員	富山 真一
研究員	村上 知里
研究員	三木 大輔
デザイン技術グループ	
グループ長(兼務)	大泉 幸乃
主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	薬師寺 千尋
副主任研究員	加藤 貴司
副主任研究員	酒井 日出子
副主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	平山 明浩
研究員	角坂 麗子
研究員	橋本 みゆき
研究員(ワト <sup>o</sup> )	中田 恵子
研究員(ワト <sup>o</sup> )	小池 真生
生活技術開発セクター	
セクター長(兼務)	中村 優
上席研究員(ワト <sup>o</sup> )	岩崎 謙次
主任研究員	添田 心
主任研究員	島田 茂伸
主任研究員	大平 倫宏
主任研究員	飛澤 泰樹
主任研究員	菅谷 紘子
副主任研究員	佐々木 直里
副主任研究員	後濱 龍太
副主任研究員(ワト <sup>o</sup> )	嶋 明
研究員	大島 浩幸
研究員(ワト <sup>o</sup> )	古田 博一
事業化支援本部	
本部長(兼務)	鈴木 雅洋
技術開発支援部	
部長	木下 稔夫
3Dものづくりセクター	
セクター長	阿保 友二郎
主任研究員	横山 幸雄
主任研究員	中西 正一
副主任研究員	中村 弘史
副主任研究員	小金井 誠司
副主任研究員	藤巻 研吾
副主任研究員	山内 友貴
研究員	小林 隆一
研究員	古杉 美幸
研究員	千葉 浩行
研究員	大久保 智
研究員(ワト <sup>o</sup> )	三浦 由佳

先端材料開発セクター

セクター長 清水 研一  
 主任研究員 森河 和雄  
 主任研究員 柳 捷凡  
 主任研究員 渡邊 禎之  
 主任研究員 海老澤 瑞枝  
 主任研究員 染川 正一  
 副主任研究員 藤巻 康人  
 副主任研究員 渡辺 洋人  
 副主任研究員 林 孝星  
 研究員 立花 直樹  
 研究員 小林 宏輝  
 研究員 小汲 佳祐  
 研究員 小川 大輔  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) (兼務) 佐熊 範和

実証試験セクター

セクター長(兼務) 木下 稔夫  
 上席研究員(ワト<sup>〃</sup>) 山本 克美  
 主任研究員 沼尻 治彦  
 主任研究員 佐々木 正史  
 主任研究員 松原 独歩  
 副主任研究員 小船 諭史  
 副主任研究員 田中 真美  
 研究員 倉持 幸佑  
 研究員 新垣 翔  
 研究員 林 夢愛子  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 森口 正夫  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 大久保 富彦  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 石井 清一

地域技術支援部

部長(兼務) 鈴木 雅洋

城東支所

支所長 上野 博志

管理係

係長 中村 孝

技術支援係

係長 櫻庭 健一郎  
 主任研究員 宇井 剛  
 副主任研究員 長谷川 孝  
 副主任研究員 木暮 尊志  
 副主任研究員 安藤 恵理  
 副主任研究員 上野 明也  
 副主任研究員 徳田 祐樹  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 秋山 正  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 岡野 宏

墨田支所

支所長(兼務) 中村 優

管理係

主事 高木 徹也

城南支所

支所長 田中 実  
 管理係  
 係長 石上 知子  
 副主任 山本 大輔  
 技術支援係  
 係長 玉置 賢次  
 主任研究員 梶山 哲人  
 主任研究員 林 英男  
 副主任研究員 豊島 克久  
 副主任研究員 湯川 泰之  
 副主任研究員 樋口 英一  
 副主任研究員 平野 康之  
 副主任研究員 竹澤 勉  
 副主任研究員 山田 健太郎  
 副主任研究員 井上 潤  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 石堂 均  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 河村 洋

多摩テクノプラザ

所長 澤近 洋史

総合支援課

課長 荒川 豊

管理係

係長 茂木 一也  
 副主任 金子 真由美  
 副主任 仁田 千鶴  
 主事(ワト<sup>〃</sup>) 清水 美代子  
 主事(ワト<sup>〃</sup>) 井上 寛也

連携支援係

主任研究員 藤田 薫子  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 小山 元子  
 研究員 山本 清志  
 研究員 森 豊史  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 小山 秀美  
 主事(ワト<sup>〃</sup>) 小林 文雄

電子・機械グループ

グループ長(兼務) 澤近 洋史  
 上席研究員 上野 武司  
 主任研究員 大西 徹  
 主任研究員 西川 康博  
 副主任研究員 仲村 将司  
 副主任研究員 高橋 文緒  
 副主任研究員 佐野 宏靖  
 副主任研究員 鈴木 悠矢  
 副主任研究員 高橋 俊也  
 副主任研究員 岩田 雄介  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 久慈 俊夫  
 研究員 佐々木 秀勝  
 研究員 村上 祐一  
 研究員 福田 純子  
 研究員 秋山 美郷  
 研究員 小畑 輝  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 大森 学  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 井原 房雄

複合素材開発セクター

セクター長 谷口 昌平  
 上席研究員 水元 和成  
 主任研究員 小柴 多佳子  
 主任研究員 榎本 一郎  
 主任研究員 峯 英一  
 主任研究員 小野澤 明良  
 主任研究員 窪寺 健吾  
 副主任研究員 杉森 博和  
 副主任研究員 神谷 嘉美  
 副主任研究員 岡田 明子  
 副主任研究員 唐木 由佑  
 副主任研究員 武田 浩司  
 研究員 渡辺 世利子  
 研究員(ワイド) 仁平 宣弘  
 研究員(ワイド) 棚木 敏幸  
 研究員(ワイド) 小林 研吾  
 研究員(ワイド) 山本 悦子  
 研究員(ワイド) 中島 茂  
 研究員(ワイド) 池田 善光

環境安全管理室

室長 足立 孝  
 上席研究員(兼務) 櫻井 昇  
 担当係長 小野寺 正崇  
 施設係  
 係長 近藤 好信  
 主任 星野 滋記  
 主事 市川 崇  
 研究員(ワイド) 武藤 利雄  
 主事(ワイド) 高田 彬宏  
 主事(ワイド) 鈴木 光由  
 主事(ワイド) 北原 喜敏

総務部

部長 新田 裕人

総務課

課長 飯田 栄司

庶務係

係長 直井 亮介  
 副主任 細井 武人  
 副主任 和田 雅明  
 主事 内藤 正剛  
 主事 神野 裕太

人事給与係

係長 宮崎 律子  
 副主任 時岡 裕美  
 主事 菅原 信恵

財務会計課

課長(ワイド) 清水 一弥

経理係

係長 竹野 公  
 副主任 市川 啓子  
 副主任 佐藤 岳  
 主事(兼務) 入川 涼  
 主事 児山 由美子  
 主事 大谷 広輝  
 主事 金子 一  
 主事 網野 智文  
 主事(ワイド) 黒川 美和子

出納係

係長 和田 美可  
 主事 井上 崇

※(ワイド)はワイドキャリアスタッフの略



※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。  
本年報の内容は、ウェブサイトでもPDFファイルをご覧いただくことができます。  
都産技研ウェブサイト：<http://www.iri-tokyo.jp/>

都産技 29-3

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
平成 28 年度 年報  
平成 29 年 6 月 20 日発行  
ISSN1882-157X

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
経営企画部 広報室  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10  
TEL 03-5530-2521  
FAX 03-5530-2536  
URL <http://www.iri-tokyo.jp>

印刷所 日経印刷株式会社  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-15-5  
TEL 03-6758-1001  
FAX 03-3263-5814

平成28年度 年報  
平成29年6月



古紙配合率70%  
白色度70%の再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています